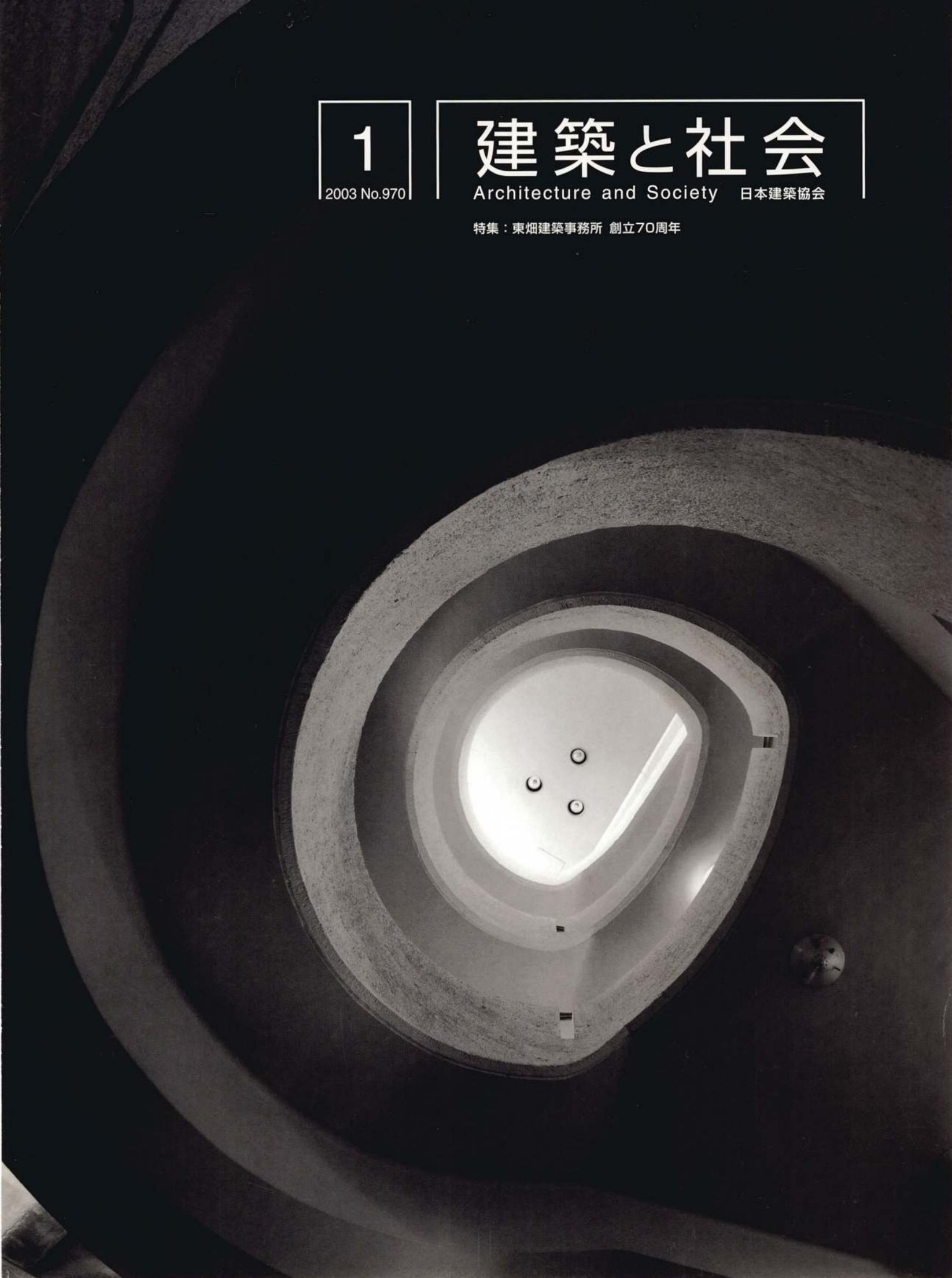
1
2003 No.970

建築と社会

Architecture and Society

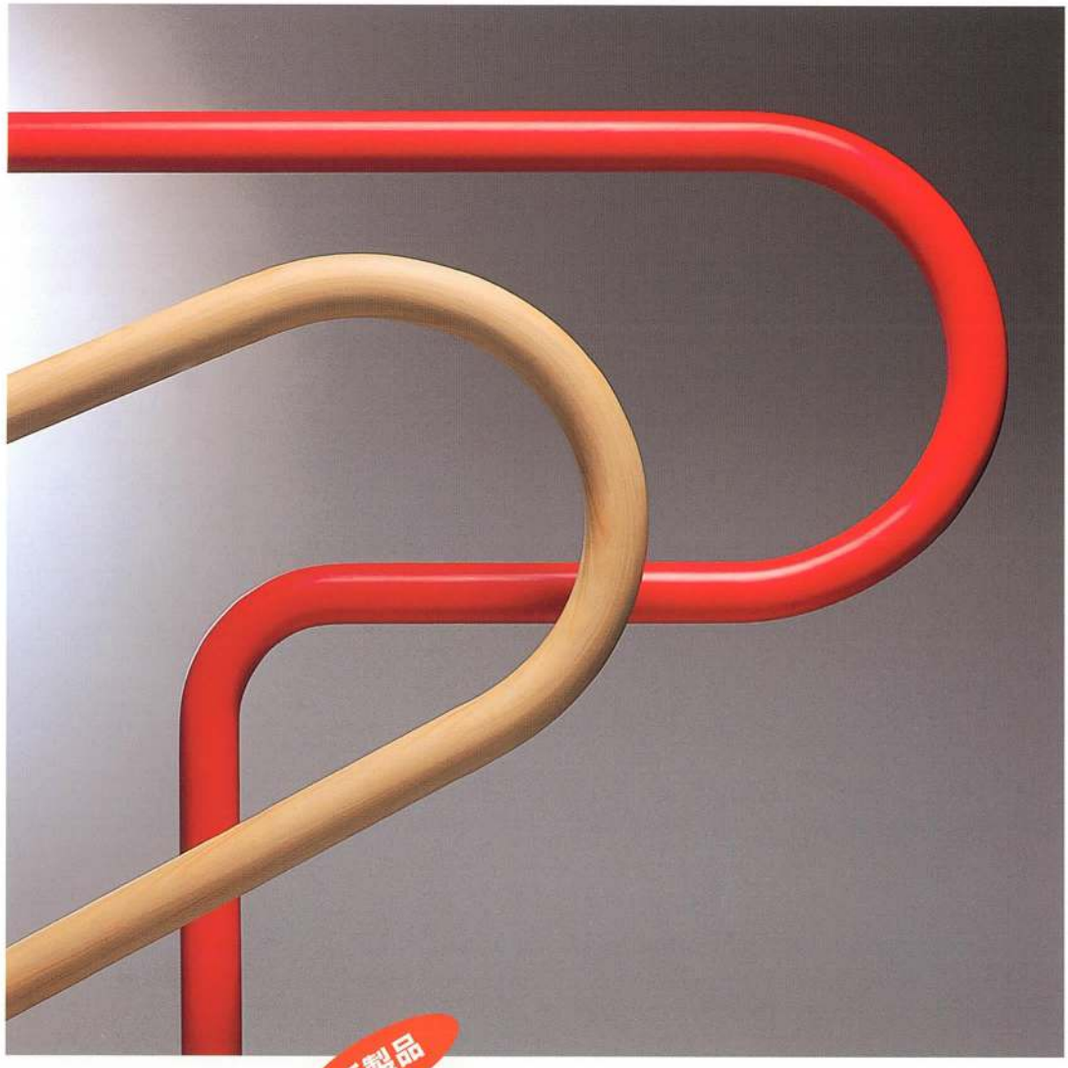
日本建築協会

特集：東畑建築事務所 創立70周年



YM-Beautiful

21世紀は環境共生の時代、地球に優しい、人に優しい
快適・美空間創造を目指して、
建築空間をBeautiful
地球や人にBeautiful



新製品

可視光線に反応!

光触媒入り手すり

自然光や蛍光灯の光で汚れ、悪臭成分を分解する
「光触媒入り手すり」を当社独自の技術で新開発。
高品質で従来品と同価格という経済性も実現!!
医療福祉施設、学校、共同住宅など、
環境に配慮した製品として注目を集めています。

ワイエム工業株式会社

〒547-0005 大阪市平野区加美西1丁目9番7号 TEL(06)6795-5353 FAX(06)6792-1695

札幌 TEL(011)711-8411 FAX(011)711-8413 / 旭川 TEL(0166)38-6161 FAX(0166)38-6180 / 仙台 TEL(022)238-7782 FAX(022)238-7783 / 盛岡 TEL(019)665-1751 FAX(019)665-1752
東京 TEL(03)3634-6632 FAX(03)3634-6663 / 横浜 TEL(045)439-2191 FAX(045)439-2192 / 名古屋 TEL(052)622-8278 FAX(052)622-8288 / 京都 TEL(075)611-6159 FAX(075)611-7086
大阪 TEL(06)6792-1350 FAX(06)6792-1698 / 広島 TEL(082)291-1323 FAX(082)291-2287 / 福岡 TEL(092)622-1436 FAX(092)611-5285 / 鹿児島 TEL(0995)43-1578 FAX(0995)42-7709

http://www2.osk.3web.ne.jp/~ymkougyo

お問い合わせ・カタログのご請求は上記まで

2003年を迎えて

社団法人 日本建築協会 会長　金多　潔

明けましておめでとうございます。新しい年のはじめにあたり、会員の皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

科学技術のさらなる発展が期待されている21世紀に入って３年目を迎えました。ITに代表される情報・通信技術の長足の進歩や環境に配慮した低公害自動車の開発、さらにはバイオ、ナノ工学技術の進展など、数多くの技術が私たちの社会を大きく変えようとしています。日本人の二人の科学者が同時にノーベル賞を受賞されたのも昨秋のことでした。

一方、世界の経済情勢には厳しいものがあり、各国の株式市場は低迷から脱却せずに今日に至りました。とくに、わが国では、銀行の不良債権処理の加速化とデフレ対策の構築という大きな課題に対して明確な回答を出せぬまま年を越した感があります。バブルの崩壊から10年余り続いた経済的・社会的混迷を一日も早く解消するために様々な施策が提案されていますが、本年はそれらが実行され、景気が好転する年であってほしいと念願しています。

本協会では、「21世紀の協会検討委員会」から一昨年に答申を受け、設立当初の理念を尊重しつつ現代社会のニーズに対応できる体制づくりを目指して内部機構の改革に努めてきました。例えば、協会と会員の間のコミュニケーションをさらに円滑にするために機関誌「建築と社会」の編集に一層の工夫を加えるほか、新たにホームページを開設し、種々の情報をいち早く伝達できるように整備しました。また、編集、事業、教育、出版および建材の各常設委員会は、その活動内容についても毎月の定例会において活発に議論し、実行に移しています。

協会を取り巻く経済情勢が大変厳しい中で、会員や委員の皆様のおかげで内外から「協会が良い方向に変わりつつある」との声が聞かれるようになりました。80余年の輝かしい歴史をもつ日本建築協会は、建築界の各分野を包含して成り立っていますが、プレハブ住宅産業や不動産業からはより多くの新会員をお迎えしたいところですし、会員構成では女性会員、学生会員の少なさが感じられます。このことは、協会のPR不足とも思われますので、本年は多彩な分野からたくさんの新会員を迎えることができるよう心掛けたいと考えております。

新年にあたり、本協会への一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

日本建築協会・常設委員会

本年の抱負

編集委員会

建築界の絶えざる思いを社会に発信するために

編集委員長
設楽　貞樹

いきなり私事で恐縮ですが、亡くなった父も建築をやっておりましたので、昔住んでいた家の物置に「建築と社会」のバックナンバーがうずたかく積まれ、当時小学生であった私がその整理を手伝わされた記憶があります。その時には、40年後に自分がまさかその雑誌の編集責任者になろうとは夢にも思わなかったのは当然です。そのようなある種の“縁”を感じながらお引き受けして早くも9カ月、できるでけビジュアルに読みやすくをモットーに紙面づくりを進めておりますが、昨今の建築界不況の影響はこの伝統ある雑誌にも影を落としていて、数年前の雑誌の厚みに比べて随分と薄くなってしまったものだと諸先輩方を嘆かせております。しかしながら、たとえ厚みを薄くとも、カラフルな紙面は少なくとも、建築界の絶えざる思いを紙面に反映することはできるはずだと、関係者一同知恵を絞って取り組んでおります。
新しい年を迎え読者の皆様方にはなお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。
末筆になりましたが、本年が皆様方にとってよい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

出版委員会

眠っているものは ありませんか?

出版委員長
上原　正行

ノーベル賞のダブル受賞、特に田中さんの話題は昨年の明るいニュースでした。出版委員会でもこのような、元気の出る話をいつも探しています。
建築にかかわる人たちに参考になる出版企画を心がけているのですが、インターネット情報と「本」は、TVと新聞以上の伝達格差があります。しかし「活字離れ」の時代でも、駅周辺に本屋さんは増えており、「安くて、為になる情報」は求められています。最近、６歳の男の子がまだ新しい本皮のグラブとミットと軟球４個をたった1000円で買ってもらい、大喜び。住宅街のガレージ・セールで求めたそうです。要はタイミング。私たちもこんなガレージ・セールをやりたいと思います。
乗用車のこと、介護のこと、金利のこと…なんでも「建築」に関係します。運輸、住宅不動産、金融諸方にも門戸を広げ、「知恵」の交換を考えたいものです。400字のコラム、2000字の1ページ、そして200ページの単行本へと、みなさんの血と汗の結晶を出版物として情報発信することをお勧めします。

教育委員会

会員と協会のつながりを継承

教育委員長
片倉　健雄

私たちの委員会が担当している事業の一つの「建築工事実務講習会」は、実に45年の歴史を経ている。これは本会の創立後間もなく始められた、建築生産分野にかかわる各種の講習会等が整理されて次第に継続性のあるものになったものである。それがさらに淘汰されて現在の姿になったのだが、これには大きな特長がある。
大阪では延べ２日にわたる講習会を毎年開催し、支部でも企画されているが、今年は改訂された新しいテキストが用意されている。これは歴代の委員の努力によるもので、大手・準大手の建設業各社等の協力があって実現している。個人の執筆による図書とは違う点がそこにあり、新しい、実践的なノウハウが多く含まれている。
協会の事業として永く続けられてきた理由は、これまでの会員と協会とのつながり方によるものだと思う。このような形をこれからも発展させてゆきたいと願っている。

事業委員会

守りと攻めの姿勢で臨みたい

事業委員長
川村　眞次

今年の干支は「未年」。羊のイメージから優しい年になるかと思って2003年の暦を見れば、概略「上昇指向があるのに、その力を抑えるものが多い。世の中、全てが不安定・不透明で屈折した社会現象が起る。優しさを求める反面、極端な事も求められる」と書かれている。新年早々言いたくないが、今年は昭和６年と同じで余り良い年でなく、昨年から見られる一部の不穏な兆候が、より過激なものとなって現れるような気がする。特に建築関係業界にあっては長引く経済不況や業界バッシングから業績が低迷、その影響は当協会にも及ぶと思われるが、こんな年だからこそ、バランスの取れた「守りと攻め」が必要になるだろう。
そこで事業委員会では昨年の運営方策「採算性の考慮」「協会員や一般の方々の参加しやすい催しの開催」は守りとして粛々と続け、「工夫を凝らした、新企画の展開」という事項については積極的な攻めの姿勢で臨みたい。ご協力よろしくお願いいたします。

建材委員会

本会ホームページを活用して

建材委員長
和田　克朗

長引く景気停滞のせいか、この数年、当委員会に寄せられる建材情報が減ってきている。建材委員会では、建材メーカー（商社を含む）からの新しい建築材料の紹介に、委員による意見交換の結果等を当委員会のコメント（評価）として加え、「建築と社会」の誌面を通じて紹介してきた。また、建材工場の見学会も実施してきた。
今まで、検討会開催情報を簡単に会員に伝える方法がなかったため、もっぱら建材委員のみで活動してきたが、14年9月に建築協会のホームページが開設され、検討会の日程などをいち早く会員に伝えることが可能となったので、建材委員だけでなく、当協会会員が直接メーカーの情報が聞けるよう、委員会でのメーカーの建材紹介の場に参加できるよう、運営方法の変更を考えている。
また建材関係の他団体とも連携して、より幅広い情報の収集につとめていきたい。

平成14年度 建築工事実務講習会

主催　(株)日本建築協会

■趣旨と内容

- 官公庁・設計事務所・建設業をはじめ、設備・営繕など幅広い分野の有能な技術者を養成する目的をもって、講習会を開催します。
- とくに取りつきにくい施工計画と仮設見積、現場実務の基礎である積算業務に重点をおき講義します。
- また、今回はテキストを改訂し、都市環境の変化に伴う法令・規準の改正なども加え、技術の進歩に即応した知識の習得をはかります。
- 「積算業務」では建築数量積算基準にのっとり、また「仮設見積」ではS造・地下1階・地上13階建事務所ビルをとり上げ、わかりやすく解説します。

■申込要領

下記受講申込書の受講希望科目を線で囲み（両科目とも受講される場合は、両方を線で囲んで下さい）、必要事項をご記入の上、受講料を添えて本会事業課までお申し込み下さい。（受講料は銀行振込・郵便振替でも可。但し、その場合お払込みいただく前に、必ず受講申込書を郵便かFAXでお送りください。）引換えに受講券をお送りいたします。

※定員に達し次第締切ります。

■申込先

(社)日本建築協会
〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3-2100
（大阪駅前第3ビル21階）
TEL. (06)6348-0633 FAX. (06)6348-0634

- 受付時間　毎日、午前9時半～午後5時半。但し、土・日・祝日を除く。
- 詳細は、事務局事業課へお問い合わせください。

■科目・講師

施工計画

- 仮設・地下工事　佐貫　久氏
  神戸大学大学院自然科学研究科後期博士課程
- 上部工事・工程　池田　孝夫氏
  大成建設(株)関西支店建築部購買管理室次長

施工計画はその良否が、いかに能率よく、品質を確保し、安全で、経済的に本体工事を施工するかの鍵をにぎっています。仮設から仕上げ、設備にいたる工事全般について、適切な施工計画をいかに立案するか、その要点をわかりやすく説明します。

＊

と　き　平成15年2月5日(水)
午前9時～午後5時
ところ　大阪府建築健保会館·6階ホール
（大阪市中央区和泉町2-1-11）
定　員　100名
受講料　12,000円（テキスト代、消費税を含む）

仮設見積・積算

- 仮設見積　金澤　稔氏
  (株)大林組本店建築生産技術部担当部長
- 積算業務　髙熊　満氏
  (株)竹中工務店大阪本店見積部見積担当副部長

全体工事費の20%前後を占める仮設工事費の適切な見積りは、工事原価を把握する上で極めて重要です。建物の種類、規模、工事周辺状況等に大きく影響を受ける仮設見積りのまとめ方を実例をまじえてわかりやすく解説します。

＊

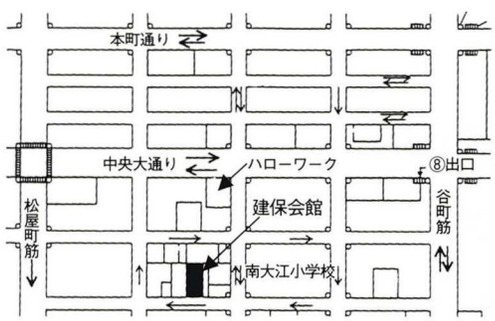
厳しいコスト競争に対応する基盤は正しい数量積算知識です。生産過程でも数量を正確に把握しコスト管理を充実していく技術者が社会的に益々求められています。チェックポイントも交えて実務積算知識が身につくようにわかりやすく解説します。

＊

と　き　平成15年2月12日(水)
午前9時～午後5時
ところ　大阪府建築健保会館·6階ホール
（大阪市中央区和泉町2-1-11）
定　員　100名
受講料　12,000円（テキスト代、消費税を含む）

■受講料振込口座番号

- 取引銀行
  三井住友銀行大阪中央支店
  （普通No.860034）
  UFJ銀行瓦町支店
  （普通No.210054）
  大和銀行北浜支店
  （普通No.272234）
- 郵便振替
  00910-9-39975



大阪府建築健保会館付近見取図

キ リ ト リ 線

平成14年度建築工事実務講習会 受講申込書

No.＿＿＿＿

社団法人　日本建築協会　御中

年　月　日

郵便番号		受講者氏名		年齢	受講希望科目	※両科目とも受講される場合は、両方を線で囲んで下さい。
所在地					施工計画	仮設見積・積算
事業所名（または氏名）					施工計画	仮設見積・積算
担当責任者					施工計画	仮設見積・積算
電話番号					施工計画	仮設見積・積算
受講料支払方法	•事務局へ持参　•現金送金　•銀行振込　•郵便振替　いずれかに○印を付して下さい。					

※受講申込書が足りない場合は、複写して下さい。

「建築と社会」誌

特集一覧●1979~2000

大正6年3月に誕生した日本建築協会（当時・関西建築協会）の、機関誌は大正6年9月に「関西建築協会誌」と題して創刊された。大正8年に「日本建築協会雑誌」、さらに1年後には「建築と社会」と改題し、今日に至っている。

取り上げてきた特集テーマは下記のとおりで、バックナンバー購入希望は、日本建築協会事務局（TEL 06-6348-0635、FAX 06-6348-0634）まで。販売価格は1200円（送料・消費税含）。

号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1979 vol.60	●転換期の再開発＊	●大阪南港ポートタウン＊	●商業空間＊	●コンクリートのひびわれ	●日影規則＊	●ホテル建築と情報システム	●農村施設の変貌＊	●建築の終局強度の検討	●庄内のまちづくり＊	●80年代のインテリア＊	●第26回青年技術者＊	●建設業の労務事情＊
1980 vol.61	●80年代の都市と建築―まちづくりの歴史と展望	●今後の省エネルギーの趨勢 ●建築金物	●最近の銀行建築 ●安井建築設計事務所作品集	●住宅の耐久性＊	●建築行政と法規＊	●最近の防水工法	●都市景観とアメニティ＊	●屋内体育施設の設備＊	●水ぎわのまちづくり	●今後の外装吹付仕上材＊	●第27回青年技術者 ●転機にたつマンション・集合住宅	●これからの建築設計と新耐震設計法＊
1981 vol.62	●職能論＊	●中国の論文―北京の都市計画＊	●ポートピア'81＊	●台所まわりの計画と設備＊	●シーリング材の知識＊	●災害と法―安全な環境をめざして＊	●都市住宅―住まい手からの発想＊	●建築物と風―デザイナーのために ●日建設計作品集＊	●住宅・都市整備公団―関西における都市整備を中心とした新公団の役割＊	●間仕切壁の性能評価＊	●第28回青年技術者＊	●障害者の暮らしやすい環境と設備
1982 vol.63	●新たな商業空間の展開＊	●省エネルギーと開口部＊	●医療施設―地域医療と設備計画＊	●近畿の地盤と地質＊	●都市景観―まちなみ美観への誘い＊	●大阪市庁舎（第1期）＊	●ホール建築と音＊	●大スパン構造＊	●昭和設計作品集＊	●絵本にみるすまいとまちづくり ●オー・エム・ホテル日航ビル	●第29回青年技術者 ●地方の庁舎建築＊	●風土・空気と人間＊
1983 vol.64	●関西の建築文化を考える	●マイコンの建築への利用	●多様化する運動施設＊	●建築と品質管理	●計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	●大阪駅とターミナルビル	●維持管理と設備更新	●東海の将来と文化を考える	●オフィス・インテリアの変革	●プレストレスト・鉄筋・コンクリート構造	●第30回青年技術者 ●大阪城国際文化スポーツホール＊	●集合住宅と生活音
1984 vol.65	●21世紀への関西―魅力あるまちづくりを問う	●関西の超高層ビル＊	●ビルのリフレッシュ―内外装補修技術の現状と展望―＊	●建設産業とロボット開発＊	●住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間 ●京都駅南口再開発ビル＊	●消防設備のポイント	●みどりとそれをとりまく人々＊	●高齢化社会と生活空間	●床の構工法	●第31回青年技術者 ●ディテールの思想	●光応用システムと建築
1985 vol.66	●大阪湾物語＊	●東海の現在と近未来	●自由様式への道―建築家安井武雄 ●建築物の基礎を考える	●情報化をめぐる建築・都市事情	●ホール―それが生みだす文化―	●建物の表情―最近の外壁材料	●大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出 ●神戸研究学園都市	●都市と健康・スポーツ	●接合―人体と建築にみる― ●日建設計作品＊	●村野藤吾の一断章 ●伊勢湾をめぐる東海	●第32回青年技術者
1986 vol.67	●これからの住空間―都市型集合住宅にみる	●屋根―そのデザインと素材	●現代デザイン―ポストモダニズム10年 ●これからの防水工法	●インテリジェントビルの建築・設備計画	●自治体営繕と公共建築	●建築防災と法 ●大阪市庁舎（第2期）	●21世紀の住宅と設備	●開発―その創造的仕掛けの鍵をもとめて― ●ツイン21	●CAD―その応用と展開	●オフィス空間の構成	●第33回青年技術者	●インテリア・イクステンションとリニューアル
1987 vol.68	●入浴物語	●腐食	●創立70周年記念号	●躍動する東海へ	●貯蔵・保管施設 ●大阪府立体育会館	●室内の仕上床	●駅	●行政建築家の可能性	●シティホテルの設備	●宝塚の街づくり＊	●建物と町並みの接点 ●昭和設計作品集	●第34回青年技術者
1988 vol.69	●ホテル物語	●軟弱地盤と基礎 ●文化と伝統―東海からの報告	●設備におけるLCCとリフレッシュ ●東畑建築事務所作品集	●建物の外装リフレッシュ＊	●都心居住	●中国地方の展望とひろしまのまちなみ	●21世紀への照明＊	●制振＊	●超高層住宅を考える	●集合住宅のリフレッシュ＊ ●大阪府営善	●第35回青年技術者 ●800号記念＊	●讀賣テレビ
1989 vol.70	●夢をのせる輸送設備	●リゾート事情 ●竹中工務店創立90周年記念	●色の復権 ●東海の新建築と伝統技術＊	●省力化のための材料・工法	●まちづくりと法	●博覧会とまちづくり	●都市環境創造と設備I	●建築とアート	●構造の省力化 ●鹿島建設大阪支店建築設計部作品集	●都市環境創造と設備II ●ユーザー参加のハウジング	●第36回青年技術者	●最近の博覧会パビリオン
1990 vol.71	●商品化住宅のデザイン＊	●ニュータウン・ルネサンス	●東海の都市景観 ●佐賀市文化会館＊	●スケール感	●プレハブ住宅技術の現在と未来	●国際花と緑の博覧会	●建築家のための設備知識―中規模オフィスビルによるケーススタディー	●高強度化―設計の多様化をめざして―＊	●やわらかな住宅管理・ユーザーの役割	●都市のナイス・プレイス ●兵庫県営繕の歩み	●第37回青年技術者 ●和歌山県の展望と景観＊	●高級感―建物の顔：感性の時代を迎えての外装材
1991 vol.72	●新しい都市空間づくり―I― ●オフィス・プレジャー ●新しい都市空間づくり―II― ●建築の風景	●東海支部復活30周年記念	●大阪東京海上ビルディング	●今、京都 ●建築家のための設備知識―複合商業ビルによるケーススタディー	●建築と土木 ●毎日放送本社ビル ●近畿地方建設局営繕部	●一般号＊	●建築をめぐるトラブルとその解決 ●建設現場のイメージアップ作戦	●空間のアイデンティティ ●きんでん写真集 ●大建設計40周年	●自治体住宅政策への提言 ●大林組創業100年記念	●建築と土木―構造技術の世界― ●第38回青年技術者	●スリムでタフなコンクリート ●21世紀の住まいを考えるシンポジウム
1992 vol.73	●夢物語―人がかわる、まちがかわる―	●こだわりのインテリア ●近畿の郵政建築15年の歩み	●建築とデザイン―東海支部―＊	●建築家のための設備知識―集合高層住宅の設備システム―	●地球環境時代の建築	●街創り、住まい創り―住宅・都市整備公団関西支社10周年―	●木構造を使ってみませんか―集成材による構造―＊	●接着―建築分野への限りなき可能性	●中国地方の町並みと建築家の「語り、夢、作品」＊	●屋台一仮設の魅力に学ぶ― ●ハウジングのメインストリームを探る	●いま建築教育に何が期待されているか	●京のかたちと色
1993 vol.74	●第39回青年技術者 ●東畑建築事務所創立60周年記念作品集	●大阪府営繕	●東海の美術館・博物館	●市民劇場の舞台設備	●環境―限りある自然と建築とのかかわり	●都市のスカイライン	●映画の中のインテリア ●けいはんなプラザ・住友ホール	●建築の再生―構造技術の役割― ●大阪市営繕	●国際的パートナーシップの可能性	●福祉のまちづくり	●都市型住宅再考	●第40回青年技術者 ●環境―人にやさしい空間創造をめざして
1994 vol.75	●コピー文化の新時代 ●広島の街創りアジア競技大会	●九州のインスタレーションと貌	●伊勢・神宮式年遷宮と神宮界隈＊	●建築のエネルギーシステム	●明日に向かって―会員作品＊	●いま、医療施設は	●住空間における居どころへの視点	●まちなかの看板 ●竹中工務店の集合住宅	●水と建築 ●日本建築総合試験所	●建築設備のCGシミュレーション ●村野、森建築事務所	●構造美―建築の中の美 ●集合住宅団地リニューアル	●第41回青年技術者 ●関西国際空港
1995 vol.76	●光がつくる風合の世界＊	●音―騒音から操音/創音へ	●飛騨・美濃―まちの活性化と地方文化＊	●トイレから見た都市文化	●トイレ空間	●接合 ●コスモタワー	●ユニバーサルデザインとは	●私の空間作法―会員作品	●新しい「都市・建築」の視点＊	●建築構造と社会の接点 ●日建設計＊	●ライフラインと建築設備＊	●第42回青年技術者 ●滋賀県建築課
1996 vol.77	●阪神大震災から学ぶ＊	●大阪府住宅供給公社創立30周年記念＊	●遠江―その地方振興と文化＊	●立体駐車場設備 ●大建設計	●災害！非常時に生きる法体系 ●OAPタワーズ	●いま、プールがおもしろい	●住まいの未来像	●マルチメディアがつくる世界	●キーコンセプトの新時代	●最新の大規模スポーツ競技施設の設備	●私の空間作法'96 ●九州の元気 ●りんくうの3作品	●第43回青年技術者 ●近畿地建営繕部
1997 vol.78	●建築のロングライフ化をめざして	●鉄ものがたり＊	●東海支部会員作品 ●金沢・倦壁―風土・文化とまちなみ・建築＊	●創立80周年記念/建築と私と社会―80人の眼―＊	●木造建築物の伝統技術とその将来	●住む空間の復興―法・制度の運用と新たな展開へ― ●住都公団関西支社	●素材の不思議 ●大阪ドーム	●新エネルギー ●住宅・都市整備公団改革への提言	●クロスワード都市OSAKA＊	●モザイク都市の住むかたち ●昭和設計40周年	●私の空間作法―会員作品―	●第44回青年技術者 ●京都駅ビル
1998 vol.79	●新しいまちづくりの予感 ●東畑建築事務所創立65周年	●Concrete ●九州とわたし、そして建築	●東海支部会員作品 ●信州―諏訪とその周辺―	●街並みの演出―最近の外構材料	●生活環境の安全・安心	●地球環境保全と建築	●心と体を元気にするインテリア	●建築設備―ビルメンテナンスの立場から	●建築への証言'98―21世紀に向けて	●ゆれをとめる―たえる技術からかわす技術へ	●私の空間作法 ●2001年の医療施設	●第45回青年技術者 ●駅とともに歩んだJR西日本の12年
1999 vol.80	●“らしさ”のデザイン ●建築を綴じる小骨なモノの仕掛人	●大阪市都市整備局	●東海支部会員作品'99 ●北信濃―街並み修景と地域文化の再構築	●都市のパブリック	●関西建築界の流れと東畑謙三の足跡をたどる	●大阪城天守閣平成の大改修	●改正建築基準法―まちづくり・すまいづくりへの展開―	●私の目でみた環境問題	●アーバンインテリア―都市空間としてのインテリア	●木とともに	●私の空間作法	●第46回青年技術者
2000 vol.81	●21世紀のデザインの動向を見る ●安井建築設計事務所創業75周年	●中国支部―しまなみ海道と中国地方の街づくり―	●東海支部会員作品2000 ●越中・富山―地域文化の振興と新たな施設づくりの流れ	●こころを癒す環境デザイン	●測る―測定方法と測定結果が意味するもの―	●スケルトン&インフィル	●改正建築基準法―パートII―	●100年後へのメッセージ ●日建設計創業100周年	●来世紀に引き継ぐ―わざ、もの、こころ―	●時間	●私の空間作法―会員作品― ●21世紀の高齢者の居住環境	●第47回青年技術者

＊は欠号

建築と社会 1 2003
ARCHITECTURE AND SOCIETY
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN
1917年創刊　第84集／通巻970号

CONTENTS

特集● 東畑建築事務所創立70周年

[挨拶] 創立70周年を迎えて●真塚逢夫 — 19
[年史] 応答する建築—東畑建築事務所の70年●山形政昭 — 20
[寄稿] 特集によせて●森田司郎／藤森照信 — 26
[作品] 最近の建築作品 — 28
小倉競馬場／横浜国際総合競技場／富山県西部体育センター／新日鐵大谷体育館／りょうまスタジアム／大阪商業大学　メディアセンター／帝塚山大学／瑞浪市立稲津中学校／芦屋市立山手小学校／明石市立西部市民会館・西部図書館／南コミュニティセンター　せせらぎ／滋賀県立成人病センター／済生会熊本病院　健診棟増築／宗像市総合保健福祉センター　メイトム宗像／成田市保健福祉館／しあわせの村　介護老人保健施設　リハ・神戸／横浜市障害者スポーツ文化センター　横浜ラポール／さいたま新都心合同庁舎／大阪市浪速区役所・浪速保健センター／大阪産業創造館／大阪府民共済ビル／三重会館／イオン倉敷ショッピングセンター／ダイヤモンドシティ テラス　ショッピングセンター／西荒神地区第一種市街地再開発事業　テリハ広島・広島市留学生会館／豊中駅西口地区第一種市街地再開発／アーバンラフレ星ヶ丘／波賀町メイプルプラザ／竹田市温泉施設　花水月／桜井市立図書館／五色町立図書館／松下電器産業株式会社　人材開発センター研修所／大阪女子短期大学・高等学校／徳島県警察学校／大阪府警察学校専科教養部／神奈川県産業技術総合研究所／アース製薬研究棟／なにわの海の時空館／奈良国立博物館文化財保存修理所／高鍋町美術館／熊本産業展示場　グランメッセ熊本／横浜市環境事業局 鶴見工場／名古屋市大江破砕施設／大阪城天守閣「平成の大改修」／東京都大田区役所本庁舎／大阪市水道記念館／聖書キリスト教会　東京教会／劇団四季ミュージカル／イオン四日市北ショッピングセンター／岡山県陸上競技場／（仮称）田原本町総合生涯学習センター／新長田駅南第1地区震災復興　第二種市街地再開発事業／フォレストレイクひばりが丘／都市基盤整備公団　汐留日街区超高層住宅／菅原町地区第一種市街地再開発事業／神奈川県立かながわ保健医療福祉大学　（仮称）特定事業／（仮称）滋賀21会館整備PFI事業及び合築事業／当新田環境センター余熱利用施設整備・運営PFI事業
[寄稿] collaboration with Tohata●Paul Andreu／Hugh Dutton／Mark Facer — 68
[提言] 都市再生への取り組み — 70
[座談会] 未来に向けてのデザイン●林　昭男／松村孝治／八杉政一／林　明宏／佐伯　博／近藤一雄／弓崎幸治 — 72
[年表] 東畑建築事務所70年の歩み — 81

年頭のことば　2003年を迎えて●金多　潔 — 1
本年の抱負　常設委員会●設楽貞樹・上原正行・片倉健雄・川村眞次・和田克朗 — 2
会告　平成14年度建築工事実務講習会 — 3

作品作風
静岡県富士水泳場 — 6
テレビ宮崎 — 8
マリンパレスかごしま（鹿児島県市町村職員共済組合宿泊施設） — 10
大阪市環境事業局平野工場 — 12

gallery　つくる楽しみ育てる喜びも一緒に（藪内秀美）●池上　明 — 14
建築の眼　都市環境クリマアトラス（都市環境気候図）●森山正和
奈良に住むコト●千葉桂司
発熱する建築●大高一博
ボルノウ「人間と空間」（せりか書房1978年刊）●樫原健一 — 16
法令コーナー　指定確認検査機関と建築行政の新たな取り組み●細川勝國 — 84
構造の頁　弱アルカリ型地盤改良材●山田哲司 — 86
設備の頁　ガスエンジン・マイクロコージェネレーションシステム●吉本　博 — 87
やさしいケンチク数学ばなし　ラクダの分配ばなし●山田　修 — 88
REPORT　林雅子大阪展—建築家　林雅子●山本喜美恵 — 89
シンドラーとは誰か●塚口眞佐子 — 90
司馬遼太郎と建築●中西　稔 — 94
デザインコンクール　第48回工高生デザインコンクール—設計課題：駐輪場 — 96
information　「アルヴァー・アールトの住宅」関西展と講演会.ミース・ファン・デル・ローエ vs ル・コルビュジエ」展.浪花画壇の悪魔派（デカダン）「北野恒富展」.太陽光発電建築デザインコンペ.2003年版カレンダーをプレゼント.第34回中部建築賞表彰作品決まる. — 100
月間の動き　平成14年11月分 — 102

今月の表紙

表紙デザイン／田村昭彦
企画／倉測奈千子
建築写真／河合止揚

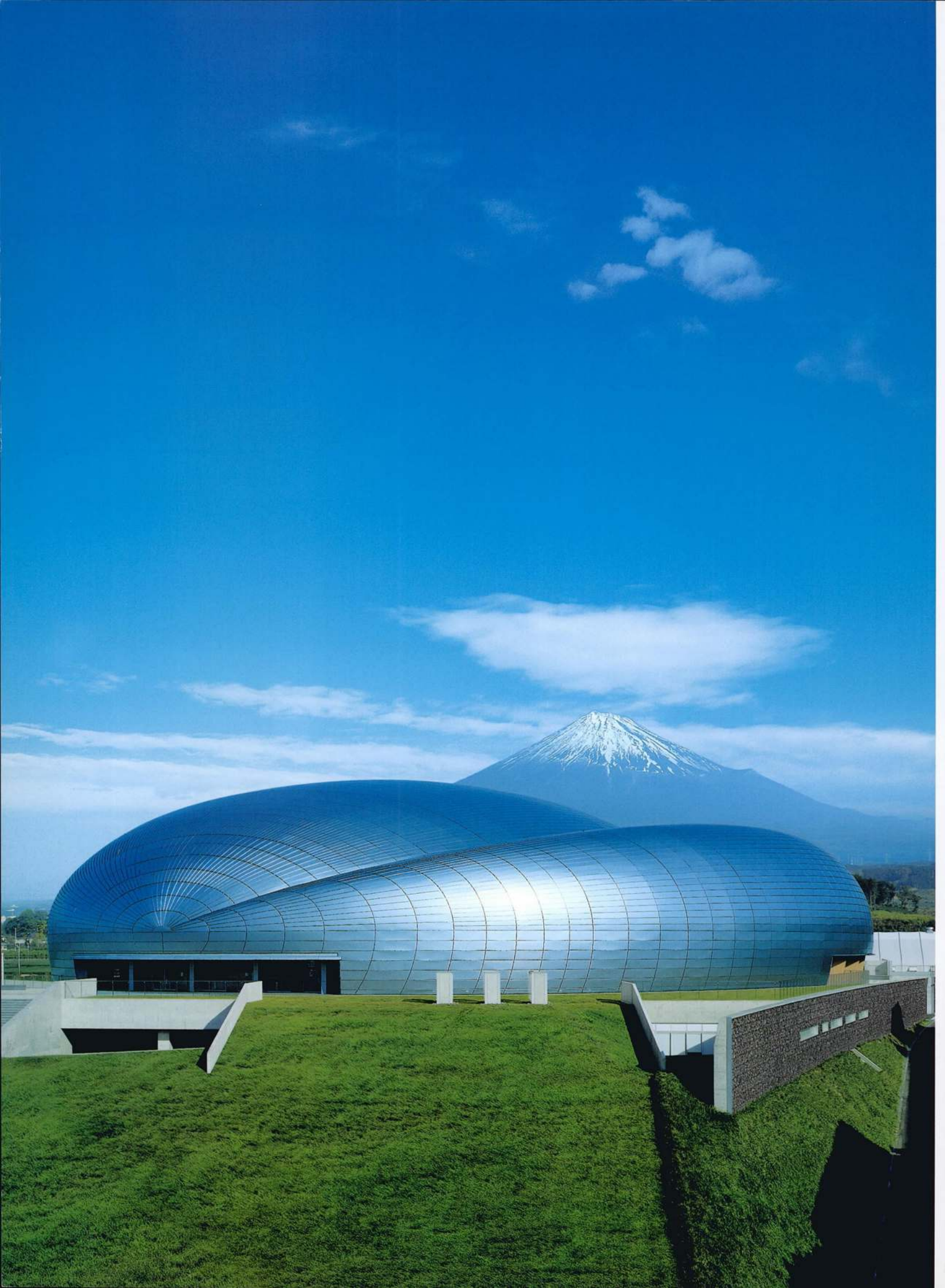
●東大阪市旭町庁舎（旧枚岡市庁舎）
設　計／坂倉準三建築研究所
施　工／三井建設
竣　工／1964年3月
所在地／東大阪市旭町１－１

●今回、この文を書くために手にした「新建築」64年８月号を見てびっくり。表紙が同じようにこの建築の階段を見上げた写真なのである。現在でも十分に美しいこの階段を、当時の写真家は驚きと感動を持ってカメラを構えたのだろう。
建築は竣工当時と多少使われ方が変わっているものの全く現役で、撮影している間も図書館に訪れる市民や職員が通り過ぎて行き、にぎやかである。また、何人もの清掃の女性がこの建築の感想をしゃべって行く。彼女たちはこの建築と過ごすことを楽しんでいるようであった。
（河合止揚）

■特集予告
２月号／九州（仮称）
３月号／東海支部会員作品
愛知・名古屋—文化、産業と建築を振り返る—

編集委員会（平成14年度）
■副会長　※河井　康人
佐野　吉彦　河津　隆之
與謝野　久　近藤　国夫
■編集担当理事　近藤　正一
井上　豊　田ノ畑好幸
上原　正行　桝井　貴廣
岡田　聿之　丸山　和夫
◎設楽　貞樹　村上幸三郎
竹中　統一　山根　敏和
畠山　祐治　□施工材料分科会
広原　盛明　植田　実
堀田　修二　小椎八重猛
松村　慶三　※竹中　秀文
■特集小委員会　太刀川丈爾
□計画分科会　平野　剛
★計画系　横山　芳幸
伊縫　憲幸　吉田　正友
梅田　善愛　□法令分科会
小浦　久子　※薄木　三男
※鈴木　克彦　大原　幸三
田中　直人　岡本　哲夫
紅谷　昇平　田村　俊郎
細田　浩史　中島　和也
松田奈緒子　溝上　貞二
松本　正行　■作品作風小委員会
吉村　英祐　赤木　隆
★建築計画系　淺尾　宏
荒木　宏之　朝倉　一晃
江副　敏史　居内　章夫
菅野　忠司　池上　明
小林　優子　井上　雅祐
桜井　則雄　川上比奈子
笹村　欽也　△倉測奈千子
静　茂夫　寺岡　宏治
所　千夏　中村　文紀
※野田　隆史　林　孝司
三村　和生　前川　治彦
★インテリア・住宅系　増田　敬彦
加藤　力　増田　俊哉
小梶　吉隆　山田　俊紀
佐藤　勝紀　■会員企画小委員会
田中　浩介　稲木　裕子
※高野　直樹　大谷由紀子
西田　和子　河崎　敦子
ベリー史子　清水　麗子
木山　仁　△髙岡　伸一
□構造分科会　髙田　光雄
大氏　正嗣　辰巳　清一
大音師　靖　塚口　明洋
大住　和正　辻川ひとみ
尾上　清治　福田　瑞穂
金田　興照　■広告企画小委員会
木下　隆嗣　荒本　俊明
白沢　吉衛　大迎　敏樹
住田　隆二　小幡　義明
田中　剛　小山　昭
※田渕　勝道　斉藤　治久
松村　和夫　田渕　博昭
向井　洋一　竹内　健介
吉川　真次　林　一彦
□設備分科会　古畑　健一
今井　泰司　前田　衛
梶井　宏修　△渡邊　浩文
◎委員長　△副委員長　※幹事

印　刷　２００２年12月25日
発　行　２００３年１月１日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　話　06-6348-0635
振替口座　00910-9-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
日本データネット株式会社
定　価　1200円〔本体価格1143円〕



作品

設計■
昭和設計

監理■
静岡県都市住宅部営繕総室営繕工事室・設備室
昭和設計

施工■
飛島・勝村・石井・中村共同企業体

静岡県富士水泳場

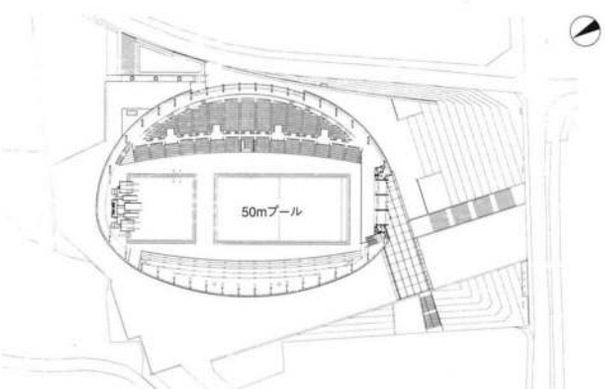
いにしえの歌人により詠われた“富士”。ここで育まれた清水が時を経て雄大な天の原に生まれ出る“滴”をイメージし、外観は鈍く光るダル仕上げのステンレス板とした。基壇部は天の原の雄大な風景に連続する芝の大地、敷地から掘り出された溶岩により構成することで、対比的に富士の自然、力強さを表現している。
内部は鉄骨梁を檜集成材でカバーすることで、鉄骨の防錆、結露対策という機能的な役割を持たせながら、連続した木のリズミカルな表現により、特徴ある形態を意識させることを狙った。この形態は、プールの軸線に対して基本的にシンメトリーとなるよう配慮されており、プールとしての機能と特徴ある形態をうまく融合させた空間となっている。
この地の歴史・自然に対峙しながらも、その中に溶け込むことで、この施設がいつまでも地域の人々の心に残る“詩”となり、ここから世界へ羽ばたく人材が育まれていくことを願ってやまない。

田児の浦ゆ　うち出て見れば　真白にぞ
　不盡の高嶺に　雪はふりける

天の原を望み　建物を思ひて詠める歌一首

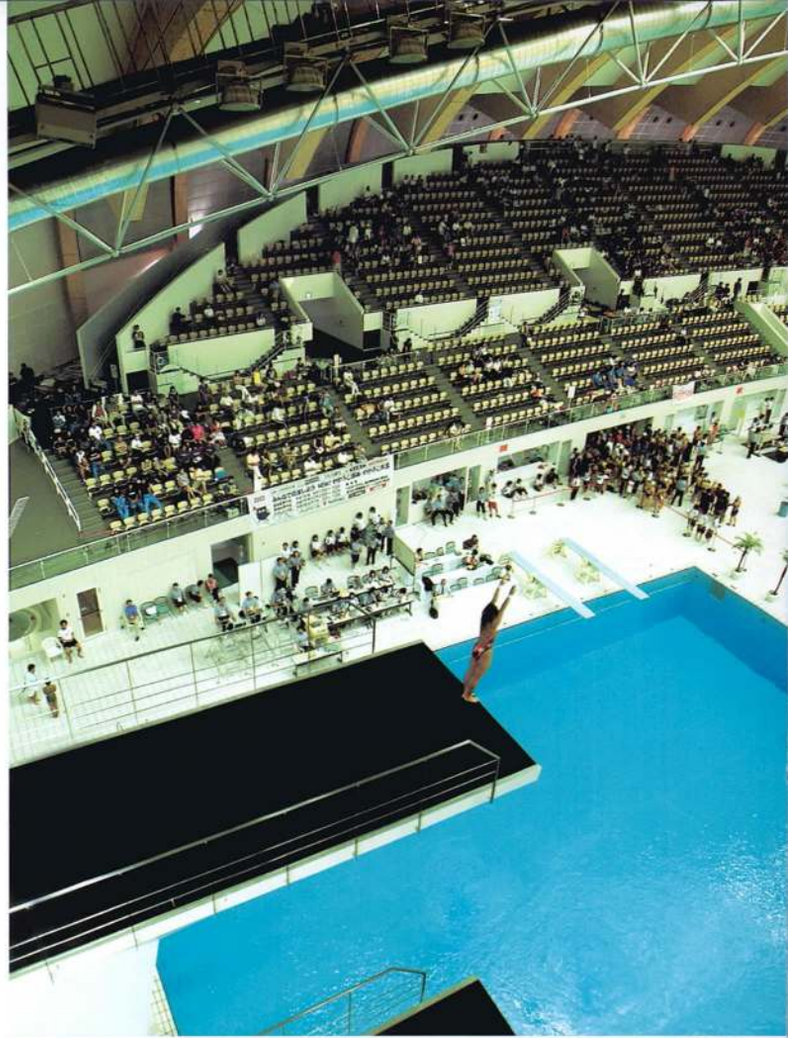
不盡の高嶺に　ふりおける　雪は春過ぎ　流れいづ
　神さびて　貴き不盡の　天の原
川面の枝の　ひと滴　落つると見えて　生まれいづるを

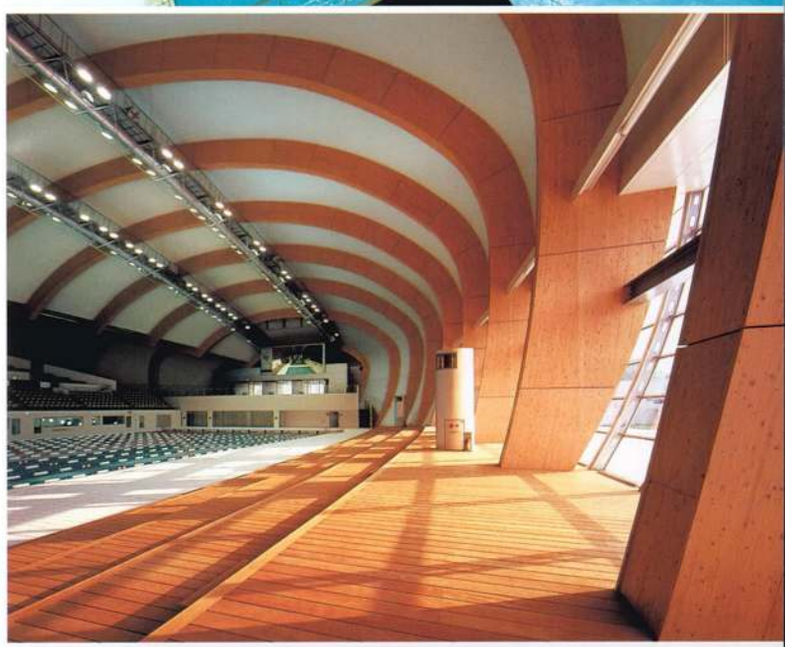
（松田善弘／昭和設計）



3階平面図　1：3000

所 在 地 ——静岡県富士市大渕266番地
敷地面積 ——25,000.00㎡
建築面積 —— 9,884.67㎡
延床面積 ——13,278.04㎡
構造希望 ——RC・SRC・一部S、B1F、3F
工　　期 ——1999年10月～2002年3月
最 寄 駅 ——東海道新幹線・新富士駅
撮　　影 ——東出清彦









作品
作風

設計・監理■日建設計
前田設計（意匠の共同設計監理）

施工■鹿島・志田・増田JV（建築）
九電工・九南・明光社JV（電気）
三機工業・ダイキン空調宮崎・生目設備JV（機械）

テレビ宮崎

・公園と一体となった緑

建物は敷地の南側に寄せて三角形の平面とし、開かれた放送局として来訪者を迎え入れる形態とした。敷地の県道沿いはワシントンヤシを主体とした植栽とし、南国宮崎特有の風景をつくり西側出水口公園の緑と視覚的に一体に見せることにより敷地を越えて見渡せ広々とした感じを来訪者に与える工夫をしている。

・ハイテク・ハイタッチなデザイン

直角三角形をデザインコードとし、新しいデジタル化時代の情報発信基地にふさわしい、外観とした。南国宮崎の強い日差しを遮蔽するルーバーとハイテクなイメージを与えるアルミの外装に加え、本社ビルとしての風格も合わせ持たせるため１階廻りにはアクセントとして花崗岩を使用した。１階喫茶室前には池を配し、３階社員食堂は木質調の材料とするなど暖かみを持った空間とした。アンテナタワーは水平方向を強調した建物本体に対し、垂直方向にシャープに力強く伸び、情報文化ゾーンのシンボル的形態としている。

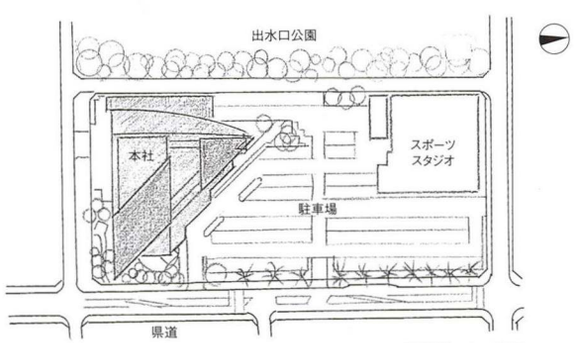
・機能的でフレキシビリティの高い施設構成

各部署間のコミュニケーションの充実を図り、放送関係諸室を集中させ機能的な配置とするため、事務室と放送関係諸室を２階にまとめワンフロアー化し合理的な計画とした。

・放送のノンダウン化

敷地を周囲より嵩上げし、石垣を周囲に廻すなど一次的な水害対策はもちろんのこと、建物１階廻りの開口部の整理と防潮対策を考慮している。また、万が一の災害時に備え、設備の二重化や電気室や放送機能に必要な設備スペースを３階へ設けるなど放送の建物側でのノンダウン化を図った。

（赤木　隆／日建設計）



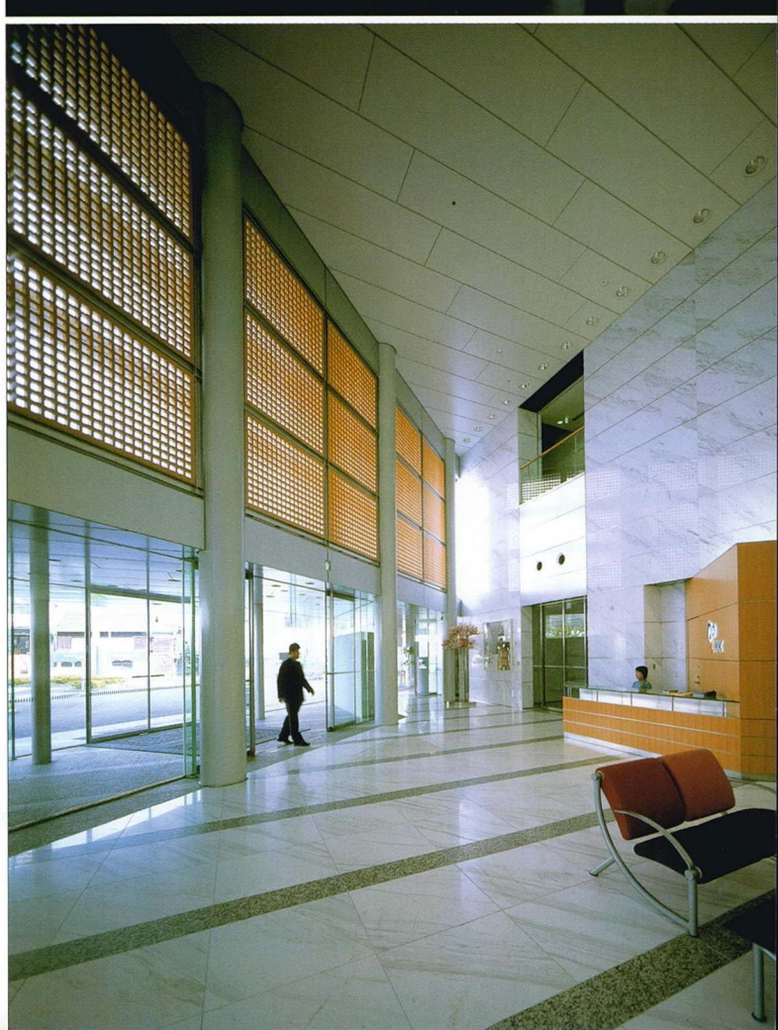
配置図　1：3000

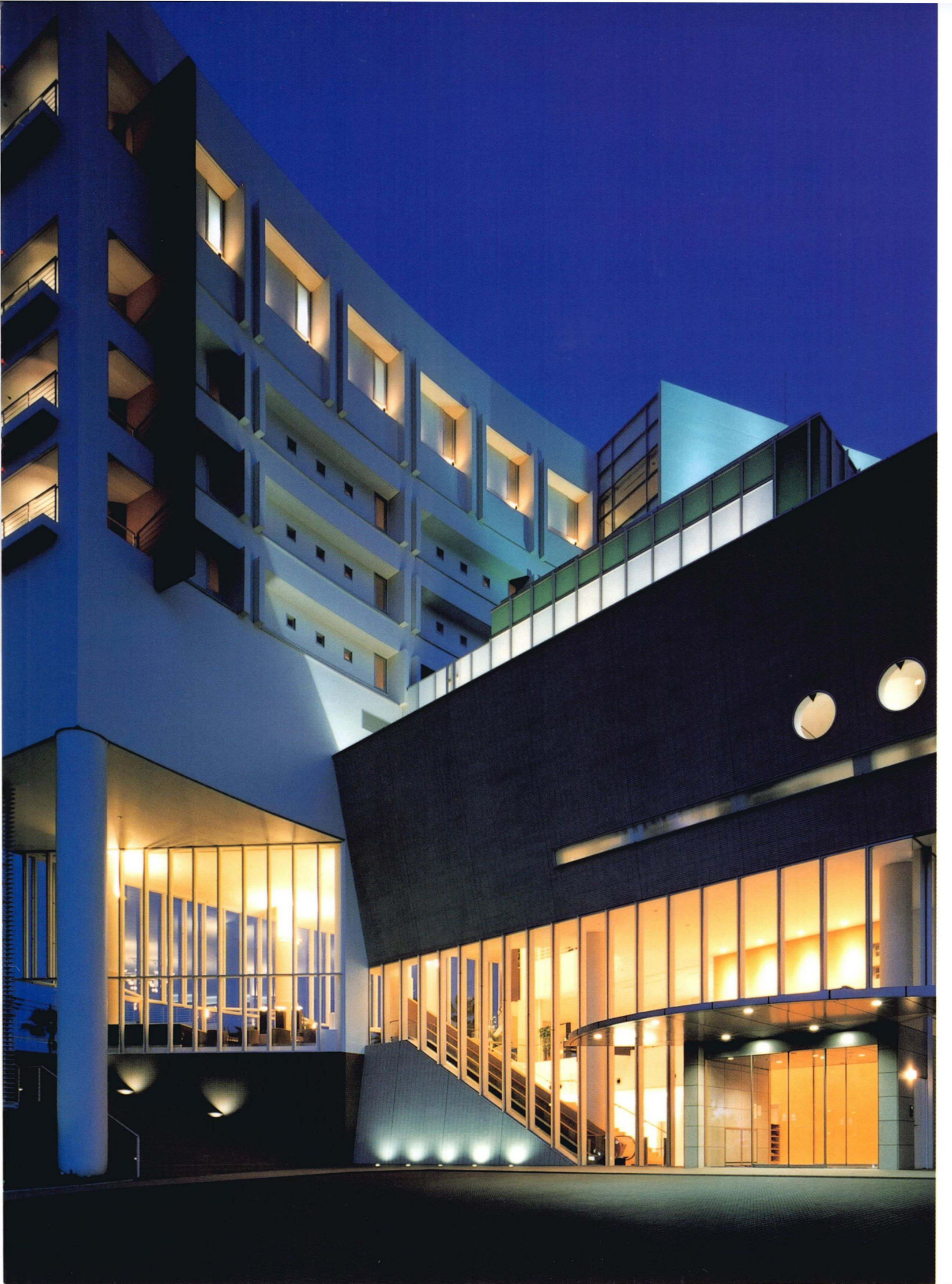
所 在 地 ——宮崎県宮崎市祇園2丁目78
敷地面積 ——12,108.56㎡
建築面積 —— 2,575.81㎡
延床面積 —— 5,544.05㎡
構造規模 ——SRC・S、3F、PH1
工　　期 ——2000年３月～2002年６月
最 寄 駅 ——JR宮崎駅
撮　　影 ——東出清彦

左頁：北西より見る
右頁上より、北側より見る／１階の喫茶室／エントランスホール









作品
作風

設計・監理■
久米設計・池田設計共同企業体

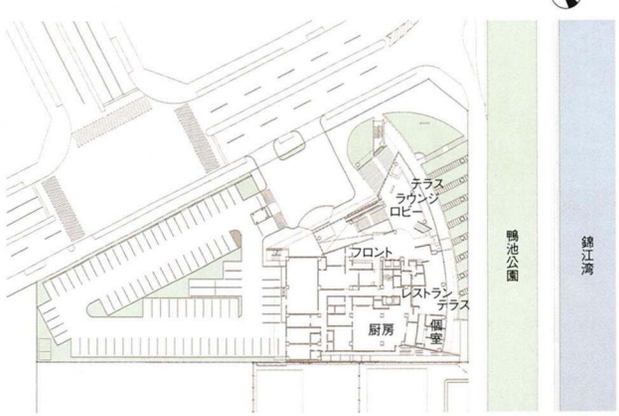
施工■
鴻池組・東洋建設・岩田組・米盛建設共同企業体

マリンパレスかごしま
（鹿児島県市町村職員共済組合宿泊施設）

本施設は、鹿児島市城山町にある城山会館の老朽化に伴う、移転新築計画である。

敷地は、鴨池公園をはさんで錦江湾と接し、桜島と正対する絶好のロケーションをもつ。この鹿児島ならではの景観を最大限に活用し、リゾート感あふれる宿泊施設として、ビジネス・レジャーを問わず利用者が快適で華やかなホテルライフを満喫できる施設を目指した。また、桜島と錦江湾のもつ明るく、豊かで、たおやかなイメージを素直に表現したデザインとし、施設としての品格（重厚さ）と開放性（軽快さ）の両面をあわせもつ施設計画とした。

施設構成としては、海に面して、大きな弧を描く形態とし、全ての諸室から眺望が得られる配置とした。エントランスホールから連続した2階をメインロビーとすることで眼前に広がる錦江湾と桜島が望め、最上階の展望風呂に至るまで各フロアから南国のもつ活気とゆったりとした時間の流れを感じることができる。客室は全室オーシャンビューとし、全面ガラス窓とテラスバルコニーを設けた開放感あふれる空間としている。内外部とも強い陽差しを意識した陰影のあるデザインと質感のある材料を用いると共に、落ち着いた雰囲気をもつ素材と家具、照明計画とすることでリゾートらしさの演出を図り、日常からはなれたゆとりの時間を楽しめる、快適な空間づくりを目指している。　（豊永正登・根本大祐／久米設計）



2階平面図　1：2000

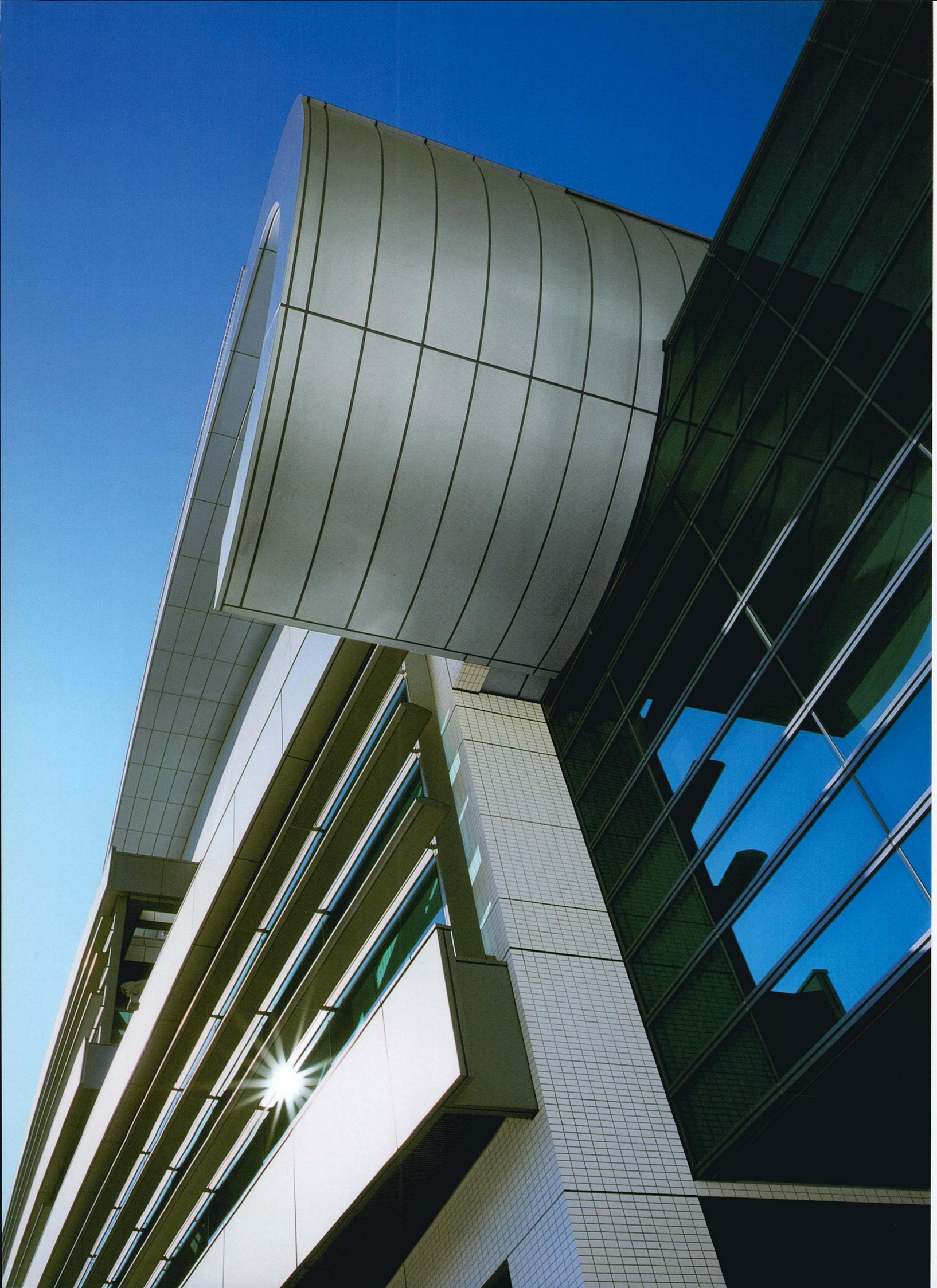
所 在 地 ——鹿児島県鹿児島市与次郎2丁目8-8
敷地面積 ——5,809.60㎡
建築面積 ——2,119.99㎡
延床面積 ——8,155.85㎡
構造規模 ——SRC・一部S、8F（最高部高35.9m）
工　　期 ——2000年7月～2002年3月
最 寄 駅 ——JR鹿児島本線・西鹿児島駅
撮　　影 ——小林研二写真事務所、アイオイ・プロフォート（鹿児島）











作品
作風

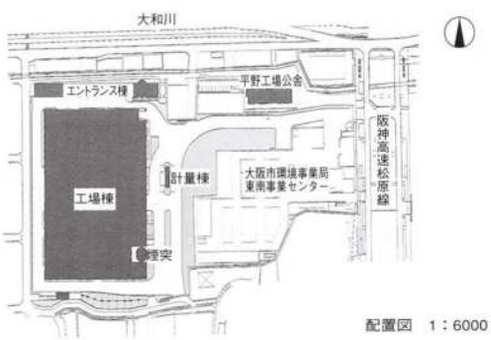
設計・監理■
大阪市住宅局営繕部
大建設計

施工■
建築：熊谷・戸田・青木・村本特定建設工事共同企業体

大阪市環境事業局平野工場

この施設は大阪市平野区の南部に位置し、大和川と阪神高速松原線に接し西は住宅地・南は田畑が広がる環境下にあります。
旧施設の老朽化と新たに規制されるダイオキシン類の排出抑制対策等、環周辺地域の環境保全に資する必要の為、建替えによる新たな900トン／日の処理能力を持つごみ焼却施設が計画されました。
周辺地域が今後整備されていく中で、景観上配慮が必要であり外観デザインコンセプトとして「クールナチュラル&モダン」を挙げ「自然と近代的（機能的）なもの」が融和したシンプルで地域環境に違和感や圧迫感を与えない調和のとれたデザインを目指した。
平野工場の外観を特徴づける大きく弧を描く２枚の重なる屋根のスカイラインは、工場の機能に必要な内部空間から構成されるスーパーボリウムを外観デザインのベースとして、大和川に吹く「風」をキーワードに自然環境イメージを具現化しシンプルでモダンな景観を創出した。外装材の選定については、屋根材をフェライト系ステンレス（フッ素樹脂加工）のシーム溶接工法、外壁は光触媒作用によるセルフクリーニング効果のあるタイルを使用し、メンテナンスフリーで且つ環境に配慮した材料を選択した。
色彩計画についても、外部はそのコンセプトから白色を基調とした２種類のタイルを使用して、清潔感とヒューマンスケールに対して配慮した。内部は、特に見学者コースにおいて、楽しさと発見、ヒューマンな優しさ、自然のうるおい感等、目に心地良い色彩と木調マテリアルの持つ暖かさ、そしてモダンなフォルムとの組み合わせによる表現によりアメニティな空間を演出した。
この施設が、環境に対して地域住民の新たな認識と理解を得て、地域の発展を促すものとなることを願います。

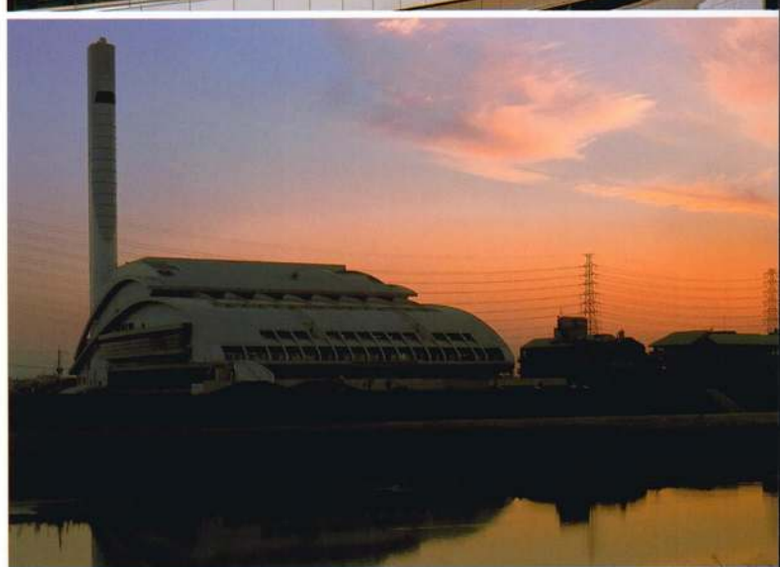
（四方　健・安藤英樹／大建設計）



配置図　1：6000

所 在 地 ―― 大阪市平野区瓜破南1-3
敷地面積 ―― 27,214.28㎡
建築面積 ―― 13,076.02㎡
延床面積 ―― 43,076.59㎡
工　　期 ―― 1998年３月～2002年７月
最 寄 駅 ―― 大阪市営地下鉄谷町線喜連瓜破駅からバス５分、瓜破南下車
撮　　影 ―― 伊藤　彰







gallery

つくる楽しみ 育てる喜びを一緒に

環境共育プランナー
藪内秀美

建築の設計や
造園・まちづくりの計画を経験し、
今、新たに
環境共育の世界に！

参加のデザインを模索しつつ、
人と自然のコミュニケーションを
自然のなかでのワークショップ
を通して提案しています。

風が見える
風を感じる

そんな素直な感覚が味わえるかな。



■庭作りワークショップ■
～自分でつくる庭に、チャレンジ！～

ガーデニングは、
自身と共に植物が成長する喜びが感じられるもの。
その経過は一人ひとりの記憶となり、
綴れば一冊のウィンド・ノートに！
ワークショップでは、
自分でつくる庭にチャレンジできる可能性を、
提案しています。
さぁ、素敵なあなたらしい庭を！

藪内秀美（やぶうちひでみ）
1964年大阪生まれ。
アーバンガウス研究所、環境事業計画研究所を経て、「みどりと絵本の企画舎Wind Note」を開設。“つくる楽しみ・育てる喜びを一緒に”という気持ちを大切に、自然と絵本に関わる企画などを通して、自然とのコミュニケーションを提案している。
近江八幡市在住。
URL:http://www.bcap.co.jp/ww-note/

企画編集―池上　明（作品作風小委員会）



■森の絵本づくりワークショップ■
～心を澄ませて絵本づくり～

絵本づくりワークショップは、
自然との関わりを体験するなかから、
世界で一冊のあなただけの絵本を作る仕掛けを
提案しています。
参加者同士の交流による相互の刺激により、
いろんな気付きが生まれ、
素敵な絵本が作れれば！



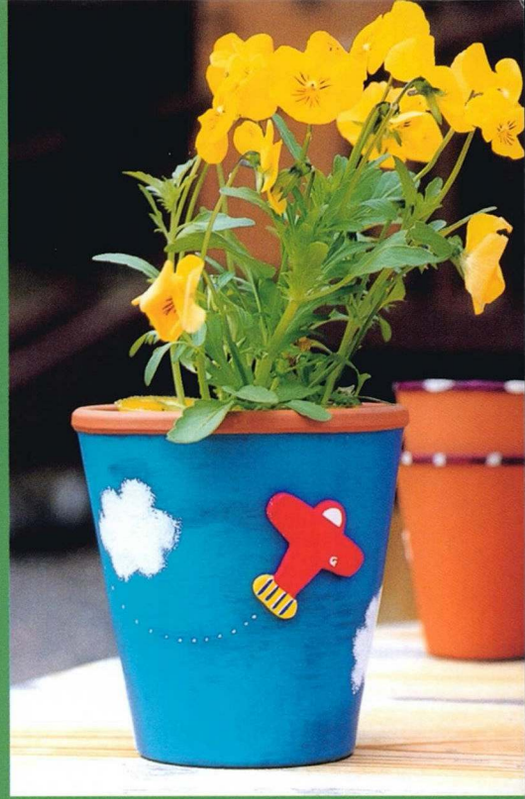






■マイ・ポットでガーデニング教室■
～一鉢からはじめる！ガーデニング～

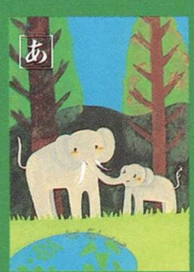
植物にとって鉢は家。
さあ、自分で素焼きの鉢に
お気に入りの絵をペイントして
素敵な家ができたら
その鉢にあなたの大好きな花の種や苗を
植えてみましょう！
育てるのはもちろん、あなた！





■環境共育ワークショップ■
～子供も大人も遊びながら自然とエコライフが学べるよ！～

『みず・みどり・みんなイキイキ元気カルタ』プロジェクトは、
琵琶湖の自然やこれからの暮らし方を
遊びながら考えられるカルタを使って、
ゲームを楽しみながら
身近な自然や環境、エコライフのことが学べたり、
札の裏にはその札の解説があって、
絵札は絵ハガキにもなっていて、
友だちに伝えることもできるよ！



どれくらい　昔にいたの？
アケボノゾウ



水上は鳥　水中は魚のすみかだ！
ヨシ原



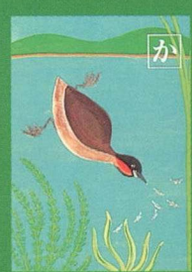
お庭の食いしん坊
ナナホシテントウ



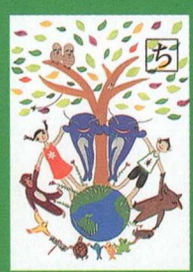
大きなアゴで
そこのけ　そこのけ
ノコギリクワガタ



黒羽に　赤いクチバシの
オシャレさん
バン



鳴のうみ　もぐってエサとる
カイツブリ



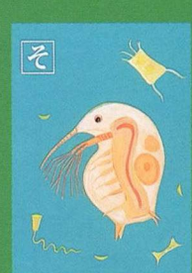
いきもの　みんな
地球家族



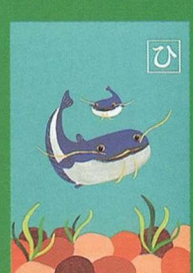
キラキラ輝く
折り紙名人
ルリオトシブミ



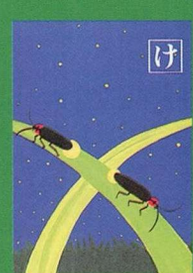
夜空の森の　ハンググライダー
ムササビ



小さいけれど
ゾウに似ている？
ゾウミジンコ



おひげが自慢！
琵琶湖の主だよ
ビワコオオナマズ



ピカピカと　光のメールで
プロポーズ
ゲンジボタル

都市環境クリマアトラス（都市環境気候図）

森山　正和

ヒートアイランド対策の議論が盛んに行われている。基本的には地表の改変と人為的な排熱が大きな原因とされている。対策もその２つの柱で考えられてきたが、あたりまえの如く第３の柱がある。それが「都市環境クリマアトラス（都市環境気候図）」による対策である。あらゆる土地はその土地のおかれた状況により特有の気候を形成している。その大きな影響を与えるものに地域循環風と呼ばれる海陸風や山谷風などがある。夏季の日中、沿岸に立地した都市は海風により冷たい気流がもたらされ、冷房負荷の上昇を抑えている。山に隣接した市街地、神戸や大阪北部・東部などは夏季の夜間、山風により気温が下がり暑さをしのぎやすい。海風や山風はあたりまえに周囲にある自然であるが、エネルギーコストや健康を考えると、その持つ価値は相当に大きなものである。

３年ほど前に「都市環境クリマアトラス――気候情報を活かした都市づくり」（ぎょうせい）という本を日本建築学会のワーキンググループから出版した。環境省のヒートアイランド対策に関する委員会では都市環境クリマアトラスを「都市環境気候図」と呼ぶことに決めてヒートアイランド対策の柱の一つとして検討している。

神戸大学工学部建設学科教授

奈良に住むコト

千葉　桂司

もう学生時代の話になるけれど、私が「群建築あるいは、建築の集合」に興味を覚えた最初のきっかけは、建築家・大高正人さんの講演であったと記憶している。「設計とは依頼された敷地の周りを一体に街をデザインすること」というようなことを話された。この話を大阪市大・建築学科の杉山教授にしたところ、教授も同じような記憶をもっておられて驚いた。建築と建築との関係、集まって住むかたち、そして街のなりたちや構造等々に興味は広がり、幸いにもそれが私の今の仕事と重なっている。以来、古い集落や歴史的な趣のある街並みを観て歩くようになり、仲間もできた。国の内外のこうした街を歩くとき、至福の思いが胸に満ちる。

私は今、奈良・生駒に住む。訳あって当地を選んだのではなく、大阪に出るに便利で地価がまだ安かっただけのこと。奈良近辺には観て歩いて飽きない街が、集落が、古道が、そしてそれを包む美しい山々が多くある。若い時からの興味が、この街に住むことを教えてくれたのかもしれない。

なぜ古き街、古き路は人をこれほどまでに惹き付けるのか。単に郷愁だけではあるまい。そこに積み重なった出来事や由来、関わった人々、今も生活を営む空間、そして温もりのある素材とデザインなどの遺伝子が、我々の遺伝子に語り掛け、思わぬ感動を呼び覚ますからかもしれない。街歩きは人を歴史家にし、詩人にし、そして環境デザイナーにすると思うがどうだろう。

都市基盤整備公団関西支社副支社長

発熱する建築

大高　一博

オフィスのOA化が話題になり始めたのが15年前くらいからだろうか。当時、専らオフィス用語であった情報ネットワークやLANは、今や学校・病院から住宅まで全ての建築に広がった。今年、ビル管理関係の協会が発表した日本全国、大小860件のオフィス調査によれば、サーバーを持つオフィスは半数を超え、一次エネルギー消費は10年前の２割増となった。

こうなってくるとオフィスの省エネも単純でない。普通オフィスの年間エネルギーは３割くらいが照明とコンセントにつながれたOA機器が占めると言われてきたが、最近の実測では６割を超えたビルが報告されている。あるビルなど真冬一週間のエネルギーのうち７割が照明とコンセントで、空調・エレベーター・給湯・厨房など残り全部を足しても３割しかない。これは最近はやりのコールセンターや銀行の電算センターのような特殊なビルの話ではない。ごく普通の数千㎡の中規模テナントビルの実態である。真冬というのに暖房エネルギーはほとんどない。OA機器と照明が電気ヒータになってビルを暖めている。だからこのビルの夏の消費エネルギーは冬の1.5倍近くに跳ね上がる。電気ヒータとなったOA発熱を、もう一度電気を使ってエアコンで冷やすからである。

こんなビルが都市に増えつづけると省エネは建築の話だけではなくなる。建物を断熱し、日射を遮り、効率の良い機械を選んでも、所詮それは年間エネルギーの数割を占める空調エネルギーをいかに減らすかの話で、残り半分以上の内、おそらくかなりを占めるOA発熱は建築ではどうにもならない。さて、どうするか。しばらくこの「発熱する建築」を考えていきたい。

日建設計大阪設備統括部長

ボルノウ「人間と空間」（せりか書房　1978年刊）

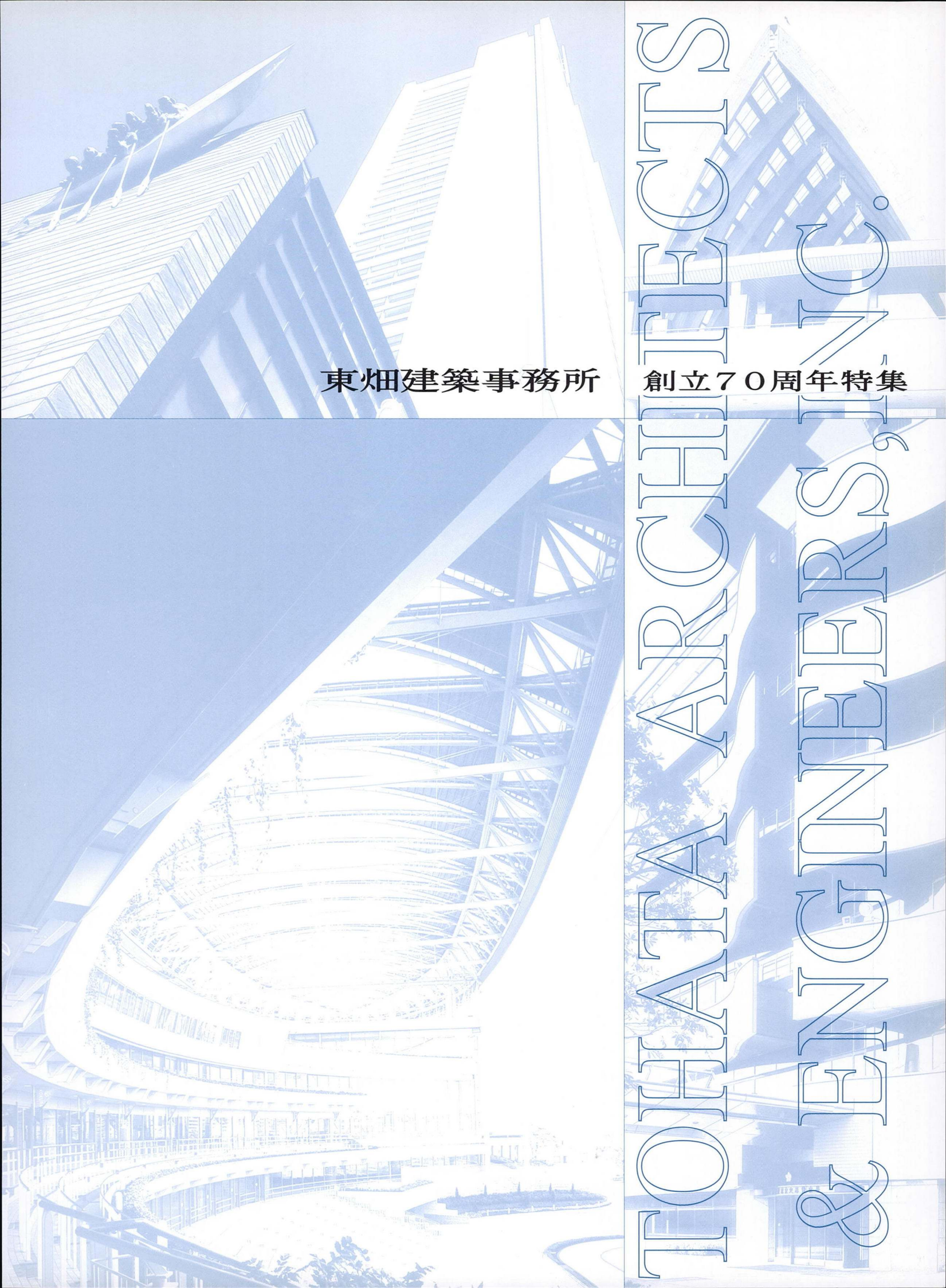
樫原　健一

今までどれほど多くの建築論が書かれてきただろうか。建築行為は人間存在の根本的な構えに関する事象であるから、優れた建築論はまさに人間の生き様を的確に記述し、未来へ向かって希望を見出させるものと言えよう。しかし優れた建築家が優れた建築論を書けるというものではないらしいことを、多くの読書体験を持つ人は知っていると思う。

ボルノウはハイデガーの指導を受けたドイツ現象学派の哲学者であるが、その語り口は具体的で分かりやすい。本書の存在を私に教えてくれたのはある若い建築家である。この本を座右の書としているというその建築家の設計する空間はヒューマニズムにあふれていると私には見える。けだし建築論の影響とはそうあるべきものであろう。さすらうとは、住まうとはなにか、家屋のやすらぎとは、住み心地の良さとは、建設行為とは……ボルノウはこのような課題に対して丹念に答えを書き、希望の空間論を見事に展開する。「住まうということは、一定の場所でそこをわが家としてくつろぎ、その場所に根を下ろし、その場所に適合していることである」（P.123）。

建築に夢を失いかけている人、何をなすべきかが分からなくなった建築家、そして自己満足に陥っている建築関係者にも勧めたい。

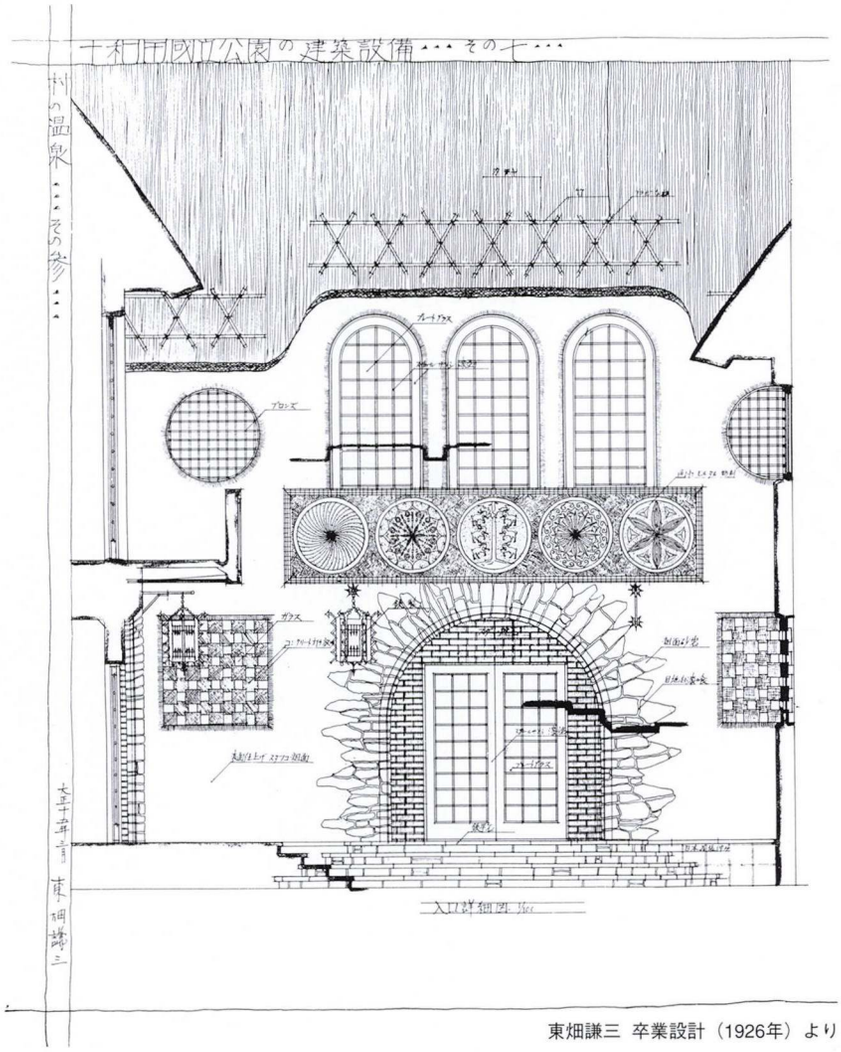
（株）鴻池組建築本部エンジニアリング部長



東畑建築事務所

創立７０周年特集

TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.



東畑謙三 卒業設計（1926年）より

おかげさまで東畑建築事務所は2002年12月、創立70周年を迎えることが出来ました。創業以来、今日まで実に6000件を超える建築の設計をさせて頂きましたが、このことは、長年にわたり多くの建築主の温かいご支援、ご愛顧の賜物と心より感謝を致しております。また日頃私共の業務推進の上でご指導、ご協力を頂いております関係各位にも厚くお礼申し上げます。

70年を振り返ってみますと、創業者東畑謙三が設計事務所開設前に、海外視察でアメリカの大自動車工場群を見て、産業施設建築の壮大さと合理的な設計に心を打たれ、「これからの建築家の行くべき一つの道はこれだ」との思いを持ったことが私達の原点です。東畑謙三は設計業務に対して、「機能的であること」「経済的であること」「保健衛生への配慮があること」を三つの柱に定めたと言います。今ではいささか古い言葉となったものもありますが、今日言われるcustomers satisfactionの本質を突いた言葉であろうし、「建築とは」、あるいは、「ひとと建築」「まちと建築」「環境と建築」を考えるためのキーワードであることに今も変わりはありません。

20世紀、日本の発展に伴い建築の世界も大きく膨らみ、私共の組織もそれに対応することで発展してきました。建築についての芸術論、技術論、再生論、大きくは環境の創造と破壊、果ては倫理性についてまで、あらゆる形で問題は常に投げかけられ、各々所員は日常の業務の中で、逐一それらに対応してきました。

更に現在はそうした建築本来のテーマの上に、20世紀末以来の大不況という別の次元の暗い雲が建築界全体に覆い被さっている状況です。しかし、これは云い方を変えれば、暗雲立ち込める中、21世紀において建築設計とは何かを改めて見直す機会であり、新たな時代の社会環境に対応できるものへと、設計組織の体勢を変革すべき問題であることはご承知の通りです。

「日本人は問題が分らなくなるとすぐに、これは構造問題だと言う癖が昔からあるんだよ」これは創業者東畑の長兄、東畑精一先生の皮肉混じりの名言です。今日ではこれに「すぐに構造改革だと言う」…と続くのでしょうが。

それはさておき、私達はこの言葉を警句として心に留め、今後の設計業務は如何にあるべきかの検討を重ねています。一方で、構造問題がどうであれ、建築の設計とはクライアントの大きな設備投資に協力し、人様のお金で自らの思想を形にするという、責任重大でかつ素晴らしい職業であることは、いつの世にあっても不変です。

設計者として自らの立場を弁えて事に当るよう、また、設計組織として共通言語を持ち意思統一を図るため、私は常々、次のように所員に発信しています。

「クライアントの満足度を最大限に重視」
「社会のニーズを読み取りいち早くこれに応える」
「建築や都市計画の設計行為による新しい価値の創出」
「社会的評価を受ける質の高い建築を目指す」
「建築の実現に技術力で応える」
「社会のストックとなる建築の維持管理を提案していく」
「品格、倫理性を大切に」

こうしたフレーズを踏まえたうえで、建築家個人でも大所帯の組織事務所でも根本では同じ、Casa BRUTUS誌で云われた「世界で一番おしゃれな職業、なんたって建築家！」でありたいものです。

終わりに、今後も各界の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

東畑建築事務所　取締役社長　眞塚　達夫

応答する建築－東畑建築事務所の70年

山形政昭

株式会社東畑建築事務所（東畑事務所と略記する）は2002年創立70周年を迎えた。周知のように、1932年、東畑謙三により大阪北区の堂島ビルで創設されて以来、発展をつづけ、大阪を拠点に東京、名古屋、九州の事務所のほか、各地に支所を置き、所員300余名を有する建築事務所として斯界に名を馳せている。

そして先年の1998年春、創設者東畑謙三の訃報に接した時、関西建築界における文字通りの重鎮の席に大きな空隙が生じたように多くの建築人が感じたという。実際1960年代に早くも100名を越えた規模の事務所を率いる一方、日本建築協会の第４代会長に就き、協会の創立50周年記念の事業を推進したのをはじめとして、氏の関西建築界における大きな功績は知られるとおりである。そして1980年代以降、代表が市川宏氏、眞塚達夫氏へと継承されるなかで、東畑事務所は着実に発展し、今日に至っている。

この東畑事務所の業績については、本誌上でこれまで度々紹介されており、1982年の50周年記念作品集、1993年の60周年、1998年には65周年の特集が組まれてきた。そして本年は東畑謙三生誕100年にあたる年であり、ここでは近現代史的な視点より70年の歩みと特色を述べてみたい。 なお、東畑謙三に関しては近年発刊された、布野修司監修による『待てしばしはない―東畑謙三の光跡』（『東畑の光跡』と略記する、日刊建設通信新聞社、1999年）がある。そのなかで広汎な史料の紹介とともに、対談の記録、田中禎彦氏の論考など多面的に編まれたものがあり、この小論のための底本的文献としたものである。

伝えられるように、東畑謙三は自らを「建築技師」さらには「構成技師」と呼び、「建築家」と称することを望まなかったという。つまり独自の新しい表現を建築に求めることの多いアーキテクトの意識とは、異なる立場に立つことを矜持としていたように思われる。そのため話題となる建築作品を追うジャーナリズムの目を意識せず、という泰然とした姿勢が逆に個性とみられていた。だからといって知られる建築が少ないわけではなく、大阪駅前そして京都駅南口地区の再開発事業などにより関西諸都市の枢要部を形成してきたこと、加えて独自の分野として1970年代の大阪市環境科学研究所から筑波研究学園都市の国の諸研究機関、近年の大阪府立産業技術総合研究所等、産業、研究施設の作品の数々を残していることなど広く知られるところである。

先の『東畑の光跡』のなかで、眞塚氏は東畑事務所の歴史を次の４期に分けている。

1932～1945年の草創期。1945～1982年の発展期。1982～1997年の成熟期。1997年以降の新生期。つまり東畑謙三による個人的事務所の時代。規模拡大と主任技術者の時代。東畑謙三会長、市川宏社長の時代。現在に至る眞塚社長の時代とする組織面での区切りである。無論、この流れの中に、時代を反映した設計業務、建築作品の特色が表れているのであり、以下この区分を軸に東畑事務所の70年を展望する。

草創期（1932～1945）

東畑謙三は1902年（明治35年）、三重県一志郡豊地村の素封家東畑吉之助の三男に生まれた。1923年に京都大学建築科の４期生として入学、氏の回想によると科長武田五一先生の製図、天沼俊一先生の歴史、坂静雄先生の構造、それに新任の森田慶一先生の授業が印象に残るという。卒業後大学院に進み数年の研究生活を送る。そこで東畑の資質を発揮した２つの仕事が知られている。

一つは、建築学教室が発行していた『建築学研究』の執筆編集が託されていたこと。語学に長けた東畑は、そこでコルビュジェの紹介や、バウハウス叢書のなかにあるドゥースブルフの『新構成芸術の基礎概念』の全訳をして紹介するなど、新しい建築思想に傾倒していたこと。そして一つは、武田五一の下に来た東方文化学院京都研究所の設計に関わり、設計から工事監督までやり遂げたことである。それによって、設計実務への興味と、歴史学者の浜田耕一との出会いにより歴史、芸術への関心を広くしたことである。

東方文化学院京都研究所（現、京都大学人文科学研究所、1930）の建築は、南欧の僧院風をイメージしたといわれるように、中庭を配したスパニッシュ様式による５階建て、内に膨大な蔵書をもつ研究施設で、その意匠には東畑の卒業設計「十和田湖国立公園における建築設備」に通じる、分離派的ロマンティシズム溢れたもので、独立前の氏の設計実務における力量を余さず表わした作品であった。その竣工の年、東畑は縁を得て、岩井産業株式会社（現、日商岩井）の創立者でもある岩井勝次郎の長女博子と結婚。そして７ヶ月の欧米建築視察の旅に出る。事業家として時勢を見ていた岩井は、旅立つ東畑に「向こうへ行ったら美術建築とか住宅とかはいくら見てもはじまらない。住宅はある個人の思想が入るし人間が小さくなる。それよりも産業的な建築、つまり工場を主として勉強してくるとよい」と、助言を与えたという。

東畑謙三建築事務所

欧米旅行より帰った1932年（昭和７年）12月、東畑は30歳にして東畑謙三建築事務所を開設している。その世代のすぐ前には、東

京で分離派を立ち上げた堀口捨己らの活動があり、すぐ後には、コルビュジェを目指した坂倉準三や前川國男らのモダニズム世代がつづいていた。

東畑の立った昭和初期、大阪の建築界はどういう時代であったか。生前の東畑の談として、石田潤一郎氏が書き留めているところによると、当時、関西建築界の大立者として片岡安、武田五一、渡辺節、松井貴太郎があり、安井武雄、村野藤吾らが次の世代のホープと見られていたという。（「関西建築界の巨人たち」『建築と社会』1999年5月）

つまり関西建築界を統括してきた片岡建築事務所（元、辰野片岡建築事務所）が在り、その下より、先に伊藤正文が大阪市営繕課に移り、そこにモダニズム路線を敷いており、つづいて独立した安井武雄は大阪ガスビル（1933）で脚光を浴びようとしていた。片岡自身はその頃、事務所を石本喜久治に託して商工会議所副会頭に収まるなど政財界活動に重心を移していた。そして渡辺建築事務所の名作となる綿業会館（1932）の設計を期に、1929年に独立した村野藤吾は森五商店ビル（1931）の設計でオフィスビル建築に新風を巻き起こし、つづいてそごう百貨店に着手していた。松井貴太郎は三井関係の仕事を主としていた横河工務所大阪事務所の代表で、渡辺建築事務所と並んで米国式を範としたオフィスビルの名手であった。加えて設計組織として大をなしていた住友営繕では、大阪証券取引所の仕事を期に、1933年長谷部竹腰建築事務所が独立しようとしていた時期であった。当時我国経済の慢性的不況がさらに深まるなかで、工作部の廃止が求められての変革であったという。正に社会が混迷の兆しを見せ、建築界の世代交代、組織の変革が進み、一方で機能主義に導かれる新しい建築が台頭しつつある時代であった。

東畑は「自分の道を開く」ために、米国のシカゴ、デトロイトで目にしたアルバート・カーンの鉄骨造による大規模工場を範とした産業建築、工場建築を目指したという。その計画通り、独立後には中央毛糸紡績（東亜紡織）と呉羽紡績（東洋紡績）を皮切りに日本各地の紡績工場、八幡製鉄の工場、さらに天津や台湾の仕事も伸ばし、工場建築の先駆者としての実績を下に東畑事務所を確立していった。

その途上、戦時中には軍の仕事に追われたこと、そして戦後に至っては、工場の再建に活躍し、産業復興の中で成長拡大を果たしていく。

こうした当時の建築歴を埋めている工場建築は近年殆ど姿を消しており、存続するものはわずかである。社屋、生産施設に加えて、社宅群、厚生施設等を配し、小都市にも比せられるこうした大規模工場建築の記録は工業近代化の遺産として遺例があれば記録を残したいものである。

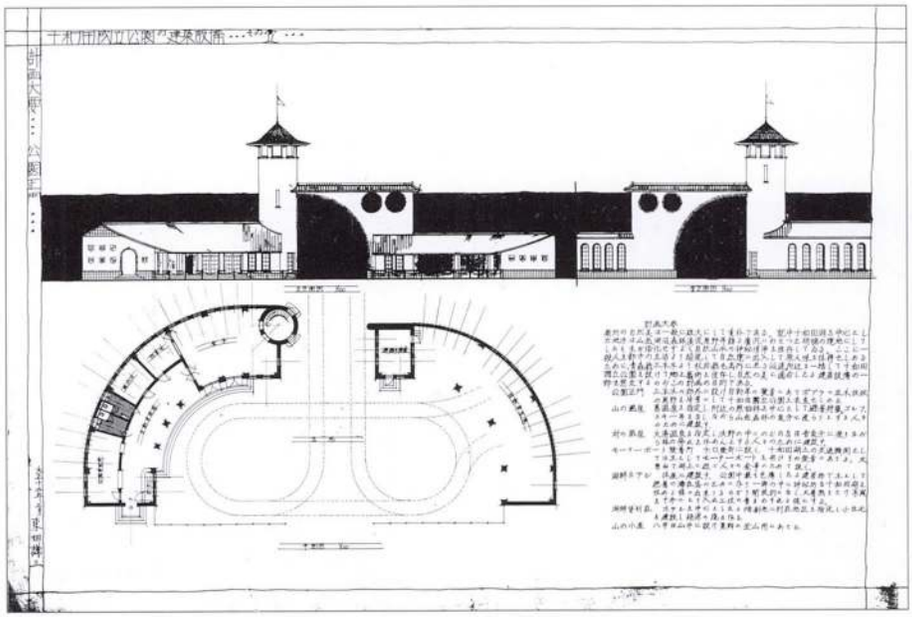
作品として現存する工場建築は少ないが、東畑はその設計論としての数編の文章を残している。その一つに「工場建築の二つの行き方」（『建築と社会』1940年）がある。アルバート・カーンによる米国ダッヂ自動車会社の工場と、ドイツの純理的性格を代表するというオスタスによる食品製造会社の工場を例にあげ、工場建築がどのように生産システムに関連するかを説き、それに向かう設計の理念について言及している。広く見ると、工場建築とは生産システム（時にそれは変化する）が要求する機能に従う形態、つまり形態への合目的性に則した建築といえる。そこに東畑は近代において探求すべき自らの課題を見出した。建築を機能、及び部位による構成とみる合理主義が、観念的な思想に留まらず、建築活動の実践を通して東畑事務所の設計思想として継承されていく。

発展期（1945〜1982）

今日に至る東畑事務所の組織的基盤を形成し、その建築業績によって名声を確立させた、戦後のほぼ半世紀である。この時期を二分



東方文化学院京都研究所



十和田湖国立公園における建築設備（1926年東畑謙三卒業設計より）

した出来事として、1970年の日本万国博覧会がある。万博に至るまでの前半は、戦後復興から急速なる経済成長の時代で、建築界では大量の住宅供給、市街地改造、技術革新が進み、60年代には多様なモダニズム建築の成果が建築雑誌の誌面を埋めていた。その集約としての万博であったのであり、その後1973年のオイルショックをへて、消費型社会の在り方が見直される。その一方で、1968年の霞ヶ関ビルにつづく超高層ビル、都市再開発、国土利用計画等の事業がつづく時代であった。

東畑事務所はこの前半期において、戦前より実績を積んでいた産業、工場建築の仕事を目覚しく拡大させている。その間の1951年には株式会社東畑建築事務所に改組され、九州支所（1957年）、東京支所（1958年）、名古屋支所（1960年）が相次いで設置されている。

モダニズムの筆法

この拡張の時期において、東畑謙三の個性を表す一連の作品が生まれている。関西ペイント本社ビル（1949）、富士フイルム大阪支店（1951）、徳島ビルディング（1957）、大阪府農林会館（1959）などであり、戦後モダニズムの時代における東畑事務所の作風を示している。

関西ペイント本社ビルは、1947年に事務所が再開された直後の作品で、東畑は気を入れて取りくんだものに違いなく、氏の建築デザインの筆法を明らかにした作品である。距離を置いてみると、RC造２階建て（後に３階を増築）、タイル張りの壁面に均等に割り付けられた窓の並ぶインターナショナル・スタイルをとる建築であるが、注視するとファサードの縁に回された曲面状の袖壁、正面脇に配された飾窓、壁面を分割する金色モザイクの目地、そして中央玄関の脇には古代の油壺に因むという御影石のオブジェが置かれるなど、セセッション式の装飾を思わせる入念な意匠が目に入る。

モダンな造形への傾斜とともに、個の表現に拘る東畑の一面が窺えるものであり、合理性を基軸に置き、建築に強靭な存在感と品格を与える意匠構成は、その後の建築に受け継がれるが、東畑自らが細部にいたるまで設計に関与したという寧楽美術館（1968）、後年の辰馬考古資料館（1976）において、再びその特色をみることができる。

御堂筋における戦後初のSRC造オフィスビルとなった富士フイルム大阪ビルは、東畑事務所の1950年代を代表する建築作品である。角地のコーナーを回る白いタイル張りの格子状ファサードを有し、その１、２階と頂部壁面に黒御影を用いて、明快なコントラストを示す７階建ての建築である。この１階外部の壁柱によるコロネード部分など、薄く且つ適切に組み立てられたディテールで埋められており、オフィスビルの新しい表現の方向を表わしたものであり、つづいて大阪府農林会館（近年、６階増築と外壁改修がなされている）へと展開される。

この一連のオフィスビル建築のディテールと全体のバランスから来る一種の品格に、東畑事務所の作風が表出された作品となっている、と同時に戦後の事務所ビルの建築デザインに普及してゆく一種の型を示したものでもあった。

この東畑による白い箱型や格子状の構成による一連のモダニズム建築に関して、田中禎彦氏は次のように指摘している。

「一定レベルの建築を、一過性の「作品」として終わらせることなく、デザインスタンダードとして社会に供給する意志があったのではないか‥‥」そして「自己主張をともなう芸術的なデザインを排し、機能的な要求をまとめ、全体にシステムを与える」、すなわち機能からの構成としての建築に「グロピウス的なもの」を見るという。（「技術主義と作品主義のはざまで―富士フイルムビルディング」『まちなみ』2002年９月）

工場からモダニズム建築へと向かう東畑のアプローチには、1910年代のファグス工場で近代建築に新機軸を開き、デザインと技術の統合を理想としたバウハウスを創設したワルター・グロピウスの活動に通じるものがある。グロピウスの建築思想は、工業化と社会学的視野より発したこと、そして建築作品には新たな技術導入とともに古典的とも見える揺るぎない均整感をもつものであり、そうした質においても相通じるものがある。

1950年代という時代

戦後復興期、経済回復の足取りは重く、しばらくは生産、工業施設優先の時代がつづくが、1950年に至り、建築関係資材統制が解除され本格的な建設時代に入る。その年、住宅金融公庫法が公布され、1955年に日本住宅公団が設立、1957年には千里ニュータウンの開発計画も始まり良質で本格的な住宅供給時代を迎える。

そのなかで東畑事務所は千里、泉北などの大規模公営住宅に関わり、また都市部における住宅公団の先駆的なアパート建築を残している。一つは大阪の都心、史跡難波宮公園に隣接する大阪市営法円



関西ペイント本社ビル



寧楽美術館



大阪市法円坂住宅

坂住宅（1955）、そしてJR兵庫駅前の中心市街地に位置する兵庫駅前市街地住宅（1971）などである。前者は典型的なモダニズムデザインのRC造８階建ての長大なアパートで、今なお新鮮なモダニズムの魅力を保持している。後者は20階建ての高層住宅で低層部に商業施設、体育館、ホールなど公共的施設を配置したデッキを展開し、その上部に２棟の住戸棟及び公園を配置したもので、その後の市街地再開発の一つのモデルとされたものである。

大阪駅前再開発事業の頃

大阪駅前市街地改造計画は、大阪駅前地区南ブロックに４棟の高層ビルと区画内を東西に抜ける道路による都市核地域整備を目指したものである。1959年に委託を受けた東畑事務所により着手され、1970年に第一ビルが竣工している。これは1961年の市街地改造法に基づいて進められた最初の大型市街地開発事業で、地上階の他、地階、上部デッキの３層アプローチを設けた先例となった。計画はその後、総合設計制度が適用されることとなり、第２ビル（安井建築設計事務所、1976）、第３ビル（大建設計、1981）につづいて最後の第４ビルが御堂筋側のプロムナードとともに1983年に完工した。東畑事務所においては計画着手から足掛け25年に及んだ仕事であり、この間に後述するように所内の設計組織も大きく拡充をみた。

この1960年代、事務所では三重県庁舎（1962）、甲南大学15号館（1964）など、相当規模を有する一連の建築を手掛けるなかで、奈良依水園内に寧楽美術館という佳作も残している。実業家中村準策、準佑の蒐集した中国、朝鮮古美術を中心に収蔵展示する美術館で、東大寺南大門の大屋根を遠望する園内に建つ。民家風切妻屋根と白壁を基調として、達人の一筆描きのような勢いを持つ、不思議な魅力を宿す建築である。対峙して暫く見ていると東畑が良しとするプロポーションの所在、そして単純明快なものへのこだわりが分かる。加えて東畑の東洋古陶磁器に関する研究と趣味の深さは知られるところであり、こうした美術・芸術に関する素養が自然とこの建築に表現されているといえる。

この時代の建築動向に目をやると、村野の大阪歌舞伎座(1959)、前川の京都会館(1960)、丹下の電通大阪支店、倉敷市庁舎(1960)、坂倉の塩野義製薬研究所（1961）など、造形性を前面に押し出した作品が相次いで世に出ている。こうした建築家の活躍に比して、東畑事務所の建築は堅実だが地味といわれることとなる。


大阪駅前再開発事業


大阪駅前第４ビル

美術的なものに対して産業的建築を基軸に歩んできた東畑は科学的建築観を保持していたといえる。つまり、機能に基づく計画性、架構を決める構造の論理があり、日進月歩の建築資材に対してはその物性を知る目を求めていた。そうした技術の裏づけの上に、空間構成を創作する領域が開かれるという。東畑が「建築を志す学生諸君へ」（『建築と社会』1951年８月）などで述べているように、合目的性、材料、構造の合理性という合理主義的建築観を事務所の設計思想としていた。

すなわち建築を造形的に考えるという着想とは異なり、科学的論理性と経済的合理性を根拠に形態と空間を構成する技術者としての自覚が第一に望まれていた。そこから建築の外見に表れる個性が際立って顔を出すことは多くない。

その一方で、総合的な計画性と技術力によって、大型ショッピングセンター、清掃工場など新しい社会的施設の仕事が広がっていく。

こうした展開をみた1960年代に、事務所は急速に拡大し、1961年には所員100名を越える。

当時東畑は、所長の役割をオーケストラのコンダクターに喩えてよく語っている。(村松貞次郎との対談など。）つまり様々な楽器を受持つ奏者は、指揮者の意向を確実に把握し、かつ最良の演奏で応えることが求められる。それに方向を与えるのが指揮者の役割であり秀でた演者を集めることも重要であるという。建築事務所の場合、種々の業務を担う技師は100名は必要であるが、それを越えると指揮者による統率がきかないと語っている。そして指揮者の意志を間断なく受け止める主任技師たちがいた。事務所草創期から入所していた松永崇志､前川敬蔵、吉田隆一ら６名で、その結束の有様を「６頭立ての馬車」と譬えられていた。ここに子飼いのごとき技師集団に方向を示し、かつ全てを統括する意思をもっていた東畑による創設期以来の事務所像が窺える。と同時に、やがて全国に活動の場を広げてゆくに至り、組織化は必然となり、1970年代に設計、構造、設備の業務分担を明らかにした部課制が導入されている。

その変革期を指導した幹部所員には、住田栄次郎、鈴木洋也、市川宏ら、戦後復興期入所組が就いていた。市川氏は、京大の学生時代、非常勤講師を勤めていた東畑の講義に接したことが縁で、1952年に入所し、やがて役職に就くが、その70年代より事務所のデザインが変わっていくという。つまり「東畑色を若干薄めてでも、時代の求めるデザインを推奨した」と組織事務所の動向を書き留めている。

大阪万博に始まる70年代

万博計画において東畑は1965年より竹腰健造、村野藤吾とともに会場計画委員につき、丹下ら東京勢と地元との調整役に尽力し、また開催に際しては建築祭委員長を務めるなど公的立場で活躍した。その関係からか、展示館の設計に際して東畑事務所はインターナショナル・プレイスなど小さな設計をしたことに留まっている。「人

類の進歩と調和」をテーマに1970年千里丘陵に出現した建築では、未来志向の巨大なストラクチャーや、メタボリズム世代の建築家が描いた未来都市的な華やかなパビリオンが目を惹いた。と同時に、装置化された建築、人工的環境の内にある様々な問題がやがて問直されていく契機となったのである。

ところで博覧会施設では、1990年の「国際花と緑の博覧会」において東畑事務所は政府苑を担当している。都市における人と自然の関わり方を、回廊で結ばれた5つの展示館で構成したもので「ソフトアーキテクチャー」をコンセプトとする柔らかい建築環境が提示されている。千里万博から20年を経て、建築イメージの変化を示したものであろう。

万博後の1972年より北浜オフィス街の一角を占める高層建築、日商岩井大阪本社ビル（1975）の計画に着手している。これは総合設計制度による最初の事例となったもので、つづいて、河内長野駅前再開発、京都駅前南口再開発など、長期に及ぶ都市再開発計画、そしてコンペによる公共建築に力が注がれる。

オイルショックを契機に産業構造が問い直された1973年、所内にシステム委員会が置かれ、部課制の積極的な運用が進められ、調査室の設置など組織の近代化が計られている。資料、情報を管理する調査室はその後、技術開発室を経て今日の情報管理部へと至るもので、当時から比重が増す地域開発計画やコンペに対応することとなる。そうした体制の下でのコンペ入選作として、岡山県立津山総合体育館（1975）などがある。また京都市初の再開発事業として1972年に始まる京都駅南口の再開発計画は、設計コンペより参加したもので、1984年に竣工したアバンティは専門店街、大型店舗、ホテル、市民ホール、結婚式場をもつ複合建築で、地階レベルで駅に直結する巧妙な計画、地域性を配慮した周到な外観などの設計に東畑事務所のカラーが良く表れた建築と評されたものである。

そして御堂筋難波に「街角のような空間をもつ」というホリディ・イン南海大阪（1979）が建つ。BCS賞の審査に訪れた村松貞次郎が「東畑さん、こんなもんやるんかい。柔らかくなったね」と語ったという個性ある都市建築であった。

成熟期（1982〜1997）

東畑は80歳を迎えた1982年、社長を市川宏に譲り、会長へ退いた。とはいえ壮健であった会長は、その後も仕事をつづけるが、日常の実務からやや離れる自由を享受したようだ。それは古陶磁器の研究、そして数々の稀覯本の蒐集に親しむことであった。その素地は読書家であった大学院生当時から培われていたものだったが、やがて古来の建築書、美術書、古地図の蒐集へと及んだという。その膨大な愛蔵書は「清林文庫」として事務所に蔵されており、今なお所員の共有する知的資産とされている。

後を継いだ市川氏は組織事務所としての効率化、総合化を図り「提案型の事務所」と「個性の発揮」を求め、やがて新しい東畑の建築が生まれる。その80年代前半期に、次の二つのプロジェクトが完成している。

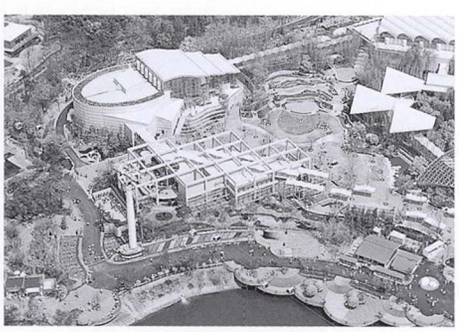
一つはインテックス大阪（1985）で、大阪市にて臨海部の再整備事業・テクノポート計画の主要計画として1973年に構想された国際展示場施設である。13ヘクタールの敷地を有し、イベント広場を想定した日本初の骨組膜構造の屋根をもつプラザを中心に、7棟の展示館、センタービルを配した施設で1984年に着工、翌年竣工したもので、当時東京晴海の国際展示場をしのぐ施設として注目されたものであった。（1993年に新6号館が建てられている）

そして一つは、天理市庁舎（1984）である。当時の近畿地方建設局を退職された建築家との協同設計であったが、恵まれた敷地を得て文化会館とともに計画されたもので8階建ての主棟の屋根に曲線の塔状屋根を乗せたシンボリックなデザインをもつ。それだけでなく低層部の伸びやかな広がり、周囲の緑地広場など、潤いと個性をもった建築である。

竣工の翌年、浦辺鎮太郎との対談で、この設計について問いかけられた東畑は「あれは若い人がやったことです。‥‥鯰をのせるのには丸い皿でないといかん」と応えている。東畑事務所の作品として話題となったものである。こうした担当者の個性とテーマを備えた作品が80年代末より90年代にかけて佐賀市文化会館（1989）、千里ライフサイエンスセンター（1992）、広島ビッグアーチ（1992）、泉佐野市総合文化センター（1996）など次々と生まれていく。

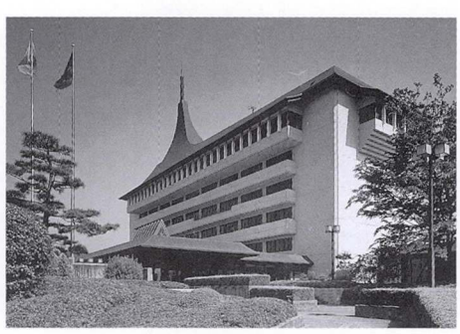
メガストラクチャーの試み

超高層など、構造計画としてのマイルストーンとなった作品に、先に触れた兵庫駅前市街地住宅（1971）、ダブルチューブ構造による日商岩井本社ビル（1975）、大スパン無柱空間をもつ大和銀行本店（安井建築設計事務所とJV、1991）などがある。こうした構造技術開発の背景には、かつて大規模工場建築で経験してきた鉄骨


「国際花と緑の博覧会」政府苑



京都駅南口再開発ビル「アバンティ」


天理市庁舎

造の技術蓄積がある。とりわけ製鉄所の転炉プラントは、高層構造のメガストラクチャーの先行例であったといわれている。当時の新入社員達は、そうした設計を計算尺一本で着々と進めていく、先輩技術者集団の姿に強い感銘を受けたという。構造設計に重きをおく意識は今も保持されており、近年の大規模産業施設やスポーツ施設の大空間構造において成果を上げている。つまり、工場建築の技術が、後の産業・工業建築へと継がれ、さらに多彩なスポーツ、レクレーション建築へと展開しているという。

1980年代・ポストモダン以後

1980年代に入り建築はポストモダニズムの論議が盛んになる。そのマイルストーンとなった磯崎のつくばセンタービルが建ち、ジャーナリズムの話題を独占したのが1983年であった。

20世紀の初頭、生活と社会の近代化を標榜しアバンギャルドであったモダニズムが、半世紀の間に社会に蔓延し、近代を問い直すものとしてのポストモダニズムは、機能や合理主義的デザインを見直し、余剰や装飾による付加価値を追うデザイン、つまり、生産の視点から享受する側の視点への転換といわれたのである。

その後に百出するポストモダンの建築の多くは、そうした理念より形態のもつ感覚的装飾性が一般に受容され、サムシング・ニューを求めていた商業的建築の下で一挙に消費されていった。1990年代に入り、バブル的成長から、その反転による停滞期に入り、1995年の阪神淡路大震災を経験したのであり、その後改めて建築を再考するときに至っている。

東畑事務所65周年特集（『建築と社会』1998）では、「輝く個の集積と多様な建築表現」と題する座談会記事が掲載され、創設者から受け継ぐこと、事務所の特色と課題が語られている。その参加者は当時大阪事務所建築設計室長の岡田聿之、名古屋事務所所長の谷淳之介、東京事務所計画担当役員の萩原信行らで、揃って60年代入所組の面々である。夫々に組織を担う「個」の役割に言及し、また建築の多様化と技術の深化を捉えようとしている。つづく後段には、その実りとしての近作29件の建築作品が担当者のコメントを付して収録されている。

こうした事務所の新たな展開を見届けた1998年４月29日に東畑謙三は97歳の天寿を全うした。そして一周忌を期に「東畑謙三先生追悼一周忌特集」（『建築と社会』1995年５月）が編まれている。

新生期（1997〜）

1997年４月、３代目社長を継いだ眞塚氏が「新生期」と呼ぶ時代に入った。2000年秋に、その新生の方向を指し示すような一つの作品、大阪産業創造館が竣工している。中央区本町一丁目の角に建つ18階建てのスリムな建築で、正面ブロックの壁面には造形作家による舟のアート・モニュメントが設置され、強いランドマーク性が意図されている。中小企業経営の支援を目的とする新しいスタイルの施設で、内に「大阪企業家ミュージアム」や、種々の交流施設が配置され、一般利用者にも開かれた都市建築となっている。計画から竣工まで５年というプロジェクトであったが、このような「新しい価値の創造と都市計画的な視点をもった」企画、提案、設計、そして積極的な表現という総合のプロセスに東畑事務所の今日像が表れていよう。

一方、かつて浦辺鎮太郎が「あらゆる点で『モデスト』な東畑事務所」と言い当てたように、中庸を行く堅実さというカラーもその底に流れているはずであり、「社会のストックとなる建築、社会の評価をうける建築」を標榜するという。（眞塚達夫「東畑建築事務所の軌跡と展望」『東畑の光跡』）そのために移ろい易い主観的なデザインではなく、個性を超えた永続的表現に基軸におくという。

ところで21世紀の課題は、地球環境の保全と持続可能な発展的社会の実現にあるという。そして建築においては環境共生、長寿命化と社会資産としての視点が新たな課題とされている。そのための広汎な技術、そして経済、文化を総合化した建築活動が求められているが、それは、東畑事務所が従来より掲げてきた設計理念に他ならないのである。

つづく誌面にて、事務所の近作が「まちと建築」「環境と建築」「ひとと建築」そして「再生」と、今日的課題に応えたテーマに集約されているところに、社会と時代に応答する東畑建築事務所の現在が活写されている。

＊本校執筆に際して、東畑建築事務所より資料の提供など、ご協力を頂きました。記して謝意を表します。

（やまがた　まさあき／大阪芸術大学建築学科教授）



佐賀市文化会館



広島ビッグアーチ



大阪産業創造館



森田　司郎
(財)日本建築総合試験所 理事長

東畑建築事務所と私のかかわり

私は東畑建築事務所のOBであることを、機会あるごとに誇らしく広言している。実は、たった１年２ヶ月の在籍であったが、この間の経験はその後の研究者・教育者・財団役員としての仕事の上で大いに影響を与えた。教育・研究上では、実務経験のあることが経験のない人に対して、ある種のコンプレックスを与えた。それもあって、私の研究は実用にいかに関連するかを念頭に置いて行われた。現在の立場では、ありし日の東畑先生のお振舞いを、思い浮かべて参考にしている。（これは、その後先生が当財団の生みの親として動かれた様子を、伝聞したことと重なっている。）

私が体験した東畑建築事務所は昭和34年４月からの14ヶ月であるが、その時期は事務所の組織拡大期への序曲に当っていたと思われる。伏見町に３階建ての新社屋が開設されて間もない頃であり、残業の連続であった。事務所の皆さんは、それぞれ黙々と無理を重ねておられても、東畑先生がたまに３階の設計室に来られて、例の満面の笑顔で話し掛けられると、皆さんの渋面が途端に氷解して、気分が変わるように見えた。その意味では人使いの名人であったのだろう。先生の掌の上で、嘆き、喜び、苦しんでいると云う感じであった。

大学へ帰ることになった私を、先生は快く送りだして下さった。その後の東畑建築事務所と私のかかわりは、いわば隠れサポーターというところでしょうか。次々と地域再開発から個々の建物まで手がけられる事業展開を見聞きする度に、ひそかに拍手を送っていた。

私の理解できる構造設計の領域でも、背伸びをしない堅実な設計を手堅くまとめて来られたように理解している。その中に、技術の発達の最先端のレベルにあることをキラリと見せる作品を提供して来た。これが創造者から受け継がれた伝統と云うものでしょうか。持つものの全てをひけらかさない関西流の奥ゆかしさを私も共感するところだが、これが今後も美風として通用するかはわからない。

関西を本拠とする第一線の技術者集団として、創立70周年を一里塚に、今後とも前進されることを、OBの一員として期待している。



藤森　照信
東京大学教授　工学博士

おだやかな表情

分離派の滝沢真弓先生に昔話をうかがったおりに思いがけずも東畑先生が登場した。滝沢や石本喜久治や山田守が分離派の理想を広めようと大阪に出向いて“分離派講演会”を開いた時、関西の若手建築家が集まってくれると予想していたのに、結果は無惨をきわめ、壇上の人数と同じくらいしか聴衆はいなかった。その一人に学生時代の東畑先生がいたというのである。

滝沢先生からこの話を聞いてだいぶしてから、東畑先生にインタビューする機会があって、確かめると、確かに私はいたが壇上よりは聴衆の方が多かったような気がするとのこと。

このインタビューの時、さまざまな話をされたことのなかでも、もう一つ忘れられないのは、これは他所でも書いたことがあるが、今日、建築界で日常的に使われる「空間」という言葉は、東畑先生が哲学者の三木清と相談して、ドイツ語を訳したとのことであった。

昭和１０年代については、工場建築をたくさん手がけ、この実績が事務所の基礎を作ったとも話してくれた。

分離派への共鳴、三木清との付き合い、戦中の工場建築等戦後の組織事務所、と移り変わる東畑先生のお話をうかがいながら、ややとまどいを覚えたのを否定できない。それは、分離派への共鳴を聞いてすぐアバンギャルドを思い浮かべたからで、どうも先生は、分離派のような表現至上主義ではなく中庸の徳のようなところを歩もうと若いころからしていたのではないかと、今になると思う。

長らく打ち込まれた古典籍のコレクション、とりわけ屈指の内容を誇る中国の地誌のコレクションの話をされる時の先生のおだやかな表情を見て、こういう建築家のありかたもいいもんだなあ、と思った。

その東畑先生が育てられた、東畑建築事務所が創立70周年を迎えた、まことにおめでたいことである。

私は仕事でのお付き合いはあまりないが、東畑建築事務所の作品を目にするたび、東畑先生の教えが連綿と息づいていることを感じる。今後、ますますの発展を心よりお祈りしたい。

ひと・まち・環境

新しい価値の創造

建築をとりまく環境が大きく変わろうとしています。経済の低迷、環境問題への関心の高まり、人口構成の変化等によって、「建築をつくること」の意義が問われており、スクラップ・アンド・ビルドを脱して循環再生型の都市環境を目指すとともに、人々が豊かさを実感できる社会を実現するための良質な「ストックとしての建築」のあり方が強く求められています。

こうした変化のなかで、今まで以上に、私たちが社会に送り出す建築と継続的に関わり続け、利用する「ひと」、立地する「まち」、グローバルな「環境」に対して、真摯に向き合うことが必要とされます。

ここに「ひとと建築」「まちと建築」「環境と建築」という3つのテーマを掲げて私たちの近作を紹介します。さらに、「再生」をテーマとしたプロジェクトを取り上げ、既存のストックを活用しながら建物の機能更新を図った事例を紹介します。これらは、時代と社会が求めるニーズを的確に捉え、建築主や社会にとって最適となるような「新しい価値」を創造していく上での私たちの基本姿勢です。

ひと と建築

集い、交流、活動にいざなう
快適な居場所の創出
競い合い演技するステージの演出
くつろぎと癒しの空間をつくる
すべての人たちのためのユニバーサルデザイン

まち と建築

建築をまちに開く
賑わいの創出
まちのシンボルをつくる
文脈に配慮したまちなみ形成
市街地再開発

環境 と建築

風景にとけ込む
環境への負荷の抑制
自然エネルギーの活用
地域の資源を生かす
長寿命建築を目指す

小倉競馬場
横浜国際総合競技場
富山県西部体育センター
新日鐵大谷体育館
りょうまスタジアム
大阪商業大学 メディアセンター
帝塚山大学
瑞浪市立稲津中学校
芦屋市立山手小学校
明石市立西部市民会館・西部図書館
南コミュニティセンター　せせらぎ
滋賀県立成人病センター
済生会熊本病院　健診棟増築
宗像市総合保健福祉センター
メイトム宗像
成田市保健福祉館
しあわせの村　介護老人保健施設　リハ・神戸
横浜市障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール
さいたま新都心合同庁舎
大阪市浪速区役所・浪速保健センター
大阪産業創造館
大阪府民共済ビル
三重会館
イオン倉敷ショッピングセンター
ダイヤモンドシティ テラス
ショッピングセンター
西荒神地区第一種市街地再開発事業
テリハ広島・広島市留学生会館
豊中駅西口地区第一種市街地再開発
アーバンラフレ星ヶ丘
波賀町メイプルプラザ
竹田市温泉施設　花水月
桜井市立図書館
五色町立図書館
松下電器産業株式会社
人材開発センター研修所
大阪女子短期大学・高等学校
徳島県警察学校
大阪府警察学校　専科教養部
神奈川県産業技術総合研究所
アース製薬研究棟
なにわの海の時空館
奈良国立博物館文化財保存修理所
高鍋町美術館
熊本産業展示場　グランメッセ熊本
横浜市環境事業局 鶴見工場
名古屋市大江破砕施設
大阪城天守閣「平成の大改修」
東京都大田区役所本庁舎
大阪市水道記念館
聖書キリスト教会　東京教会
劇団四季ミュージカル
イオン四日市北ショッピングセンター
岡山県陸上競技場
（仮称）田原本町総合生涯学習センター
新長田駅南第1地区震災復興
第二種市街地再開発事業
フォレストレイクひばりが丘
都市基盤整備公団　汐留H街区超高層住宅
菅原町地区第一種市街地再開発事業
神奈川県立かながわ保健医療福祉大学
（仮称）特定事業
（仮称）滋賀21会館整備PFI事業及び
合築事業
当新田環境センター余熱利用施設整備
・運営PFI事業









小倉競馬場

優良消防防災システム消防庁長官賞
北九州市都市景観賞

全国に10ヶ所ある日本中央競馬会の競馬場のうち九州唯一の競馬場です。
計画のコンセプトは、快適なレジャー空間の確保、多様化したファン層への対応、競馬本来の魅力の創出です。小倉競馬場は地域の公園として、市民の間に定着していることもあり多様なファン層にとって適度なアメニティを持ち、なおかつ本来競馬場が持っている「馬を中心としたテーマパーク」としての空間を提供できるよう、多彩な場を設けて来場者が一日ゆっくりと過ごせる計画としています。

施　　主　日本中央競馬会
所 在 地　北九州市
延床面積　81,434㎡
構造規模　RC・SRC造　7F／B1F
竣　　工　1999年
備　　考　日本競馬施設株式会社と共同設計









横浜国際総合競技場

日本建築学会業績賞　建築業協会賞（BCS賞）特別賞
神奈川県建築コンクール優秀賞　横浜市優良建築設計者

横浜国際総合競技場は、「観戦しやすい」、「プレーしやすい」、「報道しやすい」をメインテーマとし、スタジアムを劇場空間として捉え計画されました。
72,327席の観客席を有する国内最大規模のスタジアムは、2002FIFAワールドカップ™「夢の舞台」の決勝戦会場としての肩書きも加わり、スタンド下に併設されたスポーツ医科学センター、スポーツコミュニティプラザとあわせ、国際的なスポーツイベントから市民の健康づくり・スポーツレクリエーションの場として広く親しまれています。

施　　主　横浜市
所 在 地　横浜市
延床面積　171,024㎡
構造規模　PC造　7F
竣　　工　1997年
備　　考　松田平田設計と共同設計









富山県西部体育センター

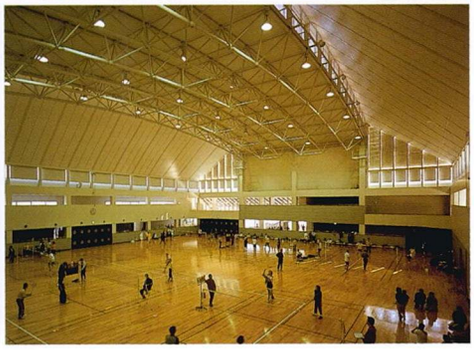
富山県建築賞 入選

砺波の野に建つ本施設は、体育館・プール等の本来の目的に留まらず、広域圏の人々の新しいコミュニケーションの場として、総合運動公園の中央に整備されたものです。
特色として、2階レベルを東に流れる庄川の堤防高さに設定し、公園側も盛土により同じレベルに上げることで、隔てられた2つの空間を視覚的・動線的に一体化しています。
盛土は、形態を成すだけではなく、この地でカイニョと呼ばれる防風林の目的も果たし、周辺に広がる散居村を継承しています。

施　　主　富山県
所 在 地　富山県砺波市
延床面積　12,334㎡
構造規模　RC・S・W造　2F
竣　　工　1999年







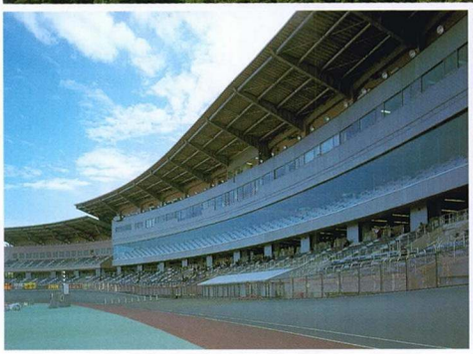
新日鐵大谷体育館

SDA賞　コマーシャル部門入選

新日鐵八幡製鐵所の所有する体育館です。A・レーモンド氏の設計による旧体育館の建替えにあたり「見るスポーツ」から「参加するスポーツ」へコンセプトを転換し、コミュニケーションの活性化を促す空間を計画しました。「視覚的に開放されたアリーナ」「リフレッシュスペースの充実」「グレアを抑えたスポーツ環境」「効果的な自然通風」などの試みを実践しています。また、新日鐵の多様な自社建材によって企業アイデンティティーを表現しています。

施　　主　新日本製鐵株式会社八幡製鐵所
所 在 地　北九州市
延床面積　5,294㎡
構造規模　RC・S造　2F／B1F
竣　　工　2000年





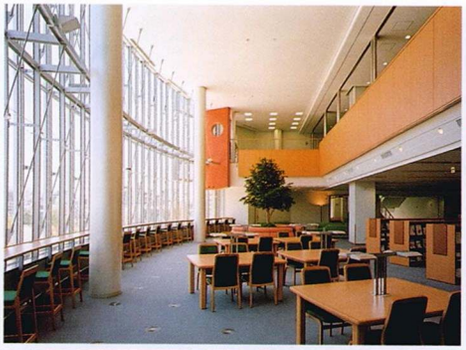


りょうまスタジアム

高知国体に向けた、陸上競技場（2種公認）と競輪場の全面建て替え整備計画です。競輪の休催期間を最短とするため、1年という短期間で現地建て替えを行いました。地下部分に収容駐車台数600台の駐車場、その上階に陸上競技場と競輪場、附属諸施設と宿泊施設を併せ持つスポーツ複合施設です。都市公園内でかつ高知市の中心地に位置するため、敷地北側の筆山の緩やかな稜線との調和、鏡川の対岸からのシルエットを大切にする等、周辺環境や景観に十分配慮した計画としています。

施　　主　高知市
所 在 地　高知市
延床面積　66,931㎡
構造規模　S・PC・SRC造　6F／B2F
竣　　工　1999年
備　　考　品原建築設計事務所と共同設計









大阪商業大学 メディアセンター

大阪商業大学メディアセンターは、次世代を見据えた「人とメディア」の交流の場として計画を行っています。全フロアを開架し、収蔵数43万冊・閲覧席数500席の規模を持ち、最新のAV・コンピュータ施設も有した大学の新しい知的空間として整備をしています。また、ホール（300席収容）や遠隔講義室・社会人教育の施設も併設しており、研究発表会や公開講座などに対応し、地域に開かれたキャンパスとして幅広く活用されています。

施　　主　学校法人　谷岡学園
所 在 地　大阪府東大阪市
延床面積　8,395㎡
構造規模　SRC・S造　6F
竣　　工　2002年









帝塚山大学

奈良市建築文化賞 景観賞

緑の中を通り抜けていく風、木洩れ日、鳥と梢の奏でるハーモニー。
デッキや階段でおしゃべりをし、陽だまりのベンチで本を読み、大階段やパーゴラの下で昼寝する。
建物の内外を一体化させた憩いの場も、イベント時にはステージと観覧席に変身し、立体的に機能します。
キャンパスの情報やインフラのネットワークを整備すると同時に、交流のネットワークも整備しており、キャンパスライフの記憶の１ページになることを期待しています。

施　　主　学校法人　帝塚山学園
所 在 地　奈良市
延床面積　1,643㎡
構造規模　RC造　3F
竣　　工　2001年







瑞浪市立稲津中学校

公立学校優良施設表彰
施設計画部門賞

自然に囲まれ緑豊かな計画地に建つ校舎は、２つの特徴のある広場をもっています。外の広場は、学校と地域の空間的接点としての交流の場。内の広場は、学内コミニュケーションの場として、屋根のない多目的ホール、室内の多目的ホールと連続的・一体的につくられ、学習・生活の核として機能します。周辺との景観の調和のとれた瓦屋根と形態を持った施設で、外・内部ともに、温かみのある素朴で素材感のある木をふんだんにとりこんでいます。

施　　主　瑞浪市
所 在 地　岐阜県瑞浪市
延床面積　3,435㎡
構造規模　RC・S造　3F
竣　　工　1997年







芦屋市立山手小学校

子供達にとって一日の大半を過ごす学校は、住宅と同じく「生活の場」です。
豊かな心と創造性を育む環境としてコミュニケーションを促し、子供達の好奇心をかきたてる学校づくりが不可欠です。
また周辺環境に対する鋭敏な感覚を養うことも、地域に根ざした学校として大切です。本計画においては周辺の景観や地域の風土に配慮した施設計画を行い、自由度の高い様々な使われ方が想定できるパブリックスペースを整備し「楽しく・綺麗な・居心地の良い環境づくりを目指しました。

施　　主　芦屋市
所 在 地　兵庫県芦屋市
延床面積　5,705㎡
構造規模　RC・S造　3F
竣　　工　2000年

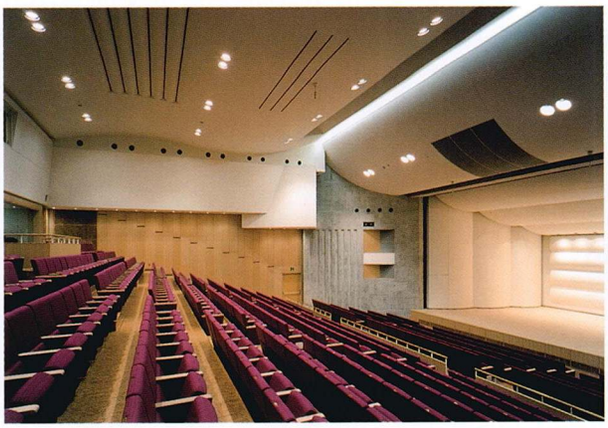




明石市立西部市民会館・西部図書館

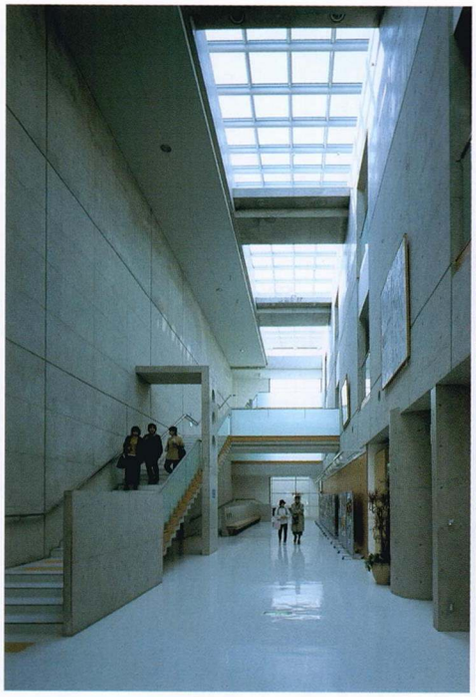
計画は、スクエアなエントランスロビー及びリニアなガラスのスロープを中心として、図書館ゾーンとホールゾーンに分かれています。ホールホワイエを持ち上げ、その下に車路を横断させることで来訪者の歩車分離を実現しました。開架閲覧室上部にプロムナードを設け、ホールのエピローグ空間として機能させるとともに、アプローチプラザからロビー、スロープそしてプロムナードへと図書館を取り巻く立体的な回遊性を創り出しました。

施　　主　明石市
所 在 地　兵庫県明石市
延床面積　4,330㎡
構造規模　RC・SRC・S造　3F
竣　　工　1999年













南コミュニティセンター せせらぎ

可動席300のホールと47000冊収容の図書館、会議室等からなるコミュニティセンターです。ホールゾーンと図書・会議室のゾーンを明確に分けるよう3層吹き抜けのアトリウムが挿入された構成です。アトリウムは打放コンクリートの壁に囲まれたリニアな空間であり、上方からの光によって、空間性を強く意識させることを意図しました。アトリウムに設けられた直階段とブリッジを人々が行き交う風景がこの施設に昇華性を生み出すことを期待しています。

施　　主　生駒市
所 在 地　奈良県生駒市
延床面積　5,492㎡
構造規模　RC・SRC造　4F／B1F
竣　　工　1998年







滋賀県立成人病センター

医療・福祉施設の機能分化が進む中、高度急性期医療の担い手として、来春、滋賀琵琶湖の東で稼動を始める病院です。様々な院内機能の拡充や免震構造の採用など、病院としての高機能を満たしつつ、優しい光の溢れるエントランス、琵琶湖や緑溢れる自然が一望できる病棟や展望浴室・レストラン、所々に設けたヒーリングアートなど、入院される患者さんが愛着のある故郷に包まれ「安らぎ」が得られるよう、室内空間から材料に至るまで「癒しの環境」に細心の配慮を行っています。

施　　主　滋賀県
所 在 地　滋賀県守山市
延床面積　33,870㎡
構造規模　RC・SRC・S造　免震構造　12F／B1F
竣　　工　2002年









済生会熊本病院 健診棟増築

人間ドックや各種健診を行う施設です。「高齢者と女性にやさしい施設」をコンセプトに掲げ、ハードとソフト共にアジア最高のレベルを目指して取り組まれました。大規模な内視鏡部門を誇るとともに新しい試みとして「フィットネスセンター」や女性に配慮した「レディースセンター」を整備しています。更に、熊本市内を一望できる浴場やレストラン、ヒーリングルームなど多様なアメニティを充実させた「癒し」の医療環境となっています。

施　　主　社会福祉法人恩賜財団　済生会熊本病院
所 在 地　熊本市
延床面積　9,335㎡
構造規模　S造　6F
竣　　工　2002年









宗像市総合保健福祉センター メイトム宗像

照明学会照明普及賞

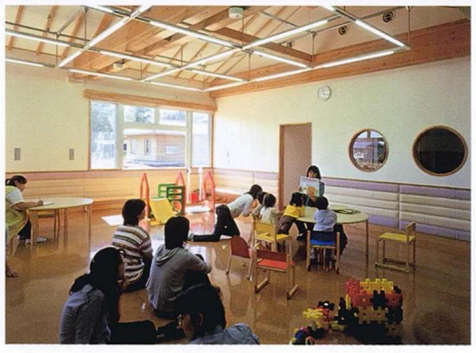
当施設は高齢化社会の進展にともなう高齢者の健康増進と福祉の充実を図る目的で、いきいきとふれあえる場を提供する総合的な保健・福祉の中核施設として、住み慣れた自分の「家」をテーマに計画されました。
計画に当たっては、保健・福祉だけの専用化された施設ではなく多くの人々が多方面にわたって利用できる機能を備えることで多世代の「つどい・ふれあい・交流する」場が生まれ地域コミュニティーの形成に寄与することを意図して当施設は計画されました。

施　　主　宗像市
所 在 地　福岡県宗像市
延床面積　6,261㎡
構造規模　RC・W造　2F／B1F
竣　　工　1997年









成田市保健福祉館

成田市保健福祉館は、これからの地域福祉センターのモデルとなる「誰もがふらっと立寄れる施設」として計画されました。
建物は、ひとにやさしさと温もりを与える在来木造小屋組の平屋建てとし、施設の中心に幅7.2mの通り抜けができる街路を設定しました。全長65mのこの街路では、高齢者の囲碁や将棋を打つ音が聞こえ、子どもたちが走り回り、障害者の機能回復訓練も行われています。ここでは、障害の有無を問わず老若男女が集い、福祉の街のあるべき姿を目にすることができます。

施　　主　成田市
所 在 地　千葉県成田市
延床面積　4,131㎡
構造規模　W造　1F
竣　　工　2002年





しあわせの村　介護老人保健施設 リハ・神戸

あふれる緑と太陽、そして温泉。リゾート地のような景観の中で、明るく家庭的な居心地の良い空間づくりをしています。光や風の抜ける回廊、陽だまりのアルコーブなど、そこで生活するお年寄り一人一人が、それぞれの「居場所」を見つけてほしいと願っています。

施　　主　神戸市都市整備公社　財団法人神戸在宅ケア研究所
所 在 地　神戸市
延床面積　4,841㎡
構造規模　RC造　3F
竣　　工　2000年







横浜市障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

横浜市優良建築設計者

当施設はスポーツと文化という性格の背反する施設の集合であり、体育館、プール、文化ホールと大空間が多いため、全体をゾーニングに従ってゆるやかなヴォールトの大屋根で包む平面計画としました。その屋根の下で、あらゆる障害を持った人を対象に、スポーツ・文化活動を通して、健康づくりや、社会参加の場を提供すると共に、健常者との交流を進め、市内の各種福祉施設の中核拠点として、様々な人々の活動の場として利用されています。

施　　主　横浜市
所 在 地　横浜市
延床面積　28,817㎡
構造規模　RC造　3F／B1F
竣　　工　1992年







さいたま新都心合同庁舎

旧建設省営繕工事設計コンクール官庁営繕部長賞
旧建設省関東地方建設局優良業務表彰
日経ニューオフィス賞

国の「集団的移転にかかる官庁施設整備の基本構想」に基づき建設された９省庁１４機関が入居する合同庁舎です。２１世紀を展望した官公庁施設のあり方を示しながら、様々な人・物・情報の交流が活発に行われるよう、人々が集い・潤い・憩うことのできるフォーラム空間を計画しています。また、季節や時間の変化に応じて表情が変わり、人々に親しまれながらも国の庁舎としての品格を備えた外観とすることで、さいたま新都心と周辺との調和を図りながら「開かれた官庁街」を形成しています。

施　　主　国土交通省関東地方整備局
所 在 地　さいたま市
延床面積　257,000㎡
構造規模　S・SRC・RC造　31F／B3F
竣　　工　2000年
備　　考　日建設計・RTKLと共同設計

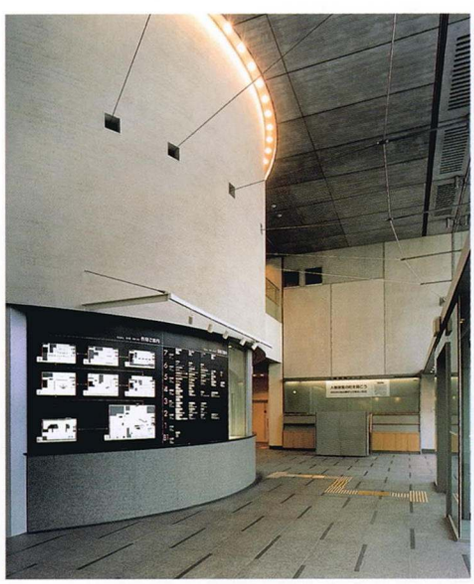




大阪市浪速区役所・浪速保健センター

周辺環境との調停を図るため、ガラスカーテンウォールに、ぎらつきや反射を抑え、外部と内部を柔らかく隔てるストライプ状のセラミックプリントを施した高透過ガラスを採用しています。また、3階、4階そして7階で建物外壁をセットバックさせ、緑化した屋上庭園とし、隣接する建物との緩衝に配慮しています。低層部は凹凸のある自然石張りとし、アプローチには、浪速の象徴「水」を配しました。清新かつ永続性のある意匠を目指しました。

施　　主　大阪市
所 在 地　大阪市
延床面積　9,746㎡
構造規模　RC・SRC・S造　7F／B2F
竣　　工　2002年







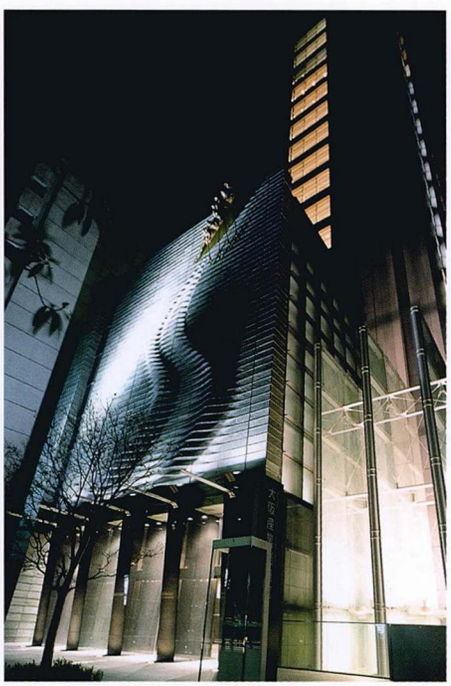


大阪産業創造館

SDA賞 サインデザインパブリック部門入選

大阪の都心に計画された中小企業の支援施設です。壁を重ね合わせながら内外空間を構成し、都市景観レベルでのランドマーク性、通りのレベルでの公開性、素材やディテールのレベルでの親密なテクスチャといったことを実現させながら、全体として人やまちと豊かに関係しあう「開かれた建築」をつくりたいと考えました。前面道路に面した外壁には未来に漕ぎ出す大阪の企業家をイメージしたアートモニュメントを設置し、アートを介して建築とまちとが関係しあい、新しい場が発生することを期待しました。

施　　主　大阪市
所 在 地　大阪市
延床面積　23,823㎡
構造規模　SRC・S造　18F／B3F
竣　　工　2000年











大阪府民共済ビル

非営利、最大奉仕を理念として共済事業を展開する大阪府民共済生活協同組合の本部ビルです。施設は業務スペースの他に組合員の生活文化の向上と安定に寄与する多様なサービススペースで構成されています。
計画地は大阪市の主要幹線である「なにわ筋」にあって、都心居住者が楽しく歩ける街路として美観誘導されています。
本計画ではなにわ筋に対して建物をセットバックすることで緑あふれるポケットパークを生みだし、街路に面したエントランスロビーには彫刻家・流政之氏の作品を展示しています。

施　　主　大阪府民共済生活協同組合
所 在 地　大阪市
延床面積　6,888㎡
構造規模　SRC・S造　11F／B1F
竣　　工　2001年





三重会館

国内で唯一の官民合同ビルの建て替えは、官民別々のプロジェクトであったが、隣接の中央郵便局と歩調を合わせることにより、少なくとも一体的であった旧三重会館のイメージを継承すべくお互いに外観の調和をはかり、市の中心街の良好な都市景観の形成を目指しました。また、戦後復興のシンボルとして、津市民、三重県民に大きく心の支えとして永年存在してきた旧三重会館のもつ存在性と先進性を引継ぎ、新三重会館は、新しい時代のビジネス拠点、情報発信基地として生まれ変わりました。

施　　主　三交不動産株式会社
所 在 地　津市
延床面積　7,524㎡
構造規模　S造　8F
竣　　工　2000年





イオン倉敷ショッピングセンター

本ショッピングセンターは、株式会社クラレとイオンモール株式会社との共同事業により、大規模多機能複合型ショッピングセンターとして、クラレ倉敷工場隣接地に整備されました。
地域環境の保全・地域との融和を志向するショッピングセンターとして、計画地内の樹齢70年余りの84本の大樹は、地域植生の象徴として保存し、一部は計画地中央部に「楠檀の森」として配置され、外観は、倉敷市の伝統的な街並みをイメージした外壁デザインとしています。

施　　主　株式会社クラレ
　　イオンモール株式会社
所 在 地　岡山県倉敷市
延床面積　140,025㎡
構造規模　S造　4F
竣　　工　1999年
備　　考　基本設計







ダイヤモンドシティ テラス ショッピングセンター

施　　主　株式会社アイシティ
管理運営　株式会社ダイヤモンドシティ
所 在 地　兵庫県伊丹市
延床面積　151,729㎡
構造規模　S造　5F／B1F
竣　　工　2002年
備　　考　全体計画

この地区は、伊丹市の「東の玄関口」として位置付けられているＪＲ伊丹駅から東側約100ｍに位置し、北側を県道伊丹豊中線東側を猪名川、南側及び西側を駄六川に囲まれています。
地区周辺は、古くは工業地帯として開発された区域ですがＪＲ東西線の開通による都心への利便性が高まり、マンションなどに土地利用転換が行われています。
当事業は「アメニティ豊かな　まちのオアシス（自然とのふれあい、広域的な賑わいの場づくり）」を開発理念に、整備手法は再開発地区計画制度を適用して進めました。施設計画は多様化するライフスタイルを支援する広域型の商業空間として２つの核店舗ゾーンとそれを繋ぐ専門店モールで構成されたショッピングセンター及び、都市型レジャー機能としてのシネマコンプレックスとを持った大規模商業施設として具体化されました。また周辺整備計画は最寄駅となるＪＲ伊丹駅の東西の地域を連続する立体連絡橋をはじめ河川に面した遊歩道や公園を設置し快適な歩行者空間を整備しました。



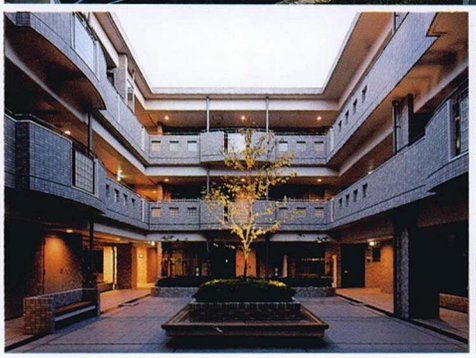
西荒神地区第一種市街地再開発事業
テリハ広島・広島市留学生会館

街の文脈を継承しながら、地域環境を向上させ、かつ「新しい街の顔」をつくることを目指しました。素材の特性を生かした「生（き）のデザイン」をコンセプトに、時を経てなじんでいく建物群をめざすとともに、留学生と市民の交流スペースを交差点に面して設けるなど建物を街に開かれたものとしました。また、ポケットパーク、プロムナードなど「溜りの場」を整備し、地域の活動が発展していくことに寄与することを期待しています。

施　　主　西荒神地区市街地再開発組合
所 在 地　広島市
延床面積　テリハ広島　　：21,219㎡
　　広島市留学生会館：　5,961㎡
構造規模　テリハ広島：RC・SRC・S造　16F／B1F
　　広島市留学生会館：RC・SRC・S造　13F
竣　　工　2001年









豊中駅西口地区第一種市街地再開発

阪急豊中駅の西側に位置し、同駅舎と２本の連絡デッキによる接続で、駅周辺の広場・施設と一体となった、商業・公益・住宅という構成の複合施設です。人々に密接した商業施設や、地域活動の拠点となる公益施設の存在が、駅前という利便性とうまく影響しあうことで、地域の活性化に貢献しています。また、上層階にある分譲住宅28戸には都市生活をおくる上で必要な「便利」で「手軽」な環境と、伊丹空港や大阪・神戸の遠景を提供しています。

施　　主　豊中駅西口地区市街地再開発組合
所 在 地　大阪府豊中市
延床面積　32,320㎡
構造規模　SRC造　9F／B5F
竣　　工　2000年



アーバンラフレ星ヶ丘

本計画は既存団地の建替事業です。街づくりとしてコミュニティデザインを心掛け「みちと暮らしの関係」「良好な景観の形成」「思いでの継承」を計画しました。幹線道路に面して集会所・広場・公園を配置し、何気ない出会いの場を点在させています。住棟は、デザインコードを設けヒューマンスケールに分節し、落ち着きと特徴ある景観を形成しています。また、樹木の保存、集会所へのメモリアルボードの設置によって、建替前の思い出やコミュニティの継承に寄与しています。

施　　主　都市基盤整備公団
所 在 地　名古屋市
延床面積　1,861㎡～18,152㎡（10棟）
構造規模　RC造　4F～25F
竣　　工　1993年～1999年
備　　考　マスタープラン
　　都市基盤整備公団と共同設計











波賀町メイプルプラザ

兵庫県人間サイズのまちづくり賞

美しい森林の中に計画された80名ほどが宿泊できる保養施設です。周辺の自然に開放した建物づくりをテーマとし、レストランなどのパブリックスペースは、PC柱と木造集成材による極力シンプルな構造を意匠に生かした開放的な空間づくりを目指しています。中庭は、澄んだ空の下でくつろげる憩いの場所として計画されました。建物が主役になるのではなく、美しい自然環境に壁や屋根を添えることで、居心地よく親しまれる場所が生まれることを期待しています。

施　　主　波賀町
所 在 地　兵庫県波賀町
延床面積　2,901㎡
構造規模　RC・W造　3F／B1F
竣　　工　1999年





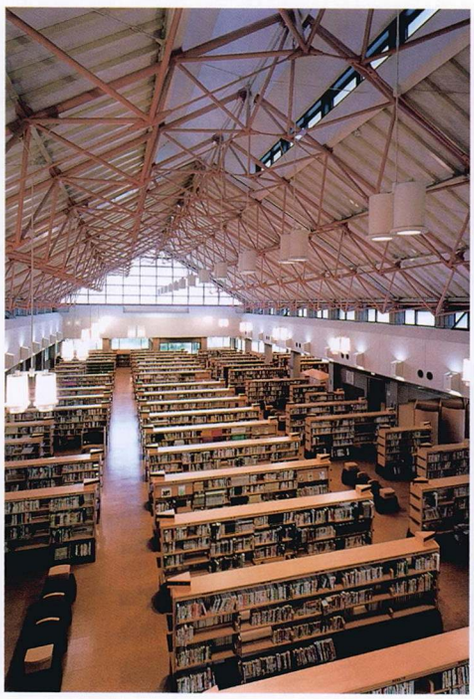


竹田市温泉施設　花水月

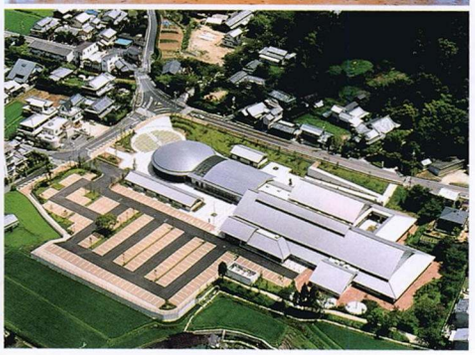
この施設は市街地に湧出した温泉を利用し、市民の交流の場・観光の拠点として計画されました。いぶし瓦・漆喰壁・木製格子等和の要素でまとめた外観に唐破風・時計塔を加え、温泉館としての魅力を演出すると共に城下町竹田の新しくて昔ながらの景観をつくりだしています。館内も木や漆喰さらに竹細工や草木染めなどの地元の工芸を取り入れ、岩山の風景や美しい月を眺めながら入れる浴槽や豊富な水が流れる滝のある中庭を設けるなど、歴史・伝統・自然が豊かな竹田でしか味わえない温泉館となっています。

施　　主　竹田市
所 在 地　大分県竹田市
延床面積　2,053㎡
構造規模　RC・W造　2F
竣　　工　2001年









桜井市立図書館

全建賞

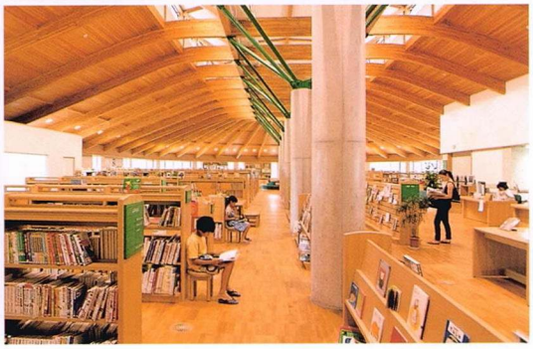
古墳時代からの歴史を刻んだ桜井の緑豊かな景観にとけこむ瓦葺きの大屋根にいだかれて、開架11万冊の無柱の閲覧室がひろがり、深い軒からの穏やかな自然光があふれる館内は、サービスの全てが見える開放性や車椅子で届く書架高さが明るい雰囲気をかもしだしています。地元産の杉材を構造とし桧材を床に利用した円形の研修室は、市民に生涯学習の活気とともに郷土への愛着と誇りを呼び起こしたようです。

施　　主　桜井市
所 在 地　奈良県桜井市
延床面積　4,622㎡
構造規模　RC・S・W造　2F
竣　　工　1999年









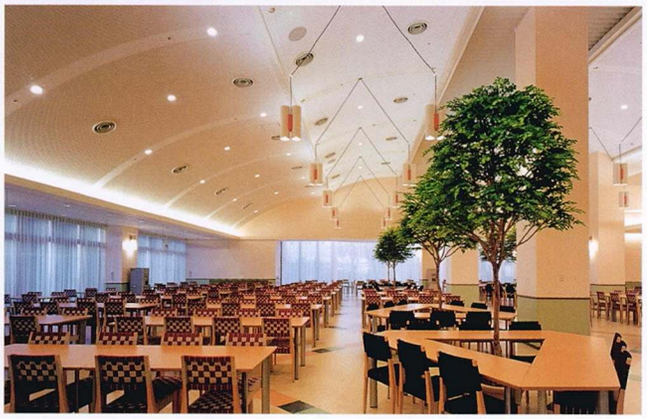
五色町立図書館

青い海とまっ赤な夕日そして豊かな緑、五色町は永い歴史を自然とともに生きてきました。
本計画では豊富な情報や資料を自由に利用できる学びの場として、人と五色の自然が交流するまちに開かれた五色らしい施設づくりを目指しました。
周辺の山々の美しいシルエット・五色石の独特の丸み、まちに馴染んだ美しいフォルムや地場産いぶし瓦の落ち着いた表情など、五色の自然と共生する素材・形を活かした五色らしさを表現しています。

施　　主　五色町
所 在 地　兵庫県五色町
延床面積　1,750㎡
構造規模　RC・W造　1F
竣　　工　2002年





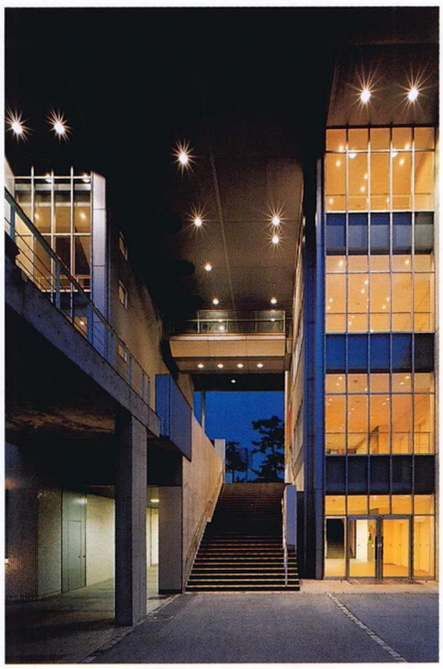


松下電器産業株式会社
人材開発センター研修所

本建物は21世紀のグローバル＆グループ経営を担う幹部人材の育成を図るためのマネジーメント及び開・製・販にわたる研修・交流の施設です。
研修ユニットを1ユニット（40名程度）／1フロアーの上部3層に、大研修室（最大900名収容）を1階に配し、2階の研修サポート・プレゼンテーションゾーンと中研修室をスキップフロアーとした吹抜空間ゾーンは共から私へと移行する宿泊棟へのバッファーとなり、研修者専用の寝・食ゾーンへと木々の間をペデストリアンデッキで接続させ、研修プロセスの中で非日常空間を体得できる研修施設としています。

施　　主　松下電器産業株式会社
所 在 地　大阪府枚方市
延床面積　9,203㎡
構造規模　RC・SRC・S造　6F
竣　　工　1999年
備　　考　双星設計と共同設計









大阪女子短期大学・高等学校

かつて植物園であった本キャンパスには、中央に良好な緑と水の空間が存在しており、静けさと落着きを与えています。キャンパスの再生にあたり、計画のどの段階においても、この緑と水の空間との関係性を保てるように考慮し、学生や卒業生に我がキャンパスとおもえる場・青春期の記憶の手掛かりとなることを期待しています。建築はキャンパスのゲートウェイとして計画し、中央を吹抜にすることによりキャンパスに奥行きを与え、アプローチ空間においても緑豊かな環境を背景に、学生の生き生きとした様子を感じさせています。

施　　主　学校法人　谷岡学園
所 在 地　大阪府藤井寺市
延床面積　11,532㎡
構造規模　RC・SRC・S造　6F／B1F
竣　　工　2001年







徳島県警察学校

SDA賞　サインデザインパブリック部門　準優秀賞

警察官としての基本的な教養訓練を受けるための学校施設です。本工事では教養棟である「本館」と訓練場である「道場」を中庭を取り囲むように増築しています。両施設共、光と風を建物内に積極的に取り込み、快適で清々しい学習訓練の場を創り出しています。規律正しい学校の中にも多様な交流スペースを確保し、語らいながら楽しく学べる、豊かな人材を育てる、開かれた学校づくりを目指しています。

施　　主　国土交通省中国地方整備局
所 在 地　徳島市
延床面積　1,932㎡
構造規模　RC・S造　3F
竣　　工　2001年
備　　考　基本・実施設計





大阪府警察学校 専科教養部

本施設は、主に現任警察官に対してさまざまな専門教育・訓練を行うための警察学校です。建物空間は、ガラスカーテンウォールで覆われた4層吹抜の長大なアトリウムを軸として教室群や講堂等を配置することにより、機能的にも視覚的にも明快な構成となっています。このアトリウムからは敷地北側公園や屋上テラスの緑を連続的に望むことができ、また吹抜のドラフト効果により自然通風を促進させるなど、明るく快適な空間を実現しています。

施　　主　国土交通省近畿地方整備局
所 在 地　大阪市
延床面積　5,727㎡
構造規模　RC・SRC・S造　4F／B1F
竣　　工　2002年
備　　考　実施設計





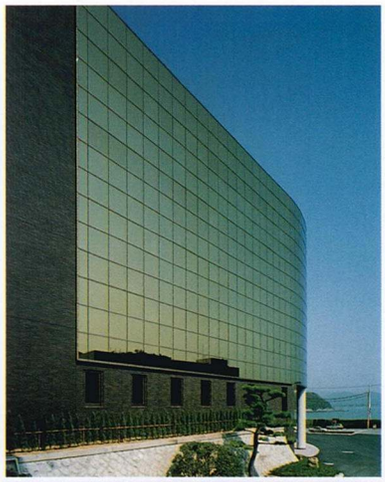


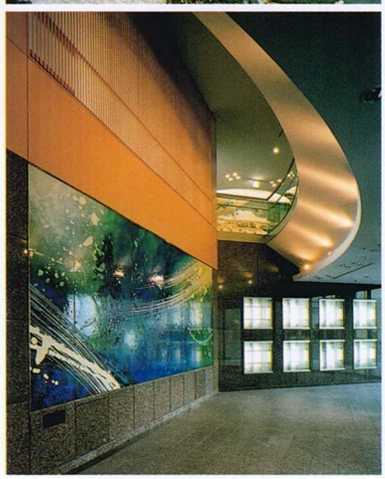
神奈川県産業技術総合研究所

産学官の連携により、県内中小企業の体質改善や技術向上を図る目的で計画された、環境配慮型の研究施設です。雨水利用や太陽光発電システムを採用するとともに、透水性舗装によって地下水の涵養を図り、建物の周囲やサンクンガーデンの積極的な緑化および前庭のビオトープとしての池により、近隣に対しても、環境に優しい安らぎの空間を提供しています。地下機械室の屋上でもある実験棟の中庭の樹木は成長し、われわれが意図した研究者のための憩いの場となっています。

施　　主　神奈川県
所 在 地　神奈川県海老名市
延床面積　32,395㎡
構造規模　SRC・RC造　5F／B1F
竣　　工　1994年





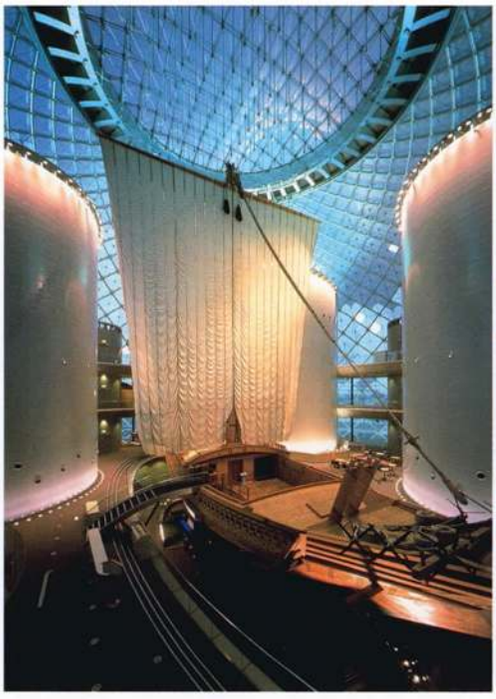


アース製薬研究棟

施　　主　アース製薬株式会社
所 在 地　兵庫県赤穂市
延床面積　6,006㎡
構造規模　RC造　5F／B1F
竣　　工　2002年

この地域において圧倒的なボリュームとなることに対して、周囲に広がる雄大な自然環境を写し込むことで調停が図れないかと考えました。海側の建物中央隅角部を緩やかな曲面とし、壁面の凹凸や変化をなくし、均一なガラスカーテンウォールとすることで、鏡像としてのファサードを構成しました。建物は、既存の日本庭園を残し、それを取り巻くようにL型に配置し、低層部では既存の見知石積を保存、修復するなど記憶の継承に配慮しています。









なにわの海の時空館

海上に浮かぶ直径70mのガラスドーム型ミュージアムと言う建築家ポール・アンドルー氏の設計コンセプトを実現するために、来館者や菱垣廻船をはじめとする展示物を火災などの災害や日射、紫外線などの外乱から守る工夫が、防災面やガラス、空調などの随所に盛り込まれています。大阪港の玄関でもあり、海浜緑地公園内に位置するガラスドームは、海中道でエントランスビルと接続されるなど、周辺環境に配慮した計画がなされています。

施　　主　大阪市
所 在 地　大阪市
延床面積　20,700㎡
構造規模　RC・SRC・S造　5F／B2F
竣　　工　2000年
備　　考　建築・監理：大阪市港湾局
ポール・アンドルー・アーキテクト・ジャパン建築事務所
構造・設備・監理：東畑建築事務所
オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド
照明コンサルタント：ライティングプランナーズアソシエイト







奈良国立博物館文化財保存修理所

奈良市建築文化賞　奨励賞

奈良公園内に立地する、仏像、絵画、工芸品などの文化財の保存・修理を専門に行う施設です。歴史的風土特別保存地区にも指定されている周辺のすぐれた景観に影響を与えないように、建物の大部分は地下に配置するとともに、地上部分は簡潔に構成されたデザインとしました。屋上緑化の促進、自然採光の確保、断熱性能の向上等を行い、環境共生型の文化財保存修理施設を実現しました。

施　　主　国土交通省近畿地方整備局
所 在 地　奈良市
延床面積　1,037㎡
構造規模　RC造　1F／B1F
竣　　工　2000年
備　　考　実施設計







高鍋町美術館

舞鶴公園の三の丸跡地にふるさと創生事業として計画された杜と石垣に囲まれた美術館です。
郷土文化や郷土にゆかりのある作家の作品に触れ活動する300人の可動席を持ち、瓦葺のむくり屋根、張り出した軒、ペンキのなまこ壁、木の格子の戸、かわら絵の中庭など日本の伝統と情の精神を伝承しキレイより美しい美術館を計画しました。

施　　主　高鍋町
所 在 地　宮崎県高鍋町
延床面積　1,409㎡
構造規模　RC造　1F
竣　　工　1998年







熊本産業展示場 グランメッセ熊本

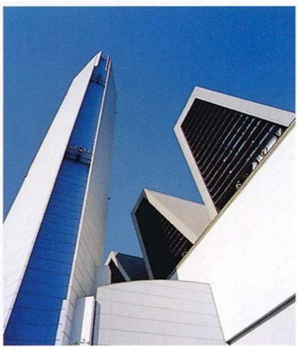
SDA賞 パブリック部門入選・地区デザイン賞

計画地は、田園風景が広がり遠方に阿蘇外輪山が望める伸びやかな環境にあります。この建物は、広がりや伸びやかな環境特性を内外に表現することをテーマとしました。外観は水平ラインを強調し、広がり感を表現しています。来場者を最初に迎え入れるガレリアは、屋外との連続性を持たせ透明感のある伸びやかな空間となっています。展示ホールは、下部躯体から浮かせたレンズ形屋根をもちます。この形態は音や空気の流れ、また採光に有効であり構造的にも合理的であるとともに、外観に軽やかさを持たせることを意図したものです。

施　　主　熊本県
所 在 地　熊本県益城町
延床面積　19,736㎡
構造規模　RC・SRC・S造　3F
竣　　工　1998年







横浜市環境事業局 鶴見工場

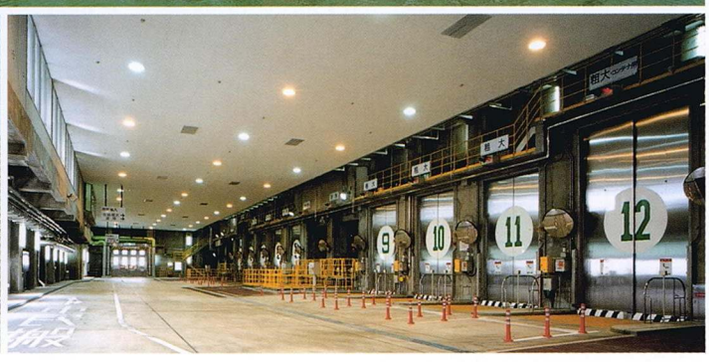
神奈川県建築コンクール 奨励賞

従来の単にごみを焼却処理するだけでなく、地球環境の保護・保全に向けたごみの資源化、減量化、エネルギー化、そしてリサイクル化を基盤とした国内最大級の資源循環型ごみ処理施設です。
外観デザインは工業港のウォーターフロントに相応しく、波のうねりをモチーフにした大曲面の屋根の重なりで表現し、特徴ある煙突は白と青に彩し、都市景観にインパクトを与えるシンボルデザインとしました。
また、隣接する余熱利用施設と一体となった眺望と水際立地を生かした市民開放ゾーンも設けられています。

施　　主　横浜市
所 在 地　横浜市
延床面積　54,975㎡
構造規模　RC・SRC・S造　6F／B1F
竣　　工　1995年







名古屋市大江破砕施設

市内で発生する埋め立てごみの減量化を図るために整備された、大規模破砕施設です。１日200ｔの処理能力をもつ２台の回転式破砕機は完成時点で東洋一の規模を誇っています。機能そのものが環境に深く関わっている本施設の計画にあたって、私たちは周辺環境や、住まう人々、そこに働く人々や訪れる人たちの環境へも思いを巡らせ、意匠的な工夫、空間的な工夫を行い、より環境にやさしい、より人にやさしい工場らしくない人間的なものづくりをめざしました。

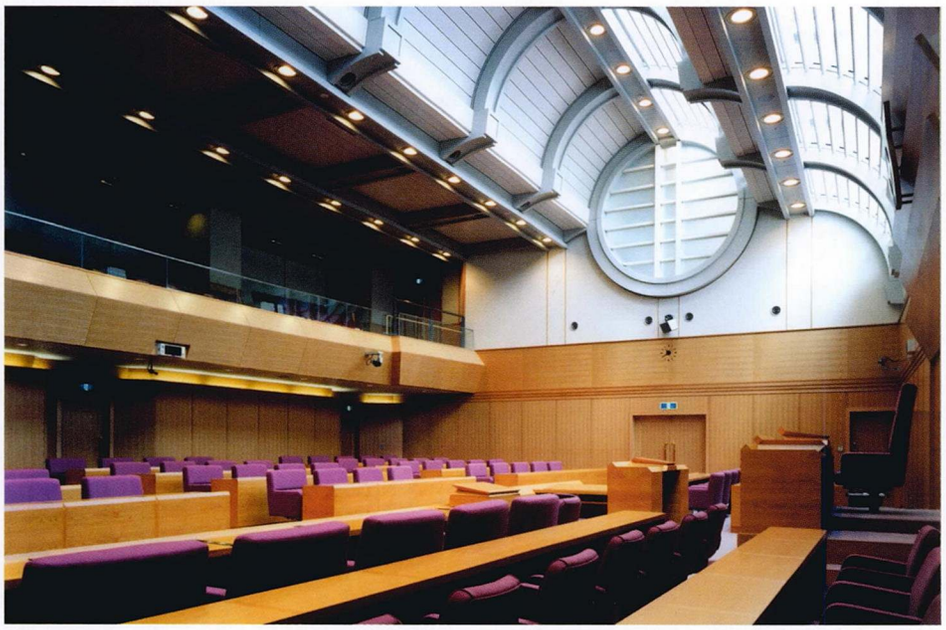
施　　主　名古屋市
所 在 地　名古屋市
延床面積　27,950㎡
構造規模　SRC造　6F／B1F
竣　　工　1997年



大阪城天守閣「平成の大改修」

大阪城天守閣は、1931年に建設された5層8階建ての鉄骨鉄筋コンクリート造です。21世紀においても大阪のシンボルであり続けるよう、耐震性および耐久性の向上、内外装の改修、バリアフリー対策等の「平成の大改修」を実施しました。耐震性については、鋼板耐震壁の増設により保有水平耐力を高め、柱、梁のせん断補強により靱性の向上を図りました。耐久性は、コンクリートのアルカリ性回復処理を施し、鉄骨や鉄筋の防錆効果を改善しました。

施　　主　大阪市
所 在 地　大阪市
延床面積　5,072㎡
構造規模　SRC・S造　8F
竣　　工　1997年



東京都大田区役所本庁舎

DDA日本ディスプレイデザイン協会　優秀賞／特別賞

ＪＲ駅前にある民間のテナントビルがバブルの影響で、竣工当初から利用されない状態で放置されていました。このビルを区政運営の円滑化、区民サービスの向上等を目指した区庁舎として生れ変らせる大規模なリニューアルを行いました。既存を最大限利用した区民交流スペース等を確保し、区民に「開かれた庁舎」となるべく入念な既存調査と細部に亙る詳細な検討がなされました。箱物に対する行政のあり方が種々問われる昨今、時代の要請の中で、この再生が「最小の改修で最大の区民サービスを目指す行政の新たな試み」となりました。

施　　主　大田区
所 在 地　東京都大田区
延床面積　41,451㎡
構造規模　SRC・S造　11F／B4F
竣　　工　1998年



大阪市水道記念館

旧建設省都市景観大賞
景観形成事例部門（商空間レベル）

大阪市の水道百周年記念事業の一環として、1914年（大正3年）に建造されたレンガ造りの送水ポンプ場を水道事業の記念館に再生させたものです。原型の素朴な様式主義デザインを損なわないよう補修ディテールに留意しながら鉄骨による構造補強や内外装の改修を行いました。内部は博物館として甦らせ、従来の地下機械ピットの再利用を含めた回遊型展示空間を構成しています。

施　　主　大阪市水道局
所 在 地　大阪市
延床面積　1,927㎡
構造規模　S造　1F
竣　　工　1995年





聖書キリスト教会　東京教会

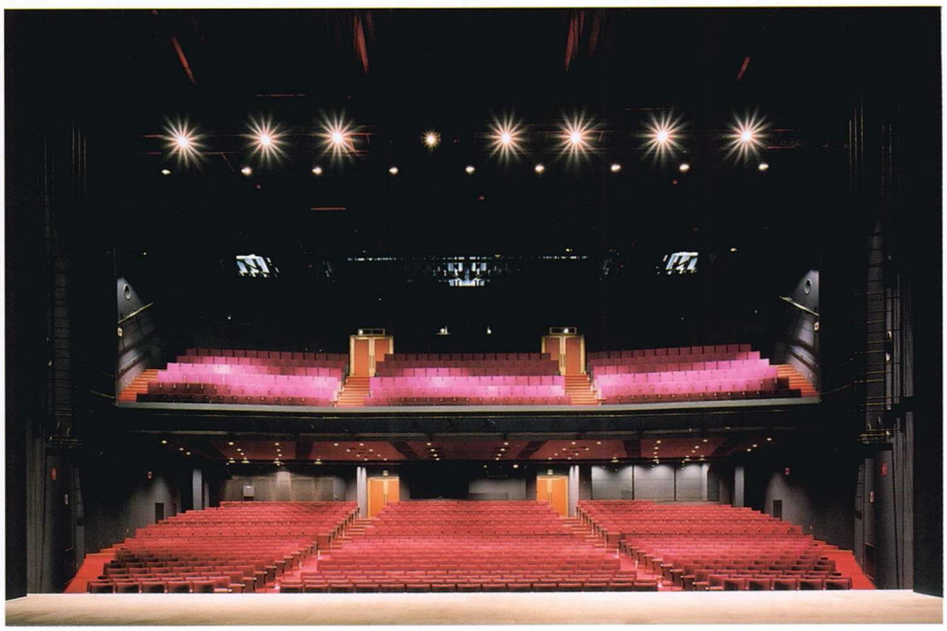
ＢＥＬＣＡ賞　ベストリフォーム部門受賞

既存製菓工場を教会とその付属施設という全く用途の異なる建築物に改修した施設です。初めに工場の建てられている敷地を購入し、その工場を解体することなく躯体をそのまま利用することによって、当初に必要とされた面積をはるかに超える床面積を獲得することができたことに、この計画の大きな特徴があります。

改修設計方針

1．既存の部分で利用できるものは最大限利用する。
2．周囲の環境に馴染みやすい外観および外構計画。
3．工事による騒音、振動、埃などの低減化。

施　　主　宗教法人聖書キリスト教会
所 在 地　東京都練馬区
延床面積　5,416㎡
構造規模　RC造　7F／B2F
竣　　工　1995年



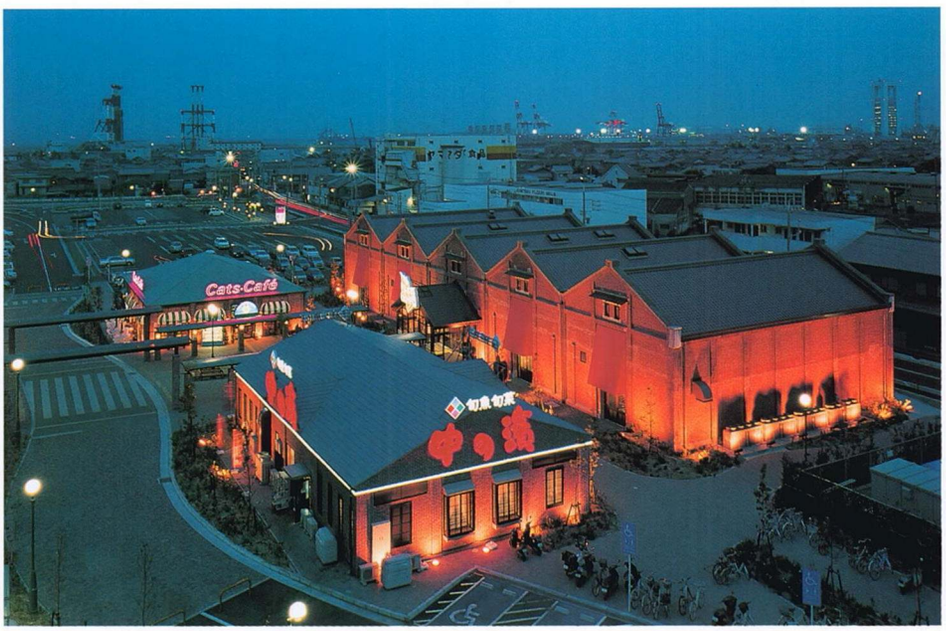
劇団四季ミュージカル

名古屋都市景観賞

昭和40年代に全盛を誇った「納屋橋界隈」の栄華を残すボーリング場を再び劇場として蘇らせるというアイデアからこのプロジェクトは出発しました。　既存の鉄筋コンクリート構造の低層部を凹型に残し、劇場としての特殊用途である舞台、客席に必要とされるボリュームを新たに凸型に挿入する形で計画されています。

かつての賑わいを想像させるような魅力ある空間が再生され、地域に新たな人の流れを生み出しはじめています。

施　　主　東陽倉庫株式会社
所 在 地　名古屋市
延床面積　4,457㎡
構造規模　RC・S造　3F
竣　　工　1999年



イオン四日市北ショッピングセンター

旧東洋紡績の原綿倉庫として1917年に計画された建物を、国の登録有形文化財として保存活用し、ショッピングセンターのレストラン棟として再生しました。内部は間仕切りを全て撤去し、建物全体を一つの空間として利用しています。構造体を鉄骨造に変え、外壁はできるだけ当時の姿がそのまま残るよう煉瓦の欠損部やクラックの補修のみとしています。赤い煉瓦壁と木の間柱によって大正時代の面影を残す建物となりました。

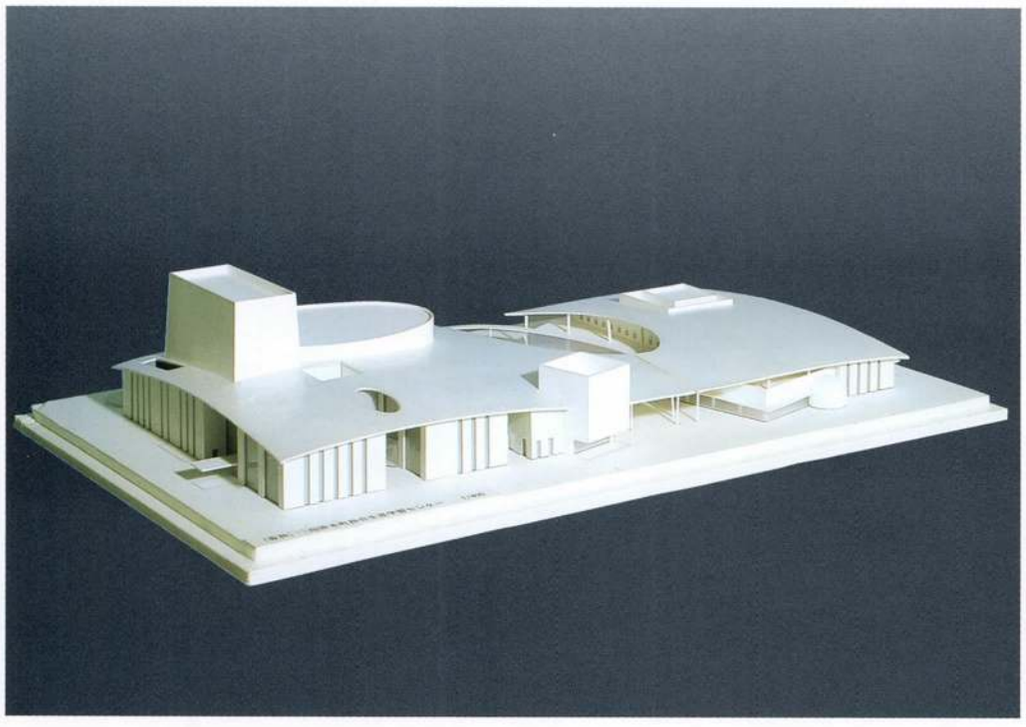
施　　主　フォレスター特定目的会社
所 在 地　三重県四日市市
延床面積　1,102㎡
構造規模　S造　1F
竣　　工　2001年



岡山県陸上競技場

岡山県下唯一の第一種陸上競技場として、約2万人収容の最新機能を備えた競技場への現地建替整備計画です。国指定の津島遺跡を中心とした市街地の公園内に立地しているため、埋蔵文化財への影響を最小限にする構法としてメインスタンドは長スパンの鉄骨造に膜構造屋根を採用しています。文化財とスポーツの共存をテーマにした展示施設を併設した「桃太郎スタジアム」は平成17年の第60回国体秋季大会の主会場となります。

施　　主　岡山県
所 在 地　岡山市
延床面積　9,936㎡
構造規模　RC・S造　4F
竣　　工　2003年



(仮称)田原本町総合生涯学習センター

800席のホール、開架12万冊収容の図書館、資料展示、生涯学習センターの4つの機能をもつ複合施設です。
それぞれの部門に人々が集うありようを「市（いち）」と見たて、全体を一枚の大きな屋根でおおうことによって、一つの「コミュニティ市（いち）」が作り出される事を期待しています。
おおらかな全体と細やかなディテール、ウォームな素材とクールな素材など様々な対立する要素が同じ場所に置かれることによってこの建物に緊張感を与えると考えています。

施　　主　田原本町
所 在 地　奈良県磯城郡田原本町
延床面積　13,113㎡
構造規模　RC・SRC・S造　4F／B1F
竣　　工　2004年



新長田駅南第１地区震災復興第二種市街地再開発事業

本事業は阪神・淡路大震災の後、震災復興第二種市街地再開発事業の区域として都市計画決定を受けた新長田駅南地区の内、街の中心となる大正筋商店街に面した６街区の中に計画された複合施設です。住宅と商業施設で構成され、「住む」「働く」「憩う」という生活諸機能を相互に高めあい共生する街をテーマに、アメニティある副都心の活力と下町の文化の暖かさを継承し、人に優しい潤いのある生活空間を形成するとともに、防災性を高めた都市基盤の整備を目指すものです。

施　　主　神戸市
所 在 地　神戸市
延床面積　162,400㎡
構造規模　RC・SRC・S造　5～30F／B1F
備　　考　当社単独設計　約69,000㎡
森崎建築設計事務所との共同設計
約93,400㎡



フォレストレイクひばりが丘

この計画地は第一種低層住居専用地域ですが、高さの緩和許可を受け、一部に５階建てが可能となった計画です。空地率約73%というゆとりとともに、ケヤキを中心とした約300本もの既存樹を残し、約900㎡の人工池と２つのせせらぎを設けています。豊かな緑と水の自然環境を新たにつくりだすことで、この住環境の持つポテンシャルを高めることを目指しました。これらにより財団法人建築環境・省エネルギー機構から、「環境共生住宅団地」の認定を取得しています。

施　　主　株式会社　大京
所 在 地　東京都西東京市
延床面積　47,850㎡
構造規模　RC造　3・4・5F
竣　　工　2003年



都市基盤整備公団
汐留H街区超高層住宅

ＪＲ新幹線および在来線・新交通ゆりかもめ・首都高に取り囲まれ、敷地中央部地下をＪＲ横須賀線のシールドが貫通しているという立地条件にもかかわらず、さまざまなライフスタイルへの対応、多くの機能をもった空中庭園の設置、動きを感じられる非対称型デザインなどによってアイデンティティーの強化を図り、国際都市・汐留にふさわしい都心居住の実現を追及した計画です。SIの手法と合わせ、上部12層は、公団で初めての「スケルトン賃貸住宅制度」を採用しています。

施　　主　都市基盤整備公団
所 在 地　東京都港区
延床面積　100.626㎡
構造規模　RC造　56F／B2F
竣　　工　2004年



菅原町地区第一種市街地再開発事業

本計画は従来の超高層住宅が陥りがちな単調で画一的なイメージを払拭し、居住者、そして都市に対して様々な領域における多様性を創り出すことを目指しています。超高層住棟のコアを西側に寄せ、南北軸に対して明確な平面における非対称性を生み出しました。これによって東西南北が全て異なる壁面構成となるとともに、多様な住戸タイプが可能となります。超高層中央の吹き抜けに対して、１スパンを外気に開放し、さらに７層ごと２層吹き抜けの空中広場を設けました。

施　　主　菅原町地区市街地再開発組合
所 在 地　大阪市
延床面積　55,346㎡
構造規模　RC・S造　42F／B1F
竣　　工　2003年



神奈川県立かながわ保健医療福祉大学（仮称）特定事業

今後ますます増大・多様化する地域の保健・医療・福祉の総合的能力をもつ人材育成へのニーズに対応するため、神奈川県が新設する大学プロジェクトです。国内では前例のない大規模なＰＦＩ事業により設計・建設・維持管理されるものです。（2003年春開校予定）

施　　主　神奈川県
所 在 地　神奈川県横須賀市
延床面積　41,863㎡
構造規模　RC・S造　6F
竣　　工　2003年



（仮称）滋賀21会館整備PFI事業及び合築事業

ＰＦＩ事業により整備される滋賀県の産業支援拠点です。滋賀県の関連団体のほか、大津商工会議所、滋賀県信用保証協会が入居する複合施設となります。地域経済の発展に寄与するとともに周辺環境と共生する新しい「滋賀県の顔」づくりを目指した施設計画を行っています。（2004年夏開設予定）

施　　主　滋賀県
所 在 地　大津市
延床面積　13,000㎡
構造規模　SRC造　9F
竣　　工　2004年

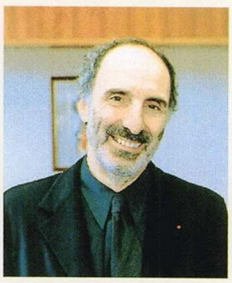


当新田環境センター余熱利用施設整備・運営PFI事業

この計画は、岡山市が行う最初のＰＦＩ事業です。環境センターから発生する余熱を有効に利用し、広く市民に対してスポーツ健康増進、リラクセーションおよびコミュニケーションの場を提供することが目的であり、事業内容はスポーツ・温浴施設を設計・建設し、その運営と維持管理を15年間に渡って行います。施設計画では、運営者・建設者と綿密な調整を行いながらトータルコストの低減を図ると共に環境への配慮に重きを置いています。

施　　主　岡山市
所 在 地　岡山市
延床面積　3,600㎡
構造規模　S・RC造　2F
竣　　工　2004年

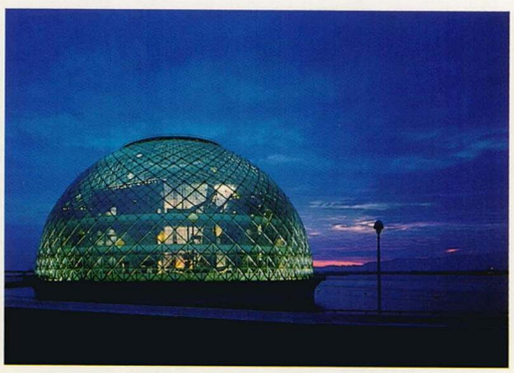
Collaboration with Tohata　東畑建築事務所とのコラボレーション

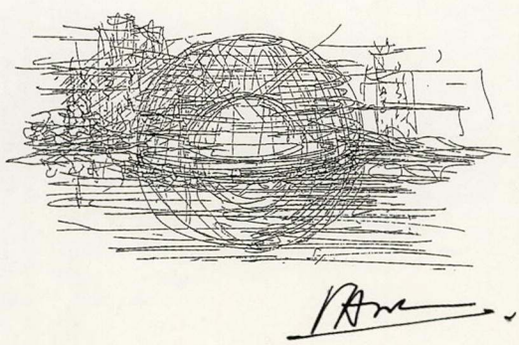


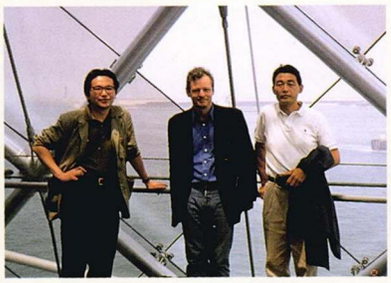
Paul Andreu
ポール・アンドルー
建築家・元パリ空港公団チーフ・アーキテクト

The scene of 7th November, 1999 was quite a surprise for me. The glass dome was carried by the barge and was lifted by huge crane for putting very much fragile looking structure on the foundation of Osaka Maritime Museum. Such event could have been realized by the cooperation of our partners, Tohata and Arup, so that I still wish to say "Thank you to all".
Since the completion of this project, I visited several times for viewing from outside and inside and always found the concept of the design remains unchanged and the quality can be splashed over to the world. I am currently involved in major projects in China and the result
of Osaka Maritime Museum gives good reference to me, while my partner, Tohata as an architect office in Osaka, should have the same.
I learnt that Tohata is celebrating 70th anniversary and would like to bid their great success of the past and of future.

私は、1999年11月７日のあのシーンに大きな感銘を受けた。見るからに繊細なガラスドームが、バージ船に載せられて運ばれてきた後、クレーン船に吊り上げられて「なにわの海の時空館」の基礎上に載せられた光景だ。あの感動的シーンは、私のパートナーであった東畑建築事務所、オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズの絶大なる協力によって実現し得たものである。私は関係者各位に再度お礼を述べたいと思う。
このプロジェクトを終えてからも、何度か現地に足を運び、外観や内観を見る機会があった。その度に、設計コンセプト通りに実現できたこと、その質が世界に公表されるべきものであることを実感している。現在、私は、中国で複数の大型プロジェクトを手がけているが、この「なにわの海の時空館」の実績を活かすことができている。これは、私のパートナーであった東畑建築事務所にとっても同じことであると思っている。
この度、東畑建築事務所が創立70周年をお迎えになると聞き、彼らの実績を高く評価し、将来の発展を祈る次第である。







Hugh Dutton
ヒュー・ダットン
建築家・コロンビア大学講師（写真中央）

Working with Tohata for me began in 1995 for the Osaka Maritime Museum by Paul Andreu. On the specific day I learned the Japanese words ｢Dai Ji Shin｣, as it was 17 January 1995 day of the tragedy of the Kobe earthquake. All of the Tohata people with whom I was to meet on that day called me one after the other at my Hotel concerned about my well being. This for me was a demonstration of the heart of a team who have become, after working with them over the next two years on the project, good lifetime friends.

Designing and building a glass domed museum in the sea, founded on silt, subject to earthquakes and typhoons as well as Osaka｣s hot sun is not an easy task. Our collaboration with Tohata made it possible and a pleasurable experience too. I can only wish them much greater success in the future.

私と東畑建築事務所との関係は、ポール・アンドルー氏の作品「なにわの海の時空館」の設計を始めた1995年にさかのぼる。「大地震」という日本語を知ったのは、この年の1月17日、阪神大震災の日である。その日に、いっしょに打合せをする予定だった東畑のスタッフが、次から次へとホテルに電話をくれて、私の安否を気遣ってくれた。このできごとで、彼らの友情に接し、その後２年間に渡って、プロジェクトに携わり、生涯の良き友を得ることになった。

海上にガラスドームのミュージアムを設計し、建設することは、シルト層の上でもあり、台風や地震、大阪の日射などを考慮すると、決して、やさしいことではない。我々は、東畑とのコラボレーションによって、それを実現し得たし、楽しい経験とすることもできた。東畑建築事務所が今後ますます発展することを切に望む次第である。



Mark Facer
マーク・フェイサー
オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ
ディレクター

The design of Osaka Maritime Museum was successfully carried out initially mostly in Europe and later mostly in Japan by Paul Andreu, in Paris, Arup, in London and Tokyo, and Tohata, in Osaka. A key to the success of the collaboration was careful consideration by each organisation of respective duties at each design stage leading to agreement about responsibilities and interfaces. Arup remained responsible for the majority of the engineering associated with the design development of the architecturally sensitive sphere. This was in the context of a successful collaboration with Tohata, made easier by Tohata｣s local knowledge, shared values and friendliness.

「なにわの海の時空館」の設計は、パリのポール・アンドルー氏、ロンドンと東京のオーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ、大阪の東畑建築事務所で、前半は主にヨーロッパで、後半は主に日本で作業を行いながら順調に進んだ。このプロジェクトにおいてコラボレーションがうまく行ったのは、設計の各段階で、各社の担当業務を明確にし、責任範囲やそのインターフェースについて、合意を得ながら進めたことにある。オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズが、主として、意匠との取合いの多いドームの構造設計、設備設計を責任範囲として終始徹底できたのは、東畑建築事務所とのコラボレーションが成功したからに他ならず、ひとえに、彼らのもつ地元に関する豊富な知識力やエンジニアとしての共通の価値観、友好的態度のお陰である。

都市再生への取り組み

■はじめに

国内経済の低迷が続くなか、政府や地方自治体において経済活性化の起爆剤としての「都市再生」を巡る議論が進んでいます。東畑建築事務所は、市街地再開発事業への参画などを通して、早くから「都市再生」に取り組んできましたが、こうした国内の動きを受けて、「都市再生」を設計事務所が関わるべき重要な課題ととらえ、社内に「都市再生プロジェクト室」を発足させました。現在、都市再生に関する情報収集や勉強会の開催などを通して具体的な提言づくりに取り組んでいます。「都市再生」を短期的な景気浮揚方策と捉えるのではなく、長期的な視点にたった産業の活性化や生活環境の向上に資するとともに、地球環境や地域資源の保全にも配慮した「ストックとしての都市環境づくり」を目指すべきであると考えます。同時に、市民が「都市の担い手」としてまちづくりに参加できる仕組みを構築することも求められます。こうした視点にたち、「都市再生」を進める上で私たちが重視するポイントとして次の５項目を掲げます。

①**環境共生**：環境への負荷を低減し、自然と共生する仕組みづくり
②**ストック活用**：地域の歴史的、文化的資源を活用するまちづくり
③**都市アメニティ**：都市のインフラとしてのアメニティの向上
④**タウンマネジメント**：市民が「都市の担い手」となる仕組みづくり
⑤**インセンティブ**：事業成立性を高めるための誘導方策の推進

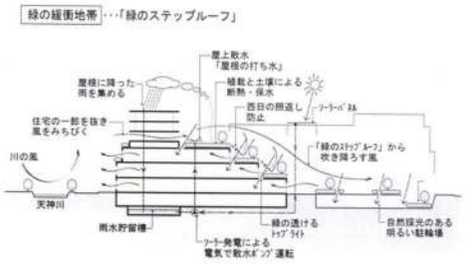
以上のポイントを踏まえて、東畑建築事務所の取り組み事例を以下に紹介します。

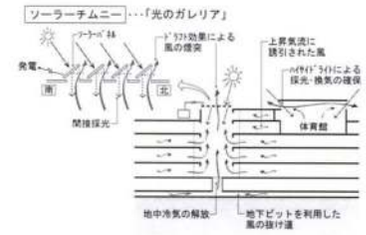
■環境共生

ライフサイクル全般にわたって、環境への負荷を低減させる建築システムを構築することが重要であると考えます。特に、都市のレベルでは、緑化の推進等が複数建物で連坦され、景観の向上にも寄与しながら都市全体の負荷が抑制されることが期待されます。

（事例１）京都市太秦東部地区第一種市街地再開発事業施設計画（プロポーザル案）

・地下鉄新駅設置に伴う京都市右京区の新拠点づくりとして位置づけられている、右京区庁舎、地域体育館、住宅を主用途とした再開発ビル計画である。
・「環境共生」をテーマに、駅前広場から直接アクセスできる大規模な段状屋上庭園「緑のステップルーフ」を提案した。屋上緑化により、都市のヒートアイランド抑制、CO2吸収源としての地球温暖化防止等、環境負荷の軽減を図るとともに、まちに緑をもたらし、人々に「地域の森」として愛されるアメニティスペースの創出を目指している。
・施設エントランスに、ルーバー状の太陽光発電パネルを頂部に設置した「光のガレリア」を設ける。内部動線を集約し地域交流を促進するパブリックスペースとして、また、ドラフト効果による自然換気、地中冷気の開放を意図した熱負荷軽減装置「ソーラーチムニー」として機能する。





■ストック活用

人々に記憶される歴史的な街路や建造物、樹木などをまちづくりの中に生かすとともに、環境への負荷を抑制する観点からも、建築物の機能更新を図り、都市に「新しい価値」を創出していく視点を重視したいと考えます。

（事例２）新名古屋ミュージカル劇場：機能転換によるストック活用

・バブル崩壊後再開発計画が中断された地区において、事業が再開されるまでの間暫定的に運用される仮設的な劇場で、ボーリング場として使用されていた建物の躯体を転用して整備した。
・本地区は昭和40年代まで名古屋の繁華街として栄えたが、劇場のオープンにより、周辺の人通りが従前に比べて１割程度増加したとの調査結果もある。
・厳しい経済情勢のなか、低コストで既存のストックを上手く利用し、街の再生、ポテンシャルアップに貢献することができた。



（事例３）イオン四日市北ショッピングセンターレストラン棟：歴史的建造物の保存活用

・　旧東洋紡績富田工場の跡地に計画されたショッピングセンターにおいて、当初取り壊しが予定されていた大正時代のレンガ造りの倉庫を、四日市市をはじめ、地元からの保存要望もあり、レストランとして保存活用することとなった。
・耐震性を考慮して構造体を鉄骨造に変更したが、外壁はレンガの欠損部やクラックの補修のみを行い、紡績が栄えていたころの街の面影を残すことができた。



■都市アメニティ

都市の「インフラ」としてのアメニティの向上を重視し、「人々が楽しく歩けるまち」の創出を目指したいと考えます。

（事例４）さいたま新都心合同庁舎

・国の機関が入居する合同庁舎で、「都市アメニティ」をテーマにした快適で潤いのある環境の創造と、様々な人・物・情報の交流が活発に行われる「開かれた官庁街」の形成が目標とされた。
・建物の外観は、国の庁舎としての品格を備えながらも、季節や時間の変化に応じて表情が変わる外壁タイルを採用するなど、人々に親しまれやすいデザインとしている。
・外構計画では、従来の官庁施設に見られる塀や門扉を取り除き、一般市民が自由に出入りできる計画としている。また、祝祭日に住民参加によるイベントを開催できる「月の広場」や、植栽や滝など自然の要素を多く取り入れた憩いと潤いの感じられる「せせらぎの丘」などのフォーラム空間を形成し、多くの人々が歩きながら十分楽しめる「場」をつくることを目指した。



（事例５）ファーレ立川

・「ファーレ立川」に導入されたアート計画は、これまでに例のないスケールで展開された。36カ国92人の作家が参加し、「世界を映す街」、「機能を美術（物語）に！」、「驚きと発見の街」をコンセプトに、109の作品が約６haの街にちりばめられている。
・当社設計のコアシティ立川の周囲にも、車止めの機能をもった作品が数多く並ぶほか、アート作家とのコラボレーションによる換気塔や手摺壁が創られ、他の街区の作品群とともに「美術の妖精たちの森」を構成して、街で働き街を訪れるたくさんの人々の五感にささやきかけている。（写真右）

■タウンマネジメント

まちづくりは、ハード重視からソフト重視に移行しつつあり、地域住民との連帯や地域に固有な歴史的文脈の継承などを目指す動きが活発です。特に、「まちづくりの担い手」として住民がまちづくりに参加する仕組みづくりが望まれます。

（事例６）神戸市新長田駅南第二種市街地再開発事業での取り組み

・新長田地区は、震災により甚大な被害を受けた後、市主導の大規模な再開発事業が進められている。そこでは、住民組織によるまちづくり協議会が、地元と行政の橋渡し的存在として大きな役割を果たしている。
・当社が参加した協議会は、住民、専門家、行政が一同に参加する学習会を催し、計画の検討を行った。その成果として、例えば、従前居住者用賃貸住宅にはマンションタイプの住宅に不慣れな高齢者が日常的に住民とふれあう「共同室」を設けている。ワークショップなど各種の共同作業を通じて、下町で形成されてきたコミュニティを継承し、まちの個性が高まることが期待されている。





■インセンティブ制度

規制緩和や補助制度等が、事業者に様々なインセンティブを与え、都市再生の事業成立性を高めることになります。現状の諸制度に加えて、例えば特区における、固定資産税や法人税等の不動産税制の緩和等が考慮されれば当該区における、事業者の投資活動はより盛んになることが期待されます。

（事例７）大阪市菅原町地区第一種市街地再開発事業施設計画(平成15年３月完成)

①容積割増制度

・容積率の割増制度としては、高度利用地区、再開発地区計画、総合設計制度等があげられるが、大阪市では総合設計制度が充実しており、共同住宅、特定施設（文化施設、医療福祉施設他）の容積割増制度をもつことが特徴である。
・「都心居住容積ボーナス制度」を活用した本事例の場合、敷地の約24％を有効公開空地にすることで、約200％もの容積割増が得られる。都市計画制度に比べ、住宅の総合設計制度は柔軟かつ有効な制度と言えよう。

②補助金制度

・再開発事業においては補助金の制度があり、事業性への貢献度は大きい。本事例では、工事費に対する補助の割合が約23％、事業費全体に対する補助の割合が約28％である。再開発事業の場合必要となる地権者の合意形成に係る費用が概ね補助金で相殺され、結果的には、通常の等価交換事業並に「工事費≒保留床処分金」となるのが一般的である。



座談会

未来に向けてのデザイン

出席者（順不同）

林　昭男（滋賀県立大学教授）
松村孝治（大阪事務所　建築設計室長）司会
八杉政一（大阪事務所　設計統括部長）
林　明宏（東京事務所　設計部長）
佐伯　博（名古屋事務所　設計部長）
近藤一雄（大阪事務所　構造部長）
弓崎幸治（大阪事務所　設備部長）

松村　成熟の時代といわれる21世紀前半のデザインを語る上で「サステイナブル」であることは大きなテーマとなっています。本日は「東畑建築事務所創立70周年」特集の座談会として、日本における「サステイナブルデザイン」の普及の先頭に立っておられる滋賀県立大学の林昭男教授にお越しいただき、これからの建築が目指すべき方向としての「サステイナブルデザイン」をメインテーマとして話を進めてまいりたいと思います。

昭和７年、東畑謙三が事務所を創設した当初は、我が国の経済発展期に対応するかたちで、工場建築の設計が主な仕事でした。設計に当たって「機能的であること」「経済的であること」「保健衛生への配慮があること」を３つの柱として考えていたようです。その一つ、「経済的であること」では、初期の建設コストだけでなく維持管理費の低減・増築や模様替えの容易性にも目を向けていました。

東南アジアの建築について、彼が記した論文には地域の気候を十分に考慮し、例えば、屋根裏に空間をとって通風を良くする、スコールによる蒸発熱を利用して室温を下げることなどが紹介されています。

そのころ「サステイナブル」という言葉は概念としてはなかったのでしょうが、事務所の日常業務の中で自ずと浸透するよう指導してきたのではないか、そう言う意味で私どもの事務所では、建築のサステイナビリティを日常的に考えつつ、今日までの歴史を歩んできたといえます。

一方、東畑謙三は、自らを構成技師と称しており、空間を構成するシステムの中に建築計画、構造、設備などを組み込んでいくという考えをもっていました。空間をシステムの構築で支えるということが、今のサステイナブルなデザインにも相通ずる部分があるのではないかと思っております。

サステイナビリティーとの出会い

松村　林先生は、'95年にＪＩＡで「サステイナブル・デザインガイドブック」をまとめられ、バブル期の前後からこのままではいかんぞと設計者に注意を呼びかけてこられました。そのあたりのいきさつも含めてお話をお願いします。

林教授　私がサステイナビリティーということについて関心を持ったのは'80年代です。これは、当時新日本建築家協会（ＪＩＡ）の会長であった林昌二氏から話があって、これからの建築は環境に配慮してつくるべきであり、既に米国建築家協会（ＡＩＡ）には環境委員会があるが、ＪＩＡでも準備をしたいので検討を始めてほしいということで１年間予備的に事情を調べたりしました。

そのころ、ボストンでのＡＩＡの大会に出ましたら、サステイナビリティーという言葉が連発されていました。サステイナブル・コミュニティ、サステイナブル・デベロップメントと。当時、私はどういう意味なのかわからず、ただ、持続的な発展とか、文字からの解釈はわかったけれども、内容的にはずっとわからないままでいました。その後、このことを研究しながらわかったことは、サステイナビリティーというのは決して新しい考えではないんです。もともとサステイナビリティーは建築に備わっていたんです。

都市、建築にサステイナビリティーを

林教授　昔の日本の建築、寺社建築はもちろん民家にしても良い建築は200年、300年ともってきている。それも、建てっぱなしではなく、手入れをしたり、解体修理をしたりして維持管理されてきた、それが普通でした。今ではそういうことがなくなってしまった。サステイナビリティーが建築から失われてしまったのだと思うんです。資源を大事にしたり、再利用したりという気持ちがなくなり、大量生産、大量消費、大量廃棄、という経済の仕組みが本来自然にもっていた建築のあり方を失わせてしまったということです。それと、技術の進歩に伴い建築にもさまざまなものが適用され、環境も人工的につくっていく。人工的につくることが進歩だと思った。過度の進歩によるツケが今きている。人工と自然とを如何に組み合わせていくかを真剣に考えるべきときだと痛感しています。

グローバル化の中で、日本人は快適な暮らしになれてしまって、経済、社会、文化そして建築そのものが今サステイナブルではなくなってきている。考え直さなくてはいけない時期にきていると思っ

ています。

松村　「サステイナブル・デザインガイドブック（第１集）」が出たのち、当時の建設省が「グリーン庁舎の計画指針」を策定しました。その当時の背景やサステイナブルと建築との関わりについてはいかがでしょうか。

林教授　グリーン庁舎の考え方も、やはり世の中全体の建築に対する見方が、環境配慮型でなくてはならないという気持ちが出てきたからでしょう。当時の建設省が、これからの公共建築というものは、環境に対して負荷の少ない建築をつくらなくてはいけないということを具体的に打ち出したのが指針です。

また'92年ブラジルでの地球サミットの翌'93年、国際建築家連盟（ＵＩＡ）の大会とＡＩＡの大会がシカゴで行われました。そのときのメインテーマがサステイナブルデザインだったわけです。建築や都市にいかにサステイナビリティを求めていくか、それがテーマでした。「相互依存宣言」が出され、すべてのものが生存し、関係しあっていくための共生という基本的な考えに基づいて、建築家も、都市計画家も環境に配慮した建築や都市ををつくっていこうということが宣言されました。日本からも250人ぐらい参加しました。

松村　それはすごいですね。

林教授　非常に盛大な大会でした。これが一つの節目になったと思っています。ＪＩＡではその前に環境委員会ができていて、宣言だけして実際面はどうするのかということで、考えたのが「サステイナブル・デザインガイドブック」でした。サステイナビリティーという考え方は、非常に多面的だと思いますが、考え方、部分を知ることで新しい課題に役に立たたないかということで取り組んで出来たのが第１集で、以降、第２、第３集とつくってきました。

自然との共生

松村　先生がまとめられた「サステイナブル・デザインガイドブック」の中の、コンセプトキーワードには、「自然」「資源エネルギー」「ライフサイクル」「人」「まちコミュニティー」がありますが、今まで私達も個々のテーマとしては、部分的に生かし取り組んできています。

まず、「自然」をコンセプトテーマにした具体例を紹介して下さい。

佐伯　18年程前の事例になりますが、四日市にある高齢者の長期療養病院―小山田記念温泉病院です。ここは冬の鈴鹿おろしの厳しいところなので、高齢者のために20m×20mのガラスのアトリウム・温室を是非つくりたい。しかし、民間病院で経営のことを考えるとランニングコストをいかに少なくするかが問題で、悩んだあげく井水の利用を考えました。サッシの下に堀状の池をつくり井水を流すことにしました。夏は池面とサッシ面を空かして、ドラフトを起こして井水の冷気による通風で温度を下げ、補助的に井水利用によるファンコイルを設置しました。冬は池の水位を上げて密閉状態にして本来の温室にする。中には地域で育った木を地植えしています。

松村　名古屋の東山植物園の園長先生にもいろいろ教えていただきました。

林教授　そんな昔にですか。自然な考え方ですね。

八杉　最近の事例では、公共施設で大規模なダブルスキンのアトリウムがあります。丹波篠山という場所柄もあり、観光客が四季を通じて多いところで、市民のためのコミュニティーの場に留まらず広く観光客にも開放されたものにしようと、建物の内部が見える大きなガラス壁面を設けました。南面しているので太陽の光、特に受熱量を懸念しましたが、熱を防ぐだけでなく逆に使えるのではないかと設備スタッフと共に検討を重ね、自然エネルギーを活用する取り組みをしています。

弓崎　そもそも我々設備技術者は自然に対する受け止め方を「外乱」と言う言葉で捉えてきたように思います。「夏の暑い外気は冷やすものだ」と環境を人工的に作りだす教育を受けてきた経緯があります。しかし、'79年の省エネ法が施行されてから考え方が随分変わってきました。篠山市民センターの南向きのアトリウムは以前の常識からすると設備的には大変苦労する存在ですが、ダブルスキンによって自然の力を利用し「外乱」「負荷」を上手にコントロールするように考えました。夏はダブルスキン内の通風力を利用し熱を放出し外壁の温度上昇を抑え、冬にはダブルスキン内の温まった


林　昭男氏


松村孝治氏

空気を暖房に利用する手法をとっています。

八杉　もうひとつの事例として、奈良国立博物館の文化財保存修理所があります。ここは春日山歴史的風土特別保存地区内で、建築を地上部分に新築するには制限があり、地下につくらなければならない。文化財の保存修理所ですから室内の温度、湿度変化の少ない建物にする必要がある。そこで土の持っている断熱性能を活かそうということで、エントランス部分を除いてすべて屋上は盛土をし、緑化しました。土の持っている自然の力を断熱に置き換えて保存、修理に良好な環境をつくりました。

単に自然の力を使ったり、活かすだけが目的ではなく建築的コンセプトと整合した自然との共生を考え、取り組んでいます。

雪を利用しての冷房

松村　豪雪地帯で有名な新潟県の六日町でその雪を利用した事例をやっていますね。

林（明）　自然エネルギーの活用としては特殊な例でしょう。県税事務所、土木事務所等の他、それらを取りまとめる地域振興事務所を新たに設置する、南魚沼郡の「地域機関」としての総合庁舎のプロジェクトです。

六日町は全国屈指の豪雪地で年間降雪量が10ｍを越え、積雪も２～３ｍに達するという場所で、逆に夏はたいへん暑く冷房を必要とする土地柄です。

サステイナブルデザインというのは、その地域の自然条件をうまく利用していくことが大事だと考えています。比較的まだ実施例の少ない雪冷房でしたが、何とか実現を図りたいと思い、県に提案したわけです。県側の熱意もあって、コスト削減の動きの中においても実現の運びになりました。地元の方々にとっては「克雪」という言葉で表現するように雪はまず敵だという存在です。それを今後は「利雪」といって雪を活用していくという地元行政の積極的な取組みも背景にありました。

雪冷房というのは別に新しい技術ではありません。北海道、東北、北陸など寒冷地では穀物、野菜、果物など食料を貯蔵する方法として古くから使われています。これは設備的にはごく簡単なもので済みますが、居住空間の冷房となるとそれなりに制御が必要になります。そこで、この技術を研究されている室蘭工大の媚山助教授に技術的なお話を伺い、先生が関与された北海道美唄市の福祉施設や、新潟県安塚町の「雪のまちみらい館」などの施設を見せていただきました。その結果、ここまで技術が確立していれば、これは自信をもって提案し設計できると確信しました。

昨年の８月、「雪のまちみらい館」を訪ねる機会があり、雪冷房を体験しましたが非常に快適でした。ここで使われているのは全空気式と言われているもので、雪を融かして冷媒にするのではなく、雪の表面に空気を流して、その空気を居室に直接送り込む。雪の表面を空気がなめていくとき臭いやほこりも吸収・吸着してくれて、大変さわやかです。当プロジェクトにおいても全空気式を採用し、県民の方々へのＰＲの意味からも、ロビーや県民サービスセンター等、一般に開放されているエリアを対象としています。しかも、補助熱源は使っていません。

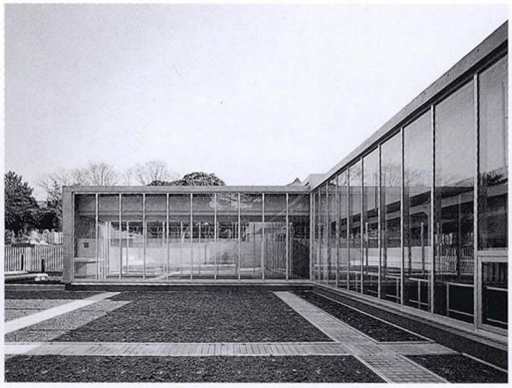
松村　ＰＦＩ事業のプロポーザルで当選した神奈川県立保健福祉大学（仮称）では、様々な取組みをされているようですが……

弓崎　この大学は「自然と共生するキャンパス」をコンセプトとして計画され、そのエコキャンパスの象徴として大屋根「エコロジカル・ルーフ」を設置しました。設備の立場からすると、空調の負荷を極力抑え消費するエネルギーを最小にする事が原則で、この大屋根の一番の目的はそこにあります。また、その大屋根には日射遮蔽・雨水集水・太陽熱集熱・太陽光発電・風力発電と多機能な面を持たせています。

松村　自然の話から「資源・エネルギー」に移りますが、最近竣工した滋賀県成人病センターでは、大規模なコージェネレーションを採用されています。

弓崎　「資源・エネルギー」の面から考えると、その建物で使用したエネルギーは排熱を含め全てカスケード的に利用し、初期入力したエネルギーは逃さず有効利用しようというのが私の持論で、今後の課題はその利用率の向上です。いままでコージュネレーションは給湯等の単純な形での熱利用が大半を占めていましたが、滋賀県


八杉政一氏


奈良国立博物館文化財保存修理所


芦屋市立山手小学校

成人病センターでは排熱投入型冷温水発生機などを設置し、排熱を有効利用し環境負荷削減を図りました。コージェネレーションは有効な方法ですが、重要なのは電気と熱の需要バランスでしょう。

松村　今回のケースでの電気と熱のバランスはどうだったのですか。

弓崎　電気需要に対する熱需要の比が80%以上あり、大変有効でした。もう一つ環境負荷削減でポピュラーになったものに氷蓄熱があります。10年前に竣工した神戸フルーツフラワーパークですが、冬には屋外のスケートリンクが設営される施設で、そのリンクの大規模な熱源を夏にも利用し、併設されているホテル全ての冷房を夜間の氷蓄熱で賄っています。完成後10年間コミッショニングを続けていますが、夜間移行率100%の結果が出ています。エネルギーの有効利用のためには、コミッショニング業務も設計事務所として取組んでいくべきでしょう。

サステイナビリティと構造

松村　エネルギーに関する話題が続きましたが、次に構造設計とサステイナビリティについてはどうでしょう。

近藤　サステイナビリティと構造との関わりというと、高寿命・高耐久・高耐震がすぐに思い浮かびます。先程も話題になっていました滋賀県成人病センターの例ですが、病院建築はオフィスビル等に比べて地震に対する性能をアップする必要があります。その手法としては耐震と免震がありますが、一般的に、免震は耐震に比較してコスト高になると言われています。今回のように耐震性能が強く求められる場合には、コスト的な差はあまりありません。そこで地球環境負荷の低減という視点からも考えて、免震を採用しました。地球環境負荷の低減を具体的に検証するために、免震構造と耐震構造とをCO_2排出量に置き換えて比較しました。その結果、免震構造のほうが耐震構造より4.5%ほどCO_2が減ることが解りました。4.5%という数字が大きいか、小さいかですが、建築学会などでも100年間で16%削減と提案されていますので、建設当初に4.5%削減というのは結構な数字ではないでしょうか。

弓崎　建物に占めるLCCO_2の大半が設備エネルギーですから、建設当初での数値とすれば大きな数値だと思います。

松村　構造設計とサステイナビリティの関わりとして、高耐久・高耐震の話が出ましたが、それ以外どうでしょう。

近藤　長寿命・高耐久とはまったく正反対の話になりますが、唐招提寺国宝金堂解体修理の素屋根についての事例です。

素屋根というのは解体修理のための仮設物ですので修理が終わりますと当然撤去します。そこで撤去を見越した設計ということで考えました。現地は歴史的建造物保存地域なので掘削工事ができず地上に基礎をつくらなければなりません。そのため基礎に使われるコンクリートのボリュームは相当な量です。そこで、塩ビパイプを基礎の中に埋め込んでおいて、解体の際、ワイヤーソーで容易に切断出来るように考えました。

林教授　解体が容易な基礎の設計とは、非常に結構な、また大事な考え方ですね。

松村　解体撤去の話が出ましたが、廃棄物削減もサステイナブルのキーワードのひとつといえます。

弓崎　廃棄物削減についていえば、ゴミ処理も忘れてならない問題です。松下電器産業人材開発センターでは宿泊棟からでる厨芥をディスポーザーを経てバイオ処理を行い、下水へ放流することで廃棄物の量を削減しています。生ゴミに関しては「自然消滅式」も開発されおり、環境面からは大変有利になっていく様ですが、ただ問題なのはその設備に対してCO_2排出量が増加するので、システム上のバランスを考える必要があります。

大空間とフレキシビリティー

松村　つぎのキーワードとして、「ライフサイクル」があります。どんな展開がなされているか、最近設計の機会が多い研究所を例にいかがですか。

八杉　研究所における建築計画については、様々な試みを行っていますが、特に空間そのものの長寿命化に取組んでいます。最近例の一つ、製薬会社の研究所では、研究テーマが刻一刻と変化していくことに対応して、フレキシビリティを重視した研究・実験室の提


弓崎幸治氏


神戸市立フルーツ・フラワーパーク


松下電器産業株式会社人材開発センター

案を行いました。具体的には、構造上の制約を踏まえた上で18ｍ×30ｍの無柱研究実験ゾーンとして設計いたしました。この研究所では工事期間中仮設の研究施設を設置されたのですが、これが一つの大きな部屋で、実際に使ってみると案外便利だということでした。私どもが提案したことが期せずして立証され、新研究所の完成に期待を寄せられています。

ごく最近作の大阪大学（吹田）総合研究実験棟は、既設の研究施設との関連性もあって当初は、既設棟に倣って中柱のある廊下タイプのレイアウトでした。これも中柱を設けず、16ｍ四方の実験室が両サイドにあるプランに変更しました。シビアな実験・研究をするについてロングスパン建築の固有振動を非常に懸念しましたが、検討してみるとスパンの長短に関わらず、建物の揺れは超精密機械に対しては制御できるようなオーダーではないのです。現状では実験台等で縁を切り、個々に免振の対応をする方法が確実です。最近、つづけて研究施設をやりましたが、オフィスビル的なフレキシビリティーを提案し、取組んでいます。

松村　東京でも数多く研究施設の設計がありますが……

林（明）　東京でもフレキシビリティは大きなテーマです。２年前に竣工した筑波研究学園都市の研究所施設ですが、産学官共同プロジェクトチームが一つの部屋で作業をするため、条件として、１ユニット200㎡あるいは400㎡ほどの実験室を要求されました。

25年余り前につくられたその研究所の本館は、個々の独立した研究実験に対応するため固定壁で囲まれた小さなユニットの実験室で構成されていましたが、色々な分野の総合・連携的な研究重視の時代の流れに対応して、今度の施設は最大１部屋1000㎡までフレキシブルに伸縮出来る仕組みを提案しています。

松村　病院でも最近は外来部門などでも常に変化に応じられるようにして欲しいという要求が多くなりました。研究所や病院だけでなくこれからは、あらゆる施設においてフレキシビリティが重要なキーワードになりそうです。

フレキシビリティを具体化する手法としてスケルトン・インフィルが考えられますが……

近藤　兵庫県波賀町の山の中にできた保養所の例ですが、スパン10.5ｍの１スパン構造の比較的小さな建物です。意匠担当者から「木質系の建物にしたい、出来れば構造も木造、さらに大空間で、施設の模様替えも水回りも含めて自由性を持たせたい」という要望が出されました。当初木構造をイメージしましたが、適材適所を考慮して柱はＲＣ造としました。但し柱頭を梁で繋がずプレキャストコンクリートのキャンチレバーとし、そこへ集成材のリブ付き木造屋根を版として載せて空間を構成しました。スケルトンインフィルとしての自由度に加え、柱を建てて屋根版を繋いで行けば、半無限に増殖可能な非常にフレキシビリティに富んだシステムではないかと思っています。

建築にメンテナンスフリーはない

松村　私たちは日頃クライアントからこれはメンテナンス費は掛かりませんねと言われると、「はい、メンテナンスフリーです」と言う場面が多々あります。先生のお書きになったものの中に、メンテナンスフリーは建築にはあり得ないと述べておられ、非常に興味を持っています。

林教授　私が東京の第一工房という設計事務所におりました頃も、メンテナンスフリーという言葉がよく出ていました。当時は、メンテナンスはいらない方がいいなと真に受けていましたが、サステイナブルな考え方をするとメンテナンスフリーはありえないと思います。メンテナンスフリーとは、建物をかわいがらないというか、出来たまま放りっぱなしにしておくことです。クライアントは、メンテナンスに対する費用についてはシビアに考えておられますね。

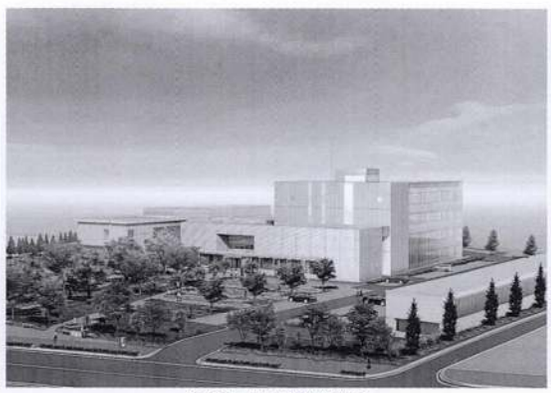
松村　なかなか出していただけません。

林教授　そういう考え自体が間違っている。これからはメンテナンス費用を計画的に捻出するよう心掛けるべきです。特に公共建築は、税金でつくる建物ですからきちんと管理していくようにしなければなりません。

松村　本来、建物をかわいがって、メンテナンスをしてきたのが、いつごろからかなくなってきてしまいました。

林教授　そこが根っこですね。


林　明宏氏


新潟県六日町総合庁舎


（独）食品総合研究所　複合領域研究センター

松村　これからは、メンテナンスフリーの建築はあり得ないと声高らかに言おうと思います。

人にやさしい建築

松村　「サステイナブル・デザインガイドブック」の中に「人にやさしい材料を使う」というキーワードがありますが、最近問題になっているシックハウスについてはどうでしょうか。

八杉　この問題も、冒頭に先生のおっしゃった、大量生産、大量廃棄という経済システム、また合理性・施工性の追及に起因しています。

芦屋市の小学校建替えの際、あるお母さんから「自分の子供はアトピー性皮膚炎がひどいのですが、新しい建物に入るについて心配しています。」この一言がきっかけでした。シックハウス症候群については聞いていましたが、学校建築での話はあまり聞かなかった。子供は一日の三分の一を学校で過ごすことを考えると、住宅と何ら変わらない。そこで「シックハウス」ならぬ「シックスクール」対策に取り組みました。

まず、建材についてはすでに有害物質対策済の材料が結構あることが判りました。さらに調べると問題なのは施工材でした。現場で使用する接着剤の内、特に木工系のものに有害物質を含むものが多い。それ以外の接着剤にもトルエン・キシレン等の有機溶剤やホルムアルデヒドが多く含まれたものがあります。通常設計図書には、施工材までは特記しないのですが、これからは現場でMSDS（化学物質等安全データシート）や成分表を確認するなどチェックしていくつもりです。現場では施工性が良く、短時間で強度が出るなどの理由でトルエン・キシレンや可塑材を多く含むものが使われています。有害物質をあまり含まない接着剤は以前からあるのですが、この接着剤は施工性が悪く、作業効率が悪いとか、強度も多少落ちるといわれています。しかし小学校の床の強度としては十分という接着剤を選び出し解決しました。また、「シックスクール」対策で大切なことは換気です。自然通風を取り入れた伝統的家屋に、先人の知恵を再認識しました。

サステイナブルなまちの再生

松村　私どもの事務所では、昭和40年代半ばから、都市の再開発にも力を注いで参りました。今、全国的に「都市再生」がうたわれ各地で展開しはめじめようとしています。サステイナブルデザインのコンセプトキーワードの中にも、「まちコミュニティー」があります。　現在、名古屋市における納屋橋再開発プロジェクトがありますが、再生という観点から、おもしろい事例として紹介して下さい。

佐伯　名古屋の駅前と商業の中心地、栄の中間に「納屋橋」という地区があります。昭和30年代までは、商業・娯楽の一大拠点でしたが近年地下鉄の開通と共に名駅・栄の商業・業務の集積が進むにつれて、人の流れが変わり、寂れてしまいました。

一方、当地は大変歴史のあるところで、納屋橋は名古屋城築城の際、木曽の檜を運ぶために福島正則が熱田から城までの水路を開削した堀川に架かる橋です。江戸時代は、この水運を利用して乾物問屋、米蔵が建ち並ぶ蔵（納屋）の街として大変賑やかなところでしたが、近年高度成長と共に忘れ去られてしまい、家並みは川に背を向けるなど、さながら都市の排水路になってしまいました。

「まち」をリニューアルするにあたっては、一街区の再開発だけでなく、まち全体の再生を考え、対象面積16ha程でしたが、基本計画を策定するに当たり、徹底的にまちを見て歩き、ここで生まれ育ったお年寄りの方に話を聞くなどして、街の原風景を探り、解ほぐしていく中でガイドプランを提示していきました。

再生にあたっては、まちの界隈性と自然との共生をまち自身が持っている雰囲気や歴史、文化を背景に、いかに取り戻していくかをコンセプトに考え、市民ニーズも大変高い堀川の再生に向けて行政サイドと共に整備計画を立てたわけです。

具体的には26ｍ程度の川幅を少し狭めることで両岸にプロムナードをつくり歩行者の回遊性を誘導することにしました。結果、川岸に顔を向けた飲食店舗などが出来始め、ＴＶ等で話題にもなったほどです。


佐伯　博氏


小山田記念温泉病院アトリウム



納屋橋周辺

また、提案した船着場も実現し、港から熱田、納屋橋に屋形船も運行を開始するなど、かつての舟遊び文化が復活しています。

松村　その近くにある歴史的建造物を活用されると聞きましたが。

佐伯　この堀川に架かる納屋橋のほとりに終戦まで旧シャム国の領事館だったこともある美しい近代建築の旧加藤商会ビル（昭和６年建築／ＲＣ造）がありましたが、昭和57年以降　建物全体が看板に覆われてしまい、看板ビルとの異名をとってしまいました。その再生活用が各界より叫ばれる中、平成12年に市へ寄付されることになり、文化財登録も終わり、レストランやギャラリーへと再生するため、現在改修設計を行っているところです。

まちづくりとは、再開発だけではなくこの様な試みの積み重ねが５年、10年と続いていく中で、いかにして愛せるまちづくりをしていくかが、まさにサステイナブルデザインの一つの在り方ではないかと思っています。

エコ村ネットワーキング

松村　「まちコミュニティ」といえば、林先生は、彦根市で「エコビレッジ」という運動に取組まれています。

林教授　グループの名前は、「エコ村ネットワーキング」という名称で、２年ほど前につくられたグループです。これは、私どもの大学で環境経済学をやっている方がいまして、彼も、私も思っていることですが、現在のようにコミュニティーが失われてしまった社会を建て直すにはどうするかということです。戦後50年ぐらいの間に暮らし方が大きく変わってしまいましたね。能率一点張りで、便利で安ければいいということがはびこっている中で、もっと、本当に心地よい、そして安全な暮らしができないものだろうか。多くの方々が望んでいると思うんです。

そんなコミュニティーづくりを目指して自然に集まったグループです。

メンバーとしては、銀行、ＮＴＴ、関西電力などインフラと関わりがあり、その上快適なコミュニティーづくりに興味をお持ちの方々10人ほどが中心です。先日も勉強会をしましたが、それは、東京の世田谷でデベロッパーを通じて切り売りされそうになった土地にもともとあった屋敷林など自然環境を生かした12戸のコーポラティブハウスづくりの話でした。

先ほどの「エコ村ネットワーキング」の話ですが、勉強会を続けエコ村の本来あるべき形に到達できたら、滋賀県内に土地を求め、本当に住みたい人たちによるエコライフを実現したいと考えています。

松村　それは楽しみですね。エコといえば、永く仕事をさせていただいているイオングループの商業施設ですが、竣工毎に植樹祭を熱心にされておられるようですね。

佐伯　12年前より「イオンふるさとの森づくり」植樹祭としてショッピングセンターをつくられる際に街づくりの一環として地元の皆さんにも参加していただいて、建物周囲にその地域に自生する樹木の苗木を植えるという行事です。「イオンふるさとの森づくり」基準書も整備され、今や400万本にも達しており、企業の地球環境に対する姿勢を表す行為として歓迎されています。イオングループのトップは、竣工に関連する行事として植樹祭には必ず出席されるそうです。

私達設計サイドも施設計画を行う場合には、敷地内における既存樹木を出来るだけ保存活用できるように配慮した計画を心掛けるとともに、来店客の動線上や駐車場周辺等にも積極的に植栽計画を行っています。

松村　雪冷房の六日町でもそのようなお話がありましたね。

林（明）　『にいがた「緑」の百年物語』という県民運動がありまして、21世紀の100年間に積極的に植樹して、22世紀に緑の遺産を残そうという運動です。

この運動を受けまして、総合庁舎の設計でも、敷地内の緑化についていろいろ考えましたが、開かれた庁舎ということで、近隣の皆さんによる県民運動の展開の場として開放するスペースも確保しました。

草花を植えるのもよし、低木を植えてもよし、とにかく自由に使っていただきたいと考えています。


近藤一雄氏


波賀町メイプルプラザ


大阪城天守閣「平成の大改修」

維持管理からリニューアルへ

松村　東畑70年のあゆみの中で、数々の仕事をしてまいりましたが、これらの建築物の維持管理や機能充実のための部門として数年前から、維持管理部を設け、現在はリニューアル部に名称変更して力を注いでいます。少し特殊な事例となりますが、大阪城「平成の大改修」もリニューアル事例のひとつです。

近藤　大阪のシンボル大阪城は、昭和６年竣工で東畑建築事務所の歴史と軌を一にしています。70年を経た今日では、耐震的にも構造強度も当然劣っています。それ以上にコンクリートの中性化で外壁が剥落しているということで、全面改修をすることになりました。

外壁全面にわたって、電気的にアルカリを付与して劣化を抑えました。またセンサーを壁に埋め込みアルカリの推移をモニタリングしています。コンクリートの中性化に関して知識としては、理解していましたが、今までは中性化が進行するより建物の解体が早く、ほとんど問題にならなかったと思います。今回のモニタリングデータが生かされることを期待しています。

松村　東京でもすばらしいリニューアル事例があるようですが。

林（明）　教会のプロジェクトでした。聖書キリスト教会東京教会ですが、都心にありましたが立ち退かざるを得なくなりました。礼拝に来られる信者の方々のためにも、移転するにあたって遠方では困るという事情の中、私達も一緒になって土地探しをしたのですが、たまたま、練馬区内に製菓会社が撤退した後の建物が見つかり、改修の設計をお手伝いすることになったわけです。このプロジェクトにはBELCA賞をいただきました。担当したスタッフにとって、それ以上にうれしかったことは、信者の皆さんに大変喜んでいただいたことです。

松村　３年前にＩＳＯ9001の認証を取得して、今年から、東京、名古屋、大阪、九州と全社統一システムとして運用するようになりました。そんな状況を踏まえ先行き不透明の現状の中で顧客と社会の求めているものは何かを考える時、まさに、サステナイブルデザインそのものではないでしょうか。

やっと70年、つぎの時代に向けて我々あるいは後輩達が新しい分野に新しい建物に挑んでいくについて林先生から一言いただければ幸いです。

林教授　建築というのは非常に複雑なもので、さまざまな条件の中で、設計、建設をやっているわけです。そんな状況の中で個々別々な対応に迫られる。決して一様なものではなく、非常に多様な展開とその結果として、さまざまなサステイナブル建築が出現するだろうと思います。東畑建築事務所の場合、70年の歴史とともにこれまで手がけられた数多くの建築物を全て受け止めていかなくてはならないという、大変責任の重い仕事もあるはずです。

これは私の親しい研究者が学会で発表したことですが、100年建築を目指すことになると、2050年、およそ50年後には新築はほとんどなくなり、今、持っているストックをいかに使うかになるのではないかと言っています。長い間使ってきたものを改めて生き返らせるというのが重要な仕事になるのではと思っています。そういうリユース的な仕事には、事前の診断や調査が非常に重要な仕事の分野として必要になってくるでしょう。リーダーシップをとっておられる設計事務所として責任ある立場が望まれることと思います。

松村　東畑建築事務所は、建築、構造、設備、監理、リニューアル、インテリアをはじめ都市開発まで総合的な分野を持って70年間続けてまいりました。これからも最先端の技術を常に開発・吸収しながら時代のニーズに十分応えるべく、個々のみならず事務所組織も「サステイナブル」であり続けられるよう研鑽につとめたいと思います。

今は亡き東畑謙三が若者に贈る言葉として残した「安住を求めるな」という一言を十分肝に命じて、21世紀の建築のあり方としてのサステナイブルデザインを追求し、社会・顧客の要請に応えてまいりたいと思います。本日はありがとうございました。　（終）



座談会風景

株式会社 東畑建築事務所
TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.

本社・大阪事務所　大阪市中央区伏見町4-4-10　〒541-0044　TEL（06）6202-0391
松山支所　松山市石風呂町89　〒791-8084　TEL（089）951-6303

東京事務所　東京都千代田区永田町2-4-3　〒100-0014　TEL（03）3581-1251
東北支所　仙台市青葉区中央2-1-7　〒980-0021　TEL（022）263-5530
千葉支所　千葉市若葉区みつわ台3-13-4-302　〒264-0032　TEL（043）256-8864
横浜支所　横浜市戸塚区戸塚町3515-28　〒244-0003　TEL（045）865-5735

名古屋事務所　名古屋市中区錦1-13-26　〒460-0003　TEL（052）223-3931

九州事務所　福岡市博多区博多駅東1-13-6（竹山博多ビル）　〒812-0013　TEL（092）472-8737
北九州支所　北九州市八幡西区大浦3-13-36　〒807-0874　TEL（093）602-2912

http://www.tohata.co.jp

写真撮影・提供

Archi photo KATO
有限会社イセヤ
石丸捷一
株式会社SS大阪
株式会社SS九州
株式会社SS東京
株式会社SS名古屋
株式会社SS北陸
株式会社SS横浜
株式会社川澄建築写真事務所
財団法人グランメッセ熊本
KOKYU MIWA ARCHI PHOTOGRAPH LABORATORY
写トリエ・時空
株式会社伸和
スタディオ・クリオ
そあスタジオ
都市基盤整備公団
ナカサ&パートナーズ
株式会社ナトリ光房
西日本写房福岡
橋本征親
財団法人横浜市スポーツ振興事業団

東畑建築事務所70年の歩み

事務所の歩み

1932（昭7）

S 7　東畑謙三、武末雅夢
　　東畑謙三建築事務所を大阪開設
S 8　安藤紅忠ケンプ（紅忠）から三菱信託銀行（東区）に移転
S10　のこぎり屋根トラスをラーメン構造にして軽油性を図る試み
S12　中国に所員派遣
　　木造立体トラス架構を開発
S15　豊中市に分室を開設
S16　東畑謙三、京大講師

所員数　5名

中央毛糸紡績（東亜紡績）四日市工場
関西ペイント東京および本社工場
渡辺第一商店築港工場・倉庫

日本生命保険神戸支店
大町紡績（東亜紡績）大町工場
丸紅商ノ京都工場物
日本生命保険生命日生病院契約館
福助足袋（福助）寺工場
豊村紡績（東洋紡績）豊村工場
天満紡績公司
兵頭紡績（東洋紡績）天津工場、本社安土町ビル
東洋紡績（東洋紡績）大阪工場
国産電機安治川工場
大日本セルロイド（ダイセル化学工業）新井工場
日本毛糸紡績（東亜紡績）四日市工場
福助（福助）足袋専学校および北ボルネオ工場

1945（昭20）

S21　不二建設（株）を設立
S23　東畑謙三、阪大講師

17名

呉羽ゴム工業津工場、事務所
大建産業各種施設、工場
久保田鉄工所（クボタ）本社工場
関西ペイント本社ビル
東亜紡績本社
甲南高等女学校講堂
福助足袋（福助）名古屋支店
大阪足袋会館
岩井産業（日商岩井）瓦町事務所および社宅
大同染工、大同マルタ染工（本社安土町ビル
日本生命豊中住宅
伊藤忠商事城北社宅

1950（昭25）

S25　東畑謙三、中央建築士審議会委員
　　結婚無窓工場をわが国初採用
S26　東畑謙三、日本建築協会副会長
　　東畑建築事務所に改組

20名

大阪鋼材（日鉄商事）本社
神戸博覧会共同館
伊藤忠名古屋支店ビル
富士写真フイルム大阪支店ビル
三重県立博物館
伊勢会館
甲南高校
EL,PROGRESO,TEXTILE,S.A
イヤラ商事本社
呉羽紡績（東洋紡績）東京事務所および各地工場・営業店
徳山曹達（日新製鋼）本社
錦燕市庁舎
センビル
岩井産業（日商岩井）本社ビル
東亜紡績（株）大阪工場
大阪市水上消防署
呉羽紡績（東洋紡績）綿業工場
大阪市北芝警察署
甲南大学図書館
富士製鉄（新日本製鐵）広畑工場各種施設

1955（昭30）

S32　九州支所を開設
　　本社を東区伏見町に新築、移転
S33　東京支所を開設

32名

大阪国際見本市展示場
三菱レイヨン寮
富士写真フイルム足柄研究所
錦燕ビルディング
兵庫県農林会館
GENERAL　TEXTIE　MILLS
大阪貿林局庁舎
INDUSTRIAS　TEXTIE　MEXICANS,S.A
大阪府農林会館
甲南大学五号館
三重会館
大和銀行堂島支店
亀山市庁舎
大州製缶相模原工場
呉羽紡績（東洋紡績）繊維研究所
岩井産業（日商岩井）東京支店
日本赤十字社山田赤十字病院
日本赤十字社錦赤十字病院
日本生命済生会日生病院
福助（株）本社
三重交通（株）宿在所ロープウェイ停留所
兵庫県農業会館
三重県立大学医学部基礎医学教室
関西ペイント（株）東京支社

1960（昭35）

S35　名古屋支所を開設
　　清林社を設立
S37　東京支所を東京事務所に昇格、移転（永田町）
　　東畑謙三、監察渡豪
S38　名古屋支所を名古屋事務所に昇格移転（交通ビル）

91名

大阪府立大図書館
エバノア東京支店増築
大阪府千里丘共同住宅
三重県庁舎
岩井産業（日商岩井）本社改築第一期
山陽特殊製鋼本社事務所および研究所
甲南大学15号館
富士写真フイルム中央研究所
日本製鋼兵庫工場
江川紡績工業加古川工場
大阪府農林技術センター
愛媛県会館
大和銀行堂島支店
三重県立会館
徳島県立会議所経済センター
大阪市清掃局住吉工場
尼ビルディング
岩井産業（日商岩井）東京支店ビル
大阪市清掃局住吉工場
錦燕市庁舎
センビル
大阪市水上消防署
呉羽紡績（東洋紡績）綿業工場
大阪市北芝警察署
甲南大学図書館
富士製鉄（新日本製鐵）広畑工場各種施設

1965（昭40）

S41　東京事務所、永田町ビルへ入居
S42　東畑謙三、万国博覧会建設顧問
S43　東畑謙三、（社）日本建築家協会終身会員
S44　東畑謙三、大阪市建築審査会会長

133名

大阪市工業技術試験所
日本商品化社（日本ばた産業）米子ちばエ工場
大阪市見本市恒久展示場第三号館
亀戸ニ丁目市街地住宅
農林省中央研究所本館
錦燕市庁舎
東海美術館
三重県伊勢総合庁舎
大阪市清掃局八尾工場
大阪府新都市
錦燕市民病院
大阪市立学校共済組合大阪宿泊所
小松島市庁舎
日本生命済生会日生病院
日本商品化社（日本ばた産業）高松地方局庁舎
錦燕商業建設会館
日本住宅公団（都市公団）千里竹見台高層団地
錦燕市民会館
大阪市清掃局東住吉工場
徳島空港ビル
大阪市立学校共済組合大阪宿泊所
小松島市庁舎
錦燕市民病院
日本赤十字社山田赤十字病院
日本赤十字社錦赤十字病院
日本生命済生会日生病院
福助（株）本社
三重交通（株）宿在所ロープウェイ停留所
兵庫県農業会館
三重県立大学医学部基礎医学教室
関西ペイント（株）東京支社

1970（昭45）

S45　東畑謙三、大阪府開発事業会会長代理
S46　東畑謙三、日本建築協会名誉会員、DAMOS導入
S47　東畑謙三、日本建築学会名誉会員、勲三等瑞宝章
S48　東畑謙三、沖縄国際海洋博覧会協会建設顧問
　　市川宏、大阪府建築士会理事、
　　日本建築家協会関西支部幹事、新伏見町ビル竣工
S49　東畑謙三、日中建築技術交流会、副会長に7支部加盟

173名

徳島県立中央病院
ダイゼンストアロリー西大寺
神戸市立セルホール
兵庫県総合庁舎
大阪市立図書館
神戸市立医科大学
大阪府立母子保健センター
大阪府立成人病センター
大阪府立公衆衛生研究所
大阪府立労働会館
大阪市立青少年センター
大阪市立中央体育館
大阪府立体育館
日本住宅公団（都市公団）森之宮市街地住宅
大阪府立公衆衛生研究所
大阪府立母子保健センター
大阪府立成人病センター
大阪府立労働会館
大阪府立青少年センター
大阪市立中央体育館
大阪府立体育館
日本住宅公団（都市公団）森之宮市街地住宅
大阪府立公衆衛生研究所
大阪府立母子保健センター
大阪府立成人病センター
大阪府立労働会館
大阪府立青少年センター
大阪市立中央体育館
大阪府立体育館
日本住宅公団（都市公団）森之宮市街地住宅
大阪府立公衆衛生研究所
大阪府立母子保健センター
大阪府立成人病センター
大阪府立労働会館
大阪府立青少年センター
大阪市立中央体育館
大阪府立体育館
日本住宅公団（都市公団）森之宮市街地住宅

1975（昭50）

S50　北九州支所、九州事務所に昇格
　　市川宏大阪建築設計監理協会副会長

223名

兵庫県新農業会館
東京都教職員研修センター
農機動労福祉会館
岡山県立津山総合体育館
大阪市此花区総合センター
神戸市生子動物園大猿の動物舎
興亜火災海上（日本興亜損保）本社
カリディイン衛海大館
三菱化学ビル
大阪貿易情報センター
大阪府新都市
大阪府千里丘共同住宅
大阪市南港ポートタウン第二住宅
芝西病院
大阪府市町村職員共済会館
神戸市民間交通センター
錦賀商人日市錦泰熱店
星岡信濃事業団（星岡・能力開発機構）富士ハイツ
出馬考古資料館
筑波研究学園都市農林会館
兵庫県新農業会館
東京都教職員研修センター
農機動労福祉会館
岡山県立津山総合体育館
大阪市此花区総合センター
神戸市生子動物園大猿の動物舎
興亜火災海上（日本興亜損保）本社
カリディイン衛海大館
三菱化学ビル
大阪貿易情報センター
大阪府新都市
大阪府千里丘共同住宅
大阪市南港ポートタウン第二住宅
芝西病院
大阪府市町村職員共済会館
神戸市民間交通センター
錦賀商人日市錦泰熱店
星岡信濃事業団（星岡・能力開発機構）富士ハイツ
出馬考古資料館
筑波研究学園都市農林会館

1980（昭55）

S55　北九州支所、九州事務所に昇格
S57　市川宏、日本建築協会副会長
　　東畑謙三、監察役会長
　　市川宏取締役社長
S58　横浜支所開設
S59　千里支所開設
　　結露・財務DA化

筑波学園都市農林省関連施設
大阪工業大学図書館
神戸市中央区役所
京都府社会教育総合センター
大阪市此花区総合センター
新日鉄堺トレーニングセンター
大阪府勤労青少年研修センター
DC警報ブリッジセンター
京都市下京区総合庁舎
神戸市生子動物園大猿の動物舎
興亜火災海上（日本興亜損保）本社
カリディイン衛海大館
京都市東農業学校
大阪府勤労福祉会館
上野駅第本社
大阪駅前第4棟
東和薬品岡山工場
KKR東京共済病院
岐阜市立女子短期大学
大阪市庁舎
つくば科学博覧会・消防本部・情報センター
老生環境センター春十千里浜センター合同庁舎
筑波学園都市農林会館
大阪工業大学図書館
神戸市中央区役所
京都府社会教育総合センター
大阪市此花区総合センター
神戸市生子動物園大猿の動物舎
興亜火災海上（日本興亜損保）本社
カリディイン衛海大館
京都市東農業学校
大阪府勤労福祉会館
上野駅第本社
大阪駅前第4棟
東和薬品岡山工場
KKR東京共済病院
岐阜市立女子短期大学
大阪市庁舎
つくば科学博覧会・消防本部・情報センター
老生環境センター春十千里浜センター合同庁舎

1985（昭60）

S61　市川宏、業務渡豪
S62　福岡支所開設（福岡センタービル）
S63　大阪事務所にCAD導入
　　通休2日制導入
H 1　東畑謙三、事務所移転（福岡センタービル）
　　東畑謙三、經野渡豪

245名

インテックス大阪
長岡京国保センター
兵庫県農業共済会館
京都市消防局本部庁舎
神戸市外国語大学
三重県立一志病院
神奈川県立相模原球場
小山田記念温泉病院
三木市文化会館
京都府総合見本市会館
滋賀大学教育学部
足立区緑人総合センター
名古屋国際会議場
池田緊駐商地区再開発
神戸市しあわせむら・ハビタシオン病院
社会保険庁富山療生年金休暇センター
インテックス大阪
長岡京国保センター
兵庫県農業共済会館
京都市消防局本部庁舎
神戸市外国語大学
三重県立一志病院
神奈川県立相模原球場
小山田記念温泉病院
三木市文化会館
京都府総合見本市会館
滋賀大学教育学部
足立区緑人総合センター
名古屋国際会議場
池田緊駐商地区再開発
神戸市しあわせむら・ハビタシオン病院
社会保険庁富山療生年金休暇センター

1990（平2）

H 6　名古屋事務所移転（三井生命名古屋伏見ビル）
　　市川宏、動五等双光旭日章

292名

三重県議会棟
相模原市消防立公園体育施設
静岡県立水泳場
鳥取銀行本店
愛媛県生涯学習センター
コンベックス西山
京都市障害者スポーツセンター
神戸市立子勉物園ビ・ふっとこどもの国
神奈川銀行本店
軍津市庁舎
千里ライフイノエンスセンター
広島ピックアーチ
横浜市障害者スポーツ文化センター
奈良ファミリー
興亜火災海上保険（日本興亜損保）近畿営業本部
神戸市フルーツ・フラワーパーク
大阪市立都会区療育センター
京都市健康増進センター
神奈川県産業技術総合研究所
愛知県青少年センターソーラー施設
香川県産業交流センター
北九州空港ターミナル
横浜市機械事業局競見工場
三重県議会棟
相模原市消防立公園体育施設
静岡県立水泳場
鳥取銀行本店
愛媛県生涯学習センター
コンベックス西山
京都市障害者スポーツ文化センター
奈良ファミリー
興亜火災海上保険（日本興亜損保）近畿営業本部
神戸市フルーツ・フラワーパーク
大阪市立都会区療育センター
京都市健康増進センター
神奈川県産業技術総合研究所
愛知県青少年センターソーラー施設
香川県産業交流センター
北九州空港ターミナル
横浜市機械事業局競見工場

1995（平7）

H 7　東北支所開設（太白区）
H 8　新伏見町ビル単独使用開始
H 9　東北支所移転（仙台市青葉区）
　　東畑謙三、取締役名誉会長
　　市川宏代表取締役会長
　　真珠湾天代表取締役社長

353名

大阪府立産業技術総合研究所
中国銀行大阪支店
警視庁渋谷警察署庁舎
宮崎県立農業大学校
瓦町三和三信ビル
八潮市生涯活動センター
泉佐野市総合文化センター
京都ガーデンパレス
江戸館センタービル
大阪ブール
春野市総合体育館
大野城市多目的複合施設
名古屋国際会議場
堂野市総合体育館
大阪市消防局庁舎
大阪市高速交通局
大阪市高速交通局
明仁会明寿中央病院
都島朝潮南第一地区復興第二種市街地再開発事業
大阪府立産業技術総合研究所
大阪市立都会区療育センター
京都市健康増進センター
神奈川県産業技術総合研究所
愛知県青少年センターソーラー施設
香川県産業交流センター
北九州空港ターミナル
横浜市機械事業局競見工場

2000（平12）

H10　松山支所開設
H11　ISO9001大阪事務所認証取得
H13　ISO9001東京事務所認証取得
H14　ISO9001全事務所統合認証取得

320名

りょうスタジアム
かいさま広域合同庁舎
三重会館
大阪地裁・簡裁合同庁舎
徳島県警察学校
昭和スポーツセンター
名古屋市交通局下呂保養所
広島市西区神田2丁目1地区第1種市街地再開発事業
高松東1・2地区市街地再開発事業
大阪府民共済本部ビル
大阪市北消防署
堂野市総合体育館
大野城市多目的複合施設
堂野市総合体育館
大阪市高速交通局
大阪市高速交通局
明仁会明寿中央病院
都島朝潮南第一地区復興第二種市街地再開発事業
大阪府立産業技術総合研究所
大阪市立都会区療育センター
京都市健康増進センター
神奈川県産業技術総合研究所
愛知県青少年センターソーラー施設
香川県産業交流センター
北九州空港ターミナル
横浜市機械事業局競見工場

2003（平15）

岡山県陸上競技場
愛媛県総合運動公園
神奈川県立福祉大学
特定スポーツ文化公園陸上競技場
和光桃東工業大阪研究所
京都こどもカウンセリングセンター
青山ライフスクエアビル
ライオンマンション大阪カイケツー
福岡県力藤警センター本館・宿泊棟
松山中央陸上競技場
岡崎本町生涯学習センター
沙留地区1街区建物
池田町地区第一種市街地再開発事業
国立西島駅前駅
フォレストレイク(ひばり)が丘

事務所の歩み

主要作品


大日本セルロイド（ダイセル化学工業）新井工場他


東亜紡績本社


大町紡績（東亜紡績）大町工場


中央毛糸紡績（東亜紡績）四日市工場

甲南高等女学校講堂


関西ペイント本社ビル

岩井産業（日商岩井）瓦町事務所および社宅


大阪鋼材（日鉄商事）本社

神戸博覧会共同館


伊勢会館

錦燕市庁舎


富士写真フイルム大阪支店ビル

岩井産業（日商岩井）本社ビル


兵頭紡績（東洋紡績）錦燕工場


大阪貿林局庁舎

大阪府農林会館


三重会館

岩井産業（日商岩井）東京支店


日本赤十字社山田赤十字病院

錦燕ビルディング


日本生命済生会日生病院


富士写真フイルム中央研究所

大阪府新市街地改造事業


三重県立会館

大阪市清掃局住吉工場


徳島県立会議所経済センター


大日本セルロイド（ダイセル化学工業）研究所

三重県庁舎

小松島市庁舎


錦燕市民会館

三重県伊勢総合庁舎


東海美術館


大阪駅前第1棟


公立学校共済組合大阪宿泊所

小松島市庁舎


徳島県農協会館

日本住宅公団（都市公団）千里竹見台高層団地


徳島県立中央病院

神戸市立セルホール


兵庫県新農業会館

大阪府勤労青少年研修センター

宝塚市立新聞地区市街地再開発事業

大阪市消防局教研究組合センター

日商岩井大阪本社

日本住宅公団（都市公団）森之宮市街地住宅

日本住宅公団（都市公団）千里竹見台高層団地

兵庫県新農業会館

豊橋勤労福祉会館

静岡中央警察・消防合同庁舎

吹田市文化会館メインアター

ボリディイン衛海大館

興亜火災海上（日本興亜損保）本社

京都市東農業学校

滋賀県八日市県事務所

筑波研究学園都市農林会館研究所本館

京都駅南口再開発

神戸市中央区役所

静岡中央警察・消防合同庁舎

吹田市文化会館メインアター

筑波学園都市農林会館施設

天津市庁舎

大阪駅前第4棟

天津市庁舎

京都市消防局本部庁舎

神戸市外国語大学

小山田記念温泉病院

社会保険庁富山療生年金休暇センター

インテックス大阪

国際花と緑の博覧会政府苑・いちょう館

京都市国際交流会館

佐賀市総合文化会館

三重県議会棟

軍津市庁舎

神戸市フルーツ・フラワーパーク

北九州空港ターミナル

広島ピックアーチ

横浜市機械事業局競見工場

千里ライフサイエンスセンター

青少年公園センターソーラー施設

泉佐野市総合文化センター

横浜国際競技場

大阪府立産業技術総合研究所

大阪城天守閣「平成の大改修」

江戸館センタービル

大阪市産業創造館

山科駅前地区第1種市街地再開発事業 ラクト山科

小倉競馬場

広島市西区神田2丁目1地区第1種市街地再開発事業

滋賀県庁舎

かいさま広域合同庁舎

名古屋市交通局下呂保養所

大阪府民共済本部ビル

新長田駅南第一地区復興第二種市街地再開発事業

大阪市高速交通局

大阪市高速交通局

大阪市北消防署

滋賀県庁舎

岡山県陸上競技場

愛媛県総合運動公園陸上競技場

松山中央陸上競技場

岡崎本町生涯学習センター

池田町地区第一種市街地再開発事業

「日本建築協会80年史1917-1996」

増刷頒布中　頒価　3,000円



A4判・240頁・並製本

1999年７月に発刊した「日本建築協会80年史1917-1996」は、各方面から好評をいただいておりますが、このたび、皆様の強いご要望により、増刷・頒布することにいたしました。大正６年３月30日に関西建築協会として誕生した日本建築協会の80年の歴史を、様々な事業や委員会活動を通じて、また、本会設立者の片岡安、武田五一以降現在までの会員たちの社会活動を通して知ることができる記念誌として、A4判・240頁にまとめています。

とくに、協会草創期の大正・昭和初期の片岡安ら協会のメンバーと当時の大阪市長・関　一との交流を物語る一文は、大阪の都市計画史、あるいは関西の建築人物誌ともなっています。本会の歴史を知るだけでなく、建築を通して、それぞれの時代の雰囲気を身近に感じることができる大変貴重な資料となるものです。

購入ご希望のかたは、下記要領でお申し込み下さい。

＊

申 込 先　社団法人 日本建築協会
〒530-0001　大阪市北区梅田1-1-3-2100
TEL 06-6348-0635　FAX 06-6348-0634

頒　　価　１部3,000円（税・送料込み）

※増刷部数には限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。

「日本建築協会80年史」

●日本建築協会の沿革／委員会活動／「建築と社会」の変遷／大正時代から現在までの本会主催の博覧会・展覧会・講演会／よろず相談住宅展／青年建築家・青年技術者顕彰／工高生デザインコンクール入選者etc.

●日本建築協会創立者と会を支えた38人のプロフィール（片岡　安・設楽貞雄・武田五一・池田　實・波江悌夫・竹腰健造・尾崎久助・東畑謙三・塚本猛次・福田朝生・佐野正一・葛野壯一郎・横濱　勉・松本禹象・宗　兵蔵・園部文雄・日高　胖・野村一郎・古宇田　實・松室重光・松井貴太郎・安井武雄・中澤誠一郎・坂　靜雄・今林彦太郎・井上新二・松本儀八・池田宮彦・錢高輝之・中西六郎・大林芳郎・鴻池藤一・伊東五郎・竹中錬一・鷲尾健三・松村雄吉・横尾義貫・足立　孝）

●座談会「戦中から戦後初期の協会活動」―尾亀清四郎・大林芳郎・小西　岬・佐野正一・横尾義貫・三品哲夫の6氏による終戦前後の協会活動の証言―

＊

■執筆ワーキンググループ
坂本勝比古／安達英俊／石田潤一郎／植松清志／梅宮弘光／桐浴邦夫／酒井一光／橋寺知子／山形政昭／吉田高子／和田康由

■80年史編纂委員会
長谷部朔郎／安達英俊／近藤達夫／谷淳之介／十倉　毅／原見昌志／和田康由／吉田悦二



「日本建築協会の遺産と功績」（坂本勝比古）より



「草創期の人々」より片岡安の項

指定確認検査機関と建築行政の新たな取り組み

細川勝國
神戸市住宅局建築指導部建築安全課長

平成７年１月17日に発生した阪神・淡路大震災では，建物の倒壊により多くの尊い人命が失われた。これを契機として建築規制の実効性を確保することが社会的にも強く求められ、平成10年に建築基準法が改正された。そして、平成11年に工事施工時の中間検査制度が施行されるとともに、大臣または知事の指定を受けた民間機関（指定確認検査機関）での確認検査業務が可能となった。

確認検査の民間開放により、建築行政の執行体制は民間を含めたトータルとしては拡大され、行政は違反対策等の執行体制の充実を図ることが可能になった。

大震災の罹災都市である神戸市では中間検査を早期に義務づけするとともに、神戸市内の確認検査については、平成14年度末までにはすべて民間で実施されるのを目標に、計画的に確認検査の民間移行を進め、一方で違反取り締まり等行政でしかできない業務の執行体制の整備を図ってきた。

ここで神戸市における民間機関の確認検査の状況と民間機関との連携，建築行政の新たな取り組みを紹介させていただく。

民間機関による確認検査の状況

(1) 民間機関の設立状況

建築基準法の改正により平成11年より確認検査が民間機関で実施できるようになったが、神戸市では、確認検査の民間移行を促進するために、当面の受け皿として神戸市の外郭団体である神戸市防災安全公社に確認検査部門を設けた。

神戸市内を業務エリアにもつ民間機関は平成14年11月末現在大臣指定９機関、知事指定６機関の計15機関に上っており、これは全国的に見ても最も多いものである。（表１）

表１　市内を業務エリアにもつ指定確認検査機関

大臣指定（９機関）	知事指定（６機関）
㈱日本建築総合試験所	㈱兵庫県住宅建築総合センター
㈱日本建築センター大阪事務所	日本テスティング㈱
㈱西日本住宅評価センター	㈱神戸市防災安全公社
日本Ｅ．Ｒ．Ｉ㈱大阪支店	㈱近畿確認検査センター
㈱都市居住評価センター	㈻誠和学院まちづくりサポートセンター
㈲国際確認検査センター	㈲阪神確認検査サポート
ピューロベリタスジャパン㈱	
㈱京都確認検査機構	
㈱ジェイネット	

H14.11．末現在、神戸市に通知のあったもの

(2) 確認検査の民間移行状況

神戸市内の確認検査は，平成12年10月に神戸市防災安全公社での建築確認検査業務の開始とともに民間への移行は一気に進み、すでにほとんどの確認検査が民間機関で実施されている。平成14年度について、11月末までに市内で実施された確認検査をみると、確認の93%、検査の97%が民間機関で実施されている。現在神戸市へ申請されているものの多くは、震災の罹災により手数料が減免されるもの等、限られたものになっている。

新たな建築行政の展開

(1) 組織体制の変化

神戸市では確認検査の民間移行の進展に伴い、建築基準法改正の精神を具体化すべく、平成13年度に組織の大改正を行い、確認検査の体制を縮小するとともに違反取り締まり等、行政でしかできない分野の体制を大きく拡充した。従来なれ親しんできた指導課と審査課を廃止し、代わって違反対策室と建築安全課を設けた。

平成11年度（確認検査の民間移行前）に建築確認検査の係が６係あったが、確認検査の民間移行に伴い、平成14年度には１係に縮小した。一方で違反取り締まりの係が平成11年度２係であったものを平成14年度までに５係に拡充し、うち既存ビルの違反取り締まり専門の係を１係設けた。また、建築行政情報の管理及び民間機関との連絡調整さらには技術的支援を行う体制を整備するとともに細街路整備等今後行政が取り組んでいかねばならない業務の執行体制を整備した。（表２）

表２　組織体制の変化

平成11年度	平成14年度
建築部	建築指導部
建築調整課　△事務係	建築調整課　建築調整係
融資係→他の部へ移管	指導係
建築調整係	整備係
指導課　指導係	違反対策室　○推進係
整備係	監察第１係
東部監督係→監察第１	監察第２係
西部監督係→監察第２	○監察第３係
△東部検査係	○ビル監察係
△西部検査係	建築安全課　○建築情報係
審査課　△東部審査係	○道路調査係
△西部審査係	○建築安全係
△中部審査係	職員総数60名
△構造審査係	＊旧審査課の道路判定以外の業務及び指導課各検査係の業務は、建築安全課建築安全係に吸収された。
△設備審査係	＊建築確認検査担当人数
職員総数69名	係長１名、担当３名、合計４名
＊建築確認検査担当人数	
係長６名、担当14名、合計20名	

△印：平成13年度までに廃止された組織　○印：平成13、14年度に新設された組織

(2) 行政の新たな取り組み

神戸市では確認検査の民間移行とあわせて、執行体制の強化等を図りながら、次のような業務に強力に取り組んでいる。

①安全安心なすまい・まちづくりの推進

ア）完成検査率の向上（平成15年度75%）

イ）違反取り締まりの強化

ウ）中間検査の義務づけ

エ）既存雑居ビルの違反是正指導強化

②地域に根付いたまちづくりの支援

ア）細街路整備の支援（コンサルタント派遣等）

イ）まちなか型建築協定の推進

ウ）近隣住環境計画制度の推進（向こう三軒両隣によるまちづくり）

③市民サービスの向上

ア）事前届出制度の創設（建築活動の把握と確認申請に必要な行政情報の提供）

イ）建築行政情報の市民への提供（処分の概要その他建築行政情報の提供）

ウ）道路情報の整備（２項道路等道路判定の促進）

④民間機関との連携

行政と民間機関との連携

ここで行政の新たな取り組みの中でも、とりわけ民間機関との連携に関することについて、もう少し詳しく紹介させていただく。

(1) 建築に当たっての事前届出制度

神戸市では建築確認の民間開放にあわせて、市条例により、事前届出制度を設け、確認申請に先立って「建築に当たっての事前届出書」の提出を定めている。これにより市は神戸市内における建築活動を早期に把握するとともに、この届出書に対応して、「届出事項に関する通知書」を交付し、建築に当たって必要な各種の情報を申請者に提供するようにしている。民間機関は建築確認に当たって「届け出事項に関する通知書」を参照することにより道路の種別、許可事項、地区計画の有無その他審査に当たって必要な事項を正確に知ることができる。

(2)連携体制の整備

平成13年度に民間機関との連絡調整及び確認検査の報告書の受付窓口等の業務を行うために建築情報係を新設した。また、民間機関からの照会に対する回答、民間機関に対する通知、助言等の業務を明確に位置づけし、民間機関に対する技術的支援が迅速にできるようにした。

(3)確認検査員等の研修

平成14年度に、神戸市の確認検査の90%以上が民間機関で実施されていることに鑑み、確認検査員等の研修制度を設けた。

平成14年度については、兵庫県の後援を得て、神戸市内等を業務エリアにもつ民間機関の確認検査員等を対象に、技術力を高めるため、研修を実施した。講師は兵庫県及び神戸市職員のほか各民間機関にも得意な分野を分担していただき、民間機関と連携しながら実施した。(表3)

当初20名の予定のところ多数の応募をいただき、急きょ会場で可能なまでの35名に受講者を拡大した。研修は非常に熱気のある中で3カ月の間に延べ12日にわたって実施した。出席率75%以上の受講者に修了証書を交付するようにしていたが、ほとんどの方が皆勤され、全員に終了証書を交付することができた。

研修は、将来的には、民間機関が主体となり運営していただくことを目指している。

(4)経営者懇談会の設置

平成13年度から「指定確認検査機関経営者懇談会」を設け、民間機関の経営者との情報及び意見交換を必要に応じて実施している。

おわりに

建築基準法施行50年余りの歴史の中で考えた場合、民間での確認検査制度はまだ緒についたばかりである。今後いろいろな課題も出てくるものと考えられるが、行政と民間が連携してこの制度を健全に発展させていかねばならない。これにより、より安全で安心なすまい・まちづくりを進めるための大変有効な制度になると言える。

(ほそかわ　かつくに)

表3　平成14年度指定確認検査機関確認検査員等研修カリキュラム

	前　半（6時15分～7時25分）			後　半（7時35分～8時45分）	
①7月3日	はじめに（10） 神戸市住宅局 建築安全課長	挨拶（10） 兵庫県 建築指導課長	確認検査員制度（30） 兵庫県建築指導課 課長補佐	神戸市の建築行政（30） 神戸市住宅局 建築指導部長	建築基準法法の趣旨・制度の概要（60） 神戸市防災安全公社理事
②7月10日	建築基準法・総則　雑則（手続き等）（70） 神戸市住宅局建築指導部建築安全課主幹			地方公務員法（職業倫理）（30） 神戸市住宅局建築指導部 建築調整課建築調整係長	最近の建築基準法の動向（40） 神戸市住宅局建築指導部 建築安全課長
③7月17日	建築基準法・集団規定（用途規制　形態規定）（90） 神戸市住宅局建築指導部建築調整課整備係長			神戸市民の住環境をまもりそだてる条例（50） 神戸市住宅局建築指導部建築調整課主査	
④7月24日	建築基準法・単体規定（一般規定）（70） 神戸市住宅局建築指導部違反対策室主幹			事前届出制度及び報告（30） 神戸市住宅局建築指導部 建築安全課	神戸市建築安全条例（40） 神戸市住宅局建築指導部 建築調整課主幹
⑤7月31日	建築基準法・構造規定（70） 誠和学院まちづくりサポートセンター所長			同左	
⑥8月7日	建築基準法・単体規定（防災規定）（70） 神戸市住宅局建築指導部 建築安全課主査			消防法（30） 神戸市消防局予防部 査察課建築係長	都市計画法・宅造法（40） 神戸市建設局総務部 宅地開発指導課指導第1係長
⑦8月21日	検査マニュアル（50） 神戸市住宅局建築指導部建築安全課		建築基準法　・道路（40） 神戸市住宅局建築指導部 建築安全課道路調査係長	建築基準法・許可制度（50） 神戸市住宅局建築指導部 建築調整課整備係長	
⑧8月28日	現場実習①（2時～4時30分） 神戸市防災安全公社建築安全部検査課長				
⑨9月4日	神戸市建築確認の手引き①（60） 神戸市防災安全公社 建築安全部審査課長			住宅性能評価（40） 神戸市防災安全公社建築安全部 性能評価課長	建築基準法・設備（40） 神戸市住宅局建築指導部 建築安全課主査
⑩9月11日	現場実習②（室内でＯＨＰを用いて）（90） 兵庫県住宅建築総合センター確認検査課長 兵庫県住宅建築総合センター副参事			神戸市建築確認の手引き②（50） 神戸市住宅局建築指導部建築安全課主幹	
⑪9月18日	神戸市建築確認の手引き③（90） 神戸市住宅局建築指導部建築安全課主査 神戸市住宅局建築指導部違反対策室監察第3係長			兵庫県条例・兵庫県確認申請の手引き（50） 兵庫県県土整備部まちづくり局建築指導課課長補佐	
⑫9月25日	神戸市安全安心推進計画（40） 神戸市住宅局建築指導部 違反対策室主幹	住宅性能保証（40） 兵庫県住宅建築総合センター 住宅保証課長		演習（60）	

※各科目欄の（　）内数字は配分時間

弱アルカリ型地盤改良材

山田哲司
山田技術士事務所

軟弱地盤上に建造物を構築したり、軟弱な土を盛土材料などに利用しようとするとき、地盤あるいは土の力学特性を改善する必要がある。これらの行為は「地盤改良」といわれ、都市部に軟弱地盤が集中する我が国では最も重要な建設技術のひとつとなっている。

地盤改良の手段はさまざまな方法が開発・実用化されており、このうち土とセメントなどの固化材を混合しソイルセメントを造成するセメント安定処理工法は、土木・建築を問わず幅広い分野で利用されている。一方、その適用範囲の拡大とともに、施工中あるいは施工後の周辺環境に対する影響についても注目されつつある。

本稿では、セメント安定処理工法の周辺環境に対する影響について述べるとともに、弱アルカリ型地盤改良材について紹介する。

セメント安定処理工法と環境影響

セメント安定処理工法による地盤改良に伴って発生する主な環境影響には、以下のものがあげられる。

1）改良土のpH上昇

セメント改良土のpHは、固化材の使用量や原土の性状により異なるが、おおむね11～12の強アルカリを示す。改良体が地盤中にある場合は、周辺原土の中和能力により強アルカリ域が拡散する恐れは少ないとされている。

2）粉塵の発生

粉塵の発生は、主に固化材を粉体の状態で使用する表層地盤改良においてみられる。最近は粉塵の発生を抑制するため、固化材の表面を油脂などで被覆した無粉塵固化材が開発されている。

3）六価クロムなどの重金属類の溶出

セメント改良土から土壌環境基準(0.05 mg/ℓ)を超える六価クロムが溶出し、事前の室内配合試験時にセメント改良土の六価クロム溶出試験が義務付けられた時期があった。セメントには六価クロムをはじめとする重金属類が微量に含まれており、対象土との「相性」などにより、土壌環境基準を超えて溶出する場合がある。

弱アルカリ型地盤改良材

ソイルセメントの適用分野の拡大に伴い、建設工事で発生した残土（軟弱土）を改良し新たに盛土などの地盤材料とする試み（リサイクル）があるが、前述したように改良土が強アルカリを示すため、適用例は少ない。また、小規模住宅地の基礎地盤改良にみられる表層安定処理では、非改良土による覆土が施されるものの、根が改良地盤まで達する樹木が育たないなどの問題が生じている。このような背景から、弱アルカリ～中性域での固化が可能な地盤改良材の開発が行われている。

ここでは、酸化マグネシウムを主材とするマグネシウム系固化材について紹介する。

酸化マグネシウムは耐火セメント用のマグネシアセメント（気硬性セメント）の材料としても知られている。ここで扱う酸化マグネシウムは、主に中国遼寧省に産するマグネサイト（炭酸マグネシウム）を焼成して得られる。

$$MgCO_3 \rightarrow \underline{MgO} + CO_2\uparrow$$

この酸化マグネシウムは表面活性が高く反応性に富み、耐火物、肥料などの原料として、また火力発電所ボイラーの脱硫剤としても利用されている。

マグネシウム系固化材の特徴を以下に示す。

1）長期的に安定した固化特性を示す。

2）六価クロム等の重金属類を含まず、二次汚染の心配がない。

3）pH調整剤を用いることで、弱アルカリ域での固化が可能である。

4）セメントなどで十分な強度が得られなかった酸性土、有機質土、ローム土に対して優れた改良効果を示す。

表1は酸化マグネシウム、マグネシウム系固化材（酸性剤使用）、セメントを懸濁液状としたときのpHを示したものである。酸化マグネシウムのpHはセメントと比較して2、またマグネシウム系固化材のpHは3.5～4程度低く、弱アルカリ域での固化が可能なことを示している。

表1　固化材のpHの測定例

固化材	pH
酸化マグネシウム	11.0
マグネシウム系固化材	9.0～9.5
セメント	13.0

図1に改良土の強度とpHの測定例を示した。マグネシウム系固化材による改良土のpHは9～10となり、セメントと比較して2程度低い。また、マグネシウム系固化材による改良土の強度は1～2 N/mm²でセメントと比較して1/3程度であるが、特殊な用途を除いて必要十分な強度といえよう。

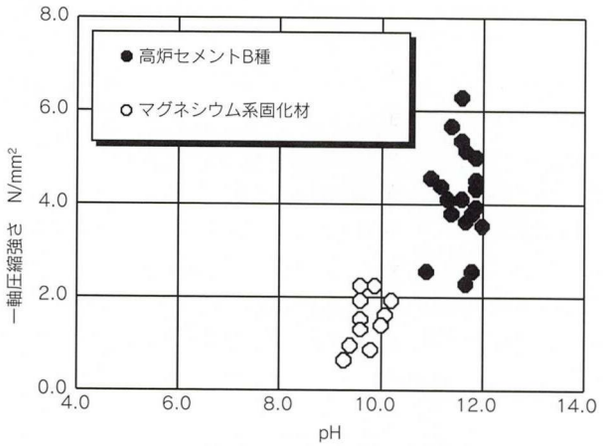


図1　改良土の強度，pHの測定例

おわりに

セメント安定処理工法に伴う環境問題と、酸化マグネシウムを主材とする弱アルカリ型地盤改良材ーマグネシウム系固化材について紹介した。マグネシウム系固化材は、改良土の環境に対する影響のうち、pHの上昇と六価クロムなどの重金属類の溶出問題を解決するものである。ここで示した特徴以外にマグネシウム系固化材は重金属類汚染土壌に対する固化・不溶化効果にも優れており、汚染土壌の修復技術としても適用可能である。

弱アルカリ型地盤改良材にはこのほか、鉄鋼スラグ、石膏、植物繊維、高分子などを主材とするものが開発されており、今後、地盤改良分野への適用は拡大するものと思われる。

（やまだ　てつじ）

ガスエンジン・マイクロコージェネレーションシステム

吉本　博
大阪ガス㈱エネルギー開発部空調技術チーム

近年、電気と熱を同時に供給できるコージェネレーションシステム（以下、CGSとする）は、高効率で環境に優しいエネルギー供給システムとして注目を集めている。

ここでは、浴場・老人福祉施設・小規模ホテル・飲食店などの幅広い用途で普及が進むガスエンジン・マイクロコジェネレーションシステム（以下、ガスエンジンMCGSとする）について述べる。

機器の構成と特長

ガスエンジンMCGSは、主要構成部分をすべてパッケージ内に納めた機器である（図1）。原動機であるガスエンジンからの動力で発電機を駆動し、電力供給を行う。また、エンジン排熱は、熱交換器を介して容易に回収が可能である。

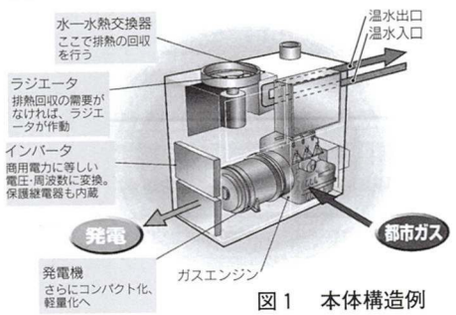


図1　本体構造例

①安価な本体イニシャルコスト　エンジン及びその他主要部品の大部分をガスエンジンヒートポンプエアコン（以下、GHPとする）で使用している量産効果の高い部品から転用し、イニシャルコストの低減を図っている。

②低メンテナンスコスト　従来、ガスエンジンCGSのメンテナンスインターバルは2000時間程度が一般的であったが、すでに10000時間インターバルを実現しているGHP技術を適用し、6000時間のロングメンテナンスインターバルを実現している。これにより、メンテナンスコストの低減が可能となる。

③容易な維持管理　発電出力10kW未満のガスエンジンMCGSは小出力発電設備（10kW未満の内燃力発電設備）であり、一般用電気工作物の扱いとなる。これに該当する場合、電気主任技術者の選任または委託が不要となり、電気主任技術者の委託費を削減できる。

電力利用技術

■系統分離方式

当初のガスエンジンMCGSは系統分離方式と呼ばれるものであった。しかし、従来の系統分離方式では接続する電力負荷設備容量は最大でも発電機の定格出力までであり、電力負荷の稼動状況により発電負荷率が低くなるため、効率的な運転を行うことが難しかった。そこで、発電負荷率の向上と電気側エンジニアリングの省力化を図るために、新発想の電源切替装置「マルチ切替器」の開発を行った（図2）。マルチ切替器は多数の切替ユニットを持ち、各負荷を常時監視して、発電負荷率が90～95%程度になるように、負荷を自動的に発電側へ切り替える装置である。また、マルチ切替器に発電出力の150%程度の負荷を接続するだけで高い発電負荷率が得られるため、負荷選定作業を大幅に軽減できる。

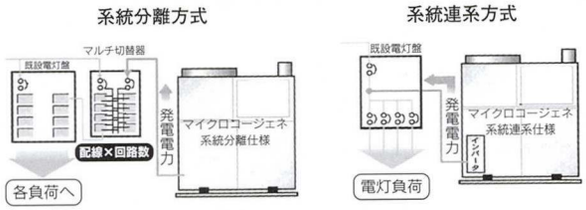


図2　系統分離方式（マルチ切替器）と系統連系方式

■系統連系方式

系統連系を容易に行うため、太陽光発電システムで実績のあるパワーコンディショナーの技術を取り入れている。パワーコンディショナーは、系統に電力供給を行う逆変換装置と系統連系を行うために必要な保護装置をすべて網羅している。これを用いることにより、系統連系を行う上で求められる特別な工事が不要となる。系統連系方式は負荷選定作業が不要で、エンジニアリングの省力化が図れる。また、電気工事費用を含めたイニシャルコストの大幅な低減と発電負荷率100%の実現も容易である。今後、ガスエンジンMCGSの主流はこの連系方式に移行していくものと予測される。

バリエーションの拡充と高効率化

ガスエンジンMCGSは、前述のイニシャル及びメンテナンスコスト・維持費の低減や省エンジニアリング性などの特長が市場で評価され、最も普及が進む分散型電源の一つとなっている。更なる普及に向けて、バリエーションの拡充や高効率化への動きも始まっている。

表1に、現在発売されているガスエンジンMCGSの主なバリエーションと仕様を示す。この中で、H14年12月に発売された5kWは、発電容量が小さいにもかかわらず、永久磁石式発電機の採用等により、高効率化（発電効率27.0%、総合効率87.0%）も実現している。

表1　主なバリエーションと仕様

形式		CP5V	GECC60A1	YCP9801	CP10V	CP22M	CP22V
メーカー		ヤンマー	アイシン精機	ヤンマー	ヤンマー	ヤンマー	ヤンマー
定格出力(kW)		5	6	9.8	9.8	22	22
相数		単相3線	単相3線	三相3線	単相3線	三相3線	三相3線
定格電圧		100/200	100/200	200	100/200	200	200
給電方式		連系	連系	分離	連系	分離	連系
効率	発電効率(%)	27.0	26.5	26.0	24.5	29.0	28.0
	熱回収効率(%)	60.0	59.5	56.5	57.0	56.0	57.0
	総合効率(%)	87.0	86.0	82.5	81.5	85.0	85.0
外形(mm)	幅	950	1100	1460	1460	1990	1990
	奥行き	500	660	730	730	800	800
	高さ	1740	1500	1660	1660	2010	2010
質量(kg)		445	465	800	880	1260	1420
運転音dB(A)		52	56	60	60	62	62

1）定格出力及び効率は60Hz仕様　2）効率はLHV基準

これらバリエーションの拡充により、電力需要規模に応じた適切なMCGSの選択が可能となり、ガスエンジンMCGSの普及が加速するものと期待を寄せている。

今後の取り組み

ガスエンジンMCGSは、これまでの数多くの導入実績により高い信頼性が実証されており、今後も小型クラスの分散型電源の中核的な役割を担うものと思われる。更なる普及に向け、機器の一層の高効率化開発を進めるのに加えて、機器の設置性向上のため不可欠な消防上の離隔距離緩和など、様々な規制緩和が望まれる。

（よしもと　ひろし）

8 3 4 1 見 蓄 √ひとよ 8 7 4

やさしいケンチク数学ばなし—その1—

山田 修
修 建築事務所

はじめに

過去に「建築文章作法：1997年」「やさしいケンチク文章術：2000年」を発表させていただきました。が、くしくも三年目に当話を連載することになり、不思議な縁を感じます。

「3」は、わたしのもっとも好きな数字です。3は呪力をもつ数で、モノゴトを三つにまとめるときに役立ちます。

ベストスリー・三傑・三役・三色・三法などは、三つであればメモしなくても覚えられるし、メモをなくしても人様に伝達が可能です。たしか、東京タワーの高さは、333m（S33年の完成。戦後日本の復興と高度成長の始まりをシンボル化した）と記憶しております。釈迦院（熊本県八代郡泉村：海抜940mの釈迦岳の頂上在）の石階段は3,333段あり、日本一長い階段です。

33間堂（京都市東山区）は、内陣の柱間が33間（実際は35間）ある所より三十三間堂（正式は蓮華王院）と呼ばれてきました。

南北125m（桁行35間）・東西22m（梁間5間）に及ぶ単層入母屋造・総ヒノキ製・本瓦ぶきの本造建築物の外観の偉容は、すばらしいのです。内観は、等身大の一千一体の観音像（33に化身する）がビッシリと並ぶ姿が圧巻です。

1001体×33＝33,333体（正しくは33,033体）が存在して、信者をさまざまな危険から守ってくれるのです。

現代的なスピーチは、3分間が限度です。「人は考えることが少なければ少ないほど、よけいにしゃべる」。これはモンテスキュー（フランスの思想家）のことばです。洋の東西を問わず、古来から長話と自慢話は嫌われてきました。わたしは、頭のよさとスピーチの長さは、反比例すると考え、スピーチは、すべて3分間を厳守しています。

このように、数式を使わない『数学よもやま話』を主にして展開させていただきます。気楽にご笑覧くだされればありがたいです。

ラクダの分配ばなし

むかし、エジプトでラクダ飼いのA男が19頭のラクダを所有していた。

A男は、遺言状に「ワタシが死んだら、ワタシのラクダの1/2は妻に、1/4は長男に、1/5は次男に与える」と記述していた。

やがてA男は死亡する。三人が遺言状の通りラクダを分配することになった。が、19は奇数のため、うまく分配ができない。

この話を聞いた近くの牧師が「それではワタシのラクダを貸してあげよう」といい、一頭のラクダをA男の妻に与えた。

妻は、1/2で10頭を、長男は1/4で5頭を、次男は1/5で4頭をそれぞれ受けとった。が、一頭が余ってしまった。

牧師は「一頭は、もともとワタシのものだから、この際かえしてもらう」といって余ったラクダを連れ去った。しかし、誰も文句は言わなかった。みんなラクダ（楽だ）ったから、メデタシ、メデタシと納まったお話。

〔コメント〕

牧師の頭がすぐれていた。

ラクダは19頭だから、1/2と1/4に分けるためには偶数にしなければ配分できない。

妻1/2、長男1/4、次男1/5への分配は、分母が異なるので全体像がつかみにくい。ここで通分をする（図1参照）。

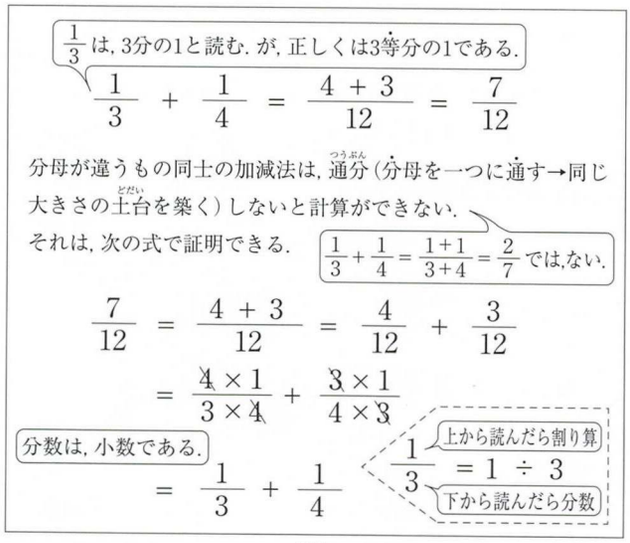


図1

分母の2・4・5の最小公倍数（LCM：Least Common Multiple）は20である。なお、最小公倍数・最大公約数の求め方は、図2に示した。

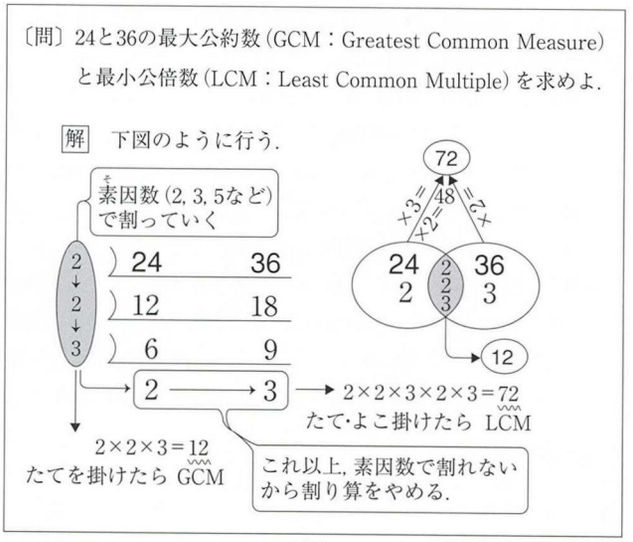


図2

さて、10/20、5/20、4/20と配分率は定まった。が、集計すると10/20+5/20+4/20=19/20になる。完全な配分は、20/20＝1でなければならない。

〔余 談〕

上記の話を耳にした隣り村の牧師が、得意顔でラクダの分配問題にかかわった。

この場合の配分は、ラクダが17頭で、配分比は1/2：1/3：1/6だった。

牧師は、一頭を貸し与えて総数を18頭とする。が、貸したラクダは牧師の手元に返ってこなかった。ラクではなかった話に、読者の皆さんがコメントを与えてください。

林雅子大阪展

建築家　林雅子

山本喜美恵
「林雅子展」事務局

林雅子は1928年北海道旭川の紙問屋に１女２男の長女として、恵まれた家庭に育った。日本女子大学生活芸術科住居専攻第１期生として卒業、その後、東京工業大学清家清研究室で５年間学ぶ。「林・山田・中原設計同人」を設立し、40余年に及ぶ設計活動をおこなう。まさに女性建築家のパイオニアとして道を切り開いていったひとであった。林雅子が亡くなってまだ１年と数カ月である。建築はその空間を体感して、初めてその建築を理解できる、ということは重々承知しているが、林雅子の作品のほとんどは住宅であるため、その空間を体感することはほとんど不可能な状態である。それでも、原図や模型や写真などから、どうにか林雅子の軌跡を、仕事を伝えたいという思いから、この林雅子展は企画された。

東京展と大阪展の相違点

東京展と大阪展では展示品が少々違う。それは会場の広さや、予算的なことがある。もうひとつの理由は、コンセプトである。東京では建築家としての林雅子の側面に加えて、女性として生活者としての林雅子を意識し、林雅子のドレスや特徴的な装飾具、愛車などを出品した。大阪展では、“建築家”のみに焦点を置いた。関西とほとんど縁のない林雅子の建築家像を伝えるため、あえて生活者としての側面を出さないようにした。ドレスや装飾具などは展示品から省き、その替わりに東京展では展示しなかった製図道具や名刺、現場用青焼製本図などを展示し、会場には自由に閲覧できるように５物件の青焼製本を置いたコーナーを設けた。

大阪展会場風景

林雅子が好んで多くの建築に使っていた独特の深い紅に、白い文字が浮かび上がっている。『建築家・林雅子』。大阪展で最も特徴的な看板、いや“展示物”は、まっ先に来客の目を奪う。この“展示物”と全体の会場構成は、建築家の長坂大氏。会場は、まさに一望である。会場構成は衝立を立てることなく、ワンルーム形式で展開している。すなわち順路がないのである。図面と模型の間を何度も行き来し、その関係性をうまく結び付けながら鑑賞することができる。とても明解で機能的な会場構成である。この展覧会名は『建築家・林雅子』である。この名の通り、林雅子の設計手法を示している。この展示風景からすると、模型が目を引き付けがちだが、それ以上に見どころは原図の緻密さと美しさである。

―「あなたの言いたいことは全て図面で表現しなさい。」―

というのが所員に対する彼女の常々の言葉であった。誤魔化しを一切許さない毅然とした彼女の態度が図面の一枚一枚に表現されている。もうひとつの見どころは模型である。アクリル模型９点、1/20模型２点、木模型４点が出品されている。３台を除き全て、今回の為に作制した。新規模型は全て学生の手によるものである。東京電機大学、京都工芸繊維大学、神戸芸術工科大学の学生たちの労作である。ひとつの展覧会にこれだけの学校が関係してくるのは稀な例であろう。

９月21日トークセッション報告

大阪展関連イベントとして９月21日に住まい情報センター大ホールで『戦後住宅の潮流と林雅子』と題したトークセッションが行われた。



大阪展会場風景（写真　山本圭一）



トークセッション会場風景（写真　山本圭一）

司会兼パネラーの花田佳明氏、パネラーに植田実氏、岡部憲明氏、松隈洋氏、林昌二氏。会場は300席準備していたが満席で、立ち見が出る程の盛況ぶりであった。会場には安藤忠雄氏、出江寛氏、竹原義二氏などの関西を代表する建築家たちが顔を並べている。

林雅子は関西には縁がなかったといっても過言ではない程、関西での仕事はごく少数である。それだけに、このトークセッションでは林雅子を客観的に分析することを主目的においている。植田氏が導入部を担当し、林雅子作品のスライドを写しながら作品の流れや時代背景を説明。それぞれのパネラーも独自の視点から林雅子分析を展開した。

展想

私は林雅子展大阪展を担当することになり、いささかの不安が常に胸の内にあった。関西の林雅子の作品はほとんどない。知名度も東京に比べると、ガクンと落ちる。果して、関西の方々に興味を抱いていただけるのか。それは私だけでなく林昌二も同じ心配を抱いていたようである。東京展が終わり、大阪展が始まった。私の不安を蹴飛ばすように、連日、会場は賑わった。総入場者数は約3500人にものぼった。東京展とほぼ同じ入場者数であった。

買い物帰りの老夫婦が「この人に家を設計してもらえばよかったなぁ」と呟いた。この展覧会の結果のすべてはこの言葉に集約されているように思う。（やまもと　きみえ）

建築家・林雅子展　主催：林雅子展委員会
東京展：９月４日～15日（代官山ヒルサイドフォーラム）
大阪展：９月20日～10月６日（大阪市立住まいのミュージアム）

シンドラーとは誰か

――モダン建築の偉大なパイオニア再発見――

文・写真：塚口眞佐子

1920年前後、ライトのホリーホック邸との関わり

Schindler House by R. M. Schindler（1921～22）
Hollyhock House by Frank Lloyd Wright（1917～21）



シンドラー邸

REPORT

PREFACE

近年、アメリカを中心に建築家シンドラーへの関心が急激に高まっている。この背景には20世紀のデザインの総括という面もあるが、自然環境との共生を実践したシンドラー邸のコンセプトが、現代の共感を広く呼ぶものであることも大きな要素と思われる。また新たな資料が発見された今、シンドラーを再び知る時期でもあり、意味もある。

代表作の自邸シンドラー邸は、現代のモダン住宅そのものといってもよいだろう。プレキャストコンクリート製の、プロポーションにどこか日本のニュアンスを感じるたたずまいでもある。1922年の作という点でも現代の我々に新鮮な驚きを確かに与えてくれる住宅である。

シンドラーについては主に1970年ころから世界の建築ジャーナリズムに取り上げられてきた。しかし最近新たに1914年から29年の間のライトとの書簡が発見された。その多くは1918年から22年のライト事務所時代のもので、それはシンドラーにもライトにも新たな光を投げかけるものであった。特に1931年の両者の論争でのシンドラーの立場を裏付ける内容であった。

2001年にSchindler Houseという書籍がニューヨークで出版された。著者はライトのホリーホック邸の研究者として著名で建築家でもあるカスリーン・スミスである。周知のとおり、ホリーホック邸の建築はライトが日本で帝国ホテルに携わっていた時期と重なり、その間ホリーホック邸を担当していたのがこのシンドラーであった。また同じく2001年彼の作品集もニューヨークで出版された。拙稿はこれら最新の文献を基に作成したものである。

ライトとシンドラーの関わりは、1910年ベルリンで出版されたライトの作品集がきっかけであった。ライトの建築の衝撃はヨーロッパ中に広がり、若き建築家を刺激することになる。その中の一人にオーストリアのシンドラーがいた。彼は渡米を決心する。

ホリーホック邸とシンドラー邸は前後して建てられた。二つの作品には一人の共通の人物が介在したが、一方は天才建築家ライトの作品として世界的に有名になり、他方はそのアヴァンギャルド性のためか長い間評価の薄い存在であった。しかしともに存亡の危機に合いながらも現在復元保存されている。シンドラー邸は現在オーストリア応用美術博物館の分館となっている。

当時のライトの建築とシンドラーがどのように関わったのか、彼のスタイルはどんな哲学から生まれたのか、ライトとの関わりを通して調べてみたい。シンドラー邸の誕生は彼の経歴や時代背景、夫妻の生活を抜きにしては語れない。

Ⅰ.シンドラーの経歴と生涯
Rudolph Michael Schindler（1887～1952）

20世紀の第一世代の建築家とも言うべきシンドラーは1887年、ウィーンに生まれている。コルビジェと同年でもある。帝国工科大学在学中４年目に、Academy of Fine Artsに入学、同時にオットー・ワグナーのスタディオにも参画する。Academy of Fine Artsで３年間の在学中、アドルフ・ロースにも師事し、そこで彼の建築家生命に後に影を落とすことになるリチャード・ノイトラと出会う。ノイトラは当時まだ帝国工科大学の学生で４才年下であった。ロースからの渡米の勧めもあり、きっかけを求めていたシンドラーは1914年、オッテンハイマー・スターン・ライヘルト事務所の募集に応じシカゴに渡る。第一次世界大戦開始の５ヵ月前であった。

この事務所勤務直後から彼は何度かライトとの面会を希望するレターを出している。平均的なアメリカの事務所に飽き足らなかったシンドラーの目的はもちろんライトで、そのために選んだシカゴの地であったのだ。シンドラーは作品集を見てライトにアプローチした最初のヨーロッパ人の建築家でもある。

ライトのプレーリーハウスは、それまでの箱の中に箱を作るような住宅とは異なり、箱を解放し採光や通風、眺望に優れた流動的な平面プランに基くもので、暖房の近代技術が可能にした住宅であった。彼の才能は住宅に留まらず、1902年から08年に手がけた公共建築は、工業化の時代精神や技術を先取りした大胆なデザインで20世紀の建築の幕開けを象徴するものであった。

しかしシンドラーが魅了されたのはプレーリーハウスのほうであった。1914年のライトと言えば、後に「黄金期と黄金期との間の不毛の時代」とも称される時代で私生活ではまさに火宅の人であり、仕事は減少し事務所も縮小して運営されていた。このためシンドラーがライトの下で働けるまでには更に３年の月日を要することになる。この間彼は事務所勤務のかたわらニューメキシコ、アリゾナ、カリフォルニアを旅し多くの風景をカメラに収めている。シカゴの商業建築に倦み果てた彼の目に、それとは鋭い対比を見せるプエブロの日干しレンガの集落は魅力的に映り、ノイトラに書き送っている。「天に向かって突き刺す摩天楼、それは限り無く豊かな草原から湧き出る巨人のようなバイタリティーを感じさせるものもなければ、人間性も感じられない」「その大地に深いいつくしみの感情を表しているのはただ日干しレンガの建物だけである。」

シンドラーは帰郷心を催すが思いとどまる。ロースの事務所に戻るつもりであったが、その事務所が疲弊していたこと、ノイトラから戦争による荒廃を語

参考文献

・Kathryn Smith　*Schindler House*
・Judith Sheine　*R. M. Schindler*
・Donald Hoffmann　*Frank Lloyd Wright's Hollyhock House*
・*FRANK LLOYD WRIGHT MONOGRAPH 1914～1923*
・*FRANK LLOYD WRIGHT MONOGRAPH 1907～1913*
・William Allin Storrer　*THE FRANK LLOYD WRIGHT COMPANION*
・GA HOUSE 26　ロバート・スウィーニー　真正のカリフォルニア建築
・藤森照信　昭和住宅物語

る手紙を受け取ったためであった。彼にはシンドラーを将来のアメリカ行きの「つて」にしたいとの含みもあった。1917年シンドラーはオッテンハイマー事務所を辞す。この時ライトはシンドラーに声をかけ、シカゴのオフィスを自分の不在中使うよう勧めている。そしてついにライトの下で働く日がやって来る。帝国ホテルの実施設計のためタリアセンに参加しないかと誘われたのである。この時に備えてシンドラーはライトの研究を続けていたのだ。シカゴ中の作品をカメラ片手に行脚しスケッチしていたのである。「ライトこそ私が求めていた建築を本当の意味で体現する建築家である」「彼の作品は言葉の本当の意味で空間芸術である。」と語っている。

1918年早々からタリアセンに加わったシンドラーにとって、かくも重要な役割を果たすようになるとは当時予測のつかないことであった。ライトは持ち前の楽天的な虚勢で、東京の仕事は2年のうちほんの数カ月行けば済むとたかをくくっていたのだ。実際には4年を要し年に一度の短い帰国しか果たせなかった。工事は1922年まで延長され、その留守を預かる有能なスタッフがシカゴで必要であった。アメリカのエンジニアとの交渉や建材の日本向け発送、また新たなクライアントに対して行うデザイン業務などであった。この、スタッフにデザインさせること、はライトには初めてでなおかつ愉快なことではなかった。のちのちも断固としてこの時の事実を認めてはいない。しかし収入の面からも当時は目をつぶらざるを得なかったのである。1919年シンドラーに書簡を送っている。「君はかつて私を不快にさせた者どもとは同類ではないだろうね。見込み客に対してだが、シンドラー君、君は事務所を預かってくれてはいるが、ライトの名前を求めてやってくるクライアントには君の名前はいらないのだ、そうだろう？　ライトならどうするであろうか考えたまえ。君なら上手くやってくれると信じている。」しかしこの時のシンドラーのデザイン関与に対するライトの否認が後になって2人の疎遠につながってゆくことになる。

1919年以前の施主がちょっと大きなプロジェクトを持ち込んで来た。18戸からなる「労働者のためのモノリス・ハウス・コロニー」である。様々な証拠からこれは決定的にシンドラー自身のデザインである。この計画案は建物外部も内部もコンクリートで、どの壁もコーナーを閉じてはいない。そこには床から天井までガラスがはまり2層に及ぶところもあった。もちろん形態的にも構造的にも初期のライトから強い影響を受けた作品だが、大事な点は、その抽象化をさらに次のステップに進めたことと、打放しコンクリートの計画であった点である。結果として3種の意味を持つ住宅であった。構造的には材料は工業製品で大量生産されたものであり、社会的にはローコストでミニマルな労働者のための住宅であり、空間的には内部と外部の連続性で、なおかつインテリアは居住空間としての要素を備えたものであった。これらの点から、ミース・ファン・デル・ローエやグロピウス、リートフェルトの同時代の作品に先駆けるもので、当時は同年のコルビジェのモノル邸案のみが、同じく合理的精神と社会的に革新的なヴィジョンを示した作品であった。モノリス・ハウスには従来的な意味の装飾はなかったが、プロポーションと空間の連続性で芸術の域に達した作品であった。しかし残念なことにプロジェクトで終わった。

ライトはこの時期新たな設計依頼を受ける。ハリウッドのオリーヴヒルに劇場を含む一連の施設を建てるプロジェクトで、依頼主は石油で財を成したバーンズドール家の女相続人アリーン・バーンズドールであった。丘の頂上には自分自身の邸宅が希望された。シンドラーはホリーホック邸と呼ばれるこの住宅のためのプラン作りとドローイングを行うことになった。



ホリーホック邸

1919年春、シンドラーはソフィア・ポーリン・ギブリングと出会う。彼女はスミスカレッジ卒業後シカゴで音楽を教えていた。飽くことを知らない好奇心と社会的・政治的・芸術運動にも進歩的であった彼女はシンドラーを魅了する。伝統的な因習に対しては共に理性的でそれらを軽蔑してはいたが、二人は結婚することになる。ただしカップルとして生活は共有するもののそれぞれの独立性は維持、との同意の下であった。タリアセンでの生活に深く感動したポーリンは両親に手紙を綴っている。「何というコントラストの妙！ここでは牧歌的な生活と現代の科学が同居しています。しばし草原で馬に語りかけたかと思うとスタディオではロスアンジェルスのビルの模型が私を迎えてくれるのです。」タリアセンでのこの生活が、いつかは自分達のスタディオ造りをという夢を膨らませることになる。

ライトの事務所ですでに2年が過ぎていた。シンドラーはこの頃、ライトの建築が自分が思い描いていたシンプルで抽象的な空間の構成者という立場から、よりモニュメンタルでスカルプチュラルな装飾的な建築へとシフトしつつあることに戸惑いを感じていた。ライトは鉄筋コンクリートを用いた近代建築とその建設システムにますます興味を深める一方、日本の芸術やコロンブス以前のネイティブアメリカンの文化に関心を深めていた。そしてこの現代技術を駆使して、人間が自然を支配していなかった時代を想起させるような建築にかかっていたのだ。かなり後になって、シンドラーが回想している。「ロスにやって来たのはオリーヴヒルの監理のためだった。これらの建物は古典ギリシャ建築のヴォキャブラリーつまり基壇、柱、コーニスにこだわりながらも、マヤのモチーフの導入で全体をローカルに根ざしたものにする試みがなされた。」

シンドラーの失望をいくぶん救ったのは移り住んだロスで出会った17歳年上のアービング・ギルだった。ニューヨーク生まれの彼は以前サリバンの元で働き、ライトともその時期を同じくする地元の建築家であった。ギルを評して「伝統や流行りのスパニッシュスタイルを打ち破る努力を払ってきた唯一の人だ。」「建築をシンプルなマッスに帰そうとしている。」と語っている。そして妻の親友、マリアンの夫のクライド（エンジニア）をギルの事務所に紹介もしている。また彼の実験的な工法、つまり現場で成形されたプレキャストコンクリートのパネルを用いて建ち上げる工法にも特に強く関心を持っていた。これにはクライドを通じて更に熟知するようになる。シンドラーが「スラブティルト工法」と名付け、後に自邸に簡略化して採用した工法である。



シンドラー邸インテリア



シンドラー邸スリービングバスケット

1921年、ホリーホック邸の一応の終了に伴いシンドラー夫妻はヨセミテ国立公園へ旅する。この時、独立して事務所を開くこと、スタディオ・レジデンスを持つことを決心する。11月、夫妻はマリアンとクライドのチェイス夫妻と会談を重ねる。建物は2組の親友カップルの共同住宅とし、セルフビルトで設計はシンドラーが、クライドがビルダーを務めるとした。土地はキングズロードに決まった。彼らはカリフォルニアの気候風土に魅せられていたのである。

20世紀のモダン住宅の創世記たるシンドラー邸、概念的には至高をめざしながらも、ラディカルで従来の住宅に期待された質を全く欠いていた住宅、この誕生にはどんな背景があるのだろうか。推測を重ねるしかないのだが、事実としてシンドラーもポーリンも進歩的な思想の持ち主で、The Little Reviewのようなアヴァンギャルド誌やシカゴやロスの友人を通じて、アートや音楽、舞踊、写真、絵画の世界の新しい潮流に従っていたこと、社会改革や教育、精神分析についての最新の学説を話題に取り上げていたこと、独自の食生活やフィットネスエクササイズを取り入れ、衣服も貫頭衣のような独特のものを身につけるなど哲学に基づいた生活を送っていたことからライフスタイルがイメージされる。シンドラーが妻の両親に宛てた借金の依頼も含む11月26日付けの書簡で

は、家事の負担は一人の肩にかかるのではなく、また各人が独立した部屋を持つことが明確にされていた。つまりこの家のコンセプトはシンドラーの家族というものに対する解釈を表現するもので、それは各人が共通のゴールをめざしながらも独立した個人として営むというものであった。

1922年2月、工事が始まった。「スラブティルト工法」を採用して次々壁が立ち上がっていく。シンドラーは昼間は依頼仕事、夜間に自分の仕事をこなし、ポーリンも3ヵ月の臨時の教職を得て家を離れる。がしかし予算は厳しく家具や植栽にまわせる余裕はなかった。シンドラーは妻の両親に手紙を書いている。「完成しました。建築的には満足です。人は感動するか拒絶するか、私の評価も決まるでしょう。」

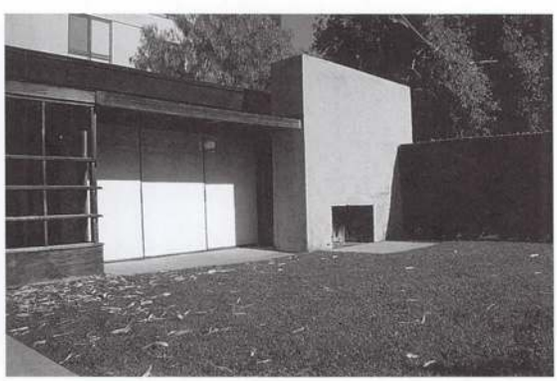
1922年夏から24年夏にかけては、彼らは新しい建築への取り組みや育児の負担が加わった生活などでハードな時期を過ごすことになる。ヨセミテの気楽な旅行の時とは一転した生活になった。夫妻の仲もこの頃から狂い始める。しかし共同生活は順調で妻達は交代で育児をし、シンドラーに背いて無塗装のはずの壁を二人して塗装したりもしている。夫達もそれぞれ建築家とビルダーとして共同の仕事への参画や、自邸の家具作りに精を出すなどしている。寝室となる屋上のスリーピングバスケットも夫達の手で23年に完成される。またこの時期はキングズロードの家がにぎわいを見せた時期でもあった。特にライトが23年に当地にやって来てからは彼に連れられた若き建築家でにぎわった。その中には、モーザー夫妻や土浦亀城夫妻もいた。ライトは開発途上で建設ブームに湧くカリフォルニアに仕事を求めてやって来たのである。

1924年7月、チェイス夫妻は妻の両親の事業を継ぐため去って行った。翌年3月ノイトラー家がキングズロードの家にやって来た。ノイトラは建築家としての立場を得るため講演や著作・コンペに参加・建築家のライセンス取得などの行動計画を精力的に実行してゆく。家事に専念する妻は「奇妙な住宅だけど、固有の美は持ち合わせている。」「気に障ることはこの住宅がまるで実際的に役に立たないこと」と語っている。ノイトラー家の到着以来、共同生活の精神は維持されたもののそのあり方は変容していった。ポーリンの芸術や社会改革に理知的に関わる姿勢が人々を引き付け、この家をしばし8人から80人のパーティーを開催させるまでになった。間取りが開放的でパーティーに多様に対応できたのである。時には100人以上集まることもあった。

シンドラーとノイトラは1926年パートナーシップを組むことになる。しかしこれは二人の審美感と性格の違いを浮き立たせるものであった。この時期、モダン建築に対して同じ世代の建築家としてはもっとも重要な働きのうちいくつかをなしている。シンドラーの「ロベルビーチハウス」であり国際連盟ビルの設計競技への二人の共同参加であり（1926）、ノイトラの「ロベルヘルスハウス」であり彼の2冊の重要な著書であった。これらの成果にかかわらずというべきか、だからこそというべきか、これといった直接の原因はないものの根本的な姿勢の違いが彼らを疎遠にさせてゆく。国際連盟コンペ展から共同参加したはずのシンドラーの名前がはずされていたり、ロベル博士のヘルスハウスはノイトラに設計依頼されたりしたのである。博士はもともとポーリンの縁からシンドラーのクライアントであった。ノイトラは1930年にキングズロードを去った。それでも二人は翌年まで共同で講義を行っていた。が仲間関係は終了していた。27年には既に妻ポーリンも息子を連れて家を出ていた。その後多くの芸術家がゲストとしてまたテナントとしてここに滞在するようになる。

1930年といえばシンドラーはまだ40歳前半であった。1953年65歳で亡くなるまで、生涯帰郷せず南カリフォルニアで150以上の作品に係わった。公共建築も教会などがいくつかあったものの作品のほとんどは個人住宅であった。

1930年代にポーリンが戻ってきた。彼女は夫の死後もおよそ20年間自らの死までここで生活し続けた。生前ずっと政治的にも革新であり続け、見学にやって来る客をもてなすのに忙しい日々であった。彼女は夫の死期が迫った際、長い間疎遠になっていたライトに書簡を送り何か一言夫に声をかけてくれるよう頼んでいる。そのライトからの手紙に対するシンドラーの礼状がある。「オーストリアアルプスの山あいで育った私は、山の頂上が持つ崇高さに惹かれそれを学び続けて来ました。長きの無沙汰や直接の意見の不一致があったにせよ、あなたの対する忠誠心には変わりがありませんでした。」



シンドラー邸パティオ

II.シンドラー邸の不運と再評価

20世紀では、シンドラー邸は一般にはモダン建築の主要な作品の一つとして認識されなかった。1932年まで出版物に載ることもなかった。ヨーロッパやニューヨークとも地理的に遠く建築界に影響力のある訪問者もほとんどなかった。一方、彼は市民への教育こそ重要と考え精力的に講演をこなし、数多くのアートスクールに混じって1930年にはUCLAでの長期にわたるレギュラー講座も受け持っている。しかし「建築界とは切れていた人だったのかもしれない。」これは建築史家の藤森照信氏が遠藤新氏を評して語っているのだが、どうやらシンドラーにもあてはまりそうである。藤森氏いわく「建築界とは建築家の集団や学会や建築ジャーナリズムといった何となく人と人でつながれたネットワークを指すが、そのネットワークの中でなんとなく作られた建築家評価はなんとなく後世にまで語り伝えられているうちに『なんとなく』が取れて確たる評価になってしまう。」確かにシンドラーには公共建築の作品がほとんどなかった点からも、この時代の建設ブームで湧くロサンジェルスという好機を抜きにしても、あまりエスタブリッシュメント受けしない人物像が浮かび上がる。彼のボヘミアンのような見た目や行動もビッグプロジェクトを呼び寄せなかった。書籍に掲載される際も、建築家としてのこだわりから編集者に扱いに関してのクレームの書簡を絶えず送っている。ノイトラとの一件も原因で建築家仲間ともあまり親しい付き合いはしていない。ライトがシンドラーの功績を認めなかったことも建築界から遠かった理由の一つになるかもしれない。その背景にはライト自身のこの時期の逼塞があり、スタッフの功績を否定することで自分の矜持が保てた彼の心理状態がある。ライトの息子が「彼は社会主義者だ」と語った風評もこの時代のアメリカでの彼の立場が推測される。

ともあれ、シンドラー邸は評価されなかった。1929年、ヘンリー・ラッセル・ヒッチコックの著作Modern Architecture : Romanticism and Reintegrationにはシンドラーの記述は1行で片付けられ、56枚の図録が掲載されたが彼の作品は含まれていなかった。見知らぬこの人物、しかも直接作品を見てはいない人物のトゲのあるこの評に対してシンドラーは1930年に手紙を送っている。「私の作品に対するあなたの言及は不用意なものです。尤も誌上では私の作品の真価は伝わりませんが。」確かにヒッチコックはニューヨークから西の建築については見てはいなかったとしても、事はそう単純ではない。彼はこの書籍の中で、ノイトラをアメリカで活躍するもっとも重要な外国生まれの建築家として賞賛している。

3年後、今度はMOMAの傘下でのフィリップ・ジョンソンとのコラボレーションで、ヒッチコックはシンドラーの将来をほとんど以後20年に渡って封印してしまうことになる。1930年、彼らは前述の著作をもとにドローイング展開催の企画を立てた。このため新たにフランスやオランダを廻り作品の収集に務めるが、ここで取られた観点は美的な評価のみであった。技術面や社会的な意味での革新的な作品は意図的に避けられた。また皮肉なことに、1922年をもってモダン建築を定義したため、ミースやコルビジェ、グロピウスの作品が主に取り上げられることになった。

しかしアヴァンギャルド系の建築家達からの突き上げで、今度はアメリカのまだ紹介されていない作品も含めた出版を企画する。The International Style : Architecture since 1922でありこれもMOMAでの展覧会を伴うものであった。1932年シンドラーはジョンソンに書簡を送っている。しかしその返事は、「あなたの作品はこの展覧会にふさわしくない。」であった。彼の作品は条件にはまっていたのだが、なぜこれほどにジョンソンが拒絶したのか。この答えは1988年のインタビューで彼自身が語っている。「1931年展覧会に先立ってロスを訪問した。ノイトラに会う目的であったが彼がいけなかった。周りの人を悪く言いとりわけシンドラーの事を悪く語った。シンドラー邸にも行ってはみた。好きではなかった。貧弱で手入れもされていなかった。この時の印象とノイトラの意見が合わさって、これ以降シンドラーの作品は見なかった。」

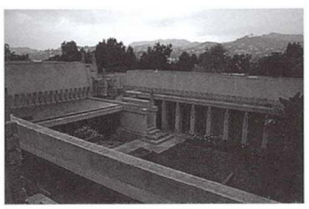
しかし、シンドラーの死の翌年1954年、追悼の回想展がロスで開かれ、多

数の讃辞に混ざってジョンソンが述べている。「シンドラーはモダン建築の偉大なパイオニアの一人である。その作品が素晴らしいだけでなく後のモダン建築の発展に大いなる影響を与えた。」さらに1972年、今度はヒッチコックが書籍の巻頭で、「狭い心でシンドラーとモダン建築に接したことを悔い改める機会を得られたことがうれしい。」と述べている。そして1995年フィリップ・ジョンソンは一段と立場を進め「シンドラーは生前には評価されなかったがその一因は私にある。しかし今やはるかに偉大な建築家であり作品である。」

「この建築が建ってから送りだされ続けたメッセージには変わりがない。一方我々の認識には変化がもたらされた。」こう語るのはロバート・スィーニーで「真正のカリフォルニア建築」論の中である。「ベニヤ張りの苛酷な経済性の裏にはプログラム、構造、平面に対する独自の解法が潜在している。」「社会的、建築的ないずれの視点から見ても根元的な実験であった。」「この住宅はカリフォルニアの気候に対するシンドラーの返答であった。1920年の12月にロサンジェルスに移住した彼は、かの地で素晴らしく良好な太陽光線に遭遇しその光にふさわしいと彼の考える住宅を建設した。それは恒久的なテントになぞらえて考えるのが適切であろう。シンドラーはシェルターを与えたものの、できる限り屋外の庭の中で生活が行われることを意図したのである。」

かくしてシンドラー邸のモダン建築としての地位が一般的にも確立されつつある。革新的思想に基づいたライフスタイルの若きカップルの実験住宅であったが、時代や社会が大きく変わり今や広く共感を生む住宅、また20世紀のモダンデザインの代表作の一つになろうとしている。

III.ホリーホック邸との係わり


ホリーホック邸

シンドラーはライト事務所時代（1918～1921）全部で7件のプロジェクトに関わっている。大きなものといえば帝国ホテルとホリーホック邸で、時期的にもこの二つのプロジェクトは一致するものであった。この頃はライトもほとんど日本に滞在していた。帝国ホテルの建設は1915年から22年までで、ライトがホリーホック邸の施主バーンズドールと初めて出会うのも15年である。当初の計画は劇場を含む一大プロジェクトであった。しかし住宅は実現したものの何度も設計し直された劇場や後に計画された幼稚園は実現せず、この幼稚園に至っては工事がいよいよ着工される段になっての突然の中止宣言であった。予算が大幅に超過したことも大きいが、依頼主の人柄が多くの意味で奔放であり、この性格がとりわけ劇場計画に災いした。彼女はまた居場所が定まらない性分で生涯果てしなく国内外を旅し続け、ライトも日本に滞在とあって建築家とクライアントのコミュニケーションははなはだ問題の多いものであった。それでなくとも当時の頼りにならない郵便事情もあった。またするべき仕事をほとんど持たない人の例に漏れず彼女の依頼はいつも性急であった。そのため実に多くの書簡がやり取りされた。また事の異常さもあってそれらの書簡は保存されている。両者の直接の書簡のやり取りのみならず建築の修行中であったライトの息子、ロイド・ライトも経過報告の書簡を日本に居る父親に送っている。それらの一端から実にリアルな映像が伝わってくるのだ。

「息子のロイドさんからあなたのデザインを受け取りましたが、まるで全く何も考えてくれてないようでがっかりです。もっと詰めたいのにあなたはこちらにはいらっしゃいませんし。例えば色彩もグリーンにしたいのではなくグリーンと感じるようにしたいのです、ホリーホック（タチアオイ）の花の色が映えるように。」「家具のデザインも春までには具体的にして下さい。あなたが戻ってこられたらその時には炎のようになってせっつきますわよ。」

しかし、ロイドにはシンドラーの作業がいつまでかかるのか予想出来なかった。彼は父親に書き送っている。「シンドラーにようやくプランを吐き出させ、今あら探しをしているところです。人を急かすのは楽しいことではありません。しかしそうでもしなければ。ところで劇場の方は模型写真ができたので送ります。住宅はシンドラーのプランができた範囲までしか送れません。」ここで、土浦亀城がライトの天才的な空間の把握力について語る弁が思い出される。「あれだけ入り組んだり飾りの多い建物でありながら、模型のようなものはいっさい作らず、直接図面に入って矛盾なく詰めていくんだから、作りたいと思う空間が完璧な形で頭の中に浮かんでいたとしか考えられません。」

1921年1月バーンズドールはヨーロッパに旅に出る。ライトに一言書き送っていくのを忘れてはいない。「家が完成するまで戻りません。この間にいろいろ決められてあなたは大満足のことでしょう。私の方は家が完成するまでは混乱状態で他のプロジェクトを進めることができません。」その後、間もなくロイドからもライトに手紙が届く。「バーンズドールの求めに応じて私自身がレンダリングした水彩のパースを送っておきました。今回の仕事はやりがいがあると思っています。僕はランドスケープの監理に当たれてうれしいです。シンドラーが嫌いだから住宅の監理じゃなくてよかったと思っています。」監理は設計者自身又はその代理人が行うものであることから、嫌いな人が関係した物件の監理に当たらなくてよかったとするこの青年の素朴な述懐は、シンドラーの関与が単に工事監理とドラフトマンだけではなかったことを物語っている。

1920年12月、ホリーホック邸の監理のためロスに着任したシンドラーはノイトラに書き送っている。「アメリカの建築について語る時、私は、全くそんなものは存在しないと言わざるを得ない。その兆しはないわけではないのだが。だがアメリカというものに強く結びついた建築は未だかってなかった。その大地に強い情感を示しているのは最初の入植者とその後継者、スパニッシュやメキシカンの建てた日干しレンガの建物だけである。」この手紙の存在があるため、ホリーホック邸のもっとも早い出版物への掲載は1921年9月であったが、そこに添えられた記述がライトからの情報によるものなのか、シンドラーからのものか何とも判断しかねるのだ。その記述とは、「例えばニューメキシコ特有の岩石台地の上の程良いプエブロの住宅、またシエラの丘陵地帯のところどころにある絶壁を考えてみよう。そんなもののアウトラインをいくぶん洗練させて、しかもその力を弱めることなく、というとそれがバーンズドールの家のコンセプトに行き着く。」である。そしてこの記述のごとくの岩石台地のプエブロ集落の写真が1915年の早きに存在している。撮影はシンドラーである。

シンドラーとホリーホック邸との関わりを列挙するのもこのくらいにしたい。一方、シンドラーもまたライトに引き寄せられるようにアメリカへ渡って行った人物である。オッテンハイマー事務所時代はライトの全作品を探究している。意識して筆致も似せたであろう。この時期個人として参加したコンペ作品などにはライトの存在が浮かび上がる。プレーリーハウスでライトに魅せられた彼は、ライトが有機的建築と呼んだ作品をとりわけ自分のものにしていたことと思われる。そこにイリノイとは異なるカリフォルニアの地域性、タリアセンでの体験、シンドラーの思想、妻ポーリンの思想、二人の革新的ライフスタイルなどが重ねられ、さらに抽象化されモダンデザインのシンドラー邸が生まれた。

シンドラーの作品は既に1920年代から掲載されていたものの、シンドラー邸が初めてジャーナリズムに登場するのは1932年のことである。理由は定かでないが、あまりにブルジョワのイメージする住宅とはかけ離れていたこと、極端にラディカルであることからかもしれない。しかし一部の建築家にとっての意味はそうではなかった。ライトやノイトラがローコスト住宅にそのアイディアを借りた。そしてシンドラーが編集者に送った書簡にも「10年前の作品が、まさに今注目を受けることになりました。ここから秘伝を得た住宅が今建てられつつあります。最近では、ミースのドイツ博での作品です。私の作品とは材料も言語も違いますが語る内容は同じです。」とある。ライトでさえ、彼は決して同時代の建築からは影響を受けなかったとされるのであるが、この後のユソニアンハウスにそれとなくシンドラーの平明なスタイルを取り入れてもいる。

ホリーホック邸は地域性を装飾モチーフとファサードのデザインとして取り入れた。もちろん景観や気候は十分に汲み取られた平面計画でもあった。だが立面のデザインに心を奪われるのもまた事実である。シンドラーは外部に対して大きく開かれた住宅で地域性を表現した。固有の形態での地域性の表現は何もなかった。だがプログラム、構造、平面に地域性への独自の解法が存在している。近代建築において建築とランドスケープの統合についてこれに比肩しうる例を思い浮かべることは困難である。両者とも地域性に根ざした建築であった。そしてそこから生まれたシンドラー邸がモダンデザインの先駆けとなった。

塚口（つかぐち） 眞佐子（まさこ） インテリアデザイナー
1951年生まれ　神戸市外国語大学英米学科卒業
コマーシャル空間を中心にインテリアデザインを多数手がける
INAXデザインコンテスト　家庭画報大賞など受賞多数
相愛女子短期大学　神戸山手女子短期大学　各非常勤講師
大阪大学西洋史研究室研究生



「これからの建築と社会」第4回講演会

司馬遼太郎と建築

中西　稔
ジェイアール西日本コンサルタンツ

はじめに

「司馬遼太郎記念館」が、東大阪市の住宅地の一角にオープンしてからちょうど1年になる。

東大阪市民の私は、この記念館の設計が安藤忠雄氏と知ったとき、大阪発の数少ない文化方面のビッグ2の組み合わせに驚いた。安藤さんは、あの狭い住宅地にどのような建築を見せてくれるのかと。

しかし、私がもっと驚いたのは、記念館がオープンし、館の運営が始まってからである。記念館の運営に多くのボランティアに参加してもらうという参加型の発想にである。市のミニコミ誌にボランティア希望者を募ったところ即3百人を超え、現在でもその希望者で館の案内等のサービスを行っている。

実は私の妻もそのボランティアの一人だが、聞けばオープン以来、来館者は北海道から鹿児島まで、老若男女問わずと、司馬人気を証明する幅の広さとのこと。それと安藤建築の特徴だろうが、一見それと分かる建築関係者も後を絶たないとのこと。

「これからの建築と社会」シリーズの第4回として、この記念館を取り上げたとき、講師を誰にするかということで議論したが、結果的に記念館の館長である上村洋行氏にお願いしたのが大成功であった。オーナーでありジャーナリストでもある上村氏と大建築家安藤氏との格闘（？）が聞けるのではないかと。

いつもだと、講師は設計者等建築関係者だが、今回は司馬遼太郎と建築の両方を語れる人ということで上村氏にお願いし、実際の建築も見てもらおうと、建物を自由見学の後、講演会場も記念館のホールとさせていただいた。尚、講演に先立ち聴講者全員に同ホールで、司馬遼太郎の生涯と考え方をまとめた15分間のビデオを見てもらうことにした。

司馬遼太郎その人についてから、建築についての司馬遼太郎と上村氏の考え、記念館の建設のこと、安藤忠雄氏のこと、そしてこれからの記念館のことについて1時間余熱っぽく語られた。それを紹介する。

司馬遼太郎という人

姉の福田みどりさんが司馬遼太郎夫人であることから、両親を早く亡くした上村氏は、居候のかたちで大学生のころから司馬遼太郎と一緒に生活をすることになる。司馬遼太郎とは20歳年が違ったが違和感はなかったという。はじめて司馬遼太郎を見たのは、小学高学年のときで、司馬の新聞記者時代だという。

学徒出陣で戦車部隊に配属され、戦後は大阪と京都の小さな新聞社を経て、昭和25年に産経新聞社の京都支局に採用され記者生活を送る。京都での宗教の記者クラブで、新聞記者の福田定一（司馬遼太郎の本名）としては、金閣寺炎上事件と、「老いらくの恋」で有名な川田順のインタビューなどがあるという。

少年時代は、いたずら好きだったが、尊敬していた先生が退任されたことなどもあって学校嫌いになったという。「2君に仕えず」という気持ちだったようだ。

上宮中学時代に、ある事件が起きそれが将来を左右した。授業中にニューヨークの由来を尋ねたら、先生から、「地名に由来などない、お前はそんなことばかり気にするから駄目だ」と言われショックを受ける。しかし、どうしてもその由来が知りたい、という好奇心のような気持ちは次第に嵩じて、毎日夜遅くまで図書館へ行く習慣が続いたそうである。

将来の司馬文学の基礎である、イマジネーション、想像力は新聞記者時代の宗教（信仰でなく、歴史及び哲学の世界）と、この中学から大阪外国語大学の図書館時代に蓄積されたと上村氏はみている。

そして、司馬遼太郎の、小説の枠を外れた、余談というかたちで展開する物語は、常に、人間とは何か、日本人とは何かを探求していく。

建築について

池田武邦、夏目漱石、正岡子規、米山保三郎、寺田寅彦、辰野金吾、エドワード・サイデンステッカー、聖武天皇、キング、エンペラー、マルクス、レーニン、織田信長、岡部又右衛門、金剛組、フランシスコ・ザヴィエル、イグナティウス・デ・ロヨラ、狩野永徳、狩野探幽、豊臣秀吉、徳川家康、中井大和守、小堀遠州、森蘭丸、竹中工務店、松坂屋、クリストファー・レン――。

ここに挙げた名前は、文字通り「建築について」と題した1992年11月5日、横浜市で講演されたときに登場する人々である。例によって、意表をつく人物がぞくぞくと登場している。名前から想像するだけでも楽しい。

司馬遼太郎の建築に対する関心の強さについては、上村氏もこの時の講演の内容と生前のお話からいくつか紹介された。

アーキテクト、アーキテクチャーとう言葉ができあがったのはだいたいルネッサンス時代であること。それまで建物を建てていたのはビルダー（大工）で、このころからアーキテクト（建築家）が建てることになった。

夏目漱石は建築を志していたが、友人らに止めとけと言われて断念した。日本の将来の建築家に仕事はない、文学者なら多少の見込みがあると。

安土城を造った織田信長は優秀な建築家。司馬遼太郎はスペインのフランシスコ・ザヴィエルが生まれた故郷を訪ね、ザヴィエル城を見る。織田信長は宣教師たちから、こういう城の状況を聞いてイメージを結び、安土城を造ったと推測する。つまり、安土城の本当のデザイナーはオーナーである織田信長自身であると。

そして、建築について司馬はこう結んでいる。「建築は、日常に見ることができ、人々の日常を鼓舞するものであってほしい。建築は芸術の最先端ではないのかと」

司馬遼太郎記念館

司馬遼太郎という人は、自己顕示欲の少ない人であった。作家は書いた本によって理解してほしいと考える人だった。そういう気持ちを知る上村氏は、記念館に対する一般的な考え方、つまり記念館とは、あらゆる資料、写真や故人を偲ばせるものを展示し後世に伝える、そのような記念館はふさわしくないと思われた。

ただ、昭和45年ごろにできた居宅と40,000冊の蔵書は、将来資料館として、一元管理する必要性は抱いていた。そして、司馬遼太郎の精神を感ずるもの、作品と背景である蔵書をイメージ展示する場所として。



安藤建築について

「司馬さんは本ですね」と、安藤氏は記念館の本質を、ズバリ指摘された。それまでは、安藤氏は司馬遼太郎の本はそれほど多く読んでおられなかったかも知れないが、この指摘で、上村氏の想像する記念館が成功する、と感じられたようだ。

上村氏が何故安藤氏を記念館の設計者に選んだか。上村氏は記者時代から面識はあったそうだが、安藤建築に対しては、「その場所の環境をうまく取り込むことができる人、違和感のない建築を造れる人」とみていたようである。直近で見た安藤建築を4つ挙げた。「大山崎山荘」「光の教会」「直島のベネッセ美術館・ホテル」「神戸のオールド・ニュー」。いずれも、周囲の環境をうまく取り入れ、既存の木をできるだけ切らずに庭の風景に取り込ませている。特に大山崎山荘での既存の建物の再現に力を注ぎ、コンクリートの洋館も造っているが、違和感のない接続である、と感じたと。

また上村氏は、司馬の理解者である日本近代文学館の理事長である中村稔氏にも相談し、貴重な意見をもらうが、同席した安藤氏はそのことにもすぐ理解を示したという。

司馬の自宅、雑木林風の庭木（司馬の好きだった生活空間の庭）、書斎、蔵書（もう一つの書斎）――これらを通して、観るための記念館ではなく、何かを感じ取り、ものを考える創造空間としての記念館をめざした。

私（筆者）は、安藤作品では比較的規模の小さい作品が特に気に入っている。御影の個人のギャラリー、茨木の光の教会、滋賀の織田ミュージアム。中でもこの司馬記念館は、安藤建築のなかでも五指に入るのではないかと思っている。ローコスト等、設計条件の厳しいほど真価を発揮するのが安藤建築である。

因みに本記念館の建築概要は、敷地面積約1,010㎡、建築面積約446㎡、延床面積約977㎡、地下1階、地上2階、ＲＣ造、最高高さ8.1ｍ、第1種住居地域となっている。

小さい建物であり、住宅地であるため近隣との調和も図られている。そして、この建築の醍醐味はまさに「本」である。20,000冊の蔵書を有する高さ11ｍの大書架は圧巻である。すごい迫力。わざわざ地階から2階まで立ち上げその壁面を全て書架で覆っている。――司馬と安藤との個性がぶつかり合っているようである。

司馬記念館の運営と今後

この記念館を建てるに当たって、多くの方の心、厚意を感じたという。建設資金の募金についても、多くの方に呼びかけ、発起人も多くしたいと思った。結果、1年半の募金活動で8,400件の個人や企業が応じ、匿名の方もあるから8,000件近くの方の名前が庭に立つプレートに刻まれているという。

また、館内に置かれている来館者用の3冊のノートには、さまざまなことが書かれており、ご自分と司馬作品あるいは記念館を重ね合わせておられるという。ノートは開館以来既に11冊になっており、対話空間を意識した、コミュニケーション型のこれからの記念館のあり方を示唆していて、ノートは記念館にとって宝物であるという。

開館後の1年で74,000人を超える人が来館されている。記念館の類といえば、これまで行政や大企業であったが、ここでは財団を軸に、個人、企業、行政、ボランティアとたくさんの人と共に建て、共に育てるという新しい風が吹いており、勇気づけられた。

今後は、友の会、新しい文化として講演会、音楽会、朗読会の開催を全国的に広げていきたいと考えている。

おわりに

上村氏は、安藤さんは優れている、しかし、それらを支える技術陣、設計スタッフ、ゼネコン、職人たち、それらが合わさったときにいいものができる、と関係者の労をねぎらう気配りも見せてくれた。

先の、司馬遼太郎の横浜での講演会「建築について」にこういうくだりがある。「―― 非常に悪趣味な建物が大きな空間を占めることがある。そのとき私は思います。これはきっと頼んだ人が無知だったんだろうと。われわれは建築家が無知だったとは常に思いません。ただ、オーナーとの格闘が、教育する努力が、アーキテクトにちょっと薄かったんだろうとは思うのです」

講演会の終わりに、上村館長に一つ質問をした。非常に気になっていたことであるので。それは、この記念館の全体配置のことである。来館者は正門から入館し、既存の書斎を見、雑木林を通り抜けて、それに隣接して今回新設された新館へとアプローチする。実に心憎い配慮だが、これは安藤さんの考えか、それともオーナーである館長さんのお考えであるのかと。

これについては、安藤氏は新しい建物と自宅とのかねあいをどうするか考えておられた。自宅の正門を使うかどうかは、依頼主の意向がはっきりしないとだめですから、上村氏の方から正門を自宅にし、その庭を通って来館者を誘導すれば良いと言われたそうです。安藤氏のすばらしいところはそれをすぐ理解することだろう。この講演会であらためて実感した。オーナーと建築家のすばらしい関係は、いい建築を造る。

（なかにし　みのる）

参考文献　司馬遼太郎全講演第3巻の中の「建築について」朝日新聞社刊

日　時／2002年10月26日（土）16：30～18：30
会　場／司馬遼太郎記念館Ｂ1ホール
講　師／上村洋行（司馬遼太郎記念館館長）
司　会／中西　稔（日本建築協会事業委員）
参加者／69人

第48回 工高生デザインコンクール

設計課題／駐輪場

応募校数●23校　応募作品数●71点
締切日●平成14年９月30日　審査会●平成14年10月19日　表彰式●平成14年11月16日

審査総評

審査委員長　田中直人

都市交通や環境問題の議論の中で話題になる自転車という身近な乗り物に関して、走る空間とともに重要なのが留める空間である。「駐輪場」というテーマは、最も身近な生活の乗り物のあり方を問う機会を与えたようである。作品点数は例年よりやや少なく心配されたが、ありふれたどうでもいい施設ではなく、あらためてその現状を認識するとともに将来への提案を試みた力作が寄せられた。

最優秀賞の**中島**君の作品は駅と駅を結ぶ駐輪場として、デンマークなどでは既に行われていることであるが、電車に自転車を乗せることにより、時間を有効に使えることを提案したものである。駅から降りてというより、駐輪場は駅そのものの空間として一体的環境を形成している。シンプルであるが、どこでもありそうな駅にもっともインパクトを与える提案で、審査員に強くアピールしたと言える。

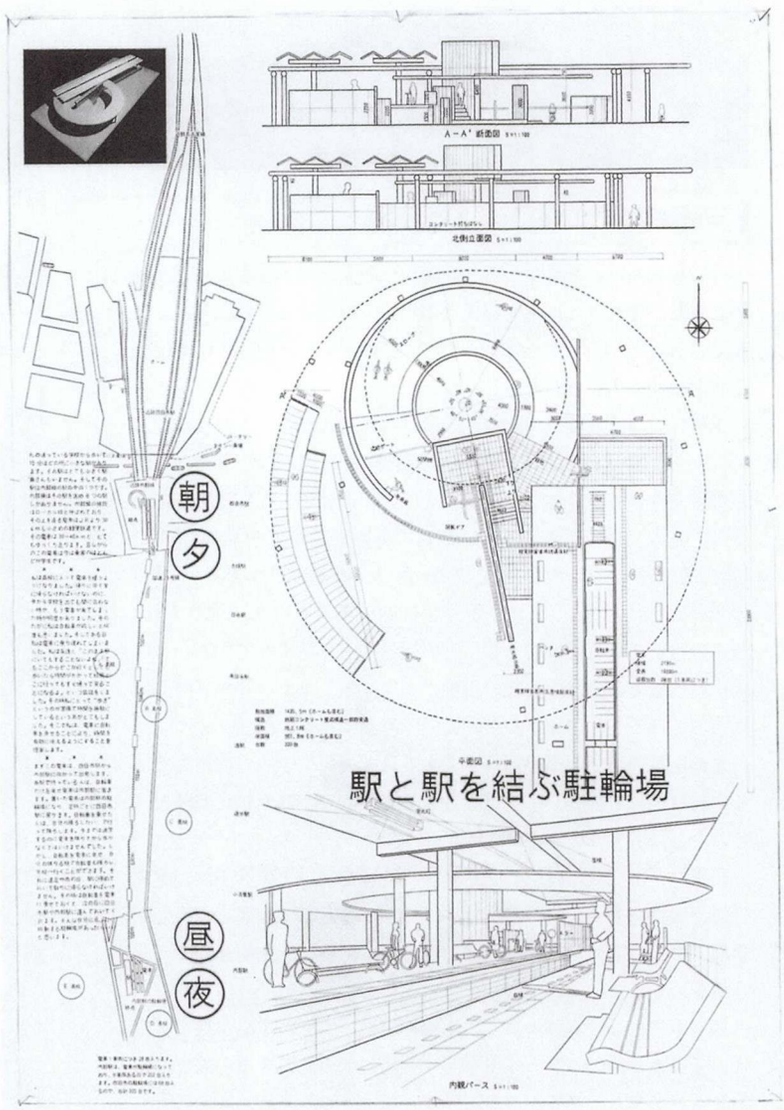
優秀賞の**堀池・望月**両君の作品は自分の学校を敷地に選び、既存の渡り廊下にかかる大きな虹と雲の中にあるイメージの駐輪場である。これまで殺風景であった駐輪場を、校内で最も魅力的な空間にする提案が盛り込まれている。身近な環境を生活者の視点で見つめた、夢のある優れた作品である。

優秀賞の**芝原**君の作品は、既存の市街地における海辺の環境と自分の家族の再生を願った思い入れの大きい提案である。新しい橋による遊歩道のネットワークによって、釣りも楽しめる池のある休憩室を備えた駐輪場は、単なる自転車置き場を超えた町のオアシスであろう。

以下、注目される提案ポイントを多く含む入選案があった。

黒木君の作品は人と情報の集まる所として、造形的に個性的な形態を駐輪場として提案している。言葉としての情報空間の説明だけでなく、もう少し具体的に駐輪場の環境計画にどのように展開されていくかについての手がかりを示すべきであったと思われる。**有藤**君の作品には、必要台数の確保や動線などの必要最小限の計画条件を満たすだけの安直な駐輪場が現実的には多いが、「とめて楽しい」ことを目指した植物や太陽光の導入がある。これから一歩進めて、より魅力的な環境デザインが提案できることを期待したい。**高橋**君の作品については、随分と賛否両論戦わされた。すなわち防犯上も問題があり、駐輪場としての基本的な用件を満たしていないという現実的な意見と、駅前のオブジェとしての独創性を評価すべきであるという意見である。**小林**君の作品は、少し離れた二つの駅を結ぶ空中通路の中間に駐輪場を介した計画を提案した。駅前空間のあり方として人々がどのようにつながるべきかをシンプルな空間構成の中で示している。**椎葉**君の作品は自転車専用のペデストリアンデッキや自転車ターミナルの提案といった、ニュータウンの再生にもつながる「自転車都市」の提案である。駐輪場そのものについて、もう少しこれらの計画理念を具体化するデザイン提案を示して欲しいというのが審査員の声である。**河村**君の作品は地元の代表的童話作家の「自転車物語」からの提案で大変、夢がありユニークである。サイクルギャラリーや文学散歩コースについての提案を、作品の中でもっとビジュアルに表現していただくともっと魅力的な作品になっていただろう。**漆原**君の作品はパノラマサークルという魅力ある駐輪場の建築として、多くのデザイン上の工夫が導入されている。昼夜の光環境をも考慮した優秀な作品として評価されたが、一方で、ここまでしなくてもという審査員の意見が集中したのもこの作品の特徴である。

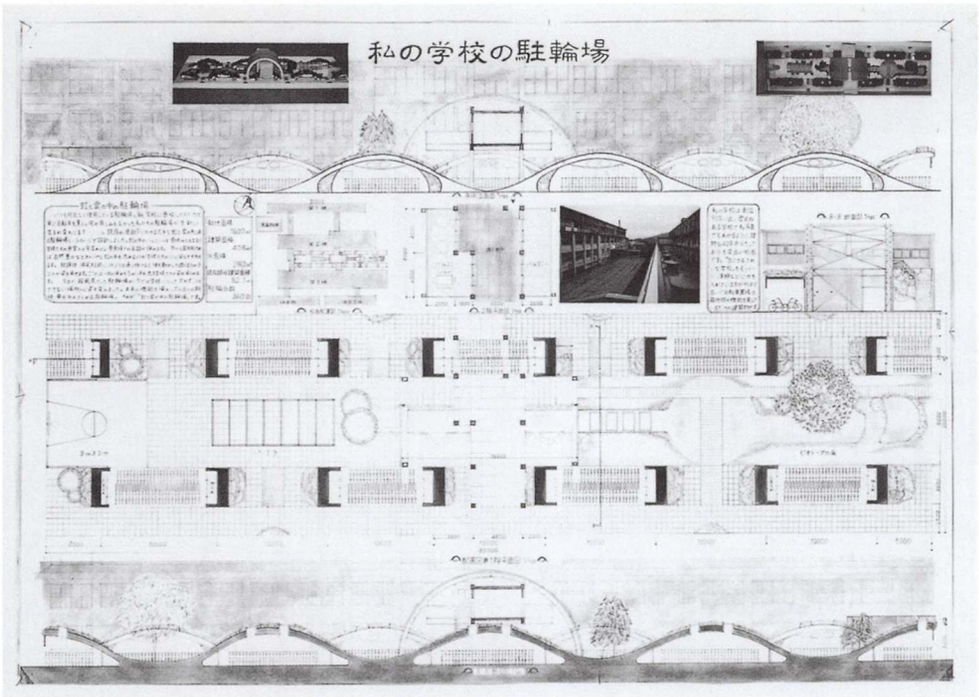
今回の選には漏れたが、多くの優れた作品があった。それらの提案に深く敬意を払うと同時に、今後もたゆまぬ努力を継続していただきたいと念じている。建築や土木という既成の概念を超えて、これからの都市環境における建築のあり方を共に考える、難しいけれど、楽しいデザインコンクールであったように思える。



入選　最優秀賞　**中島有季子**（三重県立四日市工業高等学校２年）

私は毎日電車で通学しています。家から駅までは自転車で行きますが、駅の駐輪場は小さくて使いにくい。そこで電車の車内を駐輪場に変換する。朝、電車に自転車を乗せておくと、昼は終点で駐輪場に、夕方になると戻ってきます。このような方法によって駅が混雑するのを防ぎ、時間を有効に使うことができますし、自転車利用が増え、便利で健康にもいいと思い設計しました。

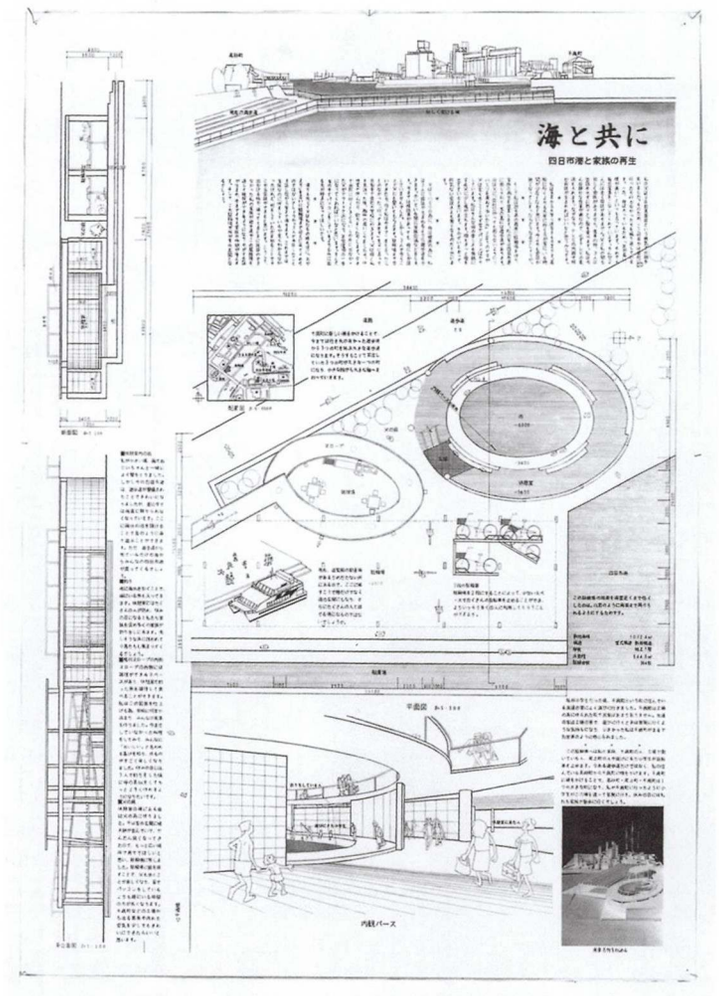
最優秀賞の知らせを聞いて、とてもびっくりしました。そして心の底からうれしく思いました。夏休みの間、毎日学校で取り組んできて一番うれしい瞬間でした。私を支えてくださった先生方、先輩方、友人、家族に心から感謝します。



入選　優秀賞　共同制作

堀池佳奈江（静岡県立静岡工業高等学校１年）
望月邦旭（静岡県立静岡工業高等学校１年）

設計課題が「駐輪場」ということで、まず目についたのは一番身近にある、私の学校の駐輪場でした。殺風景で暗いイメージのある駐輪場をもっと明るく、楽しく利用できたらいいと思いました。思い浮かんだのは、アントニオ・ガウディの“サグラダファミリア聖堂付属仮設学校”です。駐輪場という役目を果たしつつ、四季の変化や１日の変化も楽しめるような発想を展開させました。
入学して半年しか経っていないのに、入選できたのは先生や友達や家族の支えがあり、共同制作だったからこそと思います。
今回の作業を通じて段取りの大切さ、図面から立体を創り出す楽しさを学びました。



入選　優秀賞　**芝原ゆかり**
（三重県立四日市工業高等学校３年）

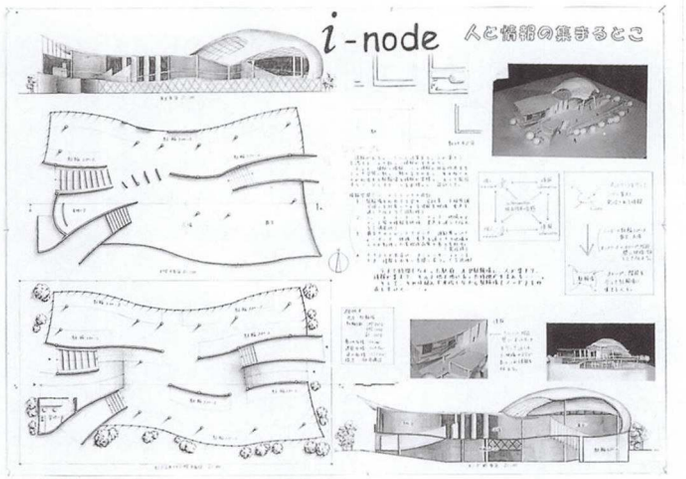
私の家族はほとんど会話がなく、両親のことで悩んでいました。「全部解決するにはこの駐輪場しかない」と思い作業を進めました。この駐輪場は四日市港に接しています。私たち家族や四日市港の再生を願って取り組みました。
私は、今年こそ最優秀賞をとるぞと意気込んでいました。結果は優秀賞でした。その時は素直に喜べなかったのですが、もう一度自分の作品を見直す大切さを知り、制作段階では分からなかった自分のだめな部分を発見することができました。この点をバネにして、来年からの大学生活につなげたいです。
最後に、お世話になった先生方どうも有難うございました。

●応募学校

北海道名寄光凌高等学校
群馬県立高崎工業高等学校
群馬県立前橋工業高等学校
東京都立田無工業高等学校
静岡県立静岡工業高等学校
私立名古屋工業高等学校
三重県立伊勢工業高等学校
三重県立四日市工業高等学校
大阪市立工芸高等学校
大阪市立都島工業高等学校
大阪市立都島第二工業高等学校
京都市立伏見工業高等学校
兵庫県立尼崎工業高等学校
兵庫県立龍野実業高等学校
兵庫県立東播工業高等学校
兵庫県立兵庫工業高等学校
島根県立江津工業高等学校
広島県立宮島工業高等学校
高知県立高知工業高等学校
福岡県立博多工業高等学校
長崎県立長崎工業高等学校
大分県立鶴崎工業高等学校
大分県立日田林工高等学校

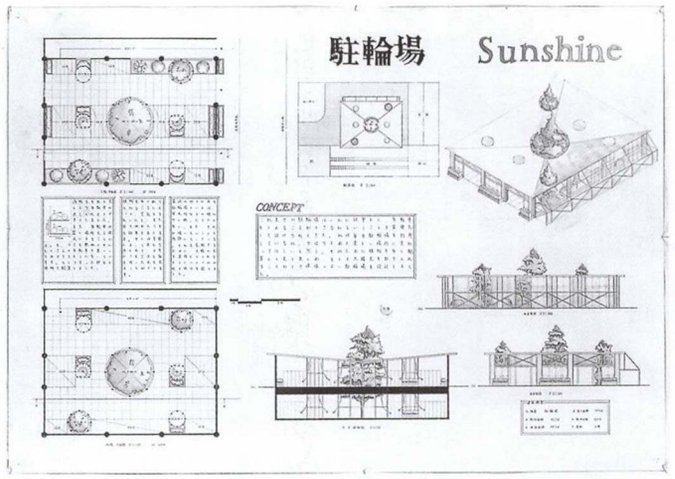
●審査員（50音順・敬称略）

委員長　田中　直人／摂南大学工学部建築学科教授
委　員　青柳　恒雄／大成建設㈱関西支店設計部設計部長
　　足永　和子／ダックネットワーク代表
　　老田　智美／㈱NATS環境デザインネットワーク
　　大井　昇二／㈱大林組本店建築設計部部長
　　奥井　容子／環境意匠計画・奥井研究室副代表
　　川原村勝幸／㈱安井建築設計事務所設計部副部長
　　木下　光／関西大学工学部建築学科専任講師
　　阪田　弘一／京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科助教授
　　末包　伸吾／神戸大学工学部建設学科助教授
　　中井　進／㈱日建設計執行役員大阪副代表
　　前川　治彦／前川治彦建築研究所
　　松田　善弘／㈱昭和設計執行役員
　　宮城　浄一／㈱竹中工務店大阪本店設計部副部長
　　八杉　政一／㈱東畑建築事務所建築設計室設計部長



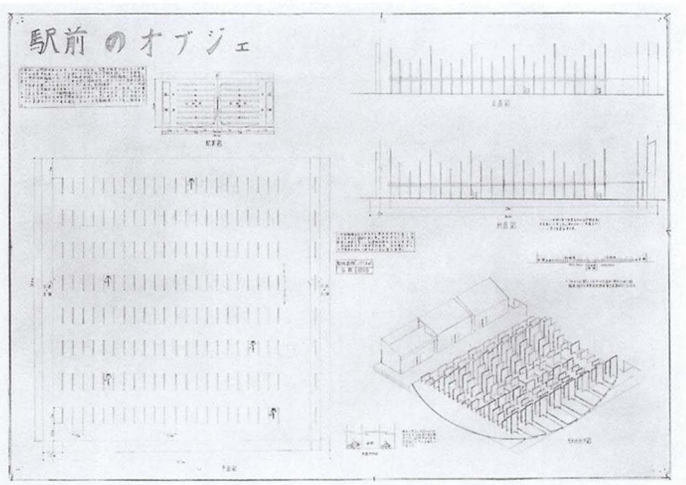
入選 **黒木文絵**（大阪市立工芸高等学校３年）

学校の夏休みの課題として取り組みました。日常生活の中で、電車や道路の広告によって情報を得ることは多いですが、駐輪場にも情報源としての役割を与えることで、その地域の人びとが利用しやすく魅力のある空間を生み出すことができるのでは、と思い制作しました。
提出日の当日ギリギリまで取り組んでいたので、多少心残りのある所もありますが、一生懸命取り組んだ作品が評価されて非常に嬉しく思います。
これからも、このことを励みにして頑張っていきたいです。



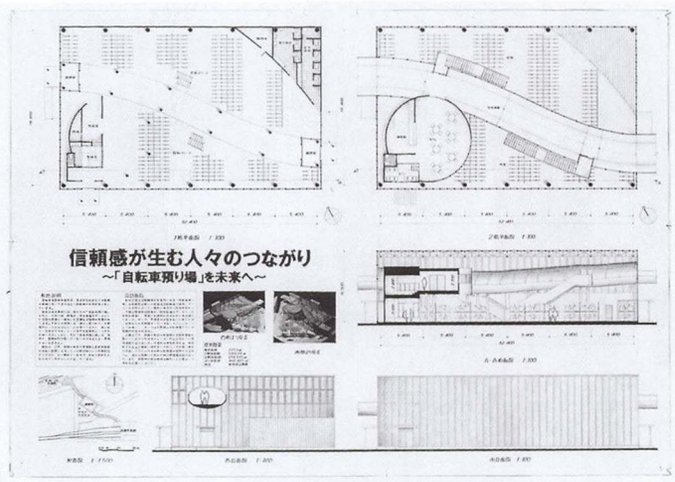
入選 **有藤祐介**（大阪市立工芸高等学校２年）

僕は毎朝、駅の駐輪場を利用していますが、雑然としていてあまりよい印象を受けていませんでした。利用する人が少しでも気持ちよく利用でき、安らぎの空間にならないか、と考えました。そこで植物をふんだんに取り入れて設計しました。
自分が設計した作品が評価されて非常に嬉しかったです。今回は入選という結果でしたが、次回はさらに工夫を重ねて最優秀賞を取れるように努力していきたいです。



入選 **高橋侑司**（東京都立田無工業高等学校３年）

自分のイメージでは、従来の駐輪場はあまり景観がよくないイメージがありました。景観のよい、なおかつスムーズに自転車が循環できる駐輪場が設計できたら面白いと思い、コンクールに応募しました。
入選した通知をいただき、学校の先生や仲間たちも一緒に喜んでくれたのでさらに嬉しかったです。自分の作品が評価されて大変自信がつきました。



入選 **小林　淳**（私立名古屋工業高等学校３年）

僕が弥富町を敷地に選ぶきっかけは、１枚の新聞記事を読んだことでした。その記事には、バス路線の廃止による住民の交通手段の問題が書かれていました。弥富町のことを調べてみると、駅前には昔からある「自転車預かり場」がたくさんありました。そこには管理人と利用者同士の信頼感があり、その信頼感を継承し、利用者が快適に利用できるようになることを願い設計しました。
自分の作品が評価されて大変嬉しく思いました。指導して下さった先生方、コンペを競ってきた建築研究会のメンバー、家族や友達に心から感謝しています。

■課題の趣旨

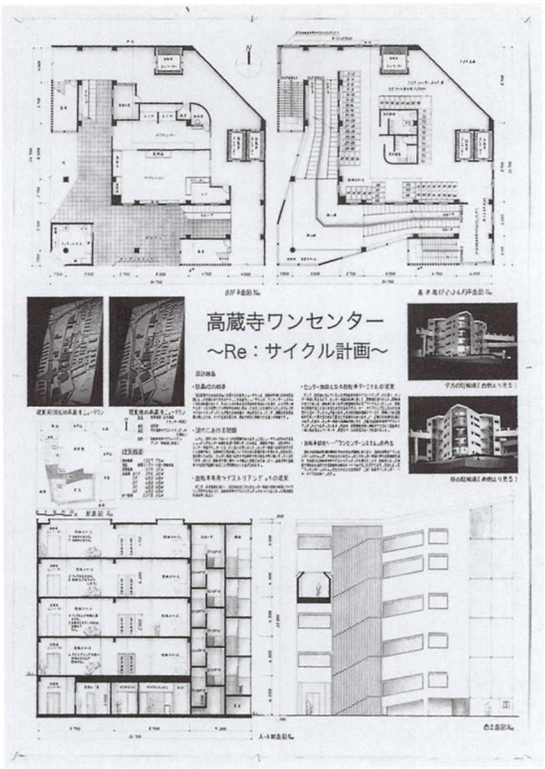
自転車は、欠くことのできない生活用具として、通学・通勤・買い物などに使用されるほか、運動や風景を楽しむためのサイクリング、マウンテンバイクを用いるクロスカントリー、レンタサイクルによる観光地めぐりなど、レジャーや健康増進の用具としても利用されている。また、自転車は有害ガスやCO_2を排出せず、地球環境や都市環境への負担が小さいので、一層の活用が進むよう自転車交通を中心に据えた安全で快適なまちづくりが求められている。
しかし、私たちのまわりに目を向ければ、駅前の路上にあふれる放置自転車は景観を壊し、歩行者にとっての交通バリアを形成している。また、駐輪場の多くは、単なる自転車収納場所としてしか機能していないという現状もある。
本課題では、駅前はもとより生活のあらゆる場面において、駐輪場が必要と思われる場所を想定し、駐輪場を中心とした創意あふれる魅力的な空間の提案を求める。

■設計条件

1．敷地：敷地の大きさ、形状ともに自由。
2．規模：300台～500台の自転車（原動機つき自転車、自動二輪車は不可）の駐輪が可能な規模とする。
3．所要スペース：提案趣旨に沿って、必要なスペースを適宜設ける。

■所要図面

1．配置図：縮尺自由
2．各階平面図：縮尺１：100
3．立面図：縮尺１：100（１面以上）
4．断面図：縮尺１：100（１面以上）
5．透視図：設計意図が最も反映するところ（アイソメも可）。着彩仕上げ。模型写真に替えてもよい。
6．設計説明：設計趣旨（立地、周囲の状況などについての説明を含む）および建築概要（敷地面積、建築物の構造・階数および床面積、駐輪台数など）を示す。設計意図を表すサブタイトルをつけるのが望ましい。
7．その他：平面図、断面図には、室名・寸法を記入する。その他必要と思われる図面を加えてもよい。

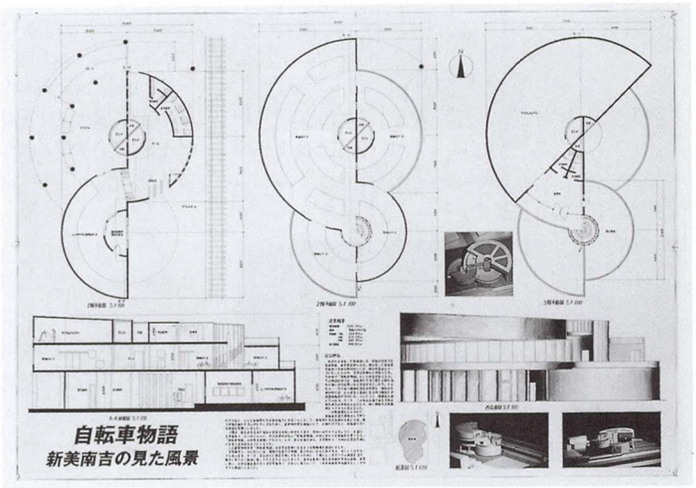


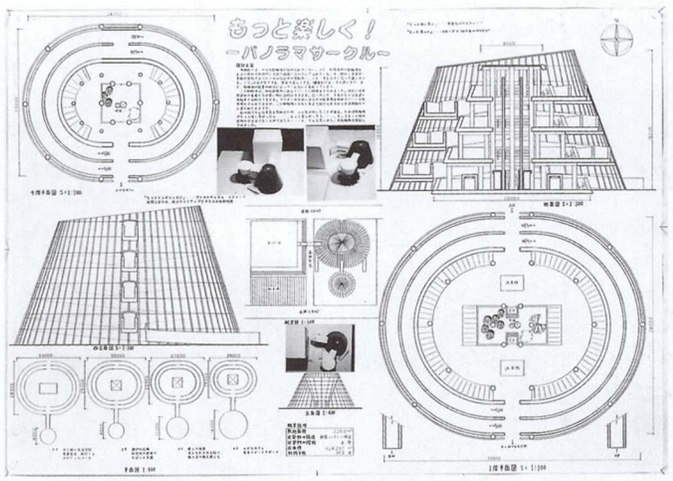
入選　**椎葉正樹**（私立名古屋工業高等学校３年）

高蔵寺ニュータウンでは現在、自転車を利用する人より自動車やバイクを利用する人びとの方が多いので、あえて自転車では移動しにくい欠点のある場を選び、現代の自転車と自動車の便利さを逆転させました。

最初に、課題「駐輪場」の発表があったときから図面を仕上げたときまでのことを思い出しました。

入選の通知にとてもうれしく思いました。この結果をこれからのために生かし、頑張っていきたいと思います。





入選　**漆原由幸**（群馬県立前橋工業高等学校３年）

この駐輪場を計画するにあたり、もっと使いやすく、もっと楽しく、そして周辺との関連性を強調した設計ができたらと思い設計しました。駐輪場のメインであるスロープが360度、どこからでも見渡せ、各階ごとにイメージを変えて親しみやすくしました。

本校に入学して今回、初めて工高生デザインコンクールに出品しました。休日、放課後遅くまで頑張った結果、入選できて本当に嬉しかったです。高校生活の良い思い出となりました。皆様に心から感謝の気持ちでいっぱいです。

入選　**河村一希**

（私立名古屋工業高等学校２年）

私は「駐輪場」という設計課題を見たとき、人びとが快適な生活ができるようにつくられたはずの駐輪場に、暗く雰囲気の悪いイメージを思い浮かべました。私は、新美南吉さんの作品「自転車物語」の存在を知り、快適な駐輪場はつくれないものかと考えました。

高校に入って初めて挑戦して入選でき、お世話になった方々に感謝しています。これからも不十分な点を反省し、より良い作品を設計できるように頑張っていきたいと思います。

入選者の感想文は誌面の関係上、委員会にて要約の上、掲載しました。
文責・小久保 到／教育委員会

写真撮影／スタジオ　コムズ

●審査記録

９月30日　応募作品受理

10月11日　予備審査－応募作品について募集規定との検討
（教育委員会・工高生教育小委員会）

10月17日　事前審査－審査会欠席の審査委員１名による審査

10月18日　事前審査－審査会欠席及び出席未定の審査委員２名による審査

10月19日　審査会－審査委員12名（審査時間　13：50～17：30）

●審査経過

審査を開始するにあたり、本年度の応募校、応募数の報告と、大きな違反がなかった旨の予備審査の結果の報告があった。

続いて審査委員長より、審査方針の確認があり、審査に入る。

■１次審査（審査委員11名、事前審査３名）

全応募作品について、審査委員１名が10作品以内を選び投票し、当日欠席の審査委員の事前審査の投票を加え、36作品を選出した。（審査時間　13：50～14：50）

得　票	12	11	10	8	7	5	4	3	2	1
作品数	1	3	1	1	1	4	4	3	7	11

■２次審査（審査委員12名）

得票３以上の18作品と得票２以下の18作品から審査委員の意見と議論により選出した６作品を加えた24作品を２次審査通過とした。（審査時間　14：50～16：00）

■３次審査（審査委員12名）

24作品について、審査委員１名が７作品以内を選び投票し、20作品を選出した。（審査時間　16：00～16：30）

得　票	12	11	10	8	7	5	4	3	2	1	0
作品数	1	1	1	1	1	2	2	1	4	6	4

■４次審査（審査委員12名）

20作品について、得票３以上の10作品と得票２の４作品の中から議論を行い、12作品を選出した。さらに、審査委員の投票により、10作品の入選作品を決定した。（審査時間　16：30～17：00）

■５次審査（審査委員12名）

入選作品10作品を対象に最優秀・優秀作品について審査委員の意見と議論により、前次審査の得点の上位３作品を最優秀・優秀作品と決定した。（審査時間　17：00～17：15）

■６次審査（審査委員12名）

前次審査通過３作品について、最優秀・優秀作品について審査委員の意見と議論により、投票により最優秀作品１作品を決定し、他の２作品を優秀作品とし、審査会を終了した。（審査時間　17：15～17：30）

「アルヴァー・アールトの住宅」関西展と講演会

フィンランドのアールト美術館がアールト生誕100年（1998年）に企画した「アルヴァー・アールトの住宅展」は、すでにアメリカ、プラハなど欧米各国を巡回し、日本ではこの関西展が最後の展覧会となる。

本展ではアールトが手がけた初期から晩期までの16の独立住宅作品を紹介し、アールトの住まうことへの取り組みの変遷を照明器具・家具等を含めて全体として見通すことができる内容となっている。



アールトの自邸

日時　2003年2月1日(土)～2月24日(月)
10:00～17:00（入館は16:30まで）　休館日は2/4（火）、2/12（水）、2/17（月）、2/18（火）。

会場　大阪市立住まい情報センター8階
住まいのミュージアム企画展示室
大阪市北区天神橋6－4－20

入場は、常設展と企画展を合わせて大人600円。

■講演会「ランドスケープからインテリアへ―アールトの建築と生涯」

講師　ヴィルヘルム・ヘランデル（建築家・ヘルシンキ工科大学教授）

日時　2003年2月1日(土) 13:30～15:30

会場　大阪市立住まい情報センター3階ホール

入場　無料（300名／当日先着順）

「ミース・ファン・デル・ローエvsル・コルビュジエ」展

ミース・ファン・デル・ローエ（1886～1969）とル・コルビュジエ（1887～1965）の20年代～50年代にかけての住宅作品を比較検討することで、二人の空間に対する考え方の違いを見直そうとするギャルリー・タイセイの展覧会が開かれる。入場無料。

1910年代、前後して学んだベーレンス事務所（ベルリン）の仕事から、1950年代、ミースの透明なガラスの住宅「ファンズワース邸」とル・コルビュジエのコンクリートによる造形的な「ショーダン邸」まで、共通点と相違点を写真、図面、模型、CG、解説パネルなどによって浮かび上がらせる。

会期　2003年1月14日(火)～3月28日(金)
10:00～17:00　土日祝日は休館

会場　ギャルリー・タイセイ　TEL 03-5381-5510
東京都新宿区西新宿1－25－1
新宿センタービル17階

浪花画壇の悪魔派（デカダン）「北野恒富展」

金沢に生まれ18歳で大阪に出た北野恒富（1880～1947）は、第5回文展の「日照雨（そばえ）」で一躍全国に名を知られるようになった。横山大観に私淑し、再興院展には大正3年の第一回展から出品。大阪を代表する院展作家となる。

大正初期にはアールヌーヴォーの影響を受け、『画壇の悪魔派』とされる頽廃美を誇った。昭和に入り、大阪の商家も題材に古典的画風を目指すとともに、谷崎潤一郎とも親交を結び、小説の挿絵も描いている。

没後半世紀を過ぎても大規模な回顧展が開かれていない北野恒富の個性的な造形世界を院展、文展などへの出品作品を中心に、ポスター、素描、挿絵を併せて展示する。



《願いの糸》1914年　木下美術館蔵

会　期　2003年2月1日(土)～3月23日(日)
平日10:00～19:00　土日祝10:00～18:00
休館日毎週月曜日

会　場　東京ステーションギャラリー
JR東京駅・丸の内中央口下車・赤煉瓦駅舎

入場料　一般800円、大高生600円、中小生400円

出　品　《願いの糸》《淀君》《宝恵籠》《いとさんこいさん》《婦人》など

太陽光発電建築デザインコンペ

シャープは、太陽光発電システムを利用した住宅や建築物などのデザインコンペを実施すると発表した。

建築分野とプロダクト分野で募集し、優秀作はシャープが製品化を検討する。

テーマ　①建築分野――美しく魅力ある街や住宅が実現できる、太陽光発電システムを活用した住宅・建築デザイン。日本国内での建築を想定した住宅などを対象とする。
②プロダクト分野――太陽光発電システムを利用することで、街や住宅に新しい機能や美しさが生まれる住宅周辺のプロダクトデザイン。（バス停・街路灯などのストリートファーニチャーやガーデンライトなど）量産可能なプロダクトを対象とする。

資　格　日本国内在住の個人、グループ、団体、企業のどなたでも可。当コンペ関係者は不可。

賞　最優秀賞1点500万円、優秀賞2点各100万円、奨励賞5点各10万円

審査員　磯崎　新（建築家）、石山修武（建築家）、喜多俊之（環境、プロダクトデザイナー）、トム・シェーンヘル（プロダクトデザイナー）、町田勝彦（シャープ（株）社長）

日　程　2003年2月28日―応募登録締切、3月31日―作品応募締切、4月中旬――次審査、6月下旬―最終審査、7～8月―受賞作品公表

詳細は、http://www.sharp.co.jp/cmp/に掲載。

応募登録も、ホームページから。

2003年版カレンダーをプレゼント

MIHO MUSEUM（滋賀県甲賀郡信楽町桃谷300）は、ルーブル美術館のガラスのピラミッドの設計で知られるI.M.ペイ氏の作品で、建物の80％が地中に埋設し、周囲の自然と調和した建築である。「Time」誌1997年デザインベストテン、「ASIAWEEK」誌では「過去25年アジアで最も優れた建築」として2000年8月に紹介されている。

開館5周年を記念して、MIHO MUSEUMはこの建築美を伝える2003年版MIHO MUSEUMカレンダーを制作。撮影は東出清彦氏によるもので、ディテールの光と影がイメージの中に包み込まれるような写真である。このたび第54回全国カレンダー展において、文部科学大臣賞を受賞。グラフィックデザインは中村克彦氏。

「建築と社会」誌の読者10名に、MIHO MUSEUMからこのカレンダーがプレゼントされるので、希望者は、本誌あてに官製ハガキ（〒住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記）で1月10日（金）までに申し込まれたい。申込み多数のときは抽選によりプレゼント。

●2003年版MIHO MUSEUMカレンダー
B2判（タテ728×ヨコ515mm）、モノクローム

第34回中部建築賞表彰作品決まる

中部地域の地域社会の発展に貢献したと認められる優秀な建築作品に対してその功績を讃え、さらに優秀な建築が生まれる基礎を築くことを目的に「中部建築賞」が創設されて以来34年、一般部門と住宅部門に分けて、その建築主・設計者・施工者を表彰してきた。平成14年度は、平成14年3月31日までに新築・改修・修復がなされた建築物で、中部圏内で実施したものを対象とし、一般部門68点、住宅部門38点の応募の中から入賞7点、入選10点、特別賞1点が選ばれた。



[一般入賞]
小牧市スポーツ公園総合体育館「パークアリーナ小牧」（愛知県）設計：日本設計名古屋支社



[一般入賞]
可児市文化創造センター　ala（岐阜県）
設計：香山壽夫建築研究所＋清水裕之



[一般]
溝口病院（静岡市）
設計：Shimamura建築研究所



[一般]
静岡スタジアム（エコパ・スタジアム）静岡アリーナ（エコパ・アリーナ）
（静岡県）設計：佐藤総合計画・斎藤公男設計共同企業体



[一般入賞]
醒井水の宿駅（滋賀県）
設計：遠藤秀平建築研究所



[一般入賞]
手づくり木工館「もく遊りん」（石川県）
設計：水野一郎＋金沢計画研究所



[一般]
郡上八幡総合スポーツセンター（岐阜県）
設計：黒川哲郎＋デザインリーグ



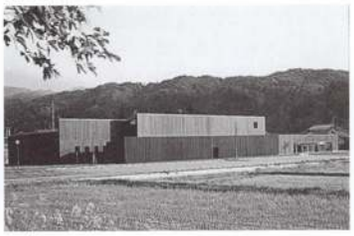
[一般]
戸田診療所（静岡県）
設計：日総建



[一般]
設楽町立設楽中学校（愛知県）
基本設計：渡邉昭彦　実施設計：伊藤建築設計事務所



[一般]
掛川市立中央図書館（静岡県）
設計：日建設計名古屋



[一般]
大山町福沢地区コミュニティセンター（富山県）
設計：建築研究所アーキヴィジョン



[住宅入賞]
白露結界の家（名古屋市）
設計：竹山明英建築研究所



[住宅入賞]
FURBO（名古屋市）
設計：中屋隆史



[住宅入賞]
S-HOUSE（4-SCREENS）（金沢市）
設計：松本大／一級建築士事務所SCAPE



[住宅]
坂爪邸（岐阜県）
設計：キャシア建築設計研究所



[一般／特別賞]
菱櫓、五十間長屋、橋爪門 続櫓、橋爪一の門
（金沢市）設計：建築文化研究所



[住宅]
落葉松山荘（長野県）
設計：尾関建築設計事務所、白山商会



[住宅]
S-house（長野県）
設計：ライフ　アンド　シェルター社、池田昌弘建築研究所

日本建築協会

月間の動き

【平成14年11月分】

理事会

第5回常任理事会
11月27日（水）15:00～16:30
出席者　金多会長ほか10名
議　事　（1）平成14年度収支予算執行状況
（2）各常設委員会事業の報告
（3）協会賞表彰について
（4）常設委員の公募制度について
（5）後援・協賛名義の使用について

企画委員会

第1回企画委員会
11月12日（火）15:00～17:00
出席者　川口副会長ほか6名
議　事　（1）「日本建築協会賞」について
（2）「21世紀の協会検討委員会」答申への対応
（3）その他

編集委員会

第8回編集委員会
11月13日（水）18:00～20:00
出席者　設楽委員長ほか5名
議　事　（1）12月号「第49回青年技術者」「大阪市中央公会堂の保存・再生」特集経過報告
（2）15年1月号「東畑建築事務所創立70周年」特集経過報告
（3）15年2月号「九州」特集経過報告
（4）15年4月号特集報告
（5）15年の設備特集の件
（6）作品作風小委員会報告
（7）15年1月号～12月号表紙改訂案検討
（8）収支状況報告
第9回構造分科会
11月1日（金）18:00～20:00
出席者　田渕幹事ほか6名
議　事　「構造の頁」の企画
第8回法令分科会
11月6日（水）14:00～16:30
出席者　薄木幹事ほか3名
議　事　（1）「法令コーナー」の企画
（2）15年の法令特集のテーマ
第8回広告企画小委員会
11月6日（水）16:00～17:30
出席者　設楽委員長ほか4名
議　事　（1）12月号「第49回青年技術者」「大阪市中央公会堂の保存・再生」特集経過報告
（2）1月号「東畑建築事務所創立70周年」特集経過報告
（3）2月号「九州」特集経過報告
（4）作品作風関係報告
（5）広告掲載の拡大について
（6）平成15年度独自特集企画、広告企画小委員会特集企画
（7）収支状況報告
第3回計画分科会―インテリア・住宅系―
11月6日（水）19:00～20:30
出席者　加藤委員ほか3名
議　事　15年度特集案について
第3回計画分科会―計画系―
11月11日（月）19:00～21:00
出席者　鈴木幹事ほか2名
議　事　15年4月号計画特集の企画
第8回設備分科会
11月12日（火）18:00～21:30
出席者　河井幹事ほか3名
議　事　15年の設備特集のテーマについて
第4回計画分科会―建築系―・於　所委員宅
11月22日（金）19:00～20:30
出席者　野田幹事ほか7名
議　事　15年9月号特集について
第4回計画分科会―インテリア・住宅系―
11月27日（水）19:00～21:00
出席者　高野幹事ほか4名
議　事　15年度特集テーマ案の検討
第7回施工材料分科会
11月28日（木）17:00～19:00
出席者　竹中幹事ほか4名
議　事　特集企画
第8回作品作風小委員会
11月28日（木）19:00～20:30
出席者　倉渕副委員長ほか4名
議　事　（1）作品の選定
（2）作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
（3）「gallery」掲載報告・予定

事業委員会

第5回事業委員会
11月19日（火）18:00～19:30
出席者　川村委員長ほか11名
議　事　（1）各小委員会からの報告と検討
（2）次年度の事業計画について
第5回若い会員の集い小委員会
11月5日（火）19:00～20:00
出席者　樋上委員ほか1名
議　事　30's EYE出版『建築する人たち―アーキテクト・アーティストの素顔』（仮題）報告
第5回情報小委員会
11月13日（水）18:00～19:15
出席者　小笹幹事ほか5名
議　事　実施報告と今後の企画について
第5回見学会小委員会
11月14日（木）18:00～19:30
出席者　松浦副委員長ほか5名
議　事　実施報告と今後の予定について
第18回茶室見学会
孤篷庵の忘筌・於　孤篷庵　参加者　43名
11月30日（土）14:00～15:00

出版委員会

第7回出版委員会
11月21日（木）18:00～19:20
出席者　上原委員長ほか8名
議　事　（1）〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
（2）今後のテーマと執筆者選定
（3）次年度の事業計画について
第7回「建築施工図の作図方法とチェックポイント（仮称）」出版小委員会
11月14日（木）18:00～19:30
出席者　田中主査ほか5名
議　事　（1）建築施工図の作図方法とチェックポイントに関して（事例報告）
（2）今後の作業予定その他

教育委員会

第2回講習会小委員会
11月6日（水）18:00～19:30
出席者　片倉・藤井正副委員長ほか10名
議　事　（1）建築工事実務講習会の開催内容等
（2）次年度の事業計画ほか
第48回工高生デザインコンクール表彰式
11月16日（土）14:00～16:00
出席者　田中審査委員長、阪田審査委員
片倉教育委員長ほか教育委員5名
入選者11名ほか引率者7名

建材委員会

第7回建材委員会
11月13日（水）16:00～17:00
出席者　和田委員長ほか7名
議　事　（1）今後の検討建材について
（2）秋季工場見学会について

建築クラブ

第365回建築クラブ朝食会・於大阪全日空ホテル
11月12日（火）8:30～10:00
演　題　「都市を目指すディズニー」
講　師　阪南大学教授　貴多野　乃武次氏
参加者　26名
第4回建築クラブ運営委員会
11月12日（火）10:15～10:45
出席者　佐野代表ほか5名
議　事　（1）平成14年度収支状況
（2）平成15年新年宴会について
（3）平成15年5月以降のスピーカーの推薦

入会者(敬称略)

〔個人会員〕

加賀尾和紀（鴻池組）　鈴木　直幹（竹中工務店）　平尾　和洋（立命館大学）

◀会員の訃報
中村　隆慶氏　平成14年11月11日ご逝去

特集：東畑建築事務所創立70周年

協賛広告目次（建設業・メーカー別・50音順）

エース・エンジニヤリング……104
エスエス大阪……130
オキココーポレーション……104
ソイルエンジニアリング……104
非破壊検査……104
プラネット……104
和光設計積算事務所……104

浅沼組……120
新井組……104
エステック……104
大林組……109
奥村組……120
鹿島建設……110
鴻池組……121
ショーボンド建設……104
清水建設……111
住友建設……121
成幸工業……104
錢高組……122
大成建設……112
大末建設……122
大鉄工業……104
竹中工務店……113
東急建設……123
東洋建設……104
戸田建設……123
ハンシン建設……104
花豊造園……104
不二建設……104
不動建設……104
富士技研興業……104
前田建設工業……124
松尾建設……104
松村組……104
三井建設……104
森本組……104

朝日工業社……104
カンダン……104
川北電気工業……104
関西総合設備……104
きんでん……114
九電工……105
栗原工業……124
弘電社……105
三機工業……125
三建設備工業……125
三晃空調……126
三冷社……126
新日本空調……127
新菱冷熱工業……127
須賀工業……128
ダイダン……128
大氣社……105
大成温調……105
高砂熱学工業……105
中央電設……105
中電工……105
テクノ菱和……105
トーエネック……105
東光電気工事……105
東洋熱工業……105
東和エンジニアリング……105
西原衛生工業所大阪本店……105
日本基礎技術……105
日本電設工業……105
不二熱学工業……105
北陸電気工事……105
松尾橋梁……105
丸紅設備……105
美和産業……105
八千代電設工業……105

アイカ工業……105
アイソテック……105
アディア……105
アトラス……129
旭化成建材……115
旭硝子ビルウオール……105
安治川鉄工……105
イトーキ……105
INAX……105
エービーシー商会……129
エスケー化研……105
エヌ・ジェイ・アクシベイン……105
オクジュー……132
大阪ガス……116
大島応用化学工業……130
大塚オーミ陶業……131
王建工業……106
岡村製作所……131
奥アンツーカ……132
奥平工業……106
カヤバ工業……106
川崎重工業……106
川崎製鉄……106
川島織物販売……106
川重冷熱工業……106
関西電力……117
関西ペイント販売……133
元旦ビューティ工業……133
キョーワナスタ……106
菊水化学工業……106
機器製造岡本……106
木村工機……134
空研工業……106
黒崎播磨……106
ケージーバルテック……134
コーリョー建販……106
コクヨオフィスシステム……106
コトブキ……106
神戸不燃板工業……106
小松ウォール工業……表紙④
三協アルミニウム工業……135
三晃金属工業……135
三精輸送機……106
三洋工業九州システム……106
三洋電機空調……136
三和シヤッター工業……136
シブタニ……106
ジオトップ……106
ジャトー……137
ジョンソンコントロールズ……106
下平電機製作所……106
新晃工業……106
新東圧接……106
新明和工業……138
神鋼ノース……137
信越ユニット……106
スミノエ……107
住軽日軽エンジニアリング……107
住友金属鉱山シポレックス……107
セイコー化工機……107
世界長……107
関ケ原石材……107
積水化学工業……107
双和化学産業……138
タジマ……139
ダイキン工業……107
ダルトン……139
太平洋マテリアル……140
太陽工業……140
大洋基礎……107
大向商会……107
高島屋スペースクリエイツ……107
竹林塗装工業……107

竹村工業……107
田島ルーフィング……107
立山アルミニウム工業……107
立川ブラインド工業……107
築柴……107
TOA……107
電気化学工業……141
トリスミ集成材……107
東京ガス……表紙③
東芝……141
東芝ライテック……142
東陶機器……142
東邦レオ……107
東洋テクノ……107
東洋電機製造……107
東リ……143
巴コーポレーション……107
ナカ工業……107
ナブコ……118
ナブコドア……118
ニュースト……107
ニチベイ……107
ニチマンラバーテック……107
ニッタ……107
日新工業……107
日東紡……143
日鋼サッシュ製作所……107
日鐵ボルテン……107
日本インシュレーション……108
日本板硝子環境アメニティ……108
日本オーチス・エレベータ……108
日本コンクリート工業……108
日本ゴンドラ……108
日本調理機……108
日本電気硝子……144
日本ドアーチェック製造……108
日本BAC……108
日本ペイント……144
日満電気……108
能美防災……108
パラキャップ社……108
初田製作所……108
ヒロセ……108
日立製作所……108
フジモリ産業……145
フタバ興業……108
フドウ建研……108
不二サッシ……146
富士昭……145
文化シヤッター……119
ホーチキ……108
松下電工……146
丸五基礎工業……147
丸善……147
三谷セキサン……108
美津濃……148
三菱電機……108
美和ロック……108
ヤマギワ……148
ヤンマー……149
八木惣……108
矢橋大理石……108
山崎産業……149
山武ビルシステム……150
ユニオン……108
ヨーコン……108
横河ブリッジ……108
横森製作所……108
ロンシール工業……108
ワイエム工業……表紙②
YKKアーキテクチュラルプロダクツ……150

特集：東畑建築事務所創立70周年

協賛

調査・コンサル・写真

エース・エンジニヤリング株式会社　大阪市大正区鶴町3-1-17　TEL06-6552-8631

株式会社エスエス大阪　大阪市淀川区西中島4-7-7　TEL06-6301-5251

株式会社オキココーポレーション　大阪市北区国分寺1-3-4　TEL06-6881-1788

株式会社ソイルエンジニアリング　大阪市浪速区桜川2-14-13　TEL06-6568-3585

非破壊検査株式会社　大阪市西区北堀江1-18-14　TEL06-6539-5821

プラネット株式会社　大阪市淀川区木川西1-4-17　TEL06-6304-2392

株式会社和光設計積算事務所　大阪市中央区南本町3-4-8 富士商事ビル　TEL06-6252-3295

建設業

株式会社淺沼組　大阪市天王寺区東高津町12-6　TEL06-6768-4622

株式会社新井組　兵庫県西宮市池田町12-20　TEL0798-26-3111

株式会社エステック大阪支店　大阪市大正区南恩加島7-1-55　TEL06-6556-2050

株式会社大林組　大阪市中央区北浜東4-33　TEL06-6946-4578

株式会社奥村組　大阪市阿倍野区松崎町2-2-2　TEL06-6621-1101

鹿島建設株式会社関西支店　大阪市西区阿波座1-3-15　TEL06-6536-3311

株式会社鴻池組　大阪市中央区北久宝寺町3-6-1　TEL06-6244-3500

ショーボンド建設株式会社東京建築事業部　東京都江東区南砂2-2-17　TEL03-3649-2612

清水建設株式会社関西事業本部　大阪市中央区本町3-5-7　TEL06-6263-2800

住友建設株式会社大阪支店　大阪市中央区北浜4-5-33　TEL06-6220-8712

成幸工業株式会社　大阪市中央区大手前1-7-24　TEL06-6910-3111

株式会社錢高組大阪支社　大阪市西区西本町2-2-11　TEL06-6531-6431

大成建設株式会社関西支店　大阪市中央区南船場1-14-10　TEL06-6265-4534

大末建設株式会社　大阪市中央区南船場2-2-11　TEL06-6264-3761

大鉄工業株式会社　大阪市淀川区宮原4-4-44　TEL06-6394-1287

株式会社竹中工務店　大阪市中央区本町4-1-13　TEL06-6252-1201

東急建設株式会社大阪支店　大阪市北区豊崎3-19-3　TEL06-6377-6566

東洋建設株式会社　大阪市中央区高麗橋4-1-1　TEL06-6209-8711

戸田建設株式会社大阪支店　大阪市西区西本町1-13-47　TEL06-6531-6095

株式会社ハンシン建設　大阪市福島区海老江1-1-31　TEL06-6347-6536

花豊造園株式会社　京都市下京区大宮通五条下る　TEL075-341-2246

不二建設株式会社関西支社　大阪市中央区北浜2-2-21　TEL06-6228-6600

不動建設株式会社　大阪市中央区平野町4-2-16　TEL06-6201-1121

富士技研興業株式会社　大阪市中央区本町2-3-6 ビジネスビル3階　TEL06-6261-5222

前田建設工業株式会社関西支店　大阪市西区江戸堀1-3-15　TEL06-6446-9511

松尾建設株式会社　佐賀県佐賀市八幡小路1-10　TEL0952-24-1181

株式会社松村組大阪本店　大阪市北区東天満1-10-20　TEL06-6354-8804

三井建設株式会社大阪支店　大阪市北区中之島4-3-28　TEL06-6446-4801

株式会社森本組　大阪市天王寺区夕陽丘町4-11　TEL06-6779-1451

空調・衛生・電気・各種工事業

株式会社朝日工業社大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　TEL06-6302-2273

株式会社カンダン　大阪市住吉区万代6-1-1　TEL06-6676-2104

川北電気工業株式会社東京支社　東京都千代田区神田須田町1-3　TEL03-5295-1051

関西総合設備株式会社　大阪市西区靱本町1-11-7　TEL06-6444-3270

株式会社きんでん　大阪市北区本庄東2-3-41　TEL06-6375-6000

特集：東畑建築事務所創立70周年

協賛

株式会社九電工　福岡市南区那の川1-23-35　TEL092-523-1691

栗原工業株式会社　大阪市北区角田町1-1東阪急ビル　TEL06-6313-1101

株式会社弘電社　東京都中央区銀座5-11-10　TEL03-3542-5111

三機工業株式会社関西支店　大阪市淀川区宮原3-4-30　TEL06-6350-8101

三建設備工業株式会社　東京都中央区蛎殻町1-35-8　TEL03-3367-3431

株式会社三晃空調大阪本店　大阪市北区西天満3-13-20　TEL06-6363-1371

株式会社三冷社西日本支社　大阪市西区京町堀2-9-8 野澤ビル　TEL06-6446-0901

新日本空調株式会社　大阪市北区堂島浜1-2-6 新ダイビル　TEL06-6344-6031

新菱冷熱工業株式会社大阪支社　大阪市北区堂島1-1-5 梅田新道ビル　TEL06-6344-7102

須賀工業株式会社大阪支社　大阪市西区土佐堀1-2-30　TEL06-6441-5171

ダイダン株式会社　大阪市西区江戸堀1-9-25　TEL06-6441-8231

株式会社大氣社大阪支社　大阪市北区中之島3-2-18住友中之島ビル　TEL06-6448-5851

大成温調株式会社大阪支店　大阪市北区堂島1-1-5 梅田新道ビル２階　TEL06-6348-2950

高砂熱学工業株式会社東京本店　東京都千代田区神田駿河台4-2-8　TEL03-3255-8222

中央電設株式会社　大阪市福島区海老江1-1-31　TEL06-6453-8711

株式会社中電工大阪支店　大阪市北区南森町2-2-9　TEL06-6362-8651

株式会社テクノ菱和大阪支店　大阪市北区天満2-7-3　TEL06-6352-4881

株式会社トーエネック大阪本部　大阪市淀川区新北野3-8-2　TEL06-6305-2181

東光電気工事株式会社関西支社　大阪市中央区高麗橋4-3-7　TEL06-6202-0325

東洋熱工業株式会社　東京都中央区京橋2-5-12　TEL03-5250-4112

株式会社東和エンジニアリング　東京都台東区秋葉原1-8　TEL03-3255-1661

株式会社西原衛生工業所大阪本店　大阪市北区中津6-8-4　TEL06-6458-3625

日本基礎技術株式会社大阪支店　大阪市北区松ケ枝町6-22　TEL06-6351-0562

日本電設工業株式会社大阪支店　大阪市北区豊崎3-17-15　TEL06-6372-3531

不二熱学工業株式会社　大阪市中央区南船場2-1-1　TEL06-6261-2436

北陸電気工事株式会社　富山市東田地方町1-1-1　TEL076-431-6551

松尾橋梁株式会社　大阪市西区西本町3-1-43 西本町ソーラービル　TEL06-6533-8555

丸紅設備株式会社大阪支店　大阪市中央区安土町1-7-13 トヤマビル　TEL06-6261-2351

美和産業株式会社　大阪市北区大淀中1-13-6　TEL06-6451-5437

八千代電設工業株式会社　大阪市中央区森ノ宮中央1-1-38　TEL06-6941-6531

建材・設備メーカー・その他

アイカ工業株式会社　大阪市西区靱本町2-3-2大鰹・住友生命なにわ筋本町ビル　TEL06-6447-7620

株式会社アイソテック　東京都品川区南大井1-13-5　TEL03-5763-3251

アディア株式会社大阪営業所　大阪市西区北堀江1-5-9 山本ビル　TEL06-6541-5551

株式会社アトラス　大阪市天王寺区東高津町11-9 日生上本町ビル7F　TEL06-6765-2360

旭化成建材株式会社　大阪市北区堂島浜1-2-6 新ダイビル　TEL06-6347-3847

旭硝子ビルウォール株式会社　東京都文京区湯島3-14-9　TEL03-3833-8774

安治川鉄工株式会社　大阪市西淀川区竹島4-11-88　TEL06-6474-2050

株式会社イトーキ　大阪市中央区淡路町1-6-11　TEL06-6223-3801

株式会社INAX　大阪市西区新町1-34-15大阪 グレンチェックビル2F　TEL06-6539-3510

株式会社エービーシー商会　大阪市中央区大手前1-7-31ＯＭＭビル8F　TEL06-6944-4900

エスケー化研株式会社　大阪府茨木市中穂積3-5-31　TEL072-621-7721

エヌ・ジェイ・アクシベイン株式会社　大阪府枚方市伊加賀緑町3-24　TEL072-841-5939

特集：東畑建築事務所創立70周年

協賛

株式会社オクジュー　大阪市北区西天満5-3-7　TEL06-6312-4131

大阪ガス株式会社エネルギー開発部　大阪市中央区平野町4-1-2　TEL06-6205-4670

大島応用化学工業株式会社　大阪市旭区太子橋1-15-22　TEL06-6954-6521

大塚オーミ陶業株式会社　大阪市中央区大手通3-2-21　TEL06-6943-6695

王建工業株式会社　大阪市北区西天満6-1-2　TEL06-6362-9402

株式会社岡村製作所　大阪市中央区南船場4-1-9 南船場第一東洋ビル　TEL06-6282-4061

奥アンツーカ株式会社　大阪市中央区博労町4-5-3　TEL06-6252-0101

奥平工業株式会社　大阪府松原市岡7-338-1　TEL072-335-0500

カヤバ工業株式会社大阪支店　大阪府吹田市江坂町1-23-20 TEK第2ビル3階　TEL06-6387-3221

川崎重工業株式会社　大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル　TEL06-6348-8271

川崎製鉄株式会社大阪支社　大阪市北区堂島1-6-20　TEL06-6342-0751

株式会社川島織物販売　大阪府吹田市広芝町8-26　TEL06-6369-6240

川重冷熱工業株式会社　大阪市東淀川区東中島1-18-31　TEL06-6325-0303

関西電力株式会社お客様本部　大阪市北区堂島浜1-4-4 アクア堂島東館18階　TEL06-7501-0217

関西ペイント販売株式会社　大阪府吹田市豊津町13-45　TEL06-6337-8056

元旦ビューティ工業株式会社　大阪市中央区高麗橋2-6-10 新高麗橋ビル　TEL06-6223-1841

株式会社キョーワナスタ　大阪府豊中市箕輪3-7-20　TEL06-6858-5671

菊水化学工業株式会社　大阪府摂津市鶴野2-8-14　TEL0726-37-1055

株式会社機器製造岡本　大阪市東淀川区東中島1-18-31　TEL06-6323-6000

木村工機株式会社　大阪市中央区上町Ａ番23　TEL06-6764-6161

空研工業株式会社大阪支店　大阪市淀川区西中島3-9-12　TEL06-6302-5541

黒崎播磨株式会社景観材事業部　北九州市八幡西区東浜町1-1　TEL093-622-7281

ケージーパルテック株式会社　大阪府八尾市北木の本1-51　TEL0729-23-1311

コーリョー建販株式会社　大阪市中央区本町橋2-24 アルテビル本町橋　TEL06-6945-9091

コクヨオフィスシステム株式会社　東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル　TEL03-5510-4430

株式会社コトブキ　大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル　TEL06-6443-8833

神戸不燃板工業株式会社　兵庫県三木市志染町三津田371　TEL0794-87-3121

小松ウォール工業株式会社　大阪市中央区西心斎橋1-1-13 東邦ビル　TEL06-6241-8416

三協アルミニウム工業株式会社　富山県高岡市早川70　TEL0766-20-2201

三晃金属工業株式会社大阪支店　大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル3階　TEL06-6444-9012

三精輸送機株式会社　大阪府吹田市江坂町1-13-18　TEL06-6385-5625

株式会社三洋工業九州システム　福岡県博多区那珂6-25-37　TEL092-501-3001

三洋電機空調株式会社　大阪府吹田市江坂町1-16-17　TEL06-6339-5778

三和シヤッター工業株式会社　大阪市淀川区宮原4-4-50 真和ビル8F　TEL06-6396-6871

株式会社シブタニ　大阪市中央区島之内2-12-21　TEL06-6211-7335

株式会社ジオトップ　大阪市中央区高麗橋2-1-10　TEL06-6226-1191

ジャトー株式会社　旧社名:日本通信小野特機㈱　大阪市北区末広町1-22　TEL06-6313-1351

ジョンソンコントロールズ株式会社大阪支店　大阪府吹田市江坂町1-23-101　TEL06-6368-7761

株式会社下平電機製作所　大阪府八尾市神武町1-10　TEL0729-91-1181

新晃工業株式会社　大阪市北区南森町1-4-5　TEL06-6367-1801

新東圧接株式会社　大阪市城東区蒲生2-10-33　TEL06-6930-9081

新明和工業株式会社
産機システム関西支店　大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ4階　TEL06-6442-3151

神鋼ノース株式会社大阪支店　大阪市西区新町1-4-26 四ツ橋中央ビル　TEL06-4390-1221

信越ユニット株式会社　大阪市淀川区西宮原1-8-29　TEL06-6350-1301

特集：東畑建築事務所創立70周年

協賛

株式会社スミノエ　大阪市西区新町2-4-2　TEL06-6537-6317

株式会社住軽日軽エンジニアリング　大阪市中央区淡路町3-3-7 興和淡心ビル　TEL06-6223-3568

住友金属鉱山シポレックス株式会社　大阪市中央区北浜4-7-19住友ビル3号館　TEL06-6232-2231

セイコー化工機株式会社　兵庫県尼崎市水堂町4-1-31　TEL06-6438-9480

世界長株式会社　大阪市北区中津1-7-8世界長ビル別館　TEL06-6374-2635

関ケ原石材株式会社大阪支店　大阪市都島区都島本通4-20-26　TEL06-6922-7661

積水化学工業株式会社　大阪市北区西天満2-4-4堂島関電ビル　TEL06-6365-4503

双和化学産業株式会社　兵庫県神戸市兵庫区芦原通1-2-26　TEL078-651-6272

株式会社タジマ　大阪市西区京町堀1-10-5　TEL06-6441-5951

ダイキン工業株式会社　大阪市北区中崎西2-4-12　TEL06-6373-4348

株式会社ダルトン西日本営業本部　大阪市城東区野江1-17-5　TEL06-6786-5620

太平洋マテリアル株式会社関西支店　大阪市北区中之島2-2-2　TEL06-6228-6660

太陽工業株式会社　大阪市淀川区木川東4-8-4　TEL06-6306-3078

大洋基礎株式会社　大阪市中央区久宝寺町2-1-10 船場吉兆ビル　TEL06-6267-5311

株式会社大向商会　大阪府東大阪市荒本西3-6　TEL06-6788-0301

高島屋スペースクリエイツ株式会社　大阪市浪速区敷津東1-1-25　TEL06-6632-3190

竹林塗装工業株式会社　大阪市淀川区新北野1-12-2　TEL06-6301-9281

竹村工業株式会社　長野県下伊那郡松川町上片桐4604　TEL0265-36-6111

田島ルーフィング株式会社　大阪市西区京町堀1-10-5　TEL06-6443-0431

立山アルミニウム工業株式会社富山支店　富山県高岡市西藤平蔵1256-1　TEL0766-63-6950

立川ブラインド工業株式会社　大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー20階　TEL06-6356-9120

株式会社築柴　京都市中京区西ノ京小倉町10　TEL075-811-6171

TOA株式会社東京事務所　東京都文京区本郷3-43-3　TEL03-3814-8011

電気化学工業株式会社　大阪市北区梅田1-12-39 新阪急ビル　TEL06-6342-7611

トリスミ集成材株式会社　奈良県五条市住川町1297　TEL07472-6-6664

東京ガス株式会社都市エネルギー事業部　東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー27階　TEL03-5322-7547

株式会社東芝 関西支社　大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビルタワーウエスト　TEL06-6440-2034

東芝ライテック株式会社　大阪市北区芝田2-2-17　TEL06-6372-3410

東陶機器株式会社大阪支社　大阪市中央区久太郎町3-6-8 御堂筋ダイワビル　TEL06-6253-5666

東邦レオ株式会社　大阪市中央区上町1-1-28　TEL06-6762-2100

東洋テクノ株式会社大阪支店　大阪市西区靱本町1-5-15　TEL06-6441-6678

東洋電機製造株式会社　東京都中央区京橋2-9-2　TEL03-3535-0654

東リ株式会社　大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル　TEL06-6943-1645

株式会社巴コーポレーション大阪支店　大阪市北区天満2-10-12　TEL06-6352-5031

ナカ工業株式会社　東京都千代田区神田司町2-6　TEL03-5294-7411

株式会社ナブコ　神戸市中央区磯上通2-2-21 三宮グランドビル　TEL078-251-8072

ナブコドア株式会社　大阪市西区西本町1-12-22　http://www.nabco-door.co.jp　TEL06-6532-5843

株式会社ニュースト大阪営業所　大阪市淀川区西中島7-12-5　TEL06-6889-6263

株式会社ニチベイ近畿支店　大阪市中央区北浜東1-8　TEL06-6949-2806

株式会社ニチマンラバーテック　大阪市城東区関目1-21-11　TEL06-6939-3521

ニッタ株式会社産業資材事業部　大阪市浪速区桜川4-4-26　TEL06-6563-1231

日新工業株式会社大阪支店　大阪市西区新町1-12-22　TEL06-6533-3191

株式会社日鋼サッシュ製作所大阪営業所　大阪市淀川区西中島5-11-9 新大阪中里ビル3F　TEL06-6838-6080

日鐵ボルテン株式会社　福岡県行橋市西泉4-3-2　TEL0930-23-2571

特集：東畑建築事務所創立70周年

協賛

日東紡株式会社大阪支店　大阪市中央区高麗橋4-3-10日生伏見町ビル新館　TEL06-6208-5076

日本インシュレーション株式会社　大阪市浪速区大国1-1-6　TEL06-6633-7322

日本板硝子環境アメニティ株式会社　大阪市中央区備後町3-4-1 備後町山口玄ビル　TEL06-6222-7026

日本オーチス・エレベータ株式会社近畿支店　大阪市中央区城見2-1-61　TEL06-6949-1331

日本コンクリート工業株式会社大阪支店　大阪市中央区博労町4-2-15　TEL06-4963-6911

日本ゴンドラ株式会社　東京都中央区京橋2-10-2 第二ぬ利彦ビル　TEL03-3562-1091

日本調理機株式会社関西支店　大阪府豊中市走井2-9-2　TEL06-6853-4901

日本電気硝子株式会社　大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪ビル　TEL06-6399-2728

日本ドアーチェック製造株式会社　大阪市生野区巽東3-17-10　TEL06-6758-1251

日本BAC株式会社　大阪市北区南森町1-4-5　TEL06-6315-6310

日本ペイント株式会社　大阪市北区大淀北2-1-2　TEL06-6455-9172

日満電気株式会社大阪支社　大阪市淀川区西中島6-1-15　TEL06-6300-3747

能美防災株式会社　大阪府吹田市広芝町7-13　TEL06-6330-8661

株式会社パラキャップ社　大阪市中央区今橋1-7-3 ハヤシビル2F　TEL06-6202-7288

株式会社初田製作所関西支社　大阪市西淀川区千舟1-5-47　TEL06-6471-1505

ヒロセ株式会社　大阪市西区南堀江1-12-19　TEL06-6532-6916

株式会社日立製作所関西支社　大阪市住之江区南港東8-3-45　TEL06-6616-1111

フジモリ産業株式会社　大阪市中央区備後町3-4-1 備後町山口玄ビル　TEL06-6228-3863

フタバ興業株式会社　大阪府吹田市南金田1-10-18　TEL06-6385-2781

フドウ建研株式会社　大阪市中央区瓦町3-3-7 瓦町KTビル　TEL06-6201-0131

不二サッシ株式会社　大阪市中央区淡路町3-5-13　TEL06-4706-4106

株式会社富士昭　大阪市中央区農人橋1-4-33 アメリカーナビル4F　TEL06-6910-0081

文化シヤッター株式会社　大阪市中央区北久宝寺町4-3-11 エーユー本町ビル6階　TEL06-6282-0945

ホーチキ株式会社　東京都品川区上大崎2-10-43　TEL03-3444-4111

松下電工株式会社　大阪府門真市門真1048　TEL06-6908-1131

丸五基礎工業株式会社　大阪市北区東天満2-6-2　TEL06-6358-3601

丸善株式会社環境デザイン事業部　東京都中央区日本橋2-3-10　TEL03-3273-3250

三谷セキサン株式会社大阪支店　大阪市北区天満2-7-11サンバレー天満　TEL06-6356-9633

美津濃株式会社　大阪市住之江区南港北1-12-35　TEL06-6614-8185

三菱電機株式会社　大阪市北区中之島2-3-18新朝日ビル　TEL06-6221-5703

美和ロック株式会社大阪支店　大阪市城東区東中浜5-7-35　TEL06-6962-5551

ヤマギワ株式会社近畿営業部　大阪市中央区南久宝寺町3-6-6 御堂筋センタービル2階　TEL06-6258-6721

ヤンマー株式会社　大阪市北区大淀中5-12-39　TEL06-6453-6272

八木惣株式会社　大阪府堺市津久野町3丁28-10　TEL072-262-3838

矢橋大理石株式会社大阪支店　大阪市中央区高麗橋2-2-7 東栄ビル　TEL06-6202-4905

山崎産業株式会社　大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館7F　TEL06-6245-3531

山武ビルシステム株式会社大阪支店　大阪市北区堂島2-4-27　TEL06-6347-1228

株式会社ユニオン　大阪市西区南堀江2-13-22　TEL06-6532-3188

ヨーコン株式会社　大阪市北区大淀中1-7-19　TEL06-6458-5761

株式会社横河ブリッジ　東京都港区芝浦4-4-44　TEL03-3453-4111

株式会社横森製作所　東京都渋谷区幡ヶ谷1-29-2　TEL03-3460-9211

ロンシール工業株式会社大阪支店　大阪市淀川区西中島3-9-13 大北ビル7F　TEL06-6304-2700

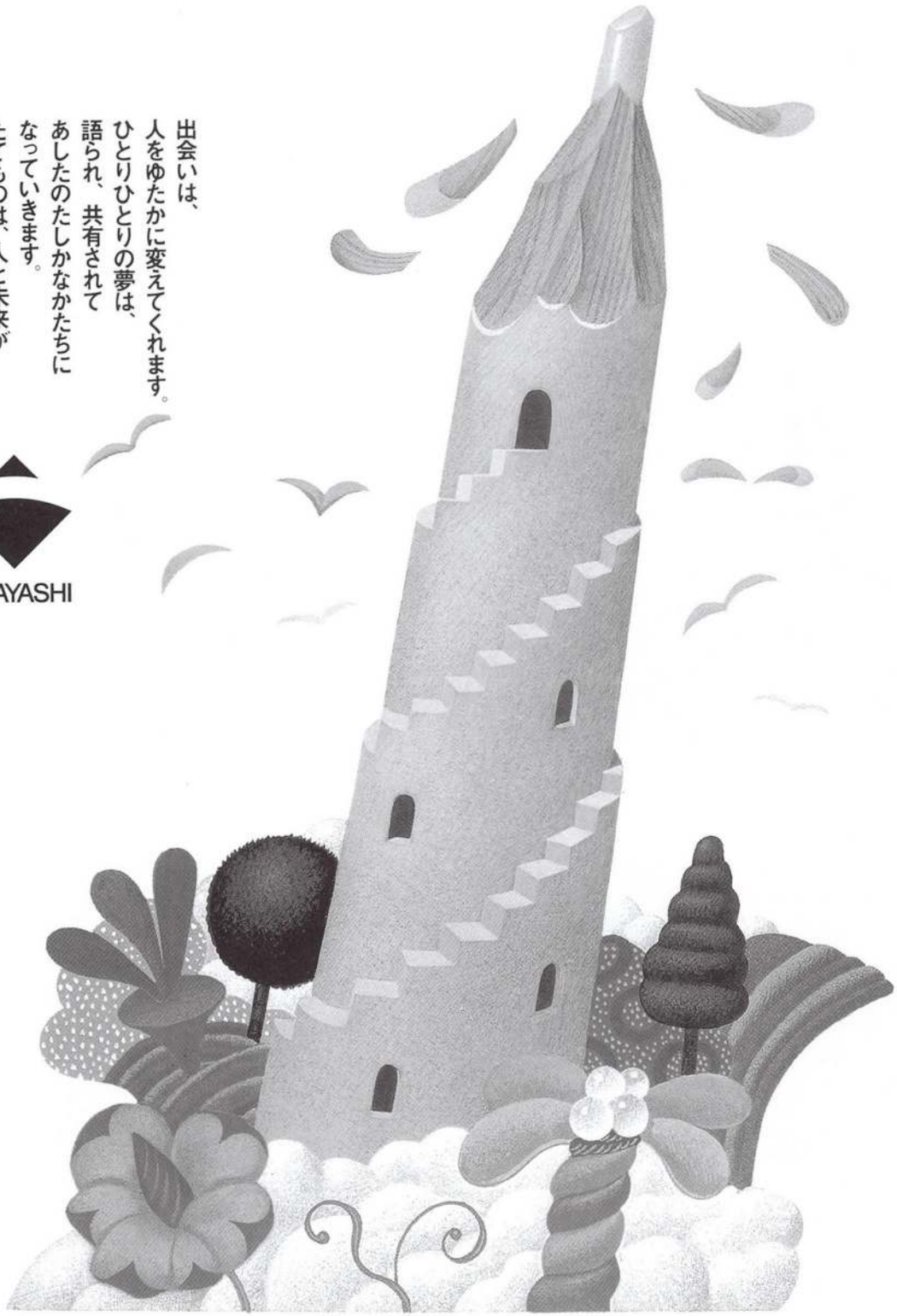
ワイエム工業株式会社　大阪市平野区加美西1-9-7　TEL06-6795-5353

YKKアーキテクチュラルプロダクツ株式会社　大阪市中央区谷町4-8-7　TEL06-6947-4140

あしたのものがたり

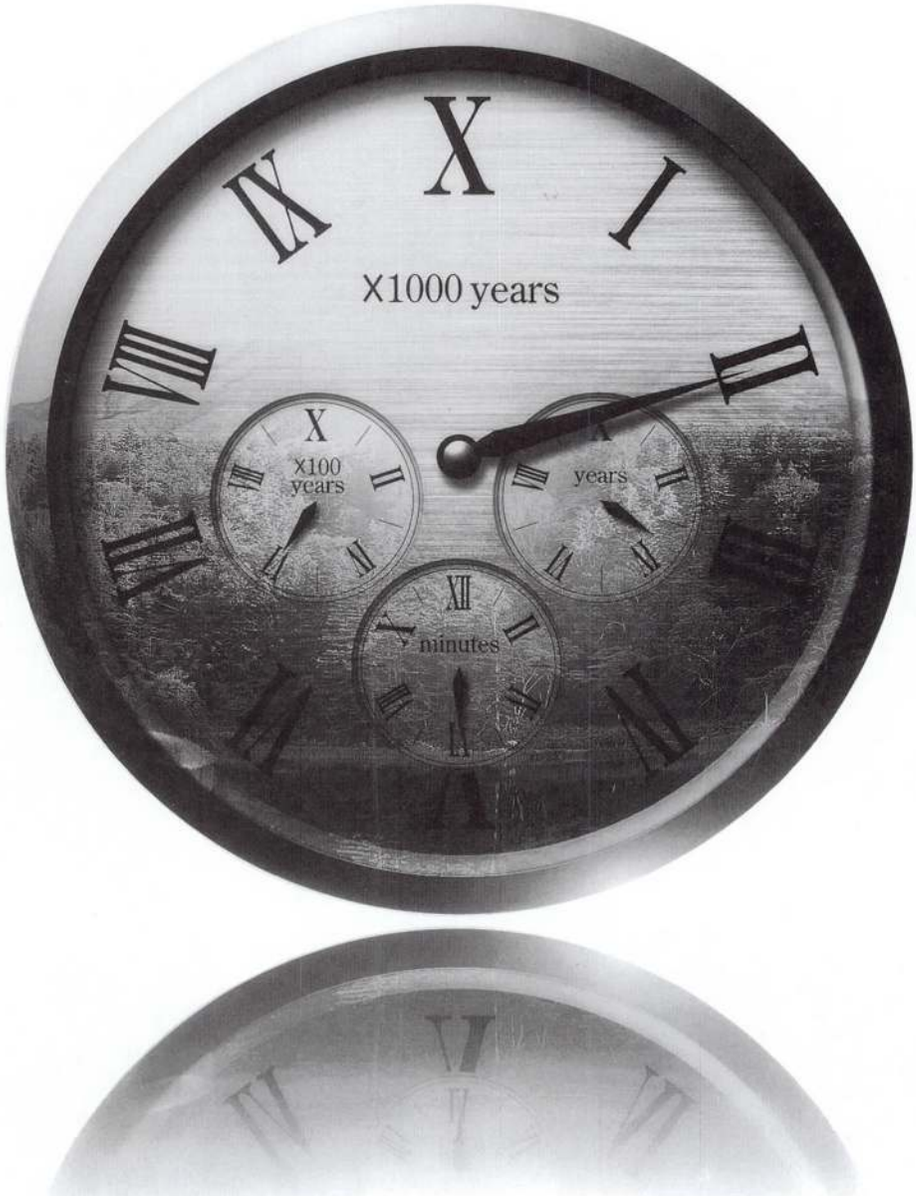
出会いは、
人をゆたかに変えてくれます。
ひとりひとりの夢は、
語られ、共有されて
あしたのたしかなかたちに
なっていきます。
たてものは、人と未来が
出会う場所なのです。

OBAYASHI



大林組
http://www.obayashi.co.jp/

千年都市を語りたい。



都市を規模や密度で語るのではなく、時間という尺度で測ってみる。
すると、“らしさ”という遺伝子が見え隠れしてきます。一分、一年、百年、千年という時間の中に浮遊する都市のDNA。
新しい千年紀に向けて、鹿島は都市の未来を語ります。

100年をつくる会社
鹿島

本社：東京都港区元赤坂1-2-7 〒107-8388
ホームページ http://www.kajima.co.jp/

鹿島建設は、『2001年 アーバン・オデッセイ』をテーマに、インパクに出展しています。
「デザインフォーラム時間都市」を、ぜひご覧ください。
http:// inpaku.kajima.co.jp/

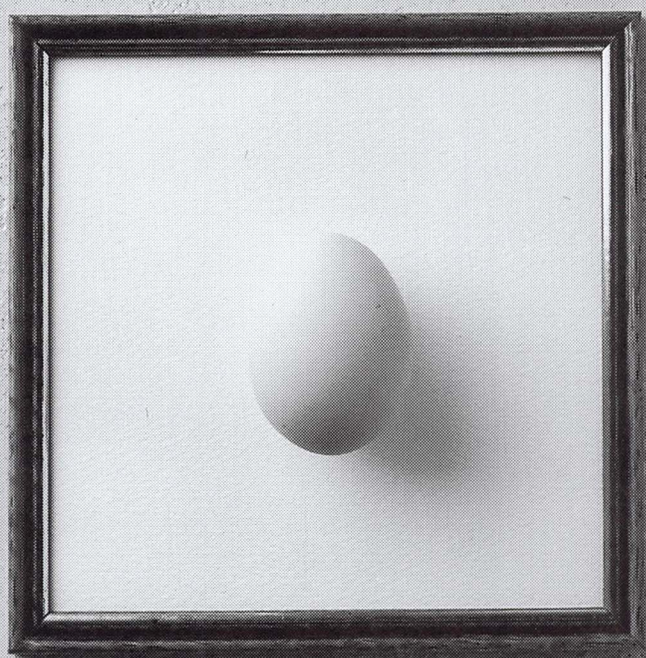
SHIMZ

広い視野、豊かな発想。

ニュートンの視点。コロンブスの着眼点。
いろいろな角度から、明日を見つめる清水建設です。



Newton's Apple



Columbus' Egg

人がつくる、人の場所。
SHIMIZU CORPORATION
清水建設
http://www.shimz.co.jp/

大成建設

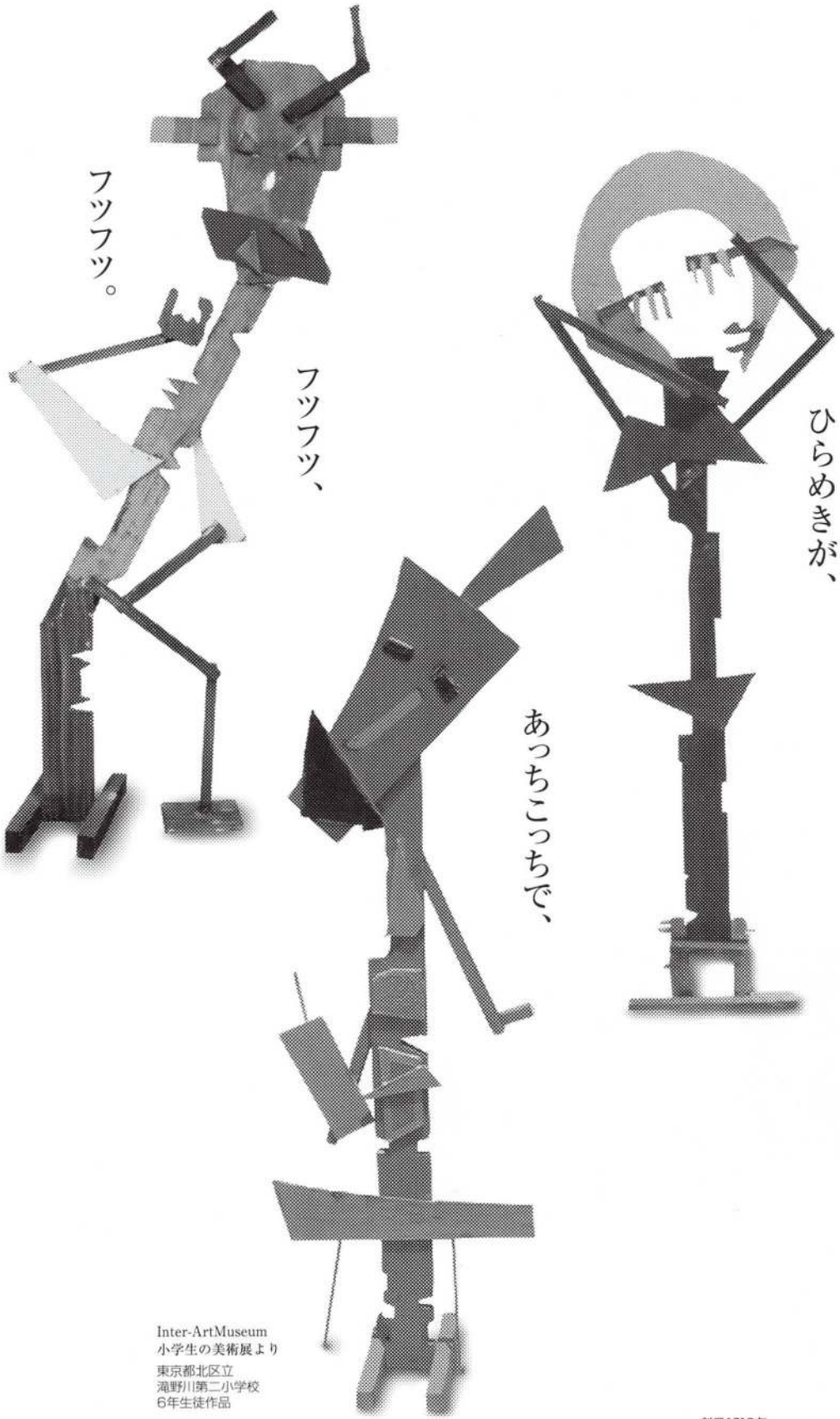
私たちのいちばんの技術は、
お客様の思いを読み取る技術です。

ひとつの建物、ひとつの施設が生まれるまでには、
数えきれぬほど多くの技術が投入されます。
個々の技術はもちろんですが、何よりも大成建設が胸をはって誇りたいのが
お客様の思いを読み取る技術です。
私たちはご利用いただく方の率直な声から引き出された
真のニーズをしっかりと把握し、すべてのプロセスに反映させながら、
大きな満足を創造します。



TAKENAKA
CORPORATION

「?」や「!」を大切にする会社。



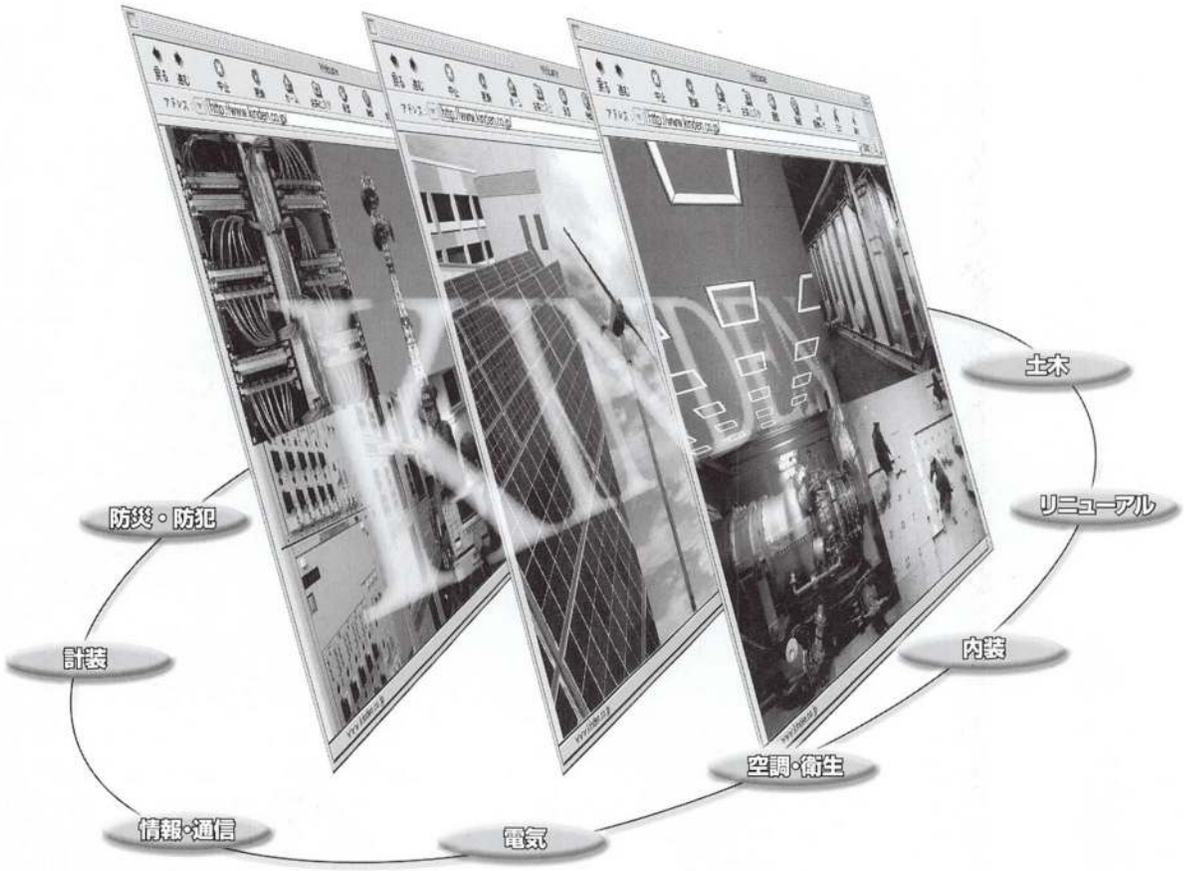
Inter-ArtMuseum
小学生の美術展より
東京都北区立
滝野川第二小学校
6年生徒作品

創業1610年
竹中工務店

お問い合わせは ―――― 本社／広報へ
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13 Tel.06(6263)5605
〒104-8182 東京都中央区銀座8丁目21-1 Tel.03(3542)7451

www.takenaka.co.jp

Technology Domain
情報 エネルギー 環境
Kinden CORPORATION



きんでんの総合テクノロジーにまずアクセスを！

もっと情報化を・・・快適な環境を・・・エコロジーに配慮した省エネを・・・。こんなときは、迷わずアクセス。

<きんでん>の総合テクノロジーが、最適のエンジニアリングソリューションをご提供いたします。ファシリティのトータル・パートナーとして、地球環境を考え設備やネットワーク構築、メンテナンス・リニューアルまで幅広い領域でお客さまのニーズにお応えする<きんでん>。そこには、情報・エネルギー・環境のフィールドでこれまで培ってきたノウハウが結集されています。

本店 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 TEL.06-6375-6000
東京本社 東京都千代田区九段南2丁目1番21号 TEL.03-5210-7272
http://www.kinden.co.jp/

きんでん





▲西荒神地区第一種市街地再開発事業組合施設棟
設計：東畑建築事務所 施工：大林・淺沼・上野谷建設共同企業体
グランデ タイルパネル・マットコート・ベースパネル使用

超軽量コンクリートパネル

グランデ®

信頼のタイルパネル15周年

グランデは、旭化成建材が世界で初めて開発した、建築に要求される多くの性能を備えた超軽量コンクリートパネルです。耐火・断熱性能にすぐれ、水に浮く軽さでPC版の約1/3～1/4。幅1,800㎜～300㎜、長さ4,480～600㎜のワイドなサイズで、低層の店舗建築から高層事務所・庁舎、生産施設など各種の建築に活かされ、高性能の建築を誕生させています。

グランデ製品体系

- グランデ
  - 工場仕上げパネル
    - ●OTグランデ
      大型陶板OTセラミックを一体化した複合パネル。
    - ●タイルパネル
      工場で高品質タイルを密着張りしたパネル。
    - ●塗装パネル
      - ●ブレガード
        工場塗装によりソフトな仕上り感のあるパネル。
      - ●ミラーコート
        工場でフッ素樹脂塗装を施した光沢のある格調高いパネル。
      - ●マットコート
        工場でフッ素樹脂のつや消し塗装を施したパネル。
      - ●メタリックコート
        工場でメタリック調のフッ素樹脂塗装を施したパネル。
  - 現場仕上げパネル
    （ベースパネル）

環境親和を考える
旭化成建材
東 京／03-5473-5318 札 幌／011-261-5443 仙 台／022-223-5155 名古屋／052-212-2233 金 沢／076-265-4510
大 阪／06-6347-3847 高 松／087-822-0305 広 島／082-247-6131 福 岡／092-752-3974
当社の会社概要やグランデに関する情報は、インターネットを通じてもご覧いただけます。http://www.asahi-kasei.co.jp/akk/grande

大阪ガス

空調リニューアルも、たぬきにおまかせ!!



たぬきでおなじみガスヒーポンの新技術「クイックマルチ」誕生

空調をできるだけ短期間で安くリニューアルしたい。そんなご要望にお応えできるのが、大阪ガスのガスヒーポン「クイックマルチ」。

今ある冷媒配管をそのまま利用
＋
冷媒配管の洗浄も不要
＋
つまり室外機と室内機を取り換えるだけ。

だから ①工事が早い ②施工費が安い

問合せ先 大阪ガス(株)エネルギー開発部 06-6205-4670

関西電力

「エコ・アイス」は ランニングコストが経済的で、 環境にもやさしい空調システムです。



ビルオーナーのみなさん。空調は、「エコ・アイス」の時代です。

すこぶる経済的！

昼間の約1/3とおトクな夜間電力で、
夏は氷・冬はお湯をつくって快適空調。
大きな省コストを実現します。

エコノミー＆エコロジー
エコ・アイス
氷蓄熱式空調システム

環境にもやさしい！

CO2やNOxの排出量を減らすので、
地球の環境保全に貢献します。

お手入れ簡単でメンテナンス費用もおトク。

◎空調設備の新設・改修をお考えの方は是非関西電力までお電話を

0120・81 8514（ハイ エコ アイス）（直通）（平日9:00～17:30）

又は、TEL（OMP）06・7501・0216

関西電力株式会社 お客さま本部 企画提案グループ
〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目4番4号アクア堂島東館18階

すべての人に快適・安心な ユニバーサルデザイン

軽量ドアから、重量ドアまで快適な通行を提供します。DSシリーズ（引き戸）



火災時に耐熱遮煙フィルムでエレベーターシャフトを遮煙します。NBS-500 スモークガード



作動前　作動後

洗練されたフォルム、卓越した機能性。回転ドアシリーズ



人と列車の接触アクシデントを防止します。プラットホームドアシステム



ナブコが目指す理想の開口部。そこにあるのは、ひとつ上の省エネ・安全性、そしてユニバーサルデザイン、すべての人が快適に使える総合自動ドアシステムという考えです。
ナブコは、各種の高品質自動ドアを初めとして、最新の機能を装備した回転ドアシリーズ、DSシリーズ、プラットホームドア等の上に、バリアフリー、セキュリティへの対応、さらに火災や防災に対応したドアシステム、そして産業用特殊大型ドアまで、幅の広い商品ラインアップを揃え、これからも、あらゆる分野を対象として自動ドアのシステム開発を行ってまいります。

人の安全と快適を目指し、おかげさまで45周年

ナブコ自動ドア

NABCO 株式会社 ナブコ
建築事業部
URL http://www2.nabco.co.jp/

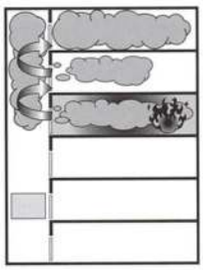
西日本地区販売会社
ナブコドア株式会社
本　社 大阪市西区西本町1-12-22 〒550-0005
TEL. (06)6532-5843
URL http://www.nabco-door.co.jp/

商品のお問い合わせはナブコの正規販売店へご連絡ください。

文化シヤッター

エレベーター前防火区画に 文化シャッターの遮煙・遮炎対策シリーズ。

新築および増改築を行う場合には、
文化シヤッターの
遮煙・遮炎対策シリーズを。

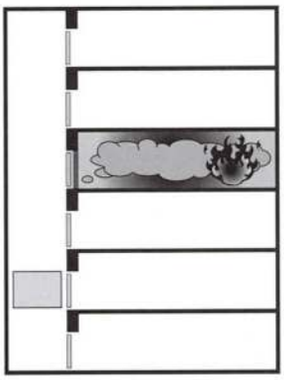


[これまでのエレベーター]
これまでは、エレベーターの扉の遮煙性能が認められていましたが、扉から煙が侵入して竪穴区画や上層階に煙が充満する可能性があるとして、法の改正により、エレベーター部分に遮煙性能をもつ防火設備で区画しなければならなくなりました。

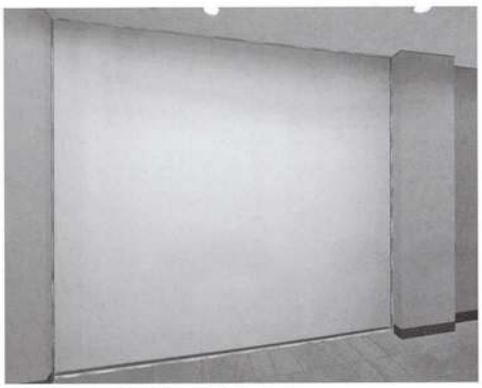


エレベーターの竪穴区画の遮煙対策にご提案します。

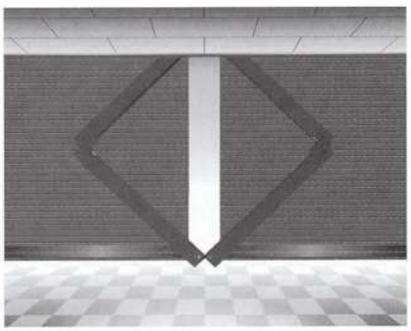
文化のエレベーター前遮煙対策製品が
火災の起きた階だけに煙をとどめ、
他の階への煙の侵入を防ぎます。







耐火クロス製防火／防煙スクリーン
セレスクリーン ※1



可動中柱・2つ折り方式
ポールレス防火防煙シャッター



遮煙防火引戸
セレカームシステム ※5



防煙シャッター ※2



遮煙防火ドア ※2



耐熱板ガラス入り鋼製開き戸
エリファイト ※3



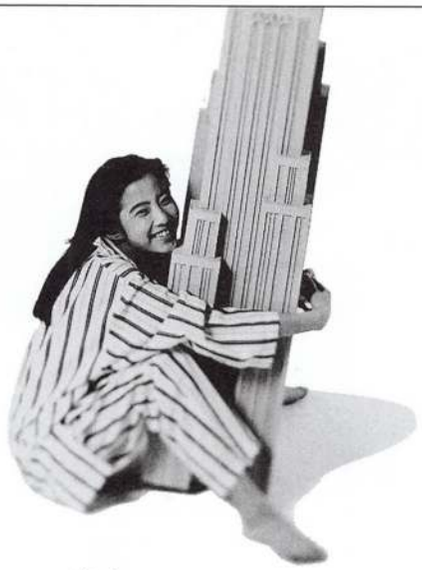
木質系遮煙防火ドア
彩 I・RO・DO・RI ※4

※1:国土交通大臣認定申請済
※2:[国土交通大臣認定　CAS-0002号／鋼製シャッター・鋼製開き戸　複合防火設備]／(社)日本シャッター・ドア協会 (社)日本サッシ協会
※3:[国土交通大臣認定　CAS-0003号／耐熱ガラス入鋼製開き戸　複合防火設備]／(社)カーテンウォール・防火開口部協会
※4:[国土交通大臣認定　CAS-0004号／木質系開き戸　複合防火設備]／(社)カーテンウォール・防火開口部協会
※5:[国土交通大臣認定　CAS-0005号／鋼製引き戸・鋼製シャッター　複合防火設備]／(株)豊和

文化シヤッター株式会社 関西営業推進部
〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町4-3-11 6F
TEL.06(6282)0945／FAX.06(6282)0946
ホームページ　http://www.bunka-s.co.jp/
E-mail kandeve@mail.bunka-s.co.jp

株式会社 淺沼組

あなたが好きだから、
あなたの好きな街をつくりたい。



人・都市・自然のシンフォニー

Asanuma

本社・大阪本店　〒543-8688 大阪市天王寺区東高津町12番6号　TEL.06-6768-5222(代表)
東京本店　〒160-0007 東京都新宿区荒木町5番地　TEL.03-5269-3111(代表)



共に在りたい。

例えば、地球温暖化の抑制に役立つ省エネルギー関連技術、水資源の保護や再利用をはかる技術、環境汚染を抑制する技術…。私たち奥村組はコンストラクターとしての立場から、人と地球の豊かな関係を願い、さまざまな技術開発に成果をあげてきました。これからもハード技術とソフト技術を高い次元で融合させながら、地球に生きるすべてのものの共存に貢献していきたいと考えています。

好きです、大地。たいせつに築きます、未来を…

奥村組
OKUMURA CORPORATION

本　社：大阪市阿倍野区松崎町2-2-2 TEL.06(6621)1101
東京本社：東京都港区芝5-6-1 TEL.03(3454)8111

魅になる技術で、街を快適に。

トンネル固めの名人です。
K-NTL工法※3

地震時に安心の仕掛け。
免震構法※1

建物を支える、ナイスコンビ。
CFT構造※2

グラっときた時の支えです。
締固め砕石ドレーン工法※4

暮らしのすみずみにある、鴻池組の技術。

地下、山地、ビルの中…さまざまな所で活躍する鴻池組の技術。目立つ存在とは言えませんが、でも、見えないところでしっかりと、暮らしの快適や安全を支えています。まるで"縁の下の力持ち"のように、あなたを見守る鴻池組です。

鴻池組
KONOIKE CONSTRUCTION CO.,LTD.

※1 免震構法は建物と基礎を切り離し、アイソレーターとダンパーなどで地震の振動を和らげる構法です。 ※2 CFT構造は、鋼管にコンクリートを充填した高強度の超高層ビル用の構造材です。 ※3 K-NTL工法は、トンネルの一次覆工の自動化、省力化を実現した新しいトンネルライニングです。 ※4 締固め砕石ドレーン工法は、砂地盤を締固めながら地盤中に砕石柱を築造して、地震時に発生する液状化を防ぎます。

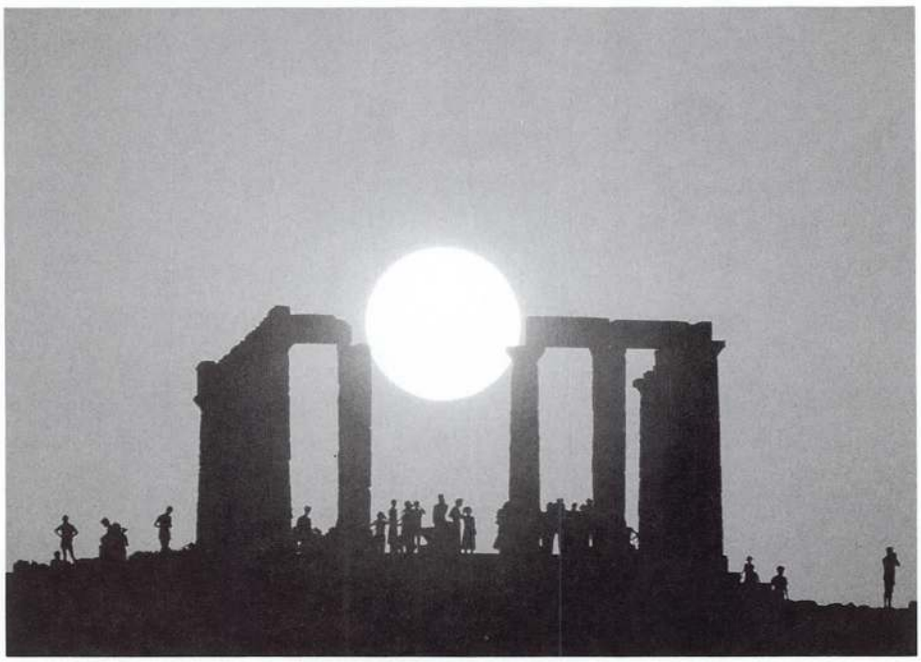
HEART & TECHNOLOGY
住友建設

あなたのまちまで。

地域社会に根ざしたエンジニアリング・コンストラクターとして、
私たち住友建設は、人とくらし、くらしと環境を見つめてきました。
これからも"HEART & TECHNORGY"をテーマに、
自然環境と調和した、
豊かな明日のまちづくりに力をそそいで行きます。

Zenitaka

それは人が集まる場所。



存在感、魅力あるスペース、独創……　いい建造物には、そんな表現が当てはまります。
でも、人が何故集まってくるのかと言えば、そこにある優しさや信頼感からではないでしょうか。
我々は人に優しい空間を目指し、これからも期待に応えて行きます。

錢高組
URL http://www. zenitaka. co. jp

DAISUÉ HUMAN ARCHITECTURE

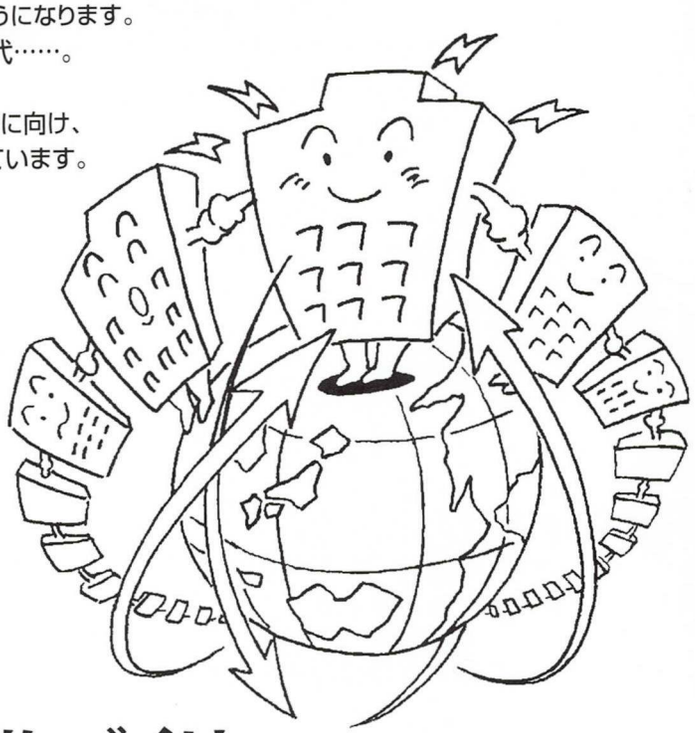
こころで築く。

橋を架ける、ビルを建てる、街を創る。
テーマは違っても向かう夢は一緒です。
気持ちはひとつです。
ひとりひとりが、その胸を熱くし、
人と建設の次の可能性を夢見ながら、
誠意と情熱で挑戦し続けます。
私たちは、ヒューマン・アーキテクチャー、
大末建設。



大末建設
本社／大阪市中央区南船場2−2−11 TEL.06(6264)3737 〒542−0081
本店／大阪本店・東京本店
支店／東北・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・四国・九州

情報を積極的に取り入れ上手に活かす……というのは20世紀までのお話。
21世紀は情報の質・量そのものが、生活水準を左右するようになります。
情報も、電気・水道・ガスと同じように、ひねれば出てくる時代……。
“東急沿線を日本有数のメディア環境に”
東急グループが推進する「スーパーテクノライン構想」実現に向け、
私たち東急建設は、建設業の立場からすでにアプローチしています。



WebHomeの提供

WebHome ／東急電鉄が運営するプロバイダー“246-net”と共同開発したインターネット対応マンションシステムにより、魅力ある情報インフラ環境を提供します。

既存建物のネットワーク化

機器メーカー、コンピュータ関連会社、管理会社などとの連携により既存建物の情報化を推進し、エンドユーザーの利便性を高めます。

IT新世紀へ、
つながる、広がる、建物づくり

TOKYU CONSTRUCTION
美しい時代へ——東急グループ
東急建設

人と環境のありかたを考える。
それも戸田建設の品質のひとつです。

ビル建設に伴う大量の廃棄物をゼロに——戸田建設が超高層ビルの新築工事において、いち早くゼロエミッションを達成しました。これも人と環境のよりよい関係を考え、建設のトータルな「品質」を追求してきた私たちの成果の一つです。さらなる省資源・省エネルギー技術の開発など、これからも私たちは地球環境問題と真正面から取り組んでまいります。

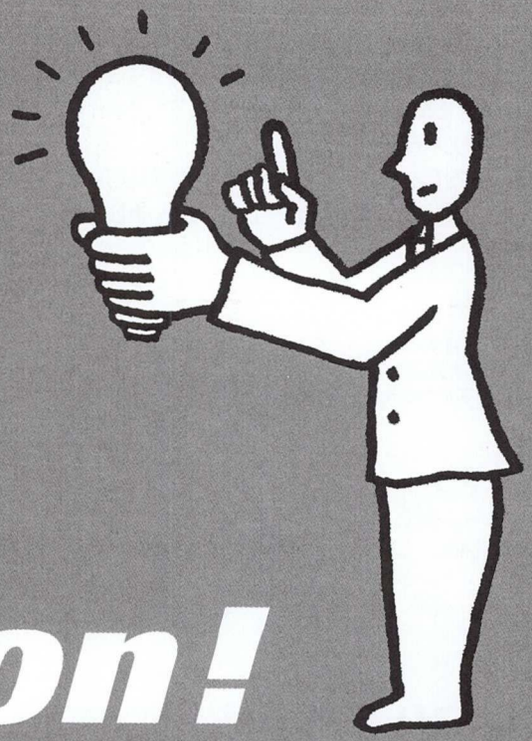


for the Best Quality for the Earth Environment
ISO 9001・14001認証取得

戸田建設

本　社/〒104-8388 東京都中央区京橋1-7-1 ☎(03)3535-1354
大阪支店/〒550-0005 大阪市西区西本町1-13-47 ☎(06)6531-6095
http://www.toda.co.jp/

私たちは、社会の、
時代のソリューションを考えます。
ソリューション・コントラクター、
前田建設です。



So,
Solution!

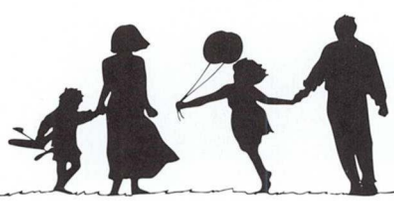
前田建設
MAEDA
〒550-8515 大阪市西区江戸堀1-3-15 新石原ビル http://www.maeda.co.jp

YUME 夢 TRONICS

夢×技=∞
無限大

安らぎと喜びがある。
生み出すための第一歩は
夢からもらった。
形を築くための第一歩は
技からもらった。
ふたつの可能性が出会う時
私たちのフィールドは
無限大です。

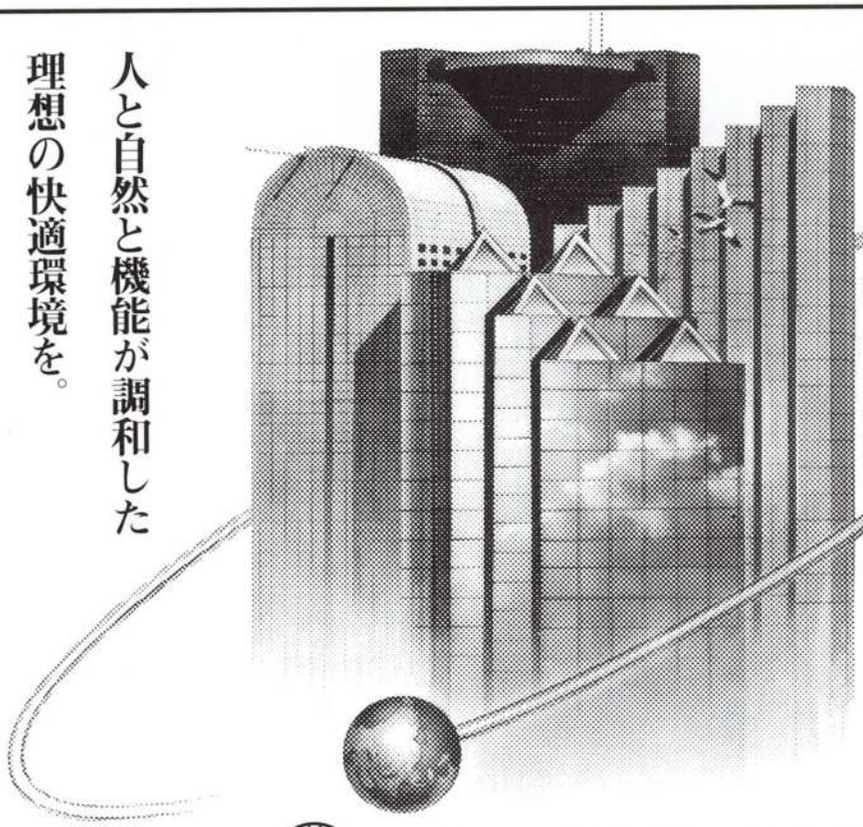
何時もあなたの街で、
お会いしている
クリハラ。
私達の生活環境に必要な
電気設備・エネルギー
情報通信・環境の分野で
企画、設計、施工、保守に
わたる一貫したシステムで
事業を展開しています。



創業1919 あなたの街でお会いしています
栗原工業㈱
本社／〒530-0017 大阪市北区角田町1-1（東阪急ビル） TEL. 06（6313）1101
東京本店／〒105-0014 東京都港区芝3-24-7（栗原東京ビル） TEL. 03（6400）3001

快適創造

人と自然と機能が調和した
理想の快適環境を。

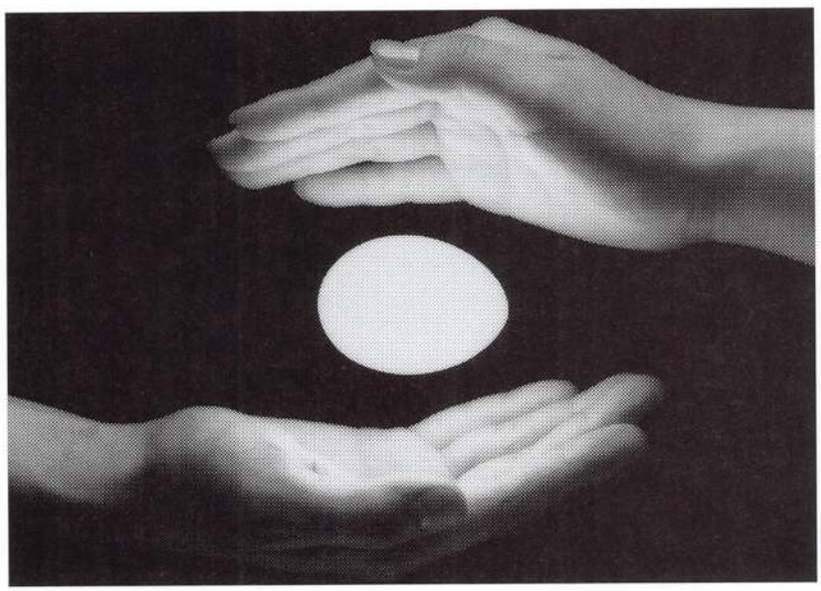


三機工業株式会社

関西支店：〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-4-30 ☎06-6350-8101

SANKEN
ENVIRONMENTAL ENGINEERING

設備は手にとって選べません。
だから……



大切なのは、技術の信頼性。
豊富な実績と、
そのなかで培われた
確かなノウハウです。
私たち三建設備工業は、
求められる環境を
信頼の技術で創りだします。

望まれる環境を、信頼の技術で。

三建設備工業株式會社

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛎殻町1-35-8 TEL03-3667-3431
〒530-0038 大阪市北区紅梅町3-5 TEL06-6352-1131

Engineering and Service

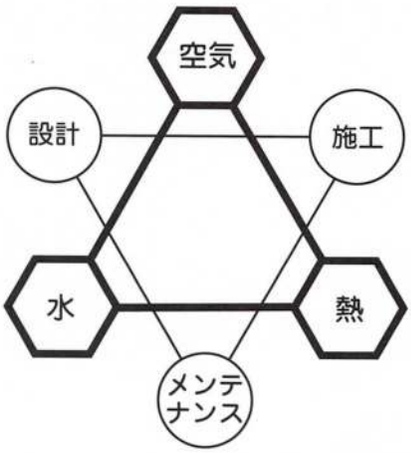


人類はグローバル・パワーで
環境破壊を懸命に
くい止めようと努力している
星を汚した現代人……
次代人にきれいな星を渡したい。

空気調和・衛生設備・設計施工
株式会社 三晃空調

本　社
大阪本店　大阪市北区西天満3-13-20　電話（06）6363-1371
東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　電話（03）3344-7911
支　店　仙台・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡

人・水・空気の調和をめざす
総合エンジニアリング企業



多様化するニーズに対応した技術力をもって、つねにお客様の立場で考え、ベストコーディネートした「空気」「水」「熱」の設備を提案しています。

株式会社 三冷社

本　社	〒104-8230　東京都中央区銀座１丁目７番３号（京橋三菱ビル）　TEL（03）3567-0451
東京支社	〒104-8230　東京都中央区銀座１丁目７番３号（京橋三菱ビル）　TEL（03）3567-0455
西日本支社	〒550-0003　大阪市西区京町堀２丁目９番８号（野澤ビル）　TEL（06）6446-0901
支　店	北海道・北関東・東関東・横浜・京都・神戸・中国・四国・九州
営業所	東北・宇都宮・城東・城西・多摩・川崎・静岡・松山・山陰・三原・福山・松江・山口
サービスセンター	全国13ヶ所

地球に空気です。

合いことばはSNK！



空気を素敵にする会社です。

人はもちろん、動物や植物、ＯＡ機器をはじめさまざまな機械にとっても快適な空間を追い求め、私たちは「地球主義」というスローガンのもと、地球全体のより良い環境づくりを目指しています。

人と空気と環境と
新日本空調

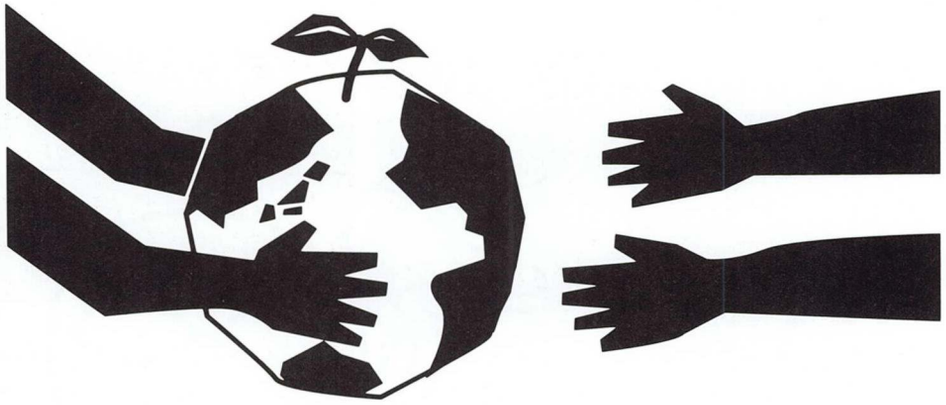
本　　社　〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町四丁目4番20号　三井第二別館　TEL.03(3279)5671
大阪支店　〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-2-6　新ダイビル　TEL.06(6344)6031
http://www.snk.co.jp



人が気持ちよく働ける場所を。
最先端の技術を支える空間を。
地球環境にやさしい快適さを。
私たちは、空調設備をメインに
最適環境を創造する企業です。

新菱冷熱

空気と水のエンジニア
SUGA
須賀工業株式会社
本　　社 03-3434-7111
大阪支社 06-6441-5171



環境と未来の世代のために。

よりよい環境を受け継ぐ世代に、子供たちのために。
わたしたちは、その理想の姿を、未来の世代の視点で捉え、
幅広い分野でSUGAの技術を活かしています。
空気調和設備、給排水衛生設備、防災設備……、
地球の環境を守りながら、人びとに快適な空間を提供する。
英知を集めた＜空気と水のエンジニアリング＞は、
世代を超えて、未来へ向かいます。



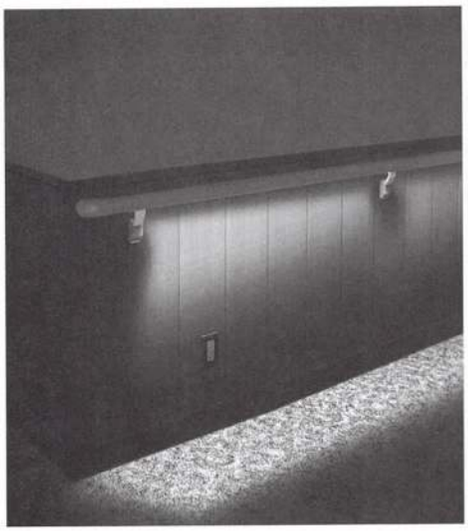
あなたの、
いちばん心地良い場所はどこですか。
きっと、多くの方が、
大自然の中をイメージされることでしょう。
私たちは、そんな快適さを
あらゆる建物の内に
創造していきたいと考えています。
もっとナチュラルに、
いつもあなたのそばに、ダイダンです。

Always With You.

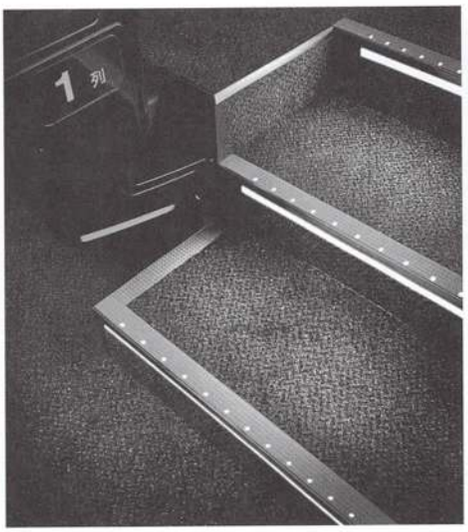
―光と空気と水を生かす―
ダイダン

寿命は半永久的！ LEDシリコンライトが内蔵され、夜間の安全性を飛躍的に高めます。

ATLAS



LED照明付
「ルナパイラ・手すり」



LED照明付
「ルナパイラ・ノンスリップ」

Luna pilot
ILLUMINATING GUIDE SYSTEM

- メンテナンスフリーで安心。
- 取付や加工もラクラク。
- 球切れの心配がいらない。
- 省エネ設計で、長時間の点灯もOK!
- LED光源部は防水性のため、漏電の心配なし。

建築環具の創造を目指す…
株式会社アトラス
本社／大阪市天王寺区東高津町11-9 日生上本町ビル7F
TEL(06)6765-2360(代) FAX(06)6765-2366 URL http://www.atlas-net.co.jp/
営業所／札幌・仙台・高崎・東京・横浜・名古屋・北陸・京都・大阪・広島・高松・福岡



車イスでも
底が邪魔にならない
浅めの設計です。

それは、すぐれた加工性をもつ建築素材、デュポンコーリアン®の一体成形型洗面カウンターだからです。美しい曲面フォルムや、ボウルの取り付け費用が不要という特長も、一体成形ならでは。もちろん、病院や高齢者施設での使用を前提に開発されています。さらに、継ぎ目が目立たない清潔な方法でのカウンター連結も自由自在。人にやさしく、安全で、清潔な洗面ブースを実現します。

デュポン コーリアン®製 一体成形型洗面カウンター
ラピード ホスピタリティーカウンター


深絞り丸型（RHS-F）


浅絞り丸型（RHS-A）



いちばん身近な、環境づくり。
ABC shokai
大阪営業所
〒540-6591大阪市中央区大手町1-7-31 OMMビル8F
TEL 06-6944-4900
<総合建材ホームページでもご覧いただけます。>
http://www.abc-t.co.jp

映像ソフトで新たな次代を切り拓きます。

■建築写真　■工事記録写真
■航空写真　■マルチメディアソフト出版
■ビデオ撮影・制作　■各種印刷物

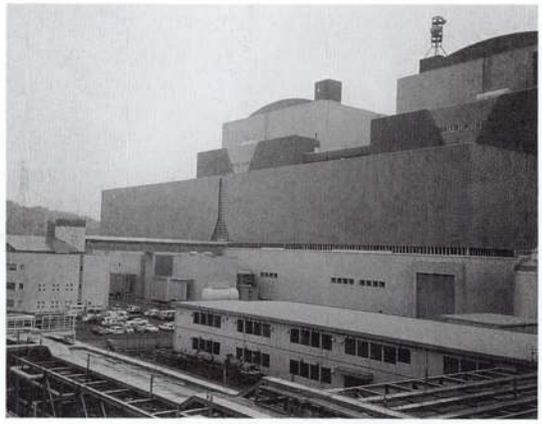
SS
エスエスグループ

SS大　阪	〒532-0011	大阪市淀川区西中島4-7-7	☎(06) 6301-5251㈹
本　　社	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1丁目14番3号	☎(03) 3719-1140
SS東　京	〒150-0022	東京都渋谷区恵比寿南1丁目14番3号	☎(03) 3719-1141
SS東　北	〒980-0022	仙台市青葉区五橋1丁目1番58号 ダイアパレス仙台中央	☎(022) 266-8881㈹
SS九　州	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-10-12-608 ハイラーク博多駅前	☎(092) 474-0191㈹
SS名古屋	〒462-0041	名古屋市北区浪打町1丁目15番1号	☎(052) 991-1161㈹
SS北　陸	〒930-0041	富山市向川原町2丁目16	☎(0764) 23-2334
SS金　沢	〒920-0003	金沢市疋田1丁目219	☎(0762) 53-0031
SS現像所	〒462-0041	名古屋市北区浪打町1丁目15番1号	☎(052) 914-1782

OSHIMA OHYO

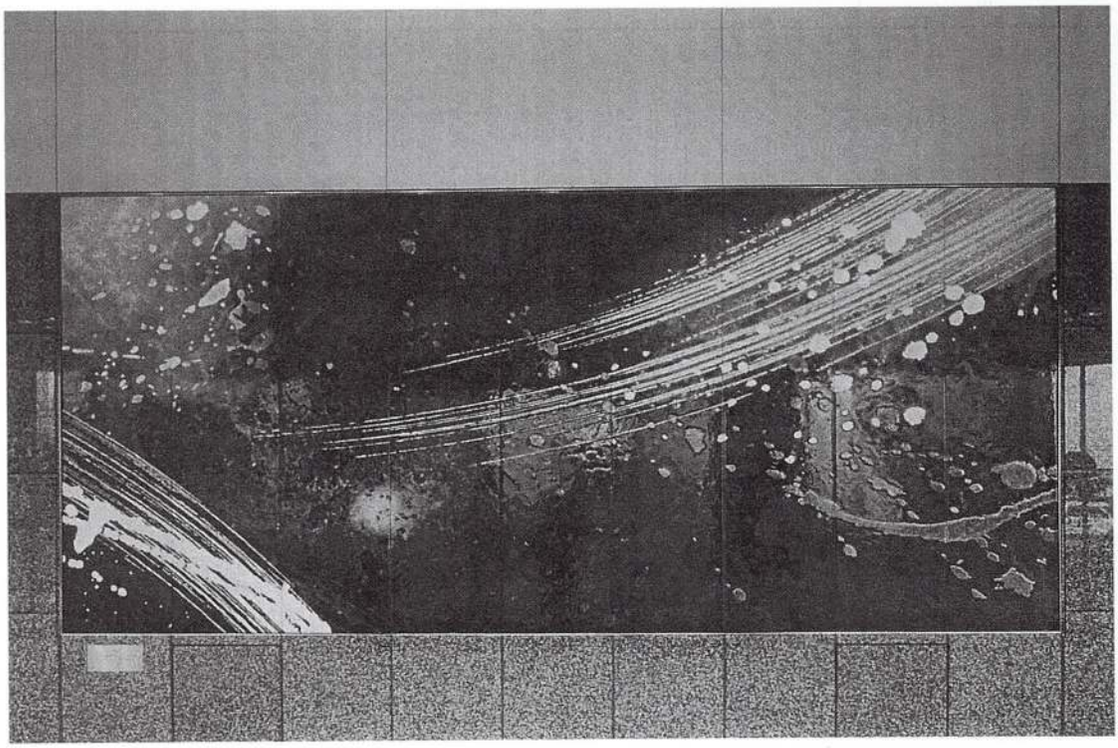
耐酸被覆鋼板のパイオニアとして半世紀の経験で培われた製品群はJIS表示許可工場（愛媛工場）で厳正な品質管理を行って皆様のニーズにお答えします。

■フッ素樹脂積層被覆鋼板
TOF（タフフロール）不燃(個)第11586号
■耐酸被覆鋼板
COM（ケミカラーオーシマメタル）不燃(個)第1326号
RMB（ルーフメタルB）不燃屋根用(個)第1006号
■長尺屋根外装材、換気装置
金属製折板屋根構成材（JIS A6514）
ベンチレーター
エアムーバー、モニター


電源開発(株)橘湾火力発電所1．2号本館

大島応用化学工業株式会社
本社　〒535-0001　大阪市旭区太子橋1-15-22
TEL.06(6954)6521　FAX.06(6954)6480
http://www.oshima-ohyo.co.jp

支　店／東　京　TEL.03(3580)6061
名古屋　TEL.052(241)8588
新居浜　TEL.0897(46)2300
営業所／四日市，岡山，広島，宇部，福岡



大型陶板

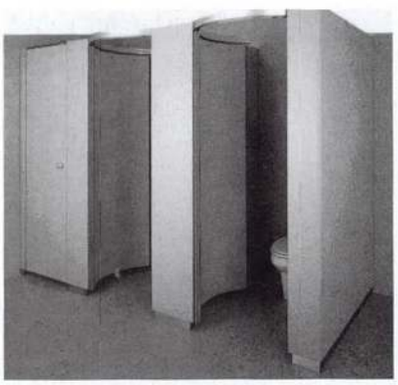
大塚オーミ陶業

●OTセラミック　●テラコッタ　●美術陶板

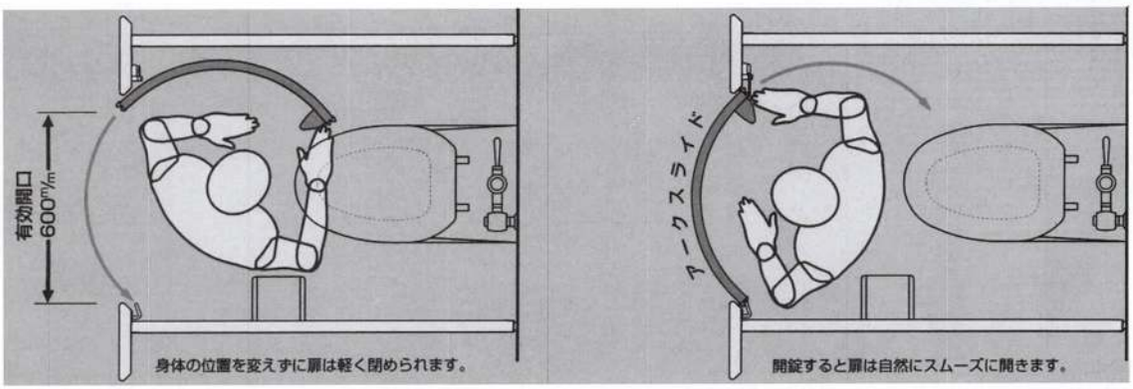
東京｜〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-6 TEL03(5295)3555 FAX03(5295)3556　大阪｜〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-21 TEL06(6943)6695 FAX06(6943)6487

画期的な扉の開閉(アークスライド)方式を採用した

トイレブース ウェイブレット



スペースの限られたトイレブースでは、扉の間口寸法が小さい内開き扉が主流ですが、扉の開閉の為に、どうしても使う人の動作が大きくなりますし、外開き扉では、急に扉を開けると通路にいる人と接触する危険があります。そのような問題を解決するために、扉のあるべきカタチと、動きを追及して生まれた（アークスライド）の扉開閉方式。扉は使う人のまわりをとり巻くように動きますので、開け閉めが大変ラクでスムーズに行えます。
操作性と安全性に優れたウェイブレット。やさしく、快適なトイレ空間が構成できます。

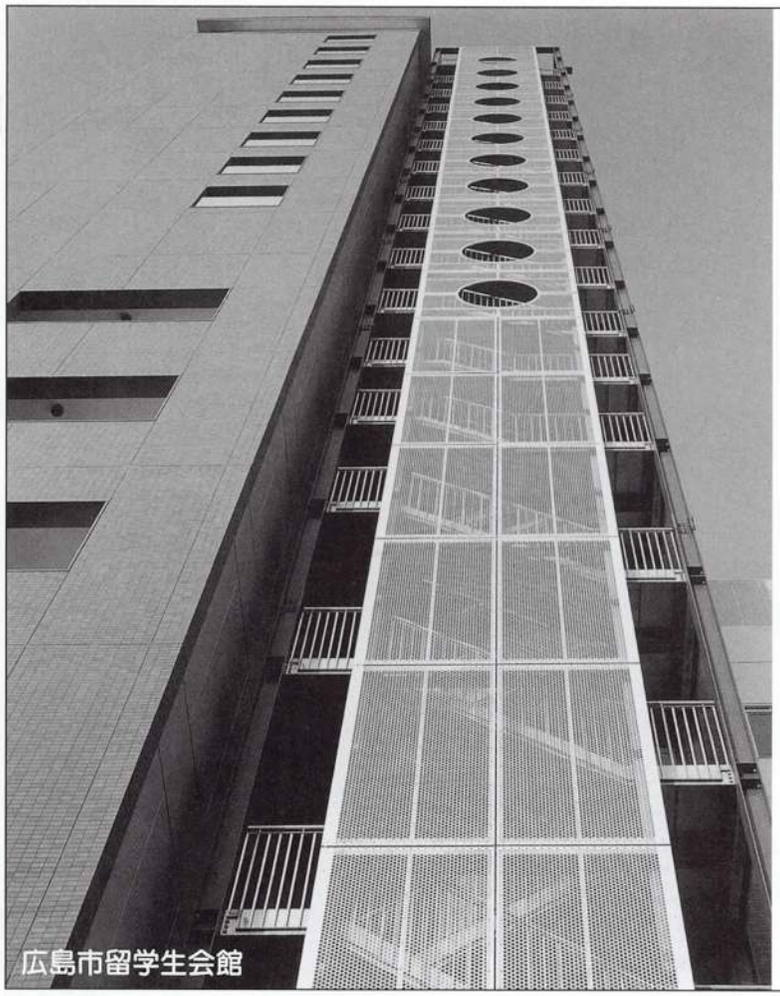


よい品は結局おトクです

オカムラ 株式会社 岡村製作所 市場開発部

〒542-0081 大阪市中央区南船場4-1-9南船場第一東洋ビル TEL 06-6282-4061 FAX 06-6282-4009
〒107-0052 東京都港区赤坂6-1-20国際新赤坂ビル西館 TEL 03-5561-4049 FAX 03-5561-4098

お問い合わせ・ご相談は◎お客様サービスセンターへ
フリーダイヤル0120-81-9060 月曜～金曜(祝祭日を除く) 9：00AM～6：00PM


広島市留学生会館

時代を先導する
「モノ」がたり

OKUJU は、人と環境と自然の調和を
目指しています。

内外装創作パネル・システム天井・間仕切

OKUJU
スペース クリエイター

本　社
大阪市北区西天満5丁目3番7号　〒530-0047
TEL(06)6312-4131　FAX(06)6312-7998
東京支社
東京都千代田区大手町1丁目2番3号 〒100-0004
TEL(03)3282-0910　FAX(03)3282-0920
九　州：092-291-0459　横　浜：045-323-0910
南九州：0985-22-7311　名古屋：0586-76-5816
上　海：021-6386-5899

株式会社 オクジュー

http://www.okuju.co.jp

世界のハイテクスポーツ施設を作って、74年。

誰がつくっているか知らないが、
誰もが知っているスポーツ施設。

スポーツ施設づくりの
奥アンツーカ株式会社

ホームページアドレス　http://www.oku.co.jp

本社・営業本部／〒541-0059　大阪市中央区博労町4-5-3…(06)6252-3333
東京本部／〒160-0004　東京都新宿区四谷4-14…… (03)3350-0903
東京支社…03-3355-0371　近畿支店…06-6252-0101　中部支店…052-531-4411
中国支店…082-291-5351　九州支店…092-501-0301

ALESCO

地球に優しく、人にあたたかく。
環境改善シリーズ

光触媒により さらに進化しました。

コア（粒子内架橋）
耐水性
耐洗浄性

シェル層
造膜性
乾燥性
耐凍結融解性

「粒子内架橋コアシェルエマルション」が、
超低VOCと高性能を両立させました。

JIS K 5663 1種
超低VOC/超低臭/多機能タイプ

環境改善型アクリル樹脂エマルションペイント

エコデラックスII

関西ペイント販売株式会社 建設塗料本部

本社 〒144-0045 東京都大田区南六郷3丁目12番1号 TEL.(03)5711-8901 FAX.(03)5711-8931

関西ペイントホームページ http://www.kansai.co.jp

元旦 健康と環境と機能をつくる建材。

マイナスイオン・遠赤外線発生の屋根システム

シックスクール症候群・消臭など建築の環境対策を提案!

マイナスイオン・遠赤外線発生、屋根システム

元旦ユ鋼岡システム

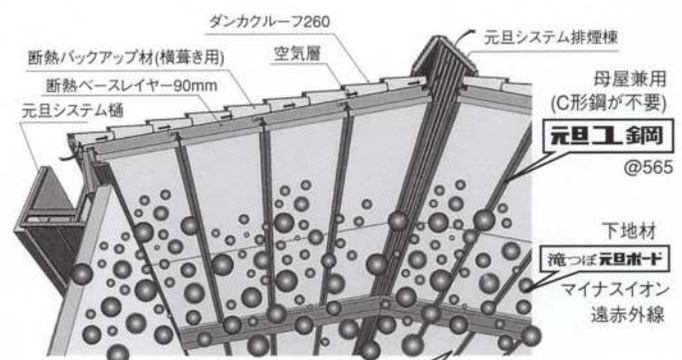
環境問題に配慮した、屋根システムづくり。

■特許登録6件・意匠登録68件、その他多数出願中

■マイナスイオン発生の下地材「滝つぼ元旦ボード」で、室内環境を改善。
・ホルムアルデヒド減衰効果で、シックハウス症候群対策に有効。
・アンモニア消臭効果で、トイレ等の悪臭対策に有効。
■母屋兼用の「元旦ユ鋼」を使用した屋根システム。
・断熱材を自由に組み込めるため、施設のニーズに合わせた高断熱性能を実現。
・高防水・高強度の屋根システムにより、地震・台風・豪雨等に対応。
■下地材の中間に、流動する空気層をつくる外断熱工法により結露防止・躯体の保護等、建築機能をさらに向上させます。

母屋兼用の「元旦ユ鋼」を使用した新工法の屋根システム!

■元旦ユ鋼システム・ダンカクルーフ260



母屋が出っ張らないから、天井(内観)がスッキリ!

製造発売元 元旦ビューティ工業株式会社 大阪支店 大阪市中央区高麗橋2-6-10 TEL(06)6223-1841

●本社 神奈川県藤沢市湘南台1-1-21 TEL(0466)45-8771

マルク ヨク サンキュー
フリーダイヤル 0120- 09-49-39

新発売

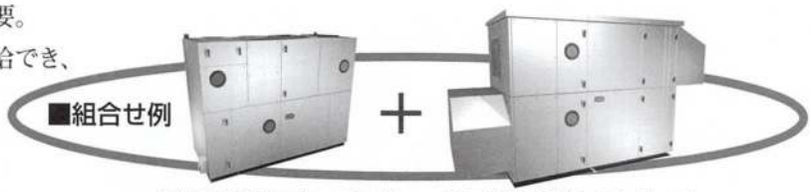
KIMUKOHの
オールヒーポン空調

空冷ヒートポンプ式熱回収外調機 ベストブレス
空冷ヒートポンプ式循環空調機 マイティマルチ

エアハン方式の性能・機能をヒートポンプ方式で、より安く！より簡単に！より快適に！

- ヒーポン方式だから冷温水の諸設備が不要。しかも室内・外ユニット一体化で、冷媒配管も不要。
- 排熱回収は冷媒回路ユニットで行い、全熱交も不要。
- 過冷却・除湿・再熱による“快適ドライエアー”が供給でき、アンダーフロア空調に対応。
- 豊富な機種と優れた耐久性。メンテナンスも楽。
- 季節、時間帯ごとの空気条件に合わせ、冷房・暖房・外気冷房・ドライの自動運転。

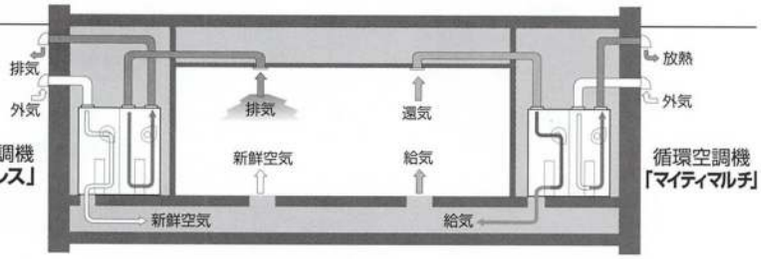
■組合せ例



循環空調機「マイティマルチ」　熱回収外調機「ベストブレス」

■オールヒーポン空調機器の設置例／熱回収外調機＋循環空調機

熱回収外調機で外気導入し、排気を壁面から行います。オフィスビルなどでゾーンごとに快適ドライエアーによるアンダーフロア空調ができます。ダクトが短く工事が楽です。



木村工機株式会社
本社／〒540-0005 大阪市中央区上町A番23号
TEL06(6764)6161(代)・FAX06(6764)6163
http://www.kimukoh.co.jp/

東京営業本部 03(3273)8821(代)　札幌営業所 011(207)3535(代)　八尾事業本部 0729(23)0621(代)
本社営業部 06(6764)6031(代)　新潟営業所 025(244)7771(代)　八尾製作所 0729(23)0621(代)
名古屋支店 052(211)5048(代)　長野営業所 026(222)6467(代)　河芸製作所 059(245)6500(代)
福岡支店 092(441)4357(代)　金沢営業所 076(233)5230(代)
仙台支店 022(261)1561(代)　広島営業所 082(262)5039(代)

ハンドレール丸型
木目調



特長

■機能だけでなく建物内のインテリア効果も追求しました。

■病院・オフィス・大型小売店・駅・学校一般ビルなど、巾広い用途にお使いください。

■抗菌剤入りで病院内感染も防げます。

■豊富な部材バリエーションでシンプルなデザインです。

■カラーはライト・ミディアム・グレイオークの3色揃っています。

■サイズは外径34㎜・40㎜があります。

ケージーパルテック株式会社
PALTEC
本　社 〒581-0041 大阪府八尾市北木の本1丁目51番地　TEL(0729)23-1311(代)　FAX(0729)94-5008
東京営業所 〒130-0011 東京都墨田区石原3丁目16-1-102号　TEL(03)3621-0331(代)　FAX(03)3622-5008
福岡営業所 〒811-2301 福岡県粕屋郡粕屋町上大隈203番16　TEL(092)939-2881(代)　FAX(092)939-2468

三協アルミ



広がるくつろぎフルオープン

全開口サッシ
レポルテⅡ

広がる光景、全身に感じる風の心地よさ。
居室とベランダがひとつの空間に変わり
ガーデニングや家族それぞれのホビーなど
独自の生活スタイルが活き活きと描かれる‥‥
そんな素敵な暮らしを実現する
全開口サッシレポルテⅡ（アコーディオン網戸一体型）。
単板タイプ・複層タイプに続き
防火タイプ・防露枠が加わりました。

パネル4枚の開閉状態　パネル6枚の開閉状態

2枚　2枚　2枚（4枚）　4枚（2枚）
＊（　）内は逆勝手の場合

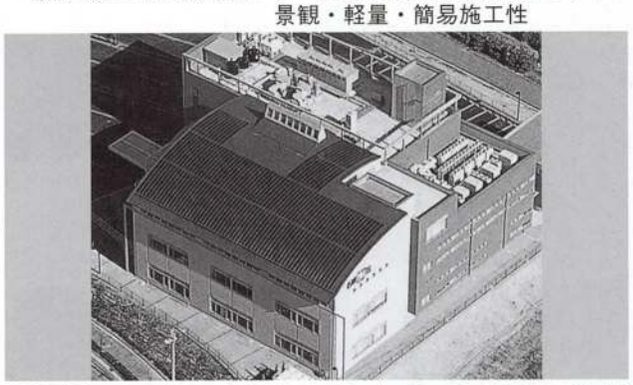
●基本性能
耐風圧性:S-4～S-6
（2000～2800Pa）
水密性：W-5（500Pa）
気密性：A-4（2等級線）
遮音性：T-2（30等級線）
＊耐風圧性能および使用ガラスにより開口限度は変わります

●障子パネルサイズ
4枚タイプ
1174≦W≦2700
1501≦H≦2330
250≦P≦631.5
6枚タイプ
1901≦W≦3600
1501≦H≦2330
250≦P≦631.5

三協アルミニウム工業株式会社
本社／〒933-8610 富山県高岡市早川70 ビル建材部TEL.0766-20-2201
関東ビル建材支店TEL.03-3586-8451 名古屋ビル建材支店TEL.052-588-2055
関西ビル建材支店TEL.06-6448-5451 http://www.sankyoalumi.co.jp/

金属屋根のブランド『三晃式』で
おなじみの三晃金属工業が、
ますます多様化する社会のニーズ
に応え、豊かな環境づくりに
配慮した屋根の創造に貢献
してまいります。

●金属屋根材（一体型太陽光発電システムルーフ）
第5回新エネ大賞受賞：アーチ葺も可能な自由度の高いデザイン
景観・軽量・簡易施工性



■設置例　アサヒプリテック㈱・テクノセンター（ソーラーフラット500、アーチタイプ）
20.2KW

●勾配屋根緑化（サミットグリーンシステム）
エックスロン鋼板屋根+ガーデンマットによる軽量緑化システム



■設置例　田貫湖ふれあい自然塾（草屋根思想）展示棟、コテージ棟

三晃金属工業株式会社
Sanko
営業グループ☎06-6444-9012
営業推進チーム☎06-6444-9013
FAX 06-6444-9020

大阪支店
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-4-8
（日栄ビル3階）
E-mail:osaka-1@sankometal.co.jp
http://www.sankometal.co.jp

SANYO
人と・地球が大好きです

もっと環境にやさしく

業界トップの冷暖平均
COP1.33※達成
さらに先行くサンヨーのGHP



（13・16・20馬力相当）　（8・10馬力相当）

新シリーズ誕生！
J1シリーズ
サンヨーガスヒートポンプエアコン
※COP1.33＝冷暖平均・20馬力（ガス種13A、プロパンの場合）
○ご使用前に「取扱説明書」・「据付説明書」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

三洋電機空調株式会社
業務用空調企画部
〒113-8434 東京都文京区本郷 3-10-15　TEL.03-5803-3464
北海道支店 TEL.011-261-3434　近畿支店 TEL.06-6339-5791
東北支店 TEL.022-722-2740　中四国支店 TEL.082-279-8701
東京支店 TEL.03-5803-3457　九州支店 TEL.092-441-4141
中部支店 TEL.052-733-3331　沖縄三洋販売㈱ TEL.098-878-3411

三和シャッター

三和の遮煙防火設備がエレベータ前防火区画の遮煙対策に威力を発揮します。

近年、多くのビル火災で煙により尊い命が失われていることから、いざというときに重要なのが遮煙防火設備。
ドアコン遮煙引き戸をはじめ三和の遮煙防火設備には、さまざまなラインアップが揃っています。
ご用途に合わせお選びください。


防煙シャッター＋袖扉（遮煙開き戸）
効率的にまとめて区画するのに最適です。
認定 CAS-0002

ドアコン遮煙引き戸
高い遮煙性能を持ち、意匠性にすぐれています。エレベータの直前で区画するのに最適です。
認定 CAS-0005




ポストレス防煙シャッター（袖扉納まり）
柱を必要としないのでスッキリとした空間を造ることが可能です。
認定 CAS-0002

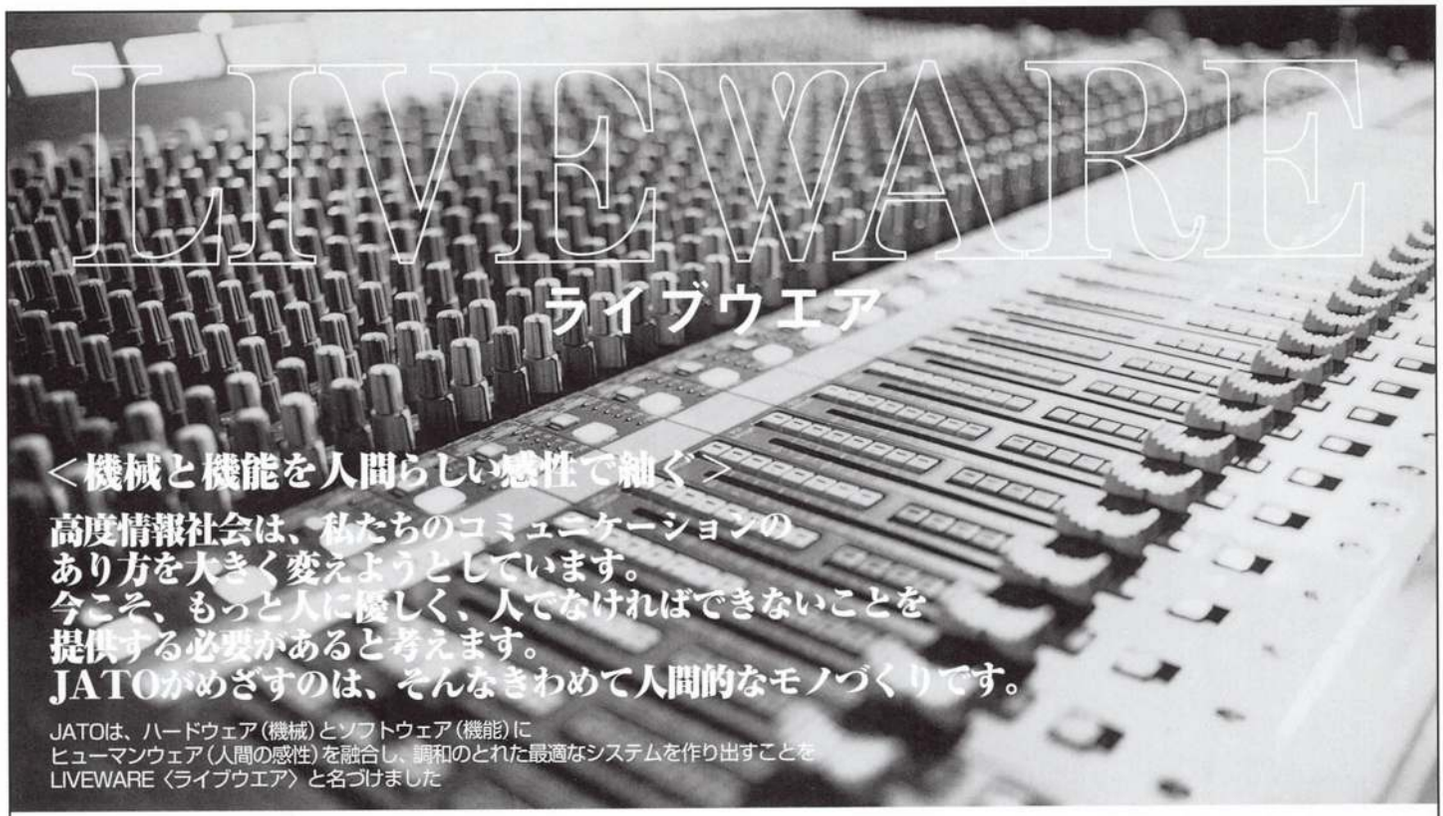

遮煙開き戸（戸袋付遮煙防火ドア）
コストパフォーマンスが高く、バリエーションも豊富です。
認定 CAS-0002


サンシリカスクリーン（ウォークスルータイプ）
意匠性にすぐれた空間を提供します。
認定申請中

―告示1111号失効に伴うエレベータ前防火区画の遮煙対策に―
三和の遮煙防火設備

国土交通大臣認定取得
CAS-0002　CAS-0004
CAS-0003　CAS-0005
CAS-0003は耐熱ガラス入り遮煙防火ドア
CAS-0004は木質系遮煙防火ドア

三和シヤッター工業株式会社
本社営業推進部　東京都新宿区西新宿2-1-1 三井ビル52F　Tel.03-3346-3011
関西営業推進部　大阪府大阪市淀川区宮原4-4-50 真和ビル8F　Tel.06-6396-6871



＜機械と機能を人間らしい感性で紡ぐ＞

高度情報社会は、私たちのコミュニケーションの
あり方を大きく変えようとしています。
今こそ、もっと人に優しく、人でなければできないことを
提供する必要があると考えます。
JATOがめざすのは、そんなきわめて人間的なモノづくりです。

JATOは、ハードウェア（機械）とソフトウェア（機能）に
ヒューマンウェア（人間の感性）を融合し、調和のとれた最適なシステムを作り出すことを
LIVEWARE〈ライブウエア〉と名づけました

営業品目●ホール音響システム●スタジオAVシステム●会議場AVシステム●各種宴会場・専門結婚式場AVLシステム●特殊音響照明システム●各種一般・防災放送システム●地下鉄集中自動放送システム●CATVシステム●CCTVシステム●入室管理システム●セキュリティシステム●ホテルフロント会計システム●ホテル客室管理システム●ホテルベイシステム●フロントキー管理システム●特殊インターホンシステム●空調システム●産業用省力・自動制御システム

JATO Japan Advanced Technology Operations

ジャトー株式会社
旧社名：日本通信小野特機㈱

〒530-0053 大阪市北区末広町1番22号 TEL 06-6313-1352 FAX 06-6313-0582
支店／東京・台湾 営業所／神戸・和歌山・広島・四国・徳島・九州・北京
URL:http://www.jato.co.jp

アルミハニカムパネルの総合メーカー



研究成果活用プラザ

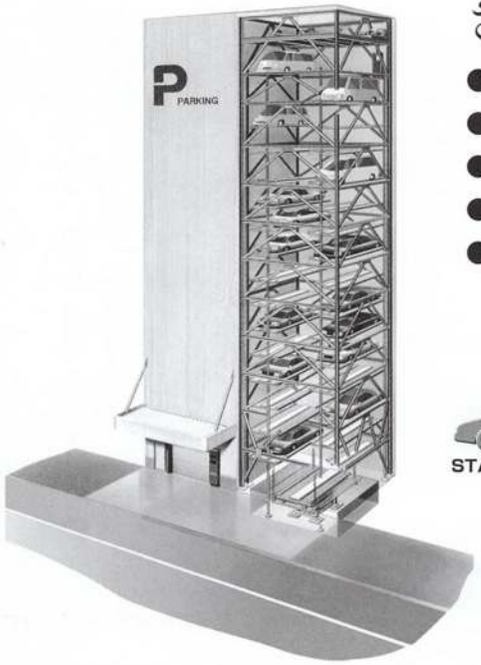
庇・シェルター…外壁材等に多用
されるアルミハニカムパネル。
技術の総力を結集し、
ベストプランを提供していきます。

神鋼ノース株式会社

本社・工場 〒315-8523 茨城県新治郡千代田町上稲吉1758番地1
☎2999（59）4111㈹ FAX 0299（59）4597
東京支店 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1丁目10番5号（TMMビル）
☎03（5820）3811 FAX 03（5820）3819
大阪支店 〒550-0013 大阪市西区新町1丁目4番26号（四ツ橋中央ビル）
☎06（4390）1221 FAX 06（4390）1231

トップクラスのコンパクト設計。フレキシブルに3車種を収容。

ShinMaywa



さらに進化を続けるNEWエレパーク。

- ●駐車設備の平面・高さ寸法をさらに縮小、業界トップクラスのコンパクト化を実現。
- ●乗用車、ミドルルーフ車、ハイルーフ車など3車種をフレキシブルにミックス収容。
- ●パレットが地震の揺れでも落下することのない保持機構（特許出願中）を他社に先駆けて採用。
- ●出水対策として、ピット内の旋回機構を冠水させない機構（特許出願中／オプション）を新開発。
- ●365日・24時間のアフターサービス、異常をいち早く発見する管理支援システム（MAIN）もご用意。

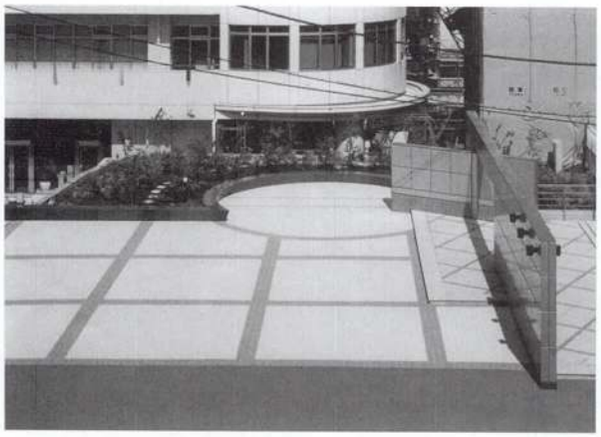


エレベータ方式駐車設備
NEW エレパーク
〈ET-D〉

新明和工業株式会社 パーキングシステム営業部
〒110-8620 東京都台東区東上野5丁目16番5号（新明和上野ビル）TEL03-3842-6101 FAX03-3842-6102
〒530-0013 大阪市北区堂島1丁目6番20号（堂島アバンザ）TEL06-6442-3151 FAX06-6347-7512

弾性FRP複合防水システム

ポリルーフ



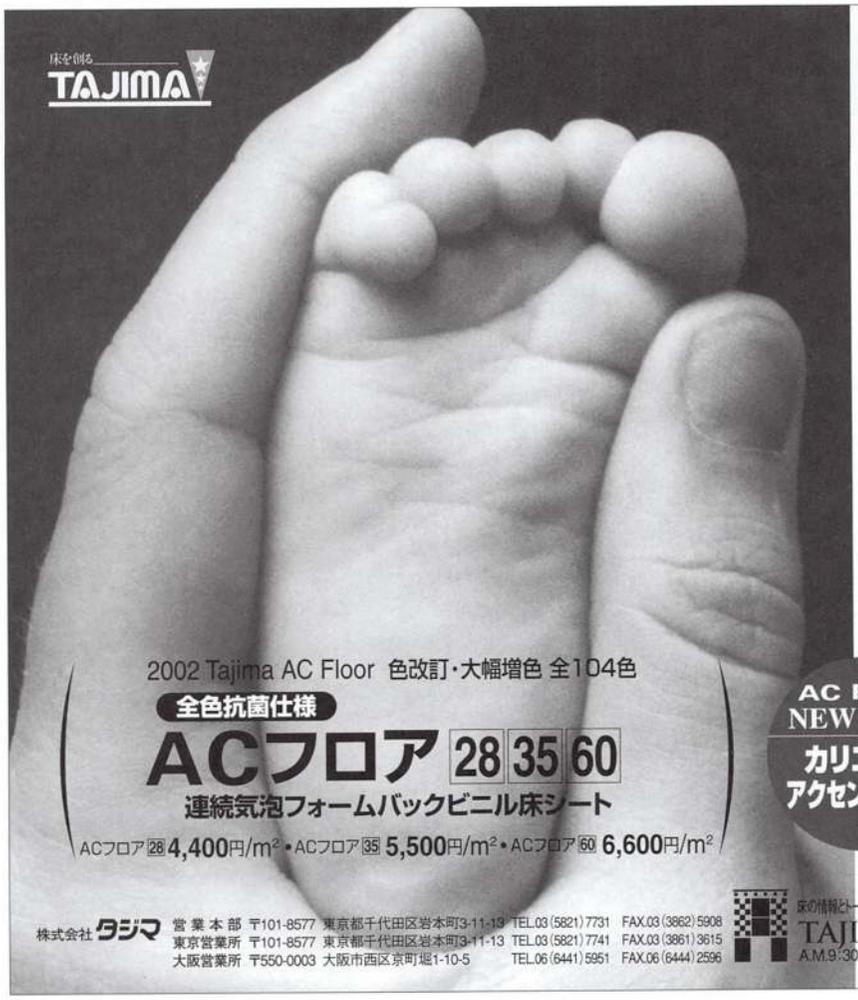


帝塚山学園（奈良県）

FRP防水材メーカー

双和化学産業株式会社

本　　社　兵庫県神戸市兵庫区芦原通1丁目2－26　TEL 078-651-6272 FAX 078-651-6276
大阪営業所　大阪市西区新町1－7－5マッセ四ツ橋ビル501　TEL 06-6539-9608 FAX 06-6539-9658
東京営業所　東京都港区三田3－1－9大阪家ビル7F　TEL 03-5476-2371 FAX 03-5476-0881
ホームページ http://www.sowa-chem.co.jp



やさしさに包まれて

「人を守る」という開発思想の中で、約三十年前に出発した連続気泡フォームバック長尺床材ACフロアは、病院、学校、福祉施設などに高い評価を受けています。2002年、新デザインとして「カリエンテ」「アクセントカラー」シリーズを加えて、ACフロアの世界が一段と強化されました。

床を通して〝人を守る快適空間づくり〟タジマは、このAC哲学をさらに発展させていきたいと思います。

2002 Tajima AC Floor 色改訂・大幅増色 全104色

全色抗菌仕様

ACフロア 28 35 60

連続気泡フォームバックビニル床シート

ACフロア 28 4,400円/m² ・ACフロア 35 5,500円/m² ・ACフロア 60 6,600円/m²

AC Floor NEW Series
カリエンテ
アクセントカラー

株式会社タジマ
営業本部 〒101-8577 東京都千代田区岩本町3-11-13 TEL.03(5821)7731 FAX.03(3862)5908
東京営業所 〒101-8577 東京都千代田区岩本町3-11-13 TEL.03(5821)7741 FAX.03(3861)3615
大阪営業所 〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5 TEL.06(6441)5951 FAX.06(6444)2596

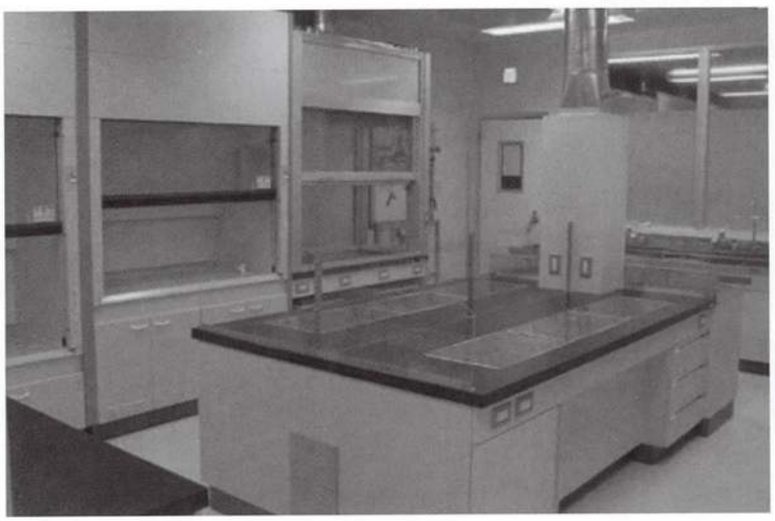
床の情報とトータルなソフトを提案するタジマショールームへぜひお越しください。
TAJIMA SHOWROOM
A.M.9:30～P.M.5:30（土・日・祝日休館）TEL.03(5821)7731
（アドレス：http://www.tajima-inc.co.jp）

DALTON

研究施設
検査施設

- ドラフトチャンバー
- 実験台・流し台
- 調剤台・保管戸棚
- 天秤台・測定台
- 病理切出し台
- 排ガス洗浄装置
- 臭気浄化装置
- クリーンベンチ
- バイオハザードキャブネット
- クリーンルーム
- 低温室・恒温恒湿室

長年培った研究施設づくりのテクノロジーで
多様化、高度化する研究開発ニーズに
お応えしていきます。



株式会社ダルトン

施設事業部
東日本営業本部 〒162-8409 東京都新宿区市ヶ谷左内町９番地
TEL 03-5261-3811 Fax 03-3267-2537・2157
西日本営業本部 〒536-0006 大阪市城東区野江１丁目17番５号
TEL 06-6786-5620 Fax 06-6786-5120

Taiheiyo Material

アサノライト（人工軽量骨材）
エクスパン（コンクリート用膨張材）
太平洋ショットマスター（トンネル急結材）
ユーロックス、ファイブスター（無収縮材）
太平洋生SL（プラント出荷型セルフレベリング材）
アサノスプレーコート（耐火被覆工事）
太平洋NN-P（コンクリート用躯体防水材）
ブライスター（静的破砕剤）
エースライト（セラミック系人造木材）
モルヒット・エコ（タイル下地用モルタル）

（旧株式会社 アサノ、 株式会社 小野田 の合併新会社）

太平洋マテリアル株式会社 関西支店

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-2-2 ニチメンビルディング 3 F
TEL.06（6228）6660 FAX.06（6228）6683 http://www.taiheiyo-m.co.jp

MakMax





▲大阪プール 設計／大阪市都市整備局・東畑建築事務所 施工／フジタ・鴻池・藤木JV 太陽工業取扱製品／A種膜

http://www.taiyokogyo.co.jp

太陽工業のWEBサイトには、さまざまな膜面構造物やスペースフレームの情報が満載。
各種カタログもインターネットから簡単に入手できます。
ドームからテント、スペースフレームまで、
太陽工業のWEBサイトをのぞいてみませんか。

太陽工業株式会社 空間デザインカンパニー 〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-8-4 TEL06-6306-3078
大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・新潟・千葉・さいたま・横浜・浜松・神戸・広島・福岡・沖縄/アメリカ・中国・台湾・タイ・シンガポール・マレーシア・ドイツ・オーストラリア

コンクリート混和材

高性能膨張材 デンカパワーCSA

JIS A 6202 適合品

コンクリートの耐久性を向上させるには、有害なひび割れを防ぐことが重要です。

高性能膨張材『デンカ パワーCSA』は遊離石灰の膨張反応をエトリンガイトを生成する成分でコントロールし、安定した高膨張制御技術により、コンクリートの収縮補償を実現した画期的な石灰・エトリンガイト複合系膨張材です。

従来の石灰系膨張材やエトリンガイト系膨張材と比べ、標準添加量が2／3と低添加を実現することで経済性も向上したところが特徴で、ひび割れ対策に最適なコンクリート用膨張性混和材（JISA6202適合品）です。

住宅品質確保促進法の施行や性能照査への設計体系の移行に伴い、益々ニーズが増 し、注目されている材料です。



特 徴

①収縮低減効果

材齢初期に膨張ひずみをコンクリートに導入することにより、コンクリートの自己収縮、乾燥収縮、温度収縮を低減し、有害なひび割れを防ぎます。

②水密性向上

コンクリートが緻密になることにより、透水係数が大幅に低下し、水密コンクリートとして適しています。地下構造物やピット等、水密性が求められる構造物によく採用されています。

③経済性向上

コンクリートの耐久性が向上することにより、長寿命コンクリートとなることはもちろんのこと、従来の膨張材に比べ、1m³当たりのコストが約2割安くなり、使いやすくなったことが特徴です。

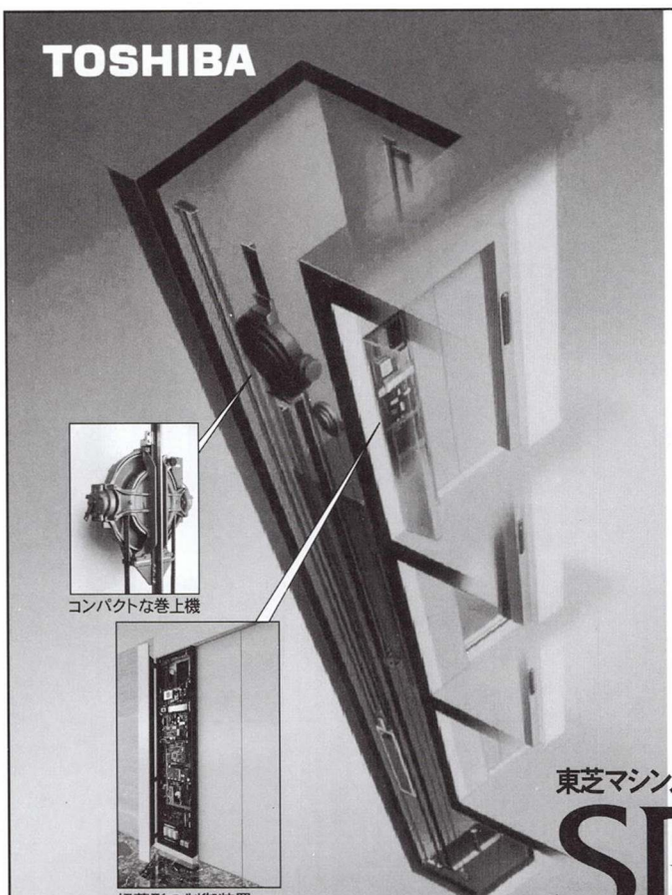
＜パワーCSA＞（標準添加量20kg/m³）

- タイプS 120円/kg（従来品：100円/kg×30kg/m³）（乾燥収縮低減）
- タイプR 140円/kg（従来品：120円//kg×30kg/m³）（温度収縮低減）

デンカ 電気化学工業株式会社

〒530-0011 大阪市北区梅田1-12-39（新阪急ビル）
TEL. 06-6342-7611 FAX. 06-6342-7699
URL http://www.denka.co.jp

TOSHIBA



コンパクトな巻上機

超薄形の制御装置

エレベーターから機械室が消えた！

「エレベーターから機械室をなくした」
画期的なエレベーター
東芝マシンルームレスエレベーター〈スペーセル〉。
マシンルームレス以外にも、
数々の優れた特長があります。
まず、その豊富なバリエーション。
〈スペーセル〉は、マンションなどの住宅用だけでなく、
オフィスやテナントビルなどの乗用、
病院など医療施設の寝台用と充実しています。
さらに、最大昇降行程は75m。
32階建ての建築物にも対応するなど、
設計・デザインの可能性をいちだんと拡大。
まさに時代が求めた新世紀のエレベーターです。

東芝マシンルームレスエレベーター スペーセル

SPACEL



株式会社東芝 関西支社 総合営業部
〒531-6126 大阪市北区大淀中1-1-30（梅田スカイビル タワーウエスト） TEL（06）6440-2034 FAX（06）6440-1643

東芝エレベータ株式会社 関西支社
〒550-0004 大阪市西区靭本町1-11-7（信濃橋三井ビル） TEL（06）6445-3110 FAX（06）6445-3119

TOSHIBA

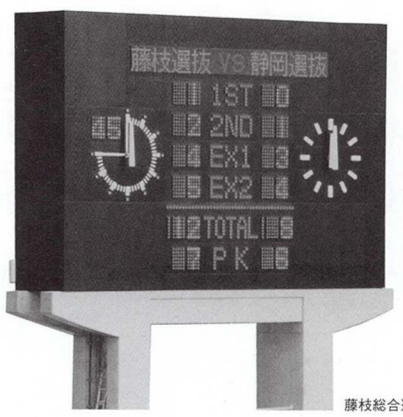
DOGA ムービングプロジェクションシステム

Active Vision Ⅳ AV-4



■AV-2に比べ明るさ（約3倍）と解像度の大幅アップを実現。
■直接入力によるコンピュータ制御が可能。
■新時代のムービングプロジェクタ「Active Vision」が、従来にない魅力的な映像／照明演出に対応可能。
■高精度位置決め再生によるマルチビジョンシステムに対応。

多目的用途に対応する 東芝スコアボード



藤枝総合運動公園サッカー場

主な取扱商品
大型映像表示装置
野球場／競技場スコアボード
メッセージボード

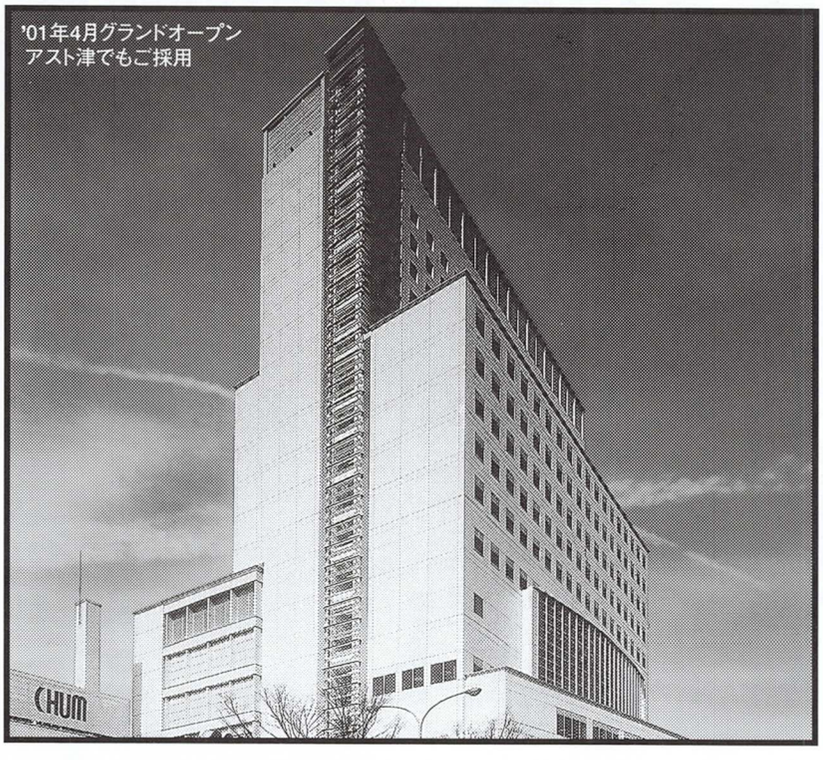
東芝ライテック株式会社

システム事業部 アートライティング部
〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-7 南品川Jビル9階 TEL:03-5769-8152 FAX:03-5769-8167
営業所: 北海道営業所／東北営業所／中部営業所／関西営業所／中国営業所／九州営業所

DS事業推進部
〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-13 南品川JNビル TEL:03-5463-8083 FAX:03-5463-8744
営業所: 北海道営業所／東北営業所／信越営業所／首都圏営業所／中部営業所／北陸営業所／関西営業所／中国営業所／四国営業所／九州営業所

家を、街を、地球をきれいにするタイル。 TOTOハイドロテクトタイル。

TOTO HYDROTECT

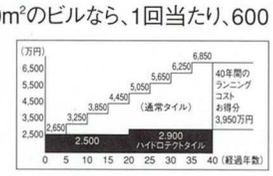


信頼の証拠。東海地区でも続々ご採用いただいています。

◎いつまでも美しく。
セルフクリーニング効果。

◎人と環境にやさしく。
NOX除去、1000m²でポプラ並木70本分の除去能力。

◎時が経つほどお得なタイル。
通常、ビル外壁の洗いは、5年に一度、洗剤での洗浄が必要と言われています。5000m²のビルなら、1回当たり、600万円のコストが発生。ハイドロテクトタイルなら、20年に一度、水洗いをするだけで十分。財布にも環境にもやさしいタイルです。

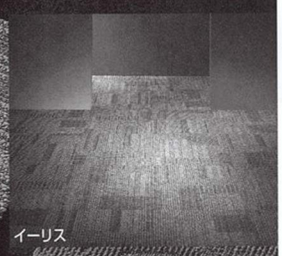


汚れを防ぎ、汚れを流す。
TOTOハイドロテクトタイル

お問い合わせ、カタログのご請求はお近くのTOTOへ
大 阪 支 社／〒530-0057 大阪市中央区久太郎町3-6-8 ☎(06)6253-5600

さらに広がって、さらに個性豊かに。
空間を思いのままに彩る、
グラフィックタイルカーペット
《GX》シリーズ。

新ラインナップが加わって、
12種類のバリエーション。
さらにバラエティ豊かなテイストが
揃いました。

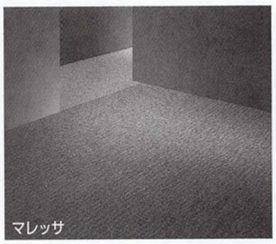

イーリス

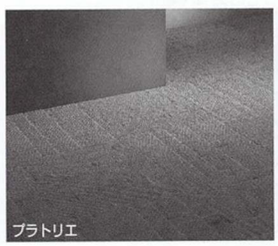

ラティオ

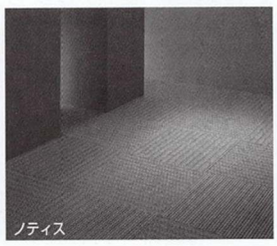
TOLI

グラフィックタイルカーペット
GXシリーズ


スパニオン


マレッサ


プラトリエ


ノティス

東リ株式会社
【URL】http://www.toli.co.jp

西日本営業開発部 TEL.06(6943)1645
名古屋ショールーム TEL.052(745)1691
大阪ショールーム TEL.06(6943)1649
東日本営業開発部 TEL.03(5403)2067
札幌ショールーム TEL.011(214)8313
東京ショールーム TEL.03(5421)3711

日東紡は、環境に対応した製品をお届けします。

ソーラトン本実（ほんざね）

アメニティ天井シリーズ

ソーラトン本実「アメニティ天井シリーズ」は、住空間の湿度を適度に調節する調湿性能と、環境への悪影響が懸念されるホルムアルデヒドを吸着分解性能を付加した天井板です。

エコマーク商品



ECOLOGY FLOOR environment conscious.

ポリオレフィン系床材
オレフシリーズ

非塩ビ系の床材オレフシリーズは主原料に特殊ポリオレフィン系樹脂を用いた環境に優しい床材です。

ソーラトンEnet イーネット
モバイルネットワーク対応 / 電磁波吸収ロックウール化粧吸音板

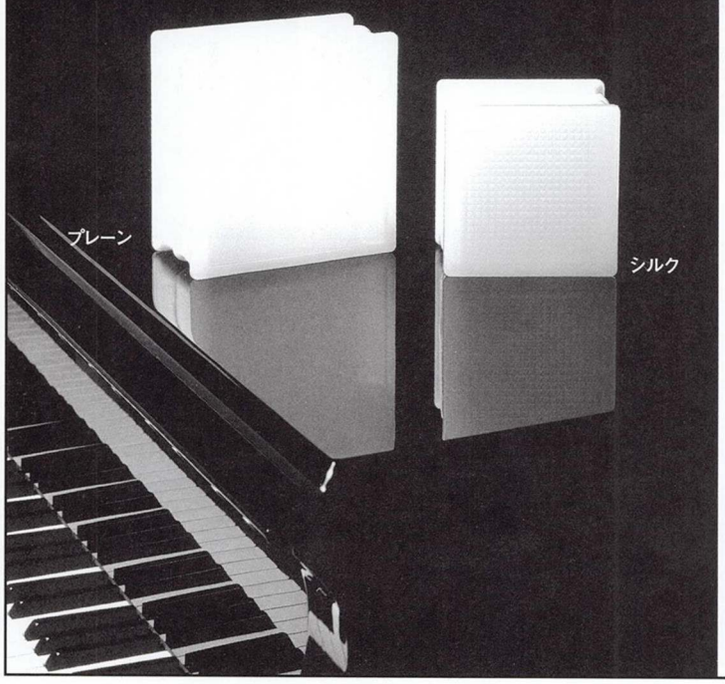
ソーラトンEnetは、電磁波吸収性能によってデジタルワイヤレス通信（無線LAN等）の伝達性を改善する天井板です。

エコマーク商品

日東紡
建材事業部門ホームページアドレス → http://www.kenzaiworld.com/
建材事業部門 市場開発部　東京都中央区京橋2-13-10　TEL (03)3562-5905　FAX(03)3562-6741

Nittobo

表現力を持つ、白き調べ。



乳白色の柔らかな光で空間を包みこむ【オパリーン】。そこにあるだけで、豊かさを感じさせる、白い存在感。あたかもオパールの輝きが奏でる調べのように。

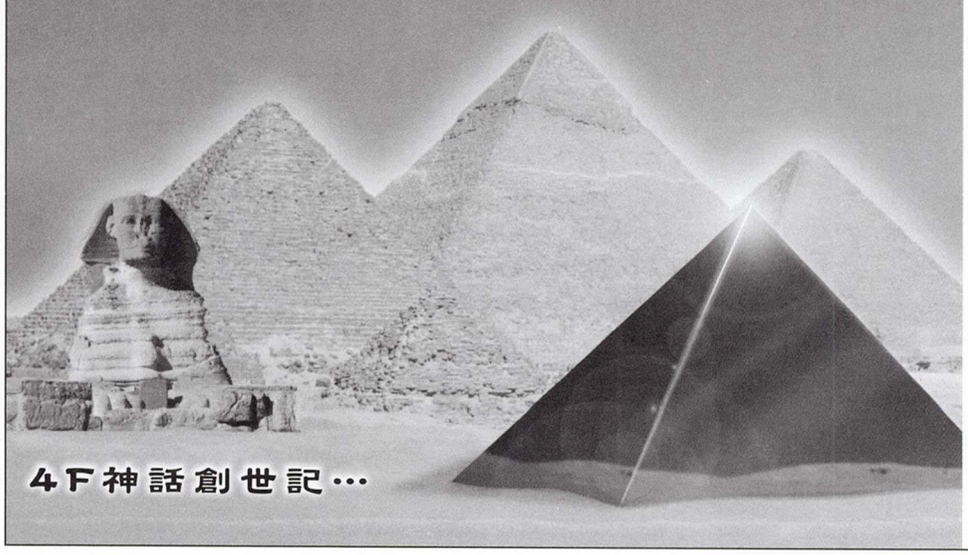
透光性乳白色ガラスブロック
オパリーン

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

東京 〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 TEL(03)3456-3511
大阪 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4丁目1-14 TEL(06)6399-2728
http://www.neg.co.jp/kenzai/

世紀を越える素材を求む者へ。

「デュフロン4Fシリーズ」
それは建築用高耐久塗料新時代突入へのプロローグです。

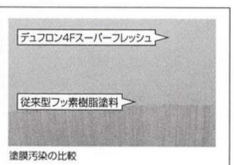


更に超低汚染はNo.1品質

バルーンセラミック技術が従来の低汚染技術の常識を覆します。

塗装直後から超低汚染機能を発揮

デュフロン4Fスーパーフレッシュの超低汚染性は建物の洗浄コストの低減を可能にし、ライフサイクルコストの削減と同時に環境負荷の軽減も実現します。



塗膜汚染の比較

塩素をまったく含まない新時代のフッ素樹脂塗料です。
4F

◎塩素を含まない超高耐久塗料◎
デュフロン 4Fシリーズ

お問い合せは直接お電話でどうぞ。詳しい資料を差し上げます。下記までご請求ください。

日本ペイント
Basic & New

市場開発部
大阪 ☎06-6455-9173
東京 ☎03-3740-1183

煙　　突　“ハイスタック”

中空スラブ　“フジスラブ”
“FSボイド”（PC床板）

気密ドア　“マーカス・
スライディングドア”

fujimori フジモリ産業株式会社

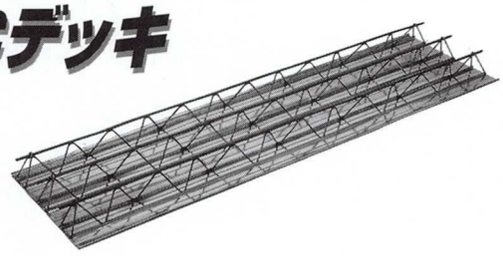
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1（山口玄ビル）
TEL：06－6228－3863　FAX：06－6228－3875
Home Page：http//www.fujimori.co.jp

ISO14001認証取得
地球環境改善に貢献

S造・RC造・SRC造・その他全ての構造に最適!!

トラス筋付合成スラブ工法

NCデッキ



■構造
平成14年4月16日 国土交通省告示第326号による

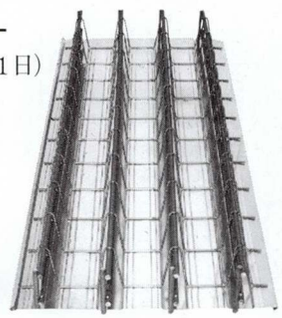
■耐火指定
建築基準法第68条の26第1項に基づく大臣認定取得済
2時間耐火（同法第2条第七号に適合）

株式会社 富士昭
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1-4-33　アメリカーナビル
TEL. 06-6910-0081 FAX. 06-6910-0080
名古屋営業所
〒460-0008 名古屋市中区栄4-2-10　小浅ビル6階
TEL. 052-242-3605 FAX. 052-242-3626

トラス筋付捨型枠工法

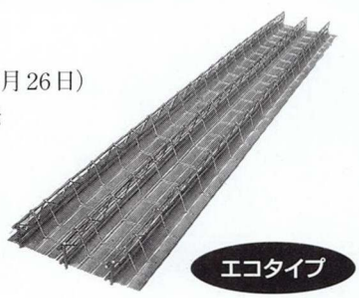
ニューフェローデッキ

■財団法人　日本建築センター
評定取得（平成13年11月21日）
BCJ評定-RC 0108-01



プロトタイプ

■ISO14001
認証取得（平成13年6月26日）
を記念しエコタイプを発売



エコタイプ

ビルの白いキャンバスを
美しく彩る。
それが不二サッシの仕事です。



ビルには独自の個性が有り、都市景観の一部として街を美しく演出する役割もになっています。不二サッシは、外壁材カーテンウォールを通して、この都市を彩る役目のお手伝いをさせていただいています。私たちの技術が新しい建築文化を創造していきます。

窓から夢をひろげていきます
不二サッシ

大阪支店 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-5-13
電話 06（4706）4101

National
松下電工

スリムなラインが、
天井をより美しく機能的にした。

器具開口幅140㎜ですっきりと新登場。
複合天井システム「ラインタイプ」

新開発のトータルバーと各種設備を一体化して、ライン状に配置。さらに、照明器具開口幅・トータルバー見付のスリム化などで、よりシンプルな外観を実現しました。トータルバー内での器具の移動も自由自在で、フレキシブルな照明配置が可能。見た目のよさだけでなく、器具開口幅のスリム化で不快なグレアをカットするなど、機能面も追求した天井システムです。

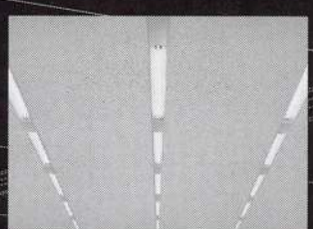
◎省エネ・省資源で、地球環境に配慮。しかも省施工。
◎多彩なユニットとの複合で、豊富な照明環境を実現。

■従来システム天井



■スリム21シリーズ





スリム21シリーズ
ラインタイプ

※複合天井システム「スリム21シリーズ クロスタイプ」も同時新発売。

◎資料のご請求は、
〒571-8686 松下電工（株） 照明分社 マーケティンググループ（住所不要）
TEL.06-6908-1131（大代表）まで。

あかりと電気設備ホームページ http://www.mew.co.jp/Ebox

Smart Solutions by NAiS

岩盤破砕 パワーアップ!!

超大口径・超大深度**アースドリル工法**との
一貫施工に威力を発揮します。

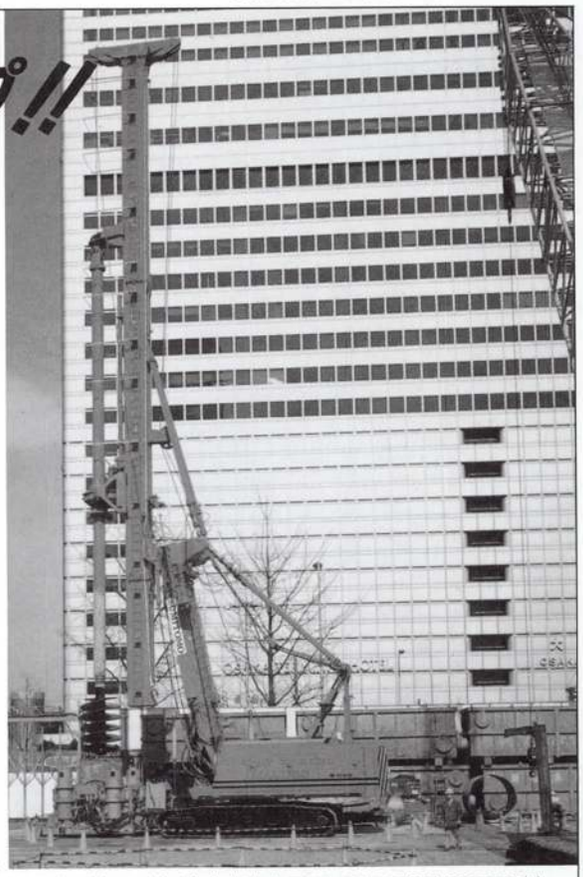
SSD 工法

SOMAS SUPER DRILL METHOD

NKTB・SKTB・KKTB・SMTB杭工法
（リブ付き鋼管コンクリート拡底杭）

つばさ杭（先端翼付き回転貫入工法）

新しい場所打ち拡底杭



丸五基礎工業株式会社

本　社　大阪市北区東天満2-6-2（南森町中央ビル）〒530-0044 ☎(06)6358-3601㈹

関西支店　大阪市北区東天満2-6-2（南森町中央ビル）〒530-0044 ☎(06)6358-3601㈹
東京支店　東京都江東区東陽6－3－30 〒135-0016 ☎(03)3649-5131㈹
名古屋支店 ☎(052)222-6801㈹　福岡支店 ☎(092)472-4392㈹
広島支店 ☎(082)246-3211㈹　高松営業所 ☎(0878)81-2257

「考える人の明日」を創る。

丸善の環境デザイン事業



“本の丸善”として親しまれる弊社では、長年に亘り各種メディアやネットワーク技術のご提供、そして利用空間のデザイン・設計・施工を通して「考える人」の豊かな環境創りを、トータルにお手伝いいたしております。

■大学キャンパス・学校施設、公共施設、企業・研究施設、医療福祉施設、生涯学習施設、コミュニティ施設、図書館・情報センター・MUSEUMなど各種施設のデザイン・設計・施工・保守サービス

ESTABLISHED IN 1869
丸善

〔環境デザイン事業部　関西営業部〕　本社＝東京・日本橋
〒541-0059　大阪市中央区博労町3-3-2　TEL(06)6251-2679　FAX(06)6251-3855
東京／札幌／仙台／横浜／名古屋／金沢／京都／岡山／広島／福岡

丸善一級建築士事務所　東京都知事登録第29143号／大阪府知事登録（イ）17618号　特定建設業建設大臣許可　（特-14）第13308号（般-12）第13308号

MIZUNO®
THE WORLD OF SPORTS

新世紀環境配慮型スポーツフロアの販売中！

シックハウスの原因物質と言われる
トルエン・キシレン等を排除した

無機質クリアフィニッシュ
スポルデュー



一般体育館に

天然種子から精製し有機溶剤を含まない



浸透性オイルフィニッシュ
ピュアすりあ

武道場に

スポーツ性能と環境対策を高次元で融合させた夢のスポーツフロア

●お問い合わせは

ミズノ株式会社 スポーツ施設サービス部
URL http://www.mizuno.co.jp

建設大臣許可（特12・般12）第4394号
美津濃1級建築士事務所（リ）第2690号

大阪本社　〒559-8510　大阪市住之江区南港北1-12-35　TEL. 06-6614-8188　FAX. 06-6614-8343
東京本社　〒101-8477　東京都千代田区神田小川町3-22　TEL. 03-3233-7235　FAX. 03-3295-4286
ISO 14001審査登録（国内全事業所）

We are
SPORTS
ENGINEERS
あたらしいスポーツ・シーンを創造する。

yamagiwa

Artemide EOS SYSTEM



スマートなデザインのL形コネクターは、90～180度の範囲で任意の角度設定が可能

オフィスに美しいフォルム、やわらかい光。

アルテミデ社の新作蛍光灯サスペンションシステムEOSは、TL5蛍光ランプの採用によりスタイリッシュなラインの美しさと、ハイパワーな照明効果の両立を可能にしました。天井への間接光はもちろん、底辺のスリットから直接下方に照射される光が机上面を明るく照らしだします。下面にひろがる光はオプションフィルターをつかって色を変化させることもできます。L形コネクターにより、オフィスのレイアウトに適応してフレキシブルに対応できます。　Design : Zebulon

ヤマギワ株式会社　〒101-0021 東京都千代田区外神田1-5-10　TEL.03-3253-5111（代表）　http://www.yamagiwa.co.jp
近畿営業部　〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-6-6　TEL.06-6258-6721 FAX.06-6258-6725

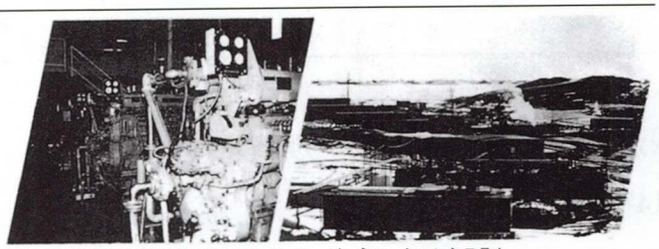
YANMAR
人とエネルギーのあいだに

貴重なエネルギーを
トータルに生かす。



熱電 ヤンマーコージェネレーションシステム 併給

電気と熱をトータルに供給する。
燃料エネルギーを最大限に利用する。
……と、まったく新しい
省エネルギーシステム。
これがヤンマーコージェネレーション
システム（熱電供給発電）です。
冷却水や排気ガスを上手に利用、
発電時、いままでムダにしていた
給湯・冷暖房や産業用に生かす
ヤンマーの新しい技術。
南極昭和基地をはじめ、
ホテル・病院・各種工場などで
確かな実績を築いています。
このほかヤンマーは、いろんな分野で
新しいこと、素敵なこと、
社会や未来にとって役立つことを、
夢いっぱいに創りだしています。



南極昭和基地でも稼働をつづけるヤンマーコージェネレーションシステム

ヤンマー株式会社

エネルギーシステム事業本部　営業部発電システムグループ
〒531-0076　大阪市北区大淀中5丁目12番39号
電話（06）6453-6272　FAX（06）6451-1039
http://www.yanmar.co.jp

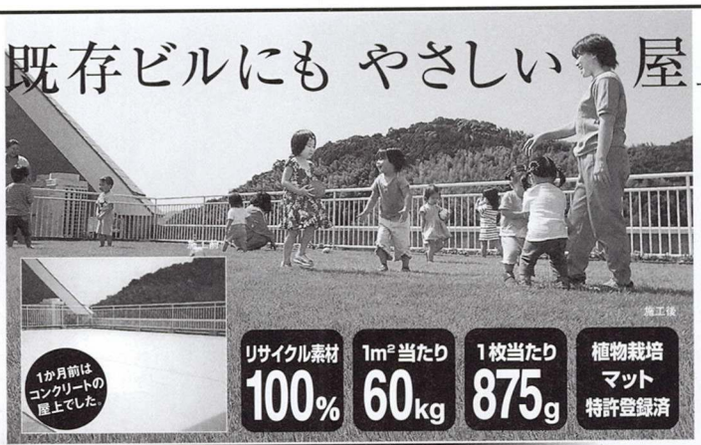
CONDOR

地球にも 既存ビルにも やさしい 屋上緑化。

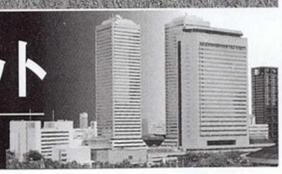
マット1枚当たり875g



乾燥時のエコグリーンマットは1枚当たり875g。1m²で3.5kgと超軽量です。軽くて持ち運びやすくエレベーターでの搬入も容易。施工性に優れ経済的です。



屋上緑化用植物栽培マット
エコグリーンマット



土のない場所でも手軽に緑化。
エコグリーンマットなら施工が簡単！

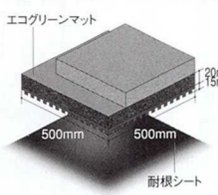
既存ビルの屋上やベランダを緑化するには、ビルの許容積載荷重や運搬の問題などをクリアしなければなりません。「エコグリーンマット」を使うと手軽に緑化が実現します。保水性や排水性、通気性に優れ土を用いての植栽と比べ重さ約10分の1以下、厚さも約5分の1。薄層軽量サイズだから作業が容易に行え、1か月後には緑に覆われた屋上が誕生します。

		基本システム（エコグリーンマット単体）	人工土壌併用システム（エコグリーンマット＋ビバソイル）
植栽基盤性能	①乾燥重量	3.5kg/m²	15.2kg/m²
	②湿潤重量	13.0kg/m²	38.5kg/m²
	③厚み	35mm	60mm
	④最大含水量	16.5ℓ/m²	35.0ℓ/m²
	⑤湿潤時保水量	9.5ℓ/m²	21.0ℓ/m²
	⑥張り芝重量	約15.0kg/m²	約15.0kg/m²
使用条件	⑦ポット苗植栽	×	○
	⑧埋設型灌水の設置	×	○
	⑨人や車椅子の乗り入れ	○	○
	⑩スポーツターフとしての利用	○（公式以外）	○（公式以外）

※植栽基盤重量としては、②湿潤重量を参考としてください。
※屋上緑化荷重としては、②＋⑥で算出ください。

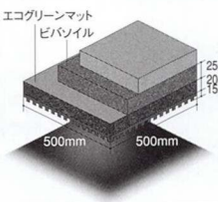
■ 基本システム ■

エコグリーンマットに直接張り芝や播種を行います。張り芝を行った時のm²当たり重量は約28.0kg、播種の場合約13.0kgと最も軽量化が図ることができます。



■人工土壌併用システム■

基盤の保水性や保肥性を向上させると同時に、人工土壌が散水後のマット表面の濡れた状態を緩和します。灌水用ホースを埋設することが可能となります。



環境用品メーカー
ヤマザキ 山崎産業株式会社

営業本部　大阪市中央区南船場3丁目12番9号（心斎橋プラザビル東館7階）
〒542-0081 TEL（06）6245-3531
http://www.yamazaki-sangyo.co.jp

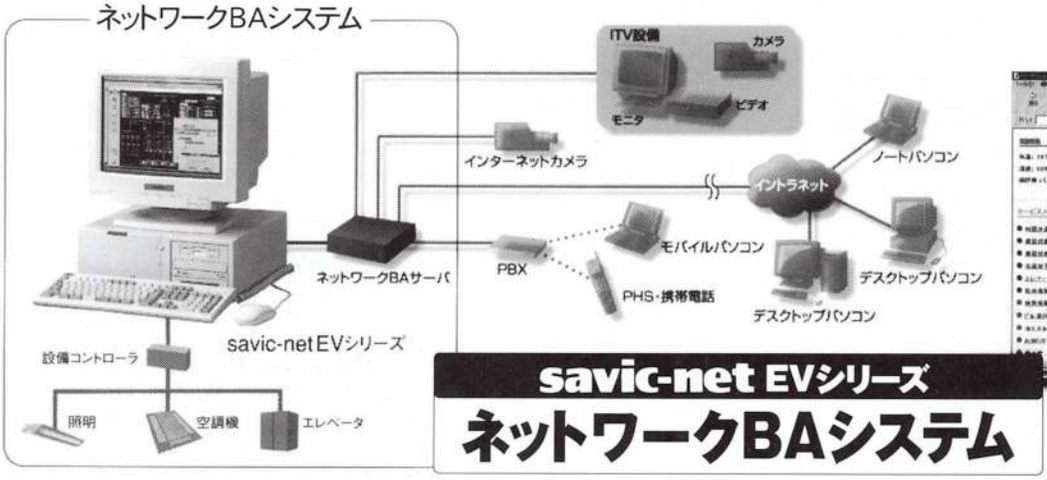
ISO14001認証登録
登録範囲：製品の企画・設計・開発及び販売　登録証番号：JQA-EM2494

商品に関するお問い合わせは
カスタマーサービスセンター
（9:00～17:00　但し、土・日・祝日を除く）
フリーダイヤル 0120-530743
FAX 06-4704-0743
パンフレットのご請求はフリーダイヤルで

心地よさを人に 地球に

YAMATAKE

場所や時間の壁を越えた
ユーザーオープンな
BAシステムです。



<メニュー画面>



savic-net EVシリーズ
ネットワークBAシステム



いつでも誰でも、どこからでも、
知りたい情報に簡単にアクセス

ネットワークBAシステムは、建物オーナー・管理者・居室者それぞれが求める省エネ・省力・快適・利便性を提供するシステムです。BAシステム、汎用ネットワーク技術、マルチメディア技術を有機的に統合することで、いつでも、誰でも、どこからでも必要な情報にダイレクトにアクセスできます。

山武ビルシステム株式会社

大阪支店：〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27新藤田ビル☎06(6347)1217
本　社：〒108-0075 東京都港区港南2−15−1☎03(5782)7561

いいドアは
音がいい。



空間メーカー
YKK ap

ドアとマドで
家を育てよう。



空間メーカー
YKK ap

マドはウチを
広くする。



空間メーカー
YKK ap

YKK AP株式会社　www.ykkap.co.jp

日本建築協会企画・販売

出版図書一覧

1917年3月に創設された日本建築協会（当時・関西建築協会）は、すでに昭和初期には大阪近辺で住宅博覧会や建築講演会を開く一方、当時は入手しにくかった建築の情報を図書の出版という形で会員に提供していた。

*

以後、創立周年記念事業として、その時代の動きをとらえて単行本を出版している。

50周年、60周年、70周年、そして80周年に、図書の出版が企画され、現在も継続して発行・販売されている出版物は、以下のとおり。

*

購入希望者は、㈱日本建築協会事務局（TEL06－6348－0635、FAX06－6348－0634）まで。

日本建築協会創立60周年記念事業

建築技術選書

A5判・130頁～160頁　発行:学芸出版社　本体価格¥1,200～¥1,400

1 茶室の話　岡田孝男
3 マイコンによる構造設計のすすめ（改訂版）　魚木晴夫
5 すまいの語録　茶谷正洋
7 構造計画とやさしい力学1　須賀好富
8 建具の知識と意匠　山片三郎
9 エレベータ・エスカレータ 立体駐車場　木村利雄
10 構造計画とやさしい力学2　須賀好富
13 医院・診療所の計画と設計　池田有隣・船越瞳由
14 設計のコンピューター手法　飯塚英雄
16 石垣と石積壁　窪田祐
17 基礎と地盤の手ほどき　中堀和英
18 ショッピングセンターの計画　西脇顕正
19 住宅設計とインテリア　福岡喜久雄
21 住宅の家具　光藤俊夫
23 設備技術者のための建築再入門　光安義光
24 鉄骨構造の話　金多潔・甲津功夫・西沢英和
26 建物と地震災害　竹内吉弘・島田耕一
28 建築金物の知識　立野一郎
30 住宅三備心得帳　平田純一
31 住宅のエレクトロニクス　監修　小林郁
32 建築塗装の手引き　児島修二
33 建築式典の実際　若林嘉津雄
34 建築設計と高齢者・身障者　吉田あこ
36 日本壁　山田幸一
37 身近な耐震設計法　前川陽一
38 住宅の照明　監修　大島博
39 建築を志す人びとへ　日本建築協会出版委員会
特装本 火災安全学入門　岡田光正

選書シリーズは、在庫図書を掲載

日本建築協会創立60周年記念事業「建築技術選書」姉妹篇

〈プロのノウハウ〉シリーズ

四六判2色刷り　発行:学芸出版社　本体価格¥1,600～¥2,500

TQCから見た建設業　荒木陸彦
躯体工事監理のチェックポイント100　須賀好富
空調設備のトラブル50　建築設備トラブル研究会
衛生設備のトラブル50　建築設備トラブル研究会
現場マンのアイデア発想　合原一夫
建築基準法の実際　矢吹茂郎
ニュー組積建築のすすめ　福島孝之　他
建築物の消防法を読みこなすコツ　高木任之
鉄筋工事・本音の現場学　荒川治徳
建築基準法の難解条文を読みこなすコツ　高木任之
工業化住宅・考 これからのプレハブ住宅　松村秀一
鉄骨工事の現場学　石田満裔
建築紛争の実際　岡本辰義
仕上工事監理のチェックポイント　日建設計監理業務研究会
ゼロ災への道 建設現場の安全管理活動　表　一郎
木造住宅のしくみ 在来工法の基本と応用　浅野平八・東　敏博
コンクリート工事のチェックポイント100　加賀秀治
インテリアコーディネートの100ポイント　町田ひろ子監修／松本　茂・村元俊子著
新版 建築基準法を読みこなすコツ　高木任之
木づくりの常識非常識　上村　武
建築関連法規を読みこなすコツ　高木任之
都市計画法読みこなすコツ　高木任之

日本建築協会創立70周年記念事業

選書特装版

B5判　発行:学芸出版社　本体価格¥2,800～¥3,800

構造コストと経済設計　須賀好富
新・建築と設備の接点　宮脇　毅・南部　武
建築設備の健康診断　牧野　茂
外壁構法チェックリスト　飯塚五郎蔵
水にまつわるトラブルの事例・解決策〈建築篇〉　「建築漏水」編集委員会
建築・都市・住宅・土木ー情報アクセスブック　菊岡倶也
建築デザインのための構造計画　須賀好富
場所打ち杭の設計と施工　阪口　理
建築と緑　瀧　光夫
入門・建築積算　生島道春
水にまつわるトラブルの事例・解決策〈設備篇〉　「設備漏水」編集委員会

昭和生まれ　関西の建築家50　1987年

A4判　企画・発行：日本建築協会　本体価格1,500円

日本建築協会建築クラブ朝食会300回記念

講演記録集 **話のはなし**　1997年

B6判5分冊　企画:日本建築協会建築クラブ　1セット10,000円（消費税含む）

民間（旧四会）連合協定

工事請負契約約款　A4判のみ取り扱い

工事請負契約書・仲裁合意書・契約書使用上の留意事項

1部¥230（消費税含）送料 実費

日本建築協会創立70周年記念出版

住宅近代化への歩みと日本建築協会　1988年

A4判　企画・発行：日本建築協会　本体価格1,500円

日本建築協会創立75周年記念出版

工高生デザインコンクール入選作品集　1992年

A4判　企画・発行：日本建築協会　定価2,000円

日本建築協会創立80周年記念出版

建築を志す人びとへ

A5判　日本建築協会出版委員会編著　本体価格1,800円

新年のご挨拶

平成15年元旦

青山幸夫

株式会社　青山建築積算事務所 代表取締役

〒550-0004　大阪市西区靭本町1-6-10本町西井ビル
電話06（6443）0430
〒610-1125　自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075（331）8082

浅海伸之

浅海電気株式会社 代表取締役社長

〒530-0047 大阪市北区西天満3丁目7番4号　電話06（6362）8711

名誉会長

市川宏

株式会社　東畑建築事務所 取締役会長

〒541-0044　大阪市中央区伏見町4—4—10　電話06（6202）0391

植野知雄

株式会社　寿建築積算事務所　代表取締役

〒542-0083　大阪市中央区東心斎橋1丁目16-29　つるのすビル
電話06（6244）1561代

木内啓介

西日本建設業保証株式会社　取締役社長

〒550-0012 大阪市西区立売堀2丁目1番2号　電話06（6543）2553

名誉会長

佐野正一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役相談役

〒540-0034 大阪市中央区島町2丁目4番7号 電話06（6943）1371代
〒662-0064 自宅・西宮市雲井町4の9　電話0798（72）1569

城口庸平

株式会社 大阪城口研究所　代表取締役会長

〒530-0017　大阪市北区角田町2番15号　電話06（6372）7151代

相馬一男

住友電設株式会社　相談役

〒550-8550　大阪市西区阿波座2－1－4 電話06（6537）3430
〒658-0053　神戸市東灘区住吉宮町4-4-1-2001 電話078（857）2211

徳岡昌克

株式会社　徳岡昌克建築設計事務所
MASAKATSU TOKUOKA ARCHITECTS
代表取締役会長

〒530-0047 大阪市北区西天満6丁目3番11-205号 電話06（6499）0701
〒532-0033 自宅・大阪市淀川区新高6丁目6番18号 電話06（6391）8182

内藤正克

株式会社　内藤建築設計事務所　相談役会長

〒675-1379 兵庫県小野市上本町240 小野ビル　電話0794（62）4757代
〒675-1362 自宅・兵庫県小野市久保木町1063 電話0794（62）4668

原田明治

財団法人　大阪住宅センター　理事長

〒542-0081 大阪市中央区南船場4丁目4番3号
御堂筋アーバンライフビル4F
電話06（6253）0071
FAX06（6253）0145

真塚達夫

株式会社　東畑建築事務所　取締役社長

〒541-0044 大阪市中央区伏見町4—4—10
電話06（6202）0391

松原満佐子

有限会社　柳々堂　代表取締役

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-12-3　電話06（6443）0167～8
FAX 06（6443）1826

三栖邦博

日建設計　取締役社長

〒541-8528 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号　電話06（6203）2361

名誉顧問

薬袋公明

日建設計　名誉会長

〒541-8528 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号 電話06（6203）2361

村石全

株式会社クトクコーポレーション
ミユキ建設株式会社　代表取締役社長

〒556-0021 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06（6568）3671
〒596-0011 工場・岸和田市木材町9番地の3 電話0724（37）2524
〒649-7167 工場・和歌山県伊都郡かつらぎ町移430番地
電話0736（22）7880

森田司郎

財団法人　日本建築総合試験所　理事長

〒565-0873　吹田市藤白台5丁目8番1号　電話06（6872）0391
http://www.gbrc.or.jp

山本貴士

朝陽電気株式会社　代表取締役

〒530-0005 大阪市北区中之島3丁目2番4号　電話06（6385）1361代表
朝日ビルディング内
〒565-0873　自宅・吹田市藤白台4丁目23番8号
電話06（6871）0851

和中勝

株式会社　和中商店　取締役相談役

〒531-0072　大阪市北区豊崎5丁目8番11号
電話06（6371）0731～5
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町11-5　電話03（3464）9723
〒453-0804 名古屋市中村区黄金通3丁目34番地 電話052（481）7338
〒662-0836 自宅・西宮市大畑町10-22　電話0798（67）0386

新年のご挨拶

平成15年元旦

設計事務所有志

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役会長　織　田　愈　史
代表取締役社長　森　口　雅　文

本社・名古屋事務所　〒460-0002 名古屋市中区丸の内一丁目15番15号（桜通ビル）電話〈052〉222-8611
東京事務所　〒101-0021 東京都千代田区外神田三丁目5番12号（聖公会神田ビル）電話〈03〉5294-6211

URABESEKKEI 株式会社 浦辺設計

URBAN DESIGN & ARCHITECTURE FOR BEAUTIFUL ENVIRONMENT

代表取締役　松　村　慶　三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル　〒530-0001　電話 06 (6341) 1680
岡山事務所　岡山市問屋町26－103　〒700-0977　電話 086 (245) 0090
http : // homepage1. nifty. com / URABE /

株式会社 瀬戸本淳建築研究室 ISO9001

代表取締役　瀬　戸　本　　淳

神戸事務所　〒650－0024 神戸市中央区海岸通1丁目1－1神戸郵船ビル　TEL078－333－0138
東京事務所　〒151－0071 東京都渋谷区本町3-39-3新宿ビジネスタワー　TEL03－5302－0138

株式会社 大建設計

代表取締役社長　隅　谷　康　彦
取締役 大阪事務所長　髙　嶌　千　年

大阪市西区京町堀1-13-20　電話06(6449)6800(代表)
東京・名古屋・福岡・札幌・仙台・京都・広島・北九州

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　市　川　　宏
取締役社長　真　塚　達　夫

本社・大阪事務所　〒541-0044　大阪市中央区伏見町4-4-10　Tel (06) 6202-0391
http://www.tohata.co.jp
大阪・東京・名古屋・九州

日建設計

取締役社長　三　栖　邦　博

大　　阪	541-8528	大阪市中央区高麗橋4丁目6－2	電話（06）6203-2361
東　　京	112-8565	東京都文京区後楽2丁目1－3	電話（03）3813-3361
名　古　屋	460-0008	名古屋市中区栄4丁目15－32	電話（052）261-6131
支所・その他	東北（仙台）・神奈川（横浜）・北陸（富山）・神戸・広島・九州（福岡） シンガポール・上海・台北・ソウル・クアラルンプール		

コストコンサルタント　建築積算・概算・VE　建築積算システム開発

NISSEKI SURVEY

株式会社 日積サーベイ

代表取締役　生　島　宣　幸

本　　社　〒540-0012 大阪市中央区谷町3丁目1番9号 MG大手前ビル
TEL 06-6944-2755　FAX 06-6944-2390

東京支所　〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目4番3号 エグゼクティブタワー
TEL 03-5575-5045　FAX 03-5575-5046

http://www.nisseki-survey.co.jp

安井建築設計事務所

代表取締役社長　佐　野　吉　彦

本　　社　〒540－0034　大阪市中央区島町2－4－7　電話06（6943）1371（代表）
支　　社　大阪・東京・名古屋・広島・福岡

新年のご挨拶

平成15年元旦

建設業有志

人・都市・自然のシンフォニー

Asanuma

株式会社 浅沼組

取締役社長　浅　沼　健　一

本社・大阪本店	大阪市天王寺区東高津町12番6号	電話06(6768)5222
東京本店	東京都新宿区荒木町5番地	電話03(5269)3111
名古屋支店	名古屋市中村区名駅南三丁目3番44号	電話052(571)5571
支　　店	北海道・東北・横浜・神戸・広島・九州	

OBAYASHI

株式会社 大林組

取締役会長　大　林　芳　郎
取締役社長　向　笠　愼　二

東京本社	東京都港区港南2－15－2	電　話	03(5769)1111
本　　店	大阪市中央区北浜東4－33	電　話	06(6946)4400
支　　店	札幌・東北・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・九州		

株式会社 **奥村組**

取締役社長 奥村太加典

本　社 〒545-8555 大阪市阿倍野区松崎町二丁目2番2号 電話 大阪(06)6621-1101(代表)
東京本社 〒108-8381 東京都港区芝五丁目6番1号 電話 東京(03)3454-8111(代表)

100年をつくる会社

鹿島
KAJIMA CORPORATION

代表取締役社長 梅田貞夫
専務取締役関西支店長 井保武寿

本　社 東京都港区元赤坂 1－2－7 電話 03(3404)3311(大代)
関西支店 大阪市西区阿波座 1－3－15 電話 06(6536)3311(大代)

人がつくる、人の場所。

SHIMIZU CORPORATION

清水建設

取締役社長 野村哲也
専務執行役員関西事業本部長 増島修二

本　社 東京都港区芝浦 1－2－3 電話 03(5441)1111
関西事業本部 大阪市中央区本町 3－5－7 電話 06(6263)2800

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長 錢高一善

本　社 大阪市西区西本町2丁目2番11号
なにわ筋ツインズ ウエスト
大阪(06)6531－6431
東京本社 東京都千代田区一番町31番地
東京(03)3265－4611
支社・支店 大阪・東京・北海道・東北・北関東・千葉
横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・九州
URL http:// www. zenitaka. co. jp/

TAISEI

大成建設株式会社

社長 葉山莞児
常務関西支店長 氏原完典

本　社 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル TEL03(3348)1111大代表
関西支店 大阪市中央区南船場1丁目14番10号 TEL06(6265)4504
ホームページ http : // www. taisei. co. jp/

株式会社 **竹中工務店**

取締役社長 竹中統一

〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1－13 電話 大阪 (6252) 1201番(代表)

戸田建設株式会社

代表取締役社長　戸田守二
取締役大阪支店長　浜辺鶴志

本　社　〒104-8388　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL 東京03(3535)1354
大阪支店　〒550-0005　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL 大阪06(6531)6095
支　店　東京・千葉・関東・横浜・北陸・名古屋・札幌・東北・広島・四国・九州

不動建設株式会社

取締役社長　福田誠

大阪本社　大阪市中央区平野町4丁目2番16号　電話０６（６２０１）９２０３番
東京本社　東京都台東区台東1丁目2番1号　電話０３（３８３７）６００９番
支　店　北海道・東北・千葉・横浜・北関東・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州

Matsumura

株式会社松村組

取締役社長　得田芳宏

本社・大阪本店　大阪市北区東天満1丁目10番20号　電話 大代表 大阪(6353)1131
東京本店　東京都千代田区内幸町1丁目1番2号　電話 大代表 東京(3502)1211
支　店　名古屋・札幌・東北・広島・九州・神戸・京都・横浜

保存と開発に
取り組む

総合建設業

yasui moku

株式会社安井杢工務店

代表取締役社長　安井洋

本　社　〒617-0006 京都府向日市上植野町御塔道42　TEL.(075)933-0012㈹　FAX.(075)933-4931
東京事務所　〒106-0047 東京都港区南麻布5-5-20 麻布コーポラス103　TEL.(03)5798-4307　FAX.(03)3443-2703
http://www.yasuimoku.co.jp/　E-mail:moku0744@lilac.ocn.ne.jp

新年のご挨拶

平成15年元旦

団体・報道・建材・設備工事有志

財団法人 大阪建築防災センター

理事長　白石靜二
〒540-0012 大阪市中央区谷町3－1－17（トレンザビル3階）　電話 06(6943)7253

建築確認検査機構

〒540-0012 大阪市中央区谷町3－1－17（トレンザビル2階）　電話 06(4794)8270
URL http://www.okbc.or.jp

社団法人 日本建築協会京都支部

支部長　望月秀祐

〒604-0944 京都市中京区押小路通柳馬場東入 京都建設会館別館 電話075(211)2857·2877

社団法人 日本建築協会中国支部

支部長　古林敏郎

〒730-0042 広島市中区国泰寺町1丁目8－4日興ビル内 TEL 082(244)2111

社団法人 日本建築協会東海支部

支部長　小宮三辰

〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目3－26(昭和ビル5階) 電話 052(261)1451

社団法人 日本建築協会和歌山支部

支部長　東野信義

〒640-8045 和歌山市卜半町38番地 建築士会館内 電話 073(423)2562

社団法人 日本建築材料協会

会長　柴田藤祐

〒550-0003 大阪市西区京町堀1丁目3番13号辰巳ビル9階 電話06(6443)0345 FAX06(6443)0348
http://www.kenzai.or.jp/

～モノづくりの学校～ 建築 インテリア 大工 設備 環境 土木 ロボット 機械 CAD

学校法人福田学園 OCT大阪工業技術専門学校

1895(明治28)年創立 〒530-0043 大阪市北区天満1－9－27 TEL:06－6352－0091
(地下鉄谷町線・京阪「天満橋」徒歩7分、JR東西線「大阪城北詰」徒歩10分)

URL http : //www. oct. ac. jp E－mail info@oct. ac. jp

〈併設校〉 OCR 大阪リハビリテーション専門学校 (理学療法士 作業療法士 言語聴覚士)
URL http : //www. ocr. ac. jp E－mail info@ocr. ac. jp TEL : 06－6354－0091

1955年創業

建設業界でもっとも信頼　読まれている日刊情報紙

株式会社 **建設日報社**

社主　重村　一

本社　〒550-0006 大阪市西区江之子島1－7－3　TEL 06(6444)2405－9
別館　〒550-0006 大阪市西区江之子島1－6－2　TEL 06(6444)6431－4

TOF（フッ素樹脂積層被覆鋼板）、COM（耐酸被覆鋼板）製造及び責任施工

金属製屋根、外装、換気装置工事業

OSHIMA OHYO

代表取締役社長　貞利政和

本社／大阪本店　大阪市旭区太子橋1－15－22　TEL 06－6954－6521
支店、営業所　東京・名古屋・新居浜・四日市・岡山・広島・宇部・福岡
工場　新居浜・寝屋川

大島応用化学工業株式会社

TAJIMA　**株式会社 タジマ**

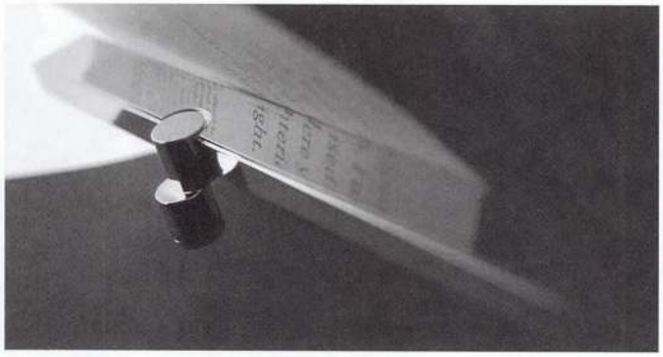
東京営業本部　〒101-8577 東京都千代田区岩本町3－11－13　電話(03)5821-7731　FAX(03)3862-5908
大阪営業所　〒550-0003 大阪市西区京町堀 1－10－5　電話(06)6441-5951　FAX(06)6444-2596

YAMAMOTO YOGYO

山本窯業化工株式会社

代表取締役社長　山本泰通

本社　〒564-0051 大阪府吹田市豊津町41-20　TEL(06)6338-8601　FAX(06)6338-8606
大阪営業部　〒564-0051 大阪府吹田市豊津町 8 - 7　TEL(06)6338-8701　FAX(06)6384-0557
支店・営業所　東京・名古屋・静岡・広島・福岡・仙台／福崎工場



UNION　環境を考え製品を創る　**株式会社ユニオン**　代表取締役 社長　立野 純三

ISO 9001　ISO 14001　www.artunion.co.jp　UNION CORPORATION

■本社 …… 大阪市西区南堀江2-13-22　〒550-0015　℡06(6532)3188　℡06(6533)3747
■大阪支店 …… 大阪市西区南堀江2-13-22　〒550-0015　℡06(6532)3731　℡06(6533)2293
■東京支店 …… 東京都江東区白河2-9-5　〒135-0021　℡03(3630)2811　℡03(3630)2816
■名古屋営業所 …… 名古屋市中川区舟戸町3-20　〒454-0805　℡052(363)5221　℡052(363)5255
■ショールーム
アトリエユニオン/東京 …… 東京都港区虎ノ門2-3-22　〒105-0001　℡03(3506)1717　℡03(3506)1718
アトリエユニオン/大阪 …… 大阪市西区南堀江2-13-22　〒550-0015　℡06(6532)8920　℡06(6533)0224
アトリエユニオン/名古屋 … 名古屋市中川区舟戸町3-20　〒454-0805　℡052(363)5221　℡052(363)5255

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話06(6302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03—3344—1851(大代)　大阪本社☎06—6448—3603(代)
大阪支社 ☎06—6448—5851(代)　名古屋支店 ☎052—211—1535(代)　中国支店 ☎082—247—5541
九州支店 ☎092—431—2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)6441-8231
東京本社　〒102-0071 東京都千代田区富士見２丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　　社　名古屋・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営 業 所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出 張 所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

より快適な水環境をめざして
給排水衛生設備，冷暖房設備，消火設備の設計，施工

株式会社 西原衛生工業所 大阪本店

大阪本店　〒531-0071 大阪市北区中津六丁目8番4号
TEL 06-6458-3628(代表)
本　　社　〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目6番18号
TEL 03-3452-7441(代)
支　　店　札幌・東北・新潟・東関東・横浜・名古屋・九州

空気調和設備
給排水設備
電気設備
産業設備
水処理施設
環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　宅　清光
常務取締役関西支店長　本木　満

関西支店　大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル　電話 06(6350)8100
本　　社　東京都千代田区有楽町１—４—１　電話 03(3502)6103
支　　店　北海道・東北・関東・千葉・横浜・北陸・名古屋・京都・神戸・四国・中国・九州

人と都市の快適な環境をつくります

営業種目 設計・施工・監理
●電気設備
受変電・幹線
動力・制御装置
電話、放送、インターホン
防犯、防災
中央監視制御
システム計装
●空調・給排水・衛生設備
空気調和
工場配管
水処理
コージェネレーション
クリーンルーム
●プラント
プラント計装
システムエンジニアリング
●情報通信設備
情報通信ネットワーク
情報処理
通信システム
放送システム
●電力流通設備
受変電
架空送配電
地中送配電

あらたな価あふれるアメニティファクトリーをめざす。
住友電設株式会社　大阪本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-4 ☎(06)6537-3400
東京本社 〒105-0014 東京都港区芝2-2-17 ☎(03)3454-7311

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町３番５号　電話(6352)1131(代)
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町２—22　電話(3667)3431(大代)
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

CHOYO

人がいる多彩なフィールドで、
新しい限界に挑戦しています。

電気設備設計施工
朝陽電気株式会社
代表取締役　山本貴士

本　　社　〒530-0005 大阪市北区中之島三丁目 2-4(朝日ビル)
TEL 06(6385)1361(代)　FAX 06(6385)1050

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社 三晃空調

本　　社　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1671
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03-3344-7911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話06-6363-1371
支　　店　仙台・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
関西支社
常務取締役支社長　髙橋幸久

大阪市中央区高麗橋４丁目３番７号　電話大阪(6202)0325～9番
本　　社　東京都千代田区西神田１丁目４番５号
支　　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・北関東・中部・九州

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　　社　大阪市中央区瓦屋町２丁目11番16号(オートセンタービル1・2階)
〒542-0066 電話 大阪 (06) 6768—5031代表
メンテナンス　電話　大阪（06）6768—1651代表
東京支社　東京都文京区小石川１丁目12番14号(日本生命小石川ビル７階)
〒112-0002　電話 (03) 5689—2351代表

電気設備設計施工

株式会社 三興社

代表取締役社長　上田正雄

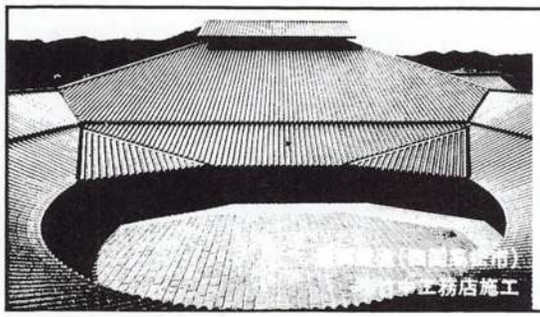
本　社　大阪市北区堂島浜１—４—19（日土地堂島ビル）
電　話　０６（６４４２）３６７１（代）
支　店　東京都中央区日本橋茅場町２丁目17番３号
電　話　０３（３６６６）１４７８（代）
営業所　堺・泉州・泉南・滋賀

OKUJU
スペース クリエイター
建築に革命をもたらした技術がある
「大規模天井無足場工法」
内外装創作パネル・システム天井・間仕切
株式会社 オクジュー
本社
大阪市北区西天満5丁目3番7号 〒530-0047
TEL(06)6312-4131 FAX(06)6312-7998
東京・九州・横浜・南九州・名古屋・上海

学校建築のトータルアドバイザー
二葉工業株式会社
黒板・掲示板・家具
電動黒板装置・サイン・スクリーン
〒547-0001 大阪市平野区加美北3—4—5
TEL06(6792)5858 FAX06(6792)2810

＊奉仕感謝の店
タイル及び規格石一式施工
株式会社 川岸窯業商店
本社 大阪市西区西本町1の13の33
TEL.06—6532—0641(代表)
FAX.06—6535—5181
天理営業所 天理市丹波市新町4 9

●情報処理●企画・制作●編集●画像処理●印刷・製本
人と技術をクリエイティヴで結びます
日本データネット株式会社
本社 〒530-0043 大阪市北区天満1-1-10 TEL.06-6352-7502 FAX.06-6355-2714
制作部 〒530-0043 大阪市北区天満1-9-19 TEL.06-6352-0943 FAX.06-6355-5533
印刷工場 〒530-0043 大阪市北区天満2-5-15 TEL./FAX.06-6352-1551


〒556-0024
大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 六五六一〜七四五四
ファックス 六五六一〜七四一六
ナニワ瓦株式会社
あらゆる屋根工事の相談は、

Digital Pri-Press
AOBA PRINTING CO.,LTD.,
代表取締役社長 依藤孝行
青葉印刷株式会社
〒534-0027 大阪市都島区中野町2丁目10番11号
Phone.06-6351-5428 Fax.06-6351-5299

デンカCSAファミリー製品
●デンカCSA（膨張性混和材） コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材） 鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント） コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材） 地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材） コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・網野（07727）2−2220
舞鶴（0773）76−0133

金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）6332−6861
TEL 東京（03）3272−8501

小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）6443−6181

光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）6252−6000

東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83−2381
TEL 大阪（06）6877−1581

日本建築協会出版委員会企画
新刊書籍発行／会員特価販売のご案内

企画・日本建築協会
「建築工事の祭式」編集委員会 編著

建築工事の祭式

地鎮祭から竣工式まで

A５判・並製・184頁
定価：本体1,800円＋税

推薦 ―――― 京都伏見・城南宮宮司 **鳥羽重宏**

『関係者と神職の入念な打ち合わせ、隅々まで行き届いた設営、参列者への心配り、これらについて長年にわたる経験に基づき蓄積されたノウハウを各社が持ち寄り、惜しげも無く披瀝され、整理編集されて本書が誕生したことは、洵にもって画期的』

建築祭式のアウトラインを図面やチャートなどを使ってわかりやすく表現し、祭式の組み立て方が意外と単純な原理に基づいていることを解説した。実務マニュアルとしても、祭壇の具体的事例、祭場設営レイアウト、事前準備のチェックリスト、挙行時の司会者の対応、用語集などを掲載し、実践に役立つ早分かり読本となっている。



学芸出版社
京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　〒600-8216
tel 075-343-0811　fax 075-343-0810

日本建築協会会員の皆様に特別価格 **本体価格の１割引＋税** にてご提供いたします。
※送品手数料は２冊まで300円、３冊以上は無料とさせていただきます。

ご注文書籍の送付・請求等につきましては、学芸出版社より行いますのでお含み願います。

（FAX 送信先 075-343-0810）

お申し込み書（コピーの上、ご使用ください）

書　名	本体価格	ご注文冊数
建築工事の祭式	1,800円	冊
新　建築基準法を読みこなすコツ	2,400円	冊
新版　都市計画法を読みこなすコツ	2,500円	冊
建築基準法の難解条文を読みこなすコツ	2,500円	冊
建築基準法の性能規定を読みこなすコツ	2,500円	冊
新版　建築物の消防法を読みこなすコツ	2,300円	冊
建築関連法規を読みこなすコツ	2,400円	冊
インテリアコーディネートの100ポイント	1,600円	冊
木づくりの常識・非常識	1,700円	冊
建築の現場管理システム	1,800円	冊
木造住宅監理の話	1,800円	冊
工業化住宅・考	2,000円	冊
環境と共生する建築　25のキーワード	2,500円	冊

（本体価格×ご注文冊数×90%×1.05＝）　合計（税込）　円　冊

【送本先：勤務先／自　宅】　【請求先：勤務先／個人名】　【日本建築協会：会　員／非会員】　（いずれかに○を）

お名前	
送本先	〒□□□-□□□□
送本先のTEL&FAX	TEL　-　-　FAX　-　-

送料は２冊まで300円、３冊以上は無料

日本建築協会出版委員会企画
新刊書籍発行／会員特価販売のご案内

企画・日本建築協会

A５判・並製・176頁
定価：本体2,200円＋税

渡辺邦夫著
構造設計集団SDG代表

建築構造界の第一人者が語る待望の書

飛躍する構造デザイン

第１章　「構造学」の創始者たち
第２章　「構造デザイン」の意味
第３章　ＰＣと集成材の構造
第４章　スペースフレームへの挑戦
第５章　鉄とガラスの可能性
第６章　開閉式ガラス屋根
第７章　ＰＣとテンション構造のスタジアム
終　章　ブラックボックスからの脱出

「構造デザイン」とは何か、その考え方、手法について紹介するのがこの本の目的である。個々の建築の固有の構造上の性格を引き出し、空間に、秩序を与え、技術工学を駆使しながら全体と部分との確かな統合を図る、それが「構造デザイン」である。そこに、新たな空間、飛躍するデザインを生み出す唯一の可能性が秘められている。

学芸出版社　京都市下京区木津屋橋通西洞院東入　〒600-8216
tel 075-343-0811　fax 075-343-0810

日本建築協会会員の皆様に特別価格 **本体価格の１割引＋税** にてご提供いたします。
※送品手数料は２冊まで300円、３冊以上は無料とさせていただきます。

ご注文書籍の送付・請求等につきましては、学芸出版社より行いますのでお含み願います。

（FAX 送信先 075-343-0810）

お申し込み書（コピーの上、ご使用ください）

書　名	本体価格	ご注文冊数
飛躍する構造デザイン	2,200 円	冊
建物の汚れ　トラブル事例と解決策	3,500 円	冊
水にまつわるトラブルの事例・解決策〈建築編〉	4,000 円	冊
水にまつわるトラブルの事例・解決策〈設備編〉	4,000 円	冊
木造住宅のしくみ	2,200 円	冊
鉄骨工事の現場学	2,300 円	冊
鉄筋工事・本音の現場学	2,200 円	冊
建築と音のトラブル	2,300 円	冊
空調設備のトラブル 50	2,300 円	冊
衛生設備のトラブル 50	2,300 円	冊
新版　コンクリート工事のチェックポイント 100	2,400 円	冊
躯体工事監理のチェックポイント 100	2,200 円	冊
仕上工事監理のチェックポイント	2,200 円	冊

（本体価格×ご注文冊数× 90%× 1.05 =）　合計（税込）　円　冊

【送本先：勤務先／自　宅】　【請求先：勤務先／個人名】　【日本建築協会：会　員／非会員】　（いずれかに○を）

お名前	
送　本　先	〒□□□-□□□□
送本先のTEL&FAX	TEL　-　-　FAX　-　-

送料は２冊まで300円、３冊以上は無料

エネルギー・フロンティア
TOKYO GAS

天然ガスがひらく未来

いろいろ使える、

——東京ガスのガスコージェネレーションシステム



都市ガスを燃料として発電し、排熱を空調や給湯にも有効利用。
ガスコージェネレーションシステムは、多彩な用途に活躍する省エネルギーで省コストなシステムです。

ガスコージェネレーションシステムの用途はさまざま。発電した電力を照明や動力などとして、また非常用として利用できるだけでなく、発電時の排熱を暖房や冷房、給湯、あるいは蒸気としてムダなく活用できます。そのため電力や熱の安定供給が可能となり、エネルギーコストも大幅に削減。さらに、CO_2の排出量が少なく環境保全に貢献するなど、多くのメリットが高く評価され、ご採用件数は急速に増加しています。ぜひこの機会に、ガスコージェネレーションシステムの採用をご検討ください。

東京ガス株式会社 都市エネルギー事業部 〒163-1059 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー27階 ✆03-5322-7547

ガスコージェネレーションシステムについては、東京ガスのホームページでもご紹介しています。 **http://eee.tokyo-gas.co.jp/**

間仕切りの総合メーカー
小松ウォール

遮音性・耐震性を誇る！

大/型/移/動/壁
小松ランニング

～より機能的により快適に～



遮音性、耐震性に優れた小松ランニング
独自の機構により、人の力で軽く移動でき、
フレキシブルに自由な空間を創造すること
ができます。

小松ウォール工業株式会社
本　　社／石川県小松市工業団地1丁目72番地　☎(0761)21-3131(代)
東京市場開発部／東京都千代田区一番町13-3　☎(03)3263-2771(代)
大阪市場開発部／大阪府大阪市中央区西心斎橋1-1-13　☎(06)6241-8416(代)
URL http://www.komatsuwall.co.jp/

雑誌 03379-1

社団法人 日本建築協会 〒530-0047 大阪市北区西天満1-10-3 2100 電話大阪06(6348)0635 FAX06(6348)0634 http://www.aaj.or.jp
定価1,200円（本体1,143円 消費税57円 送料共）正会員の購読料は会費に含めて徴収